



Title	恋愛行動と恋愛心理の多様性に関する比較社会生態学的検討：社会環境要因と個人要因の交互作用効果
Author(s)	山田, 順子
Degree Grantor	北海道大学
Degree Name	博士(文学)
Dissertation Number	甲第13247号
Issue Date	2018-06-29
DOI	https://doi.org/10.14943/doctoral.k13247
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/71503
Type	doctoral thesis
File Information	Junko_Yamada.pdf



平成 30 年度 北海道大学大学院文学研究科博士論文

恋愛行動と恋愛心理の多様性に関する比較社会生態学的検討：
社会環境要因と個人要因の交互作用効果

山田順子

目次

第1部：論文の背景および理論	1
第1章：本論文の理論的背景——進化心理学と文化心理学の知見と理論	5
1-1. 恋愛関係と恋愛心理に関する進化心理学的研究	5
1-2. 恋愛行動および恋愛心理に関する文化心理学的研究	17
第2章：社会生態学的アプローチ	28
第3章：本論文の理論	37
3-1. 関係流動性の定義および関係流動性の高低が生み出す異なる適応課題	37
3-2. 関係流動性が恋愛関係における行動と心理に与える影響	47
3-3. 恋愛関係流動性と個人の配偶価値の交互作用効果	55
3-4. 検討課題のまとめと実証研究の概要	61
第2部：実証研究	63
第4章：関係流動性が恋愛行動に与える影響に関する実証研究	65
研究 1-1. 関係流動性が自己価値誇示に与える影響の検討	66
研究 1-2：関係流動性がコミットメント・シグナリングに与える影響の検討	74
第5章：関係流動性が恋愛心理に与える影響に関する実証研究	91
研究 2-1：関係流動性がパートナーに対する親密性に与える影響の検討	92
研究 2-2：関係流動性がパートナーへの情熱の高さに与える影響の検討	99
第6章：恋愛関係流動性と配偶価値の交互作用効果に関する実証研究	104
研究 3-1：シグナリング行動における流動性と配偶価値の交互作用効果の検討	105
研究 3-2：パートナー保持における流動性と配偶価値の交互作用効果の検討	112
第3部：総合考察	121
結果のまとめ	123
本論文の意義	126
本論文の限界と将来の展望	128
引用文献	133
謝辞	158

第 1 部：論文の背景および理論

ヒト¹をはじめ有性生殖を行う動物にとって、子孫を残し自らの遺伝子を次世代へと継承していくうえで恋愛関係²の形成は必要不可欠な適応課題³である。しかし、ただ闇雲に異性と恋愛関係を結べばいいというわけではない。有性生殖を行う動物の場合、生まれてくる子どもは両親の遺伝子型を半分ずつ受け継ぐ。それゆえに、生まれてくる子どもが当該の生態環境において生殖可能な年齢まで生き延び、子ども（孫）を残せるかどうかは、パートナーの遺伝的形質に大きく依存する。例えば、ヒトの免疫情報を司る HLA (Human Leulocyte Antigen: ヒト白血球抗原) 多型遺伝子は、その型の多様性が大きいほど病原体に対する抵抗力が強くなる (Kromer et al., 2016; Lie, Rhodes, & Simmons, 2010; Wedekind & Penn, 2000)⁴。逆に HLA 遺伝子型の多様性が低いほど、その個体は感染症などの病原体に罹患しやすくなる。このため、できるだけ自分の HLA 遺伝子多型と異なる HLA 遺伝子多型を持つ異性をパートナーとして獲得することが、より強い免疫を持った、生存可能性の高い子どもを得るうえで重要となる。

このように、ヒトは自分の適応度⁵を高めるために、優れた⁶遺伝的形質や高い生殖能力を持った異性を獲得しようとする。しかし、恋愛関係は相互選択過程であるため、他者もまた優れた遺伝的形質や高い生殖能力を持った個人を選別しようとする。したがって、魅力的な異性のもとには恋愛関係の形成を求める人々が殺到し、激しい競争が生じる

1 本論文では、生物学上の種としての側面について議論する際には“ヒト”、社会的動物としての側面について議論する際には“人”または“人間”と表記する。

2 本論文では、有性生殖を行う動物が形成する、異性との長期的または短期的な性的関係を総称として恋愛関係 (romantic relationships) と表記する。

3 適応課題とは、ある生態環境の下で個体が自らの生存可能性や自らの遺伝子頻度を最大化するために解決しなければならない課題のことである。例えば有性生殖を行う動物の場合、子孫を残す上で解決すべき課題は異性パートナーの獲得である。適応課題は、当該の生態環境においてどのような生物や形質が有利となるかを決め、世代を経るごとに特定の生物や形質の頻度(集団内での割合) が変化していく。こうした世代を経た生物や形質の頻度変化を生み出す要因は、淘汰圧と呼ばれる。

4 HLA 遺伝子は体臭と関連することがわかっており、ヒトは自分と似た HLA 遺伝子を持った他者の体臭よりも、自分と異なる HLA 遺伝子を持った他者の体臭をより好意的に評価することが示されている (Kromer et al., 2016; Lie et al., 2010; Wedekind & Penn, 2000)。

5 適応 (adaptation) という語の意味は、Darwinian 的な道具的適応と、精神医学的な心理的適応に大別できる (亀田・村田, 2010)。道具的適応とは、すなわち当該の生態環境において個体が生き延びること、あるいは個体が自らの遺伝子を次世代へと継承できていることを意味する。一方で心理的適応とは、ある社会状況の中で個人が葛藤や不安を感じることなく生活できていることを意味しており、必ずしも前者の道具的適応が意味する“生態環境での生存あるいは次世代への遺伝子の継承”を含意しない。なお、本論文において適応と表記する場合は、前者の道具的適応を意図している。

6 ここでは、個体の適応度を上昇させるか否かという観点から優劣という表現を用いているが、適応という語自体には優劣は含意されていない。また HLA 遺伝子多型のように、どのような形質が有利となるかには個体差があり、ここで表現されている優劣はあくまでも生態環境や個人によって変動する相対的なものである。

(Barclay, 2013; Noë & Hammerstein, 1994, 1995)。だが、こうした異性をめぐる激しい競争には、個人が対人関係の豊富な選択肢の中から自由にパートナーを取捨選択できるという暗黙の前提がある。では、いかなる社会においても、人々は恋愛関係におけるパートナーを自由に取捨選択できるのだろうか。

恋愛関係におけるパートナー選択が必ずしも個人の自由によらないことを示す例に、見合い結婚が挙げられる。現代の日本社会では自由恋愛に基づいた結婚が主流であり、見合い結婚の割合は非常に少ない⁷。しかし、かつての日本社会では仲人を介した見合い結婚が主流であり (Benedict, 1946 角田 (訳), 2008)、実際に 1930 年代までは過半数である約 70% の人々が見合いを通じて結婚していた⁸。またインドではカースト制度により身分を超えた結婚が社会的に禁止されていることに加え、結婚相手は個人の任意ではなく主に家族によって決定される (Gilmartin, 1997)。このように、恋愛関係におけるパートナーの選択に第三者 (特に家族) が介入するような社会では、魅力的な異性をめぐる競争は比較的穏やかになるだろう。なぜなら、たとえ魅力的な異性がいたとしても、自分の一存でそうした相手と関係を形成することが困難だからである。

また同じ恋愛関係市場の中でも、魅力的な異性をめぐる競争で打ち勝つための競争力には個人差がある (Pawlowski & Dunbar, 1999a)。先述したように、恋愛関係市場では優れた遺伝的形質や高い生殖能力を持つ異性が好まれる (Buss, 1989; Shackelford, Schmitt, et al., 2005)。このため魅力度が高い個人ほど大勢の異性を惹きつけ、惹きつけた豊富なパートナー候補の中から自由にパートナーを取捨選択することができる。こうした魅力的な人々に比べ、あまり魅力的でない人々はパートナー選択の自由度は低くなる。なぜなら魅力的でない個人は少数の異性しか惹きつけることができず、それゆえに限られたパートナー候補の中から相手を選ばざるを得ないからである。

では、先述した社会環境における恋愛パートナー選択の自由度に見られる差異は、恋愛関係における人々の行動や心理にどのような影響を与えるのだろうか。また、社会レベルにおける恋愛パートナー選択の自由度と、個人レベルにおける恋愛関係市場内での魅力度は、それぞれどのような関係にあり、2つのレベルの要因が重なり合うことで生まれる効果は人間の恋愛行動やそれを支える心理にどのような影響を与えるのだろうか。

そこで本論文は、社会環境におけるパートナー選択の自由度の指標として関係流動性 (Yuki & Schug, 2012)、恋愛関係市場における個人の魅力度の指標として配偶価値 (Pawlowski & Dunbar, 1999a) のそれぞれに注目する。そして、社会環境の関係流動性や、

⁷ 国立社会保障・人口問題研究所 (2015) 「出生動向基本調査 (結婚と出産に関する全国調査)」

⁸ 国立社会保障・人口問題研究所 (2015) 「出生動向基本調査 (結婚と出産に関する全国調査)」

関係流動性と配偶価値の交互作用効果が、恋愛関係におけるヒトの行動やそれを支える心理に与える影響を検討する。

本論文は、進化心理学と文化心理学という異なる分野をそれぞれ背景に持つ。そこで第1部第1章では、本論文の理論的背景について述べる。第1章では、まず進化心理学を中心に、ヒトの恋愛関係の一般的特徴や、恋愛関係においてヒトが直面する適応課題、およびそうした適応課題を解決するためにヒトがいかなる行動や心理を獲得してきたかに関する先行研究の知見と理論を紹介する。そのうえで、特にヒトの恋愛関係研究の中心である進化心理学研究の問題点を指摘する。続いて、従来の進化心理学研究が抱える問題を補完する研究として、文化心理学研究を取り上げる。そして、文化心理学が見出してきた恋愛関係をはじめとする親密関係における対人行動や対人心理に関する文化差の知見と、こうした文化差に関する伝統的な文化心理学理論を紹介する。そのうえで、こうした伝統的な文化心理学理論の問題点を指摘する。

続く第2章では、第1章で紹介した両分野の知見を統合し、それぞれが抱える問題を解決する新たな理論的枠組みの一つである社会生態学的アプローチ (Nisbett & Cohen, 1996; Oishi & Graham, 2010; Talhelm et al., 2014; 亀田・村田, 2010) について述べる。そして第3章では、社会生態学的アプローチに則った本論文の具体的な理論仮説について述べる。第3章ではまず、人間の恋愛行動や恋愛心理に影響を与える社会環境要因として本論文が注目する関係流動性 (Yuki & Schug, 2012) の概念定義をした上で、社会環境要因である関係流動性が人間の社会行動や社会心理に与える影響に関する先行研究を紹介する。その上で、社会環境の関係流動性が人間の恋愛行動や恋愛心理に与える影響に関する、本論文の理論仮説について述べる。そして、個人要因が恋愛行動や恋愛心理に与える影響を示した先行研究の知見を紹介しながら、社会環境要因のみならず個人要因に注目することの重要性を指摘し、社会環境の関係流動性と個人特性の配偶価値との交互作用効果が人間の恋愛行動に与える影響に関する本論文の理論仮説について述べる。

第1章：本論文の理論的背景——進化心理学と文化心理学の知見と理論

第1章では、進化心理学と文化心理学の知見および理論を中心に、本論文の理論的背景について述べる。以下では、まず進化心理学を中心に、ヒトの恋愛関係に関する特徴や、人の恋愛行動および恋愛心理の一般的傾向に関する知見と理論を紹介する。そのうえで、特に進化心理学的な人間の恋愛関係研究が抱える問題について述べる。続いて、そうした従来の進化心理学研究が抱える問題を補完しうる研究分野として本論文が注目する文化心理学について述べる。本論文では、文化心理学がこれまで見出してきた文化差⁹の知見と、そうした文化差に対する伝統的な理論を紹介する。そのうえで、従来の文化心理学研究が抱える問題を指摘し、こうした問題の解決に進化心理学理論の導入が有用であることを述べる。以上の議論を踏まえ、最後に、異なる研究分野の知見と理論を統合することの有用性を指摘する。

1-1. 恋愛関係と恋愛心理に関する進化心理学的研究

一夫一妻型の恋愛関係

多くの生物にとって、個体が持つ固有の遺伝子を次世代へと継承していくことは重要な適応課題である。中でも、ヒトを含めた有性生殖を行う生物にとって、配偶相手となる異性の獲得は生殖の成功に必要不可欠である。生物の配偶形態は種によって様々であるが、特にヒトは、その進化の過程において一夫一妻型の関係を獲得してきたとされる (e.g., Bauch & McElreath, 2016; Benshoof & Thornhill, 1979; Fletcher, Simpson, Campbell, & Overall, 2015; Marlowe, 2000; Schacht & Bell, 2016)。一夫一妻型の配偶形態をとる種は、ヒトを含め哺乳類の中でもわずか 11% と限られている (Fletcher et al., 2015)¹⁰。またヒトの配偶形態は一夫一妻それ単一ではなく、複婚を容認する文化圏も数多く存在する。ただし、事実として現代社会ではおよそ 70% の文化圏で複婚が社会的に容認されている一方、実際には教育費や医療費などの経済的な制約によって多くの場合は一夫一妻型の関係が主流となっている (Thobejane & Flora, 2014)。

これまでの研究で、一夫一妻型の恋愛関係には様々な利益があることが明らかにされている。一夫一妻型の恋愛関係の場合、個人は特定のパートナーとの間に排他的な関係を構築する。このためパートナー以外の異性との配偶機会が制限され、特に配偶子の生産コス

⁹ 本論文では、原則として国や地域の間で観察される差異について言及する際には「社会差」と表記する。しかし文化心理学では、社会間で観察される差異について言及する際に、社会差ではなく「文化差 (cultural differences)」という表記が伝統的に用いられてきた (e.g., Ishii, Mojaverian, Masuno, & Kim, 2017; Kim & Markman, 2013; 北山, 1994)。このため本論文ではこの慣例に倣い、文化心理学について述べる際には、国や地域の差異を「文化差」と表記する。

¹⁰ ただし、哺乳類の中でも鳥類は 81% が一夫一妻型といわれている (Fletcher et al., 2015)。

トが低い男性にとっては機会コストの高い戦略であるとされてきた (Buss & Schmitt, 1993; Gangestad & Simpson, 2000)。しかしヒトの場合、一夫一妻型の関係はそうしたコストを上回る利益をもたらすことが指摘されている。例えば、ヒトは未熟児状態で生まれ、生殖可能な年齢まで成熟するのに長い時間と潤沢な資源を要する。このため、一夫一妻による夫婦の共同養育が未熟な子どもの生存可能性と生殖成功率を高めることにつながり、結果的に乱婚型の個人よりも包括適応度¹¹が高くなる (Marlowe, 2000)。また一夫一妻によって性的関係の範囲が限定されることによって集団内での性感染症の土着化が防止され、結果的に集団内の死亡率や疾病率を低下させることができる (Bauch & McElreath, 2016)¹²。こうした利益の一方で、一夫一妻関係の獲得と維持の過程において個人は次の適応課題に直面する。

恋愛パートナーの獲得と保持：恋愛関係における適応課題

恋愛関係にいてヒトが直面する適応課題の一つが、優れた¹³遺伝型あるいは表現型を持つパートナーの獲得である。有性生殖の場合、突然変異を除いて半数の遺伝子が親子間で共有される。このため、パートナーとして選んだ相手の遺伝的形質は、生まれてくる子どもの生存可能性や、彼らの将来における生殖成功度に影響する (Buss, 1989; Shackelford, Schmitt, et al., 2005)。そのため、例えば女性は経済的地位の高さなど資源獲得能力に優れた

¹¹ 包括適応度 (inclusive fitness) とは、ある個体の遺伝子が次世代に継承される程度である (Hamilton, 1964)。適応度と同様、包括適応度も生態環境において当該の個体の遺伝子頻度の増減を表す指標である。ただし、適応度が個体の残した子孫数すなわち個体数を指標としているのに対し、包括適応度は個体の残した遺伝子数を指標とする。つまり、包括適応度は個体の子どもだけではなく、当該の個体と血縁関係のある個体やその子孫数も指標に含めるという点で適応度と異なる。

¹² 一夫一妻型の恋愛関係の進化的機能に関する理論は、性淘汰に基づく説明と、集団ダイナミクスに基づく説明とに大別できる。前者の理論は、養育コストの分担による子孫の生存率・生殖成功率の上昇戦略 (Marlowe, 2000)、あるいは男性による父性性の確証戦略 (Benshoof & Thornhill, 1979; Schacht & Bell, 2016) など、個体レベルで一夫一妻型の関係志向が備わったと論じている。一方で後者の理論は、一夫一妻は個人の志向ではなく集団内の社会規範 (socially imposed monogamy) であると論じている。例えば一夫一妻がもたらす性感染症の土着化抑止は集団単位での身体的健康水準の維持に寄与する (Bauch & McElreath, 2016)。また一夫一妻により配偶機会が集団内で均等に配分されることによって集団内の性内競争が抑止され、メンバー間の協力関係が促進される (Henrich, Boyd, & Richerson, 2012)。つまり、集団間葛藤における集団の競争力を高めるがゆえに一夫一妻型の社会的規範が進化してきたと論じている。

¹³ 適応論で論じられるのは、当該の生態環境下において生じる淘汰圧によって次世代の生物種や遺伝子の頻度がどのように変化するかであり、特定の生物種や遺伝子型の優劣は論じられない。ここでは、選択する側の個体の包括適応度を上昇させるような遺伝型あるいは表現型という意味で、便宜上「優れた」という優劣表現を用いているに過ぎず、特定の形質が別の形質よりも優れているということを意図しない。Darwin 以後の適応論における優劣の解釈とその後の研究における誤用についての議論は、Laland & Brown (2011) に詳しい。

男性を好み、男性は若く身体的に魅力的で生殖能力に優れた女性を好む (Buss, 1989; Buss & Barnes, 1986)¹⁴。また類似性の高いパートナーの能動的選択 (Byrne, 1961; Domingue, Fletcher, Conley, & Boardman, 2014; Thiessen & Gregg, 1980) によって、自分に対して利他的に振る舞うパートナーを獲得しようとする¹⁵ (e.g., Thiessen & Gregg, 1980: 類似性と利他行動の関連の詳細は脚注を参照されたい)。しかし、パートナーを獲得しただけでは、必ずしも自分の遺伝子を次世代へと継承することには繋がらない。なぜなら、もし一度獲得したパートナーをライバルに奪われた場合、自分の遺伝子を次世代へ残すことが難しくなるからである¹⁶。

パートナーをライバルに奪われることなく、確実に自分の遺伝子を次世代へと継承するために個人が解決すべき適応課題が、獲得したパートナーの保持である (e.g., Buss & Schmitt, 1993; Buunk et al., 1996)。パートナー保持は、特に男性において重要となる。なぜなら、妊娠・出産を経ることで子どもとの血縁関係が明確に保証される女性に比べて、男性は自分自身と子孫との血縁関係を確証することが本質的に困難だからである¹⁷。このため、一度獲得したパートナーを一定期間ライバルに奪われないよう保持することは、子どもに対する父性の不確実性を低減するための適応戦略となる。例えば乱婚性のヒメフンバエ (*Scatophaga stercoraria*) のメスは、繁殖期に複数のオスと交尾する。交尾の際、前に交尾したオスの精子は排出されるため、後から交尾したオスの方が生殖において有利になる (事実、メスの子供の約 80% が、後から交尾したオスの子供になる)。これを回避するために、オスは自身の配偶期間の約 4 分の 1 の時間¹⁸をパートナー保持に費やすことが知られ

¹⁴ 特に女性にはパートナー選択において、男性が自分のパートナーとしてどの程度望ましい表現型を持っているかを選別するために多くのコストを費やすとされる (Fawcett et al., 2011)。

¹⁵ 類似性選好 (similarity attraction: Byrne, 1961) または選択配偶 (assortative mating: Domingue et al., 2014; Thiessen & Gregg, 1980) の適応価は、非血縁者または血縁の遠い他者に対する利他行動を導く点にある。血縁度 r の個体に対する援助行動は、援助行動によって援助者が得られる利益 k (benefit/cost) が $k > 1/r$ であるとき進化する (Hamilton, 1964)。通常、血縁度 r が小さくなるにつれて k の値が大きくなり、援助行動は進化しにくくなる。このため、血縁関係にない恋愛パートナーへの援助は進化しない。しかし類似性選好または選択配偶におけるパートナーとの類似度 a を考慮した場合の $k > 1/(r+a)$ では r の減少に伴う k の増加率が縮小し、血縁度の低いパートナーに対する援助行動が進化すると考えられる。

¹⁶ 例えばライオン (*Panthera leo*) の配偶では、オスが複数のメスとハレム (プライド) を形成する。もし他のライバルにプライドを乗っ取られてメスを奪われた場合、プライドの元の主だったオスの子どもはライバルであり新しい主となったオスに殺されてしまう (Bertram, 1975)。

¹⁷ 男性における子どもに対する血縁の確証は、乱婚型で短期的な配偶関係を主とする生物においても重要な適応課題である。例えばクモは複数の相手と短期的な配偶を繰り返す乱婚型の生物だが、オスは自らの父性を確保するために、交尾栓によってメスの配偶機会を制限するパートナー保持行動をとることが知られる (Kunz et al., 2014)。

¹⁸ ここでの時間とは、繁殖期のオスに残された時間である。ヒメフンバエのオスが一度の繁殖期で使える時間は約 156 分であり、この時間をパートナーの探索と交尾、そして保持のそれぞれに分配する。約 100 分間メスを保持すれば、交尾したメスの卵子の全てを独占できるが、受

ている (Parker, 1970)。こうした精子競争に基づくパートナー保持のモデルはヒトにも適用できる (Leivers, Rhodes, & Simmons, 2014)。さらにヒトの場合、社会を形成し集団で生活を営む。ヒトや鳥類のように集団で生活する動物の場合、同じ集団内に暮らす個体間の距離が近く、ライバルによる託児・托卵やパートナーの強奪リスクがより高くなる。このため、父性の不確実性を低減し、より確実に自分の血縁を継承していくためにパートナー保持が必要となる (Schacht & Bell, 2016)¹⁹。では、こうした恋愛関係で直面するパートナーの獲得および保持という適応課題を、ヒトはどのように解決するのだろうか。次節では、パートナーの獲得と保持に関する、それぞれの具体的な行動方略について述べる。

恋愛パートナーの獲得・保持方略：シグナリング

先述のように、生まれてくる子どもの生存可能性や将来の生殖成功率を高めるために、個人はパートナー候補が持つ遺伝型や表現型を慎重に選別し、より自分にとって望ましい形質を持った相手を選択しようとする (Buss, 1989; Buss & Barnes, 1986; Fawcett, Boogert, & Lefebvre, 2011)。恋愛関係が相互関係である以上、望ましい相手を獲得するためには、相手からも自分をパートナーとして選択してもらう必要がある。そのため、異性に対して自分自身がパートナーとして望ましい遺伝型や表現型を持っていることを示す行動——すなわちシグナリング行動 (Zahavi, 1975, 1977) が有効となる。遺伝型や表現型の真値を外部から観察できない以上、こうしたシグナリング行動は必要不可欠である (Zahavi, 1975)。本論文では、恋愛関係におけるシグナリング行動として、(1) 自己価値誇示と、(2) コミットメント・シグナリングの2つに注目する。

自己価値誇示

先述したように、パートナーの HLA 遺伝子多型は生まれてくる子どもの免疫機能の高さに影響を与える (Kromer et al., 2016; Lie et al., 2010; Wedekind & Penn, 2000)。しかし、他者の HLA 遺伝子多型を直接観察することはできない。それゆえに、自分が当該の生態環

精率は時間とともに限界低減する。オスのパートナー探索時間と単位時間あたりの受精率の増加関数から計算される最適なパートナー保持時間は約 41 分であり、実際にヒメフンバエのオスは交尾後に平均して 36 分間パートナーであるメスを保持することが示されている (Parker, 1970)。

¹⁹ Kokko & Morrell (2005) は、オスによるパートナー保持が進化する条件として、恋愛関係がある程度排他的で、かつパートナーによる不貞の確率が中程度である場合を挙げている。メスによるつがい外交尾が頻繁に行われるような父性の不確実性が極端に高い環境では、パートナーを保持するよりも、つがいを形成せず複数のメスと配偶する方がオスにとって利益になる。逆に、メスによるつがい外交尾がほとんど生じないような父性の不確実性が極端に低い環境では、そもそもパートナー保持の必要性が低いため、パートナー保持行動は進化しない。

境において適応的な遺伝的形質を自らが保有することを、身体的特徴などを通じて相手から観察可能な形で示す行動（以下、自己価値誇示）が必要となる。

オランダの進化心理学者である Amotz Zahavi が提唱したハンディキャップ理論 (Zahavi, 1975) に代表されるように、配偶におけるパートナー選択において、生物はしばしばパートナー候補の身体的特徴を選択基準として用いる。例えばセキショクヤケイ (*Gallus gallus*) のメスは、より鮮やかな羽根色を持ったオスをパートナーとして好む。オスの羽根色は寄生虫に感染すると色質が落ちることが知られている。つまり、オスの羽根色の鮮やかさは、当該の個体が持つ寄生虫への抵抗力の強さのシグナルとなっており、鮮やかな羽根色を持つオスほどメスから優れたパートナーとして選択される。こうした自己価値誇示は、ヒトでも同様に見られる。例えば資源の獲得能力や生殖能力は直接観察することができない。欧米の新聞に掲載されたパートナー募集広告の自己紹介文を分析した Greenlees & McGrew (1994) は、男性が職業や学歴を通じて自らの資源獲得能力をシグナルし、女性は年齢の若さやスリーサイズなどを通じて自生殖能力の高さをシグナルすることを示している。また女性の体型は生殖能力の高さをシグナルするとされ、ウエストサイズとヒップサイズの比率が 0.7 に近い体型を持つ女性ほど男性からパートナーとして好まれることが示されている (Waist-Hip-Ratio: WHR; Singh, 1993)²⁰。

こうした自己価値誇示の特徴は、騙り (dishonest signaling) が困難であるという点にある。先述したセキショクヤケイの鮮やかな羽根色は、寄生虫に感染することでその色質が落ちてしまう。このため寄生虫に対する抵抗力の弱い個体は鮮やかな羽根色を作り出すことができない。それゆえにセキショクヤケイの羽根色は、当該個体が高い寄生虫への抵抗力を持つことの信頼できる客観的指標となる。同様のことはヒトの場合でも言える。例えば男性の職業の場合、職業によって平均または生涯年収が異なり、医師や弁護士など専門性が高い職業に就いている個人ほどより多くの金銭資源を獲得できる²¹。また一般的に、

²⁰ Sugiyama (2004) は、女性の WHR 比に対する男性の選好が文化圏によって異なることを示している。Sugiyama は、アメリカなど欧米社会では WHR 比 0.7 がよく好まれる一方で、アフリカではより高い比率の（くびれが少なく、ふくよかな）体型が好まれることを示している。その上で彼は、WHR 比への選好に見られるこうした差異を、それぞれの社会の経済的要因から解釈している。高い WHR 比を好む地域は発展途上国が多く、そうした地域における結婚とは、両家の経済的協力という意味合いが大きい。こうした環境において女性のふくよかさは、その女性の生家が食料を潤沢に用意できる程度に裕福な家庭であることの指標となる。発展途上国では食料を潤沢に購入できる経済状況にないといふくよかな体型を維持することはできないため、信頼できるシグナル足りえと考えられる。WHR 比がシグナルするものが生殖能力か経済力かという違いはあるものの、WHR 比はそれぞれの社会において恋愛パートナー選択の信頼できる客観的指標である。

²¹ 例えば平成 29 年度における平均給与額は、医師が 952 万円、弁護士が 635 万円と、全体の平均給与 (304 万円) よりも高い (厚生労働省 (2017) 賃金構造基本統計調査)。

こうした専門性が高い職業に就くためには高い知性が必要とされる。加えて資格職は資格の習得までに長い時間を要することから、将来の獲得資源の予測だけでなく、現在の経済状況の指標にもなる。また女性の体型の場合、一般的に加齢に伴って脂肪量が増加する (Hunter, Gower, & Kane, 2010)。性ホルモンの減少に伴うこうした生理的な変化は、本人の意思による詐称が困難である。また極端な痩身・肥満傾向はガンの発症率が高いことが、国立がん研究センターがん予防・検診研究センターの調査により示されている (Inoue, Sobue, & Tsugane, 2004)。このことから、体型は当該個人の身体的健康に関する信頼性の高い客観指標であるといえる。

コミットメント・シグナリング

免疫機能に関わる遺伝子や、資源の獲得能力および生殖能力は、子どもの生存可能性や生殖成功率の高さに直接寄与する。このため、自らがそうした遺伝子型や能力を持っていることを示す自己価値誇示は、恋愛関係において異性から選択されるための適応方略となる (e.g., Buss, 1989; Greenlees & McGrew, 1994; Singh, 1993)。しかし、恋愛関係において重要な特性は、こうした遺伝子型や生得的な能力だけではない。恋愛関係におけるパートナー選択でヒトが注目するもう一つの特性が、自分自身に対するパートナーのコミットメントの強さである (Yamaguchi, Smith, & Ohtsubo, 2015)。

ヒトの生殖における特徴の一つが、出生から性的成熟までに長い時間と資源を要することである (Hill & Kaplan, 1999b, 1999a; Kaplan, Hill, Lancaster, & Hurtado, 2000)。子から孫へと世代を超えて遺伝子を確実に伝達していくためには、生まれてきた子どもが性的に成熟するまで、自分や自分の子孫に対する排他的な養育投資を確約してくれる相手を選ぶことが重要となる (Iwasa & Pomiankowski, 1999; Simpson & Gangestad, 1992)。このため個人は、長期的かつ排他的な協力関係を構築できるパートナーを選択しようとする (Arnocky, Piché, Albert, Ouellette, & Barclay, 2016; Barclay, 2016; Barclay & Willer, 2007; Farrelly, Clemson, & Guthrie, 2016)²²。

しかし、こうした長期的で排他的な協力関係の獲得において、個人は困難に直面する。それは、恋愛関係市場 (mating market) に存在するパートナーの豊富な選択肢によって生

²² 子孫の養育能力を示す別のシグナルとして、競争的利他主義 (competitive altruism: Roberts, 1998) に代表される利他性 (altruism) が挙げられる。利他性の高さをシグナルすることで、個人は自らがパートナーを裏切ることなく互惠関係を形成する意思を持つことをシグナルし、それによって長期的な相互作用のパートナーとして相手から選ばれることにつながる (Barclay, 2016)。こうした利他性への選好は、特に長期的な関係性においてより強くなることが指摘されている (Farrelly et al., 2016)。

じる、魅力的な²³他者との新たな関係への乗り換えと、特定のパートナーとの排他的関係の構築の葛藤である。恋愛関係市場に存在する魅力的な異性の存在は、現在のパートナーを捨てて新たな関係へ乗り換えるよう個人に強く働きかける。一方で、もし自分がそうした乗り換え機会を捨ててパートナーとの長期的関係に資源を費やしたとしても、パートナーが自分よりも魅力的な相手に乗り換えていかないという保証はない。こうした不確実性の高さにより、お互いにパートナーとの長期的な排他的関係の構築に踏み出せない状態に陥ることを、Frank は**コミットメント問題**と呼んだ (Frank, 1988)。特に子孫の養育に多大な時間・物質資源を要するヒトにとって、コミットメント問題は重大である。個人にとって、パートナーとの排他的な長期関係の構築は、共同の子育てによる個人あたりの養育コストの低減 (Gangestad & Simpson, 2000) や子孫への持続的な資源提供を可能にする (Marlowe, 2000)。しかし、もしパートナーがより魅力的な他者を見つけて関係を乗り換えていった場合、それまでパートナーとの関係に投資してきた資源は全て失われる (Rusbult, 1980)。恋愛関係市場に魅力的な異性という強いインセンティブが存在する以上、個人はパートナーが自分を裏切って関係を乗り換えるかもしれないという強い不安を感じると同時に、彼ら自身もまたパートナーに対して相手を裏切り関係を乗り換えて行くかもしれないという不安を与えることになる。こうした相互不安を乗り越えて長期的な排他的関係を構築するためには、パートナーとの関係に対する自分自身のコミットメントの強さを証明すると同時に、自分自身をパートナーに縛り付けることが必要とされる (Frank, 1988)。

こうしたコミットメント・シグナリングを支える心理として、これまで愛の存在が指摘されてきた (Frank, 1988; Gonzaga et al., 2008; Yamaguchi et al., 2015)。愛はパートナーとの心的な近接性である (e.g., Hatfield & Rapson, 1991, 2005, 2006; Sternberg, 1986)。相手に対して愛を感じることで個人の認知状態が変化し、特定のパートナーに対する認知的な集中状態が生じる (Sternberg, 1986)。また脳内の報酬系が賦活し、それによって個人はパートナーと一緒にいることに対して幸福感を覚えるようになり、パートナーとの間に心理的な絆 (bonding) が形成される (Bartels & Zeki, 2004)。それだけでなく、パートナー以外の異性に対する注意が抑制されることで、関係の乗り換えインセンティブが認識されにくくなる (Gonzaga et al., 2008)。こうした愛によるコミットメント・シグナリングは、当該の個人がパートナーに対して排他的な認知状態であることを示すことで、自らがパートナーを裏切らないという確約を与える。これにより、魅力的な代替関係への乗り換え機会という強いインセンティブを乗り越え、パートナーとの間に排他的な相互関係を構築することが可能

²³ ここでの魅力度は、自己価値誇示でシグナルされる身体的特徴などの遺伝型や、子孫の養育への共同投資といった信頼性などの表現型の両方を含意している。

となる。事実、恋愛関係において個人は他者の自分との関係に対するコミットメントの強さを吟味し、よりコミットメントが高い相手をパートナーとして好むことが明らかにされている (Yamaguchi et al., 2015)。

獲得した恋愛パートナーの保持方略

子孫を残し自らの遺伝子を次世代へ伝達するという生物に共通する適応課題を達成する上で、パートナーが自分以外の相手に乗り換えていかないよう自らに惹きつけておくことは不可欠である。ここまで、こうした適応課題の解決方略として、自分自身の優れた遺伝的形質や能力を他者から観察可能な形で示す自己価値誇示や、パートナーに対する自己の排他性を示し相手との長期的な相互関係の構築を確約するコミットメント・シグナルについて述べた。しかし恋愛関係においては、パートナーの獲得だけでなく、一度獲得したパートナーをライバルに奪われないよう防衛するパートナー保持も重要な適応課題となる。

こうしたパートナー保持は、特に男性において重要な適応課題となる (Buss & Schmitt, 1993; Buunk et al., 1996)。もちろん女性にとっても、パートナーの保持は重要な適応課題である。ヒトの場合、妊娠から出産にかけて女性は食料など資源の確保が困難になる (Buss & Schmitt, 1993)。またヒトの乳児は未熟状態で生まれエネルギーの供給や外敵からの保護を養育者に依存する (Hill & Kaplan, 1999a, 1999b; Kaplan et al., 2000)。このため、捕食者などの外敵から自分と子どもを保護してくれるパートナーを保持し、かつその資源を独占しておくことは女性の包括適応度を上昇させる。

では、男性はどうだろうか。妊娠・出産を経験しない男性は、女性に比べて他者に資源を依存する程度が低い。しかし一方で、妊娠や出産を経験しないことで、男性は生まれてくる子どもと自分自身との血縁関係を確証できないという父性の不確実性を本質的に抱えることになる (Buss & Shackelford, 2008)。体臭を介した間接的な血縁確証 (Alvergne, Faurie, & Raymond, 2009)²⁴ が可能であるとしても、父性の不確実性は完全には解消されない。もしパートナーがライバルの子どもを妊娠しそれに気づかなかった場合、男性はその期間にパートナーから得られるはずだった配偶機会を全て失うことになる。それだけでなく、もしライバルである他の男性の子どもを託児されたことに気づかなかった場合、自分の血縁ではない子の養育に資源を搾取されてしまう。こうした血縁確証の不確実性によって生じる男性の適応度の低下は、女性が養育資源の不確実性によって被る適応度の低下よ

²⁴ 両親と子供の間で顔と体臭の類似性を比較した Alvergne et al. (2009) は、父親による子供への養育資源の投資度が、父親と子供の体臭の類似性によって予想されることを示している。特に、顔の類似性に基づく血縁関係の推測の度合いには母親と父親で差がないが、体臭による血縁関係の推測の度合いは父親の方が高いことが示されている。

りも大きい。なぜなら、例え養育資源の不足により子どもの生育が不十分になったとしても女性は確実に自分の血縁者を増やし自分の遺伝子を次世代に継承できるのに対し、ライバルに託児されてしまった男性は自分の遺伝子を次世代に継承できないからである。

このため動物のオスは、限られた配偶資源の中でパートナー保持を行い、より確実に自分の遺伝子を次世代へ伝達しようとする。例えば、川魚の一種であるシクリッド (*Pterophyllum scalare*) のオスは縄張りを形成する。オスは縄張りの中でメスと交尾を行うが、交尾が終わった後、メスとの近接性を保ちながら縄張りに近づいてきた他のオスを追い払う (Yamamoto, Chellappa, Cacho, & Huntingford, 1999)。つまり、パートナーとライバルの物理的な接触機会を制限することで、メスが自分の子供を妊娠・出産するまで監視するのである。またコサragモ (*Oedothorax retusus*) のオスは、交尾後にメスの交尾管に交尾栓を分泌する。交尾栓はメスの卵子までの経路を塞ぎ、物理的に他のオスの精子が侵入するのを防ぐ。交尾栓を注入されたメスは別のオスと交尾することができが、交尾栓がある限り他のオスの精子を受精することはできない (Kunz, Witthuhn, & Uhl, 2014)。このように、メスの配偶機会を物理的に妨害することで、メスが生む子供に対する自分の父性をより確実にできる。水生生物や昆虫以外の哺乳類においても、同様の精子間競争における適応戦略はみられる。例えばネコなどの哺乳類のオスの一部には、陰茎棘を有する種がいる。陰茎棘はメスの生殖器に裂傷を与えるため、交尾後のメスは裂傷が癒えるまで当該のオスを含む全てのオスとの交尾を避けようとする。これにより、メスの配偶機会を物理的に抑制することができる (Stockley, 2002)²⁵。では、ヒトにおけるパートナー保持にはどのような行動方略があるのだろうか。

利益提供とコスト賦課

進化心理学者である Buss らは、現実社会における人々の行動に基づいて、人間におけるパートナー保持行動の種類を、利益提供 (benefit-provisioning) とコスト賦課 (cost-inflicting) に大別した (Buss & Shackelford, 1997; Buss et al., 2008)。利益提供とは、パートナーに対して自分との関係に止まるインセンティブを提供する行動である。こうした行動には、パートナーに対してプレゼントを贈るなどの資源提供や (利益による誘引: positive inducements)、パートナーと自分のコミットメントの強さを対外的に誇示すること (関係の公的表明: public signals of possession) が挙げられる。こうした行動を通じ、自分が他のライバルよりも秀でて優れた関係相手であることを示すことで、常にパートナーから選ばれ

²⁵ ヒトの祖先も陰茎棘を有していたと考えられるが、ヒトの場合はおよそ 70 万年前に陰茎棘が喪失したと推測されている (McLean et al., 2104)。

続けることができる。

一方、コスト賦課は、パートナーとライバルの接近を物理的に妨害することで、パートナーの配偶機会を制限する行動である。こうした行動には、パートナーがライバルに関心を持たないようにライバルの悪口を吹き込んだり (異性への牽制: intersexual negative inducements)、逆にライバルがパートナーに関心を持たないようにパートナーの悪口を流布したり (同性への牽制: intrasexual negative inducements)、パートナーに接近してきたライバルを物理的に攻撃する (直接的防衛: direct guard) ことが挙げられる。

また、これらの行動を支える心理として、嫉妬 (romantic jealousy) の存在が指摘されている (Shackelford, Goetz, Buss, Euler, & Hoier, 2005)。Hupka (1981)は、嫉妬感情は恋愛関係におけるリスク検知機構として機能すると論じている。嫉妬は状況変数に基づく現在の感情状態の意味づけ機構であり、自分がパートナーの喪失リスクに直面していることを個人に自覚させる。そして、嫉妬を感じることによって、パートナーに対する保持行動が駆動し、パートナーへの積極的な資源提供やライバルへの牽制・攻撃行動が導かれる (Buunk et al., 1996)²⁶。こうした心理を内在化することは、眼前に差し迫った危機に対する素早い対処を可能にするとともに、わずかなリスクに対しても敏感に反応することで、パートナーの強奪や不貞といった損益を最小限に抑えることができるという利点がある (Haselton & Buss, 2000)²⁷。

行動生態学的観点の利点と、ヒトに関する先行研究の問題点

ここまで述べたように、進化心理学は自然環境への適応という観点から、恋愛関係においてヒトがどのような適応課題に直面し、そうした適応課題を解決するためにどのような行動傾向や心理を身につけてきたかを明らかにしてきた。こうした適応論に基づくアプローチの利点は、観察される行動や心理を生み出した進化的機序を明らかにすることで、その適応的機能に関する節約的 (parsimonious) な理論²⁸の構築を可能にする点にある。

²⁶ Brewer & Riley (2009) は、嫉妬感情を感じることで自体が、特定のパートナーに対するコミットメント・シグナルの一種として機能すると論じている。

²⁷ こうした特定の状況における適切な対処行動を導く心理を獲得することの有効性を、Haselton & Buss (2000) はエラーマネジメントの観点から論じている (error management theory)。嫉妬が引き起こすパートナー保持行動は、無駄足に終わる場合もある。嫉妬感情により行動を自動化せず、時間をかけて仔細にパートナーを奪われるリスクを計算すればこうした損失は防ぐことができる。しかし、パートナーを奪われるリスクに過敏になり行動が無駄に終わった場合の損失よりも、リスクの検知が遅れパートナーを奪われた場合の損失の方が大きい。このため、積極的なパートナー保持行動の準備状態として、嫉妬感情を持つておくことが有効となる。

²⁸ 節約的な理論構築を目指すべきだとする科学哲学は、14世紀のスコラ哲学者であるオッカムの名を取り「オッカムの剃刀」として知られる。心理学においてもこうした節約的理論の重要

しかしながら、ヒトの恋愛関係に関する進化心理学的研究には、仮定される適応環境が限定的である点や、限定的なサンプリングに基づくデータをヒト普遍的な特徴として過度に一般化しているなどの問題がある。以下では、それぞれの問題点の詳細を述べる。

第一の問題：仮定する適応環境が限定的である

第一の問題は、進化心理学理論において仮定される適応環境が限定的な点である。Bussらに代表される従来の進化心理学理論では、現在観察されるヒトの行動や心理は、狩猟採集社会などの原始的な環境における適応の結果として獲得されたと論じてきた (e.g., Buss, 1989; Buss & Schmitt, 1993)。こうした研究は、現代社会の多様性を単なる測定誤差として扱い、社会がヒトの恋愛行動や恋愛心理に与える影響を見落としてきた。だが、原始の狩猟採集社会と現代社会ではその規模も社会システムも大きく異なるように、社会環境には多様性があり、それぞれの社会がそこで生きるヒトの恋愛行動やそれを支える心理に異なる影響を与えることは十分に考えられる。このため、原始環境のみを適応環境として想定することは、社会環境が多様化する現代社会に暮らす人々の恋愛行動と心理を理解し、予測する上では不十分だろう。

こうした問題点を解決する上で役立つのが、行動生態学の知見である。行動生態学では、自然環境の継時的変化を考慮し、自然環境の変動が個体の行動や心理の変化を生み出すダイナミクス・モデルが作られている (Fitzpatrick, Feder, Rowe, & Sokolowski, 2007)²⁹。また、ヒトを含むいくつかの動物が、自然環境への適応の道具としてしばしば集団を形成することを明らかにしている³⁰。こうした集団の形成は、同じ集団で生きる個体の間に相互依存関係を生む (Hamilton, 1971; Yamagishi & Yamagishi, 1994)。こうした相互依存関係の成立に伴い、個体は別の個体の行動に合わせて自らの行動を調整しなければならない。つまり集団において、個体にとっての適応の対象は、自然環境ではなく、同じ集団で生きる他の個体となる (亀田・村田, 2010)。以上のことから、これまでの進化心理学研究がその検討の俎上から外してきた社会の多様性を考慮した理論モデルは、現代社会におけるヒトの行動や心理メカニズムを理解する上で必要不可欠であるといえよう。

性は指摘されており、比較心理学者である Morgan (1894) は、ある行動を低次の心的過程で説明できる場合、高次の心的過程で説明すべきではないとする「モーガンの公準」を提唱している。

²⁹ たとえばキイロショウジョウバエ (*Drosophila melanogaster*) は、環境の多様性に依じて異なる戦略をとる (Fitzpatrick et al., 2007)。彼らは餌がパッチ状に分布している環境では常に餌を探し続ける戦略を獲得し、餌が一様に分布している場合には定住性の採餌行動戦略を獲得する (個体にとっての採餌戦略は遺伝的に決まっており、当該の自然環境における餌の分布が淘汰圧となって、同じキイロショウジョウバエ内での戦略の多様性が生み出される)。

³⁰ 詳細は、第2章で述べる社会生態学的アプローチを参照されたい。

第二の問題：参加者のサンプリングが限定的である

第二の問題は、従来の恋愛行動研究における参加者のサンプリングが限定的である点である。進化心理学をはじめヒトに関する先行研究の多くは欧米を中心に行われてきた。これまでの研究は、そのサンプリングの簡便さから、大学生を研究対象者とするのが多かった。そして欧米の大学生から得られた研究成果に基づいて、ヒトに普遍的な行動や心理を論じてきた。しかし、果たしてこうした特定の地域・人種・学歴・年齢層の参加者を対象に得られた結果は、ヒト一般の特徴を反映した代表的なデータと言えるのだろうか。

近年、こうした欧米の大学生を中心とする従来の研究対象者から得られたデータは、その他のサンプルに比べてかなり特殊なデータであり、ヒト一般の傾向として解釈することには問題があることが指摘されている (Henrich, Heine, & Norenzayan, 2010)。Henrich らは、従来の研究で主に用いられてきた参加者の特徴として、西洋の (Western)・高等教育を受けた (Educated)・工業化された (Industrial)・裕福な (Rich)・民主主義的な (Democratic) 人々という5つの特徴を挙げ、それぞれの頭文字を取り WEIRD と呼んだ。そして、WEIRD は世界人口の中でも非常に限られたサンプルであり、そうした限定的な対象に基づいて得られた研究データは、他のサンプルから得られたデータに比べて、しばしば極端な値を示すことを示した。こうした問題を踏まえると、真にヒト一般に適用可能な理論モデルを構築する上で、比較文化の視点を取り入れることや、大学生のみならず社会人を研究対象とすることは重要であろう。

1-2. 恋愛行動および恋愛心理に関する文化心理学的研究

対人行動や対人心理に関する文化差の知見

先述のように、進化心理学は、恋愛関係におけるヒト普遍的な行動や心理の発見に注力する一方、国や地域の多様性に関しては研究の俎上から外してきた。これに対して文化心理学は、こうした国や地域の多様性に光を当て、人々の対人行動や対人心理に関する様々な文化差⁹を見出してきた。以下では、まず対人行動や対人心理に関する文化差の知見を紹介する。その上で、これらの文化差がこれまでどのように説明されてきたか、文化心理学の伝統的なモデルを紹介する。

ソーシャルサポート (social support) 他者に対する援助行動の一種であるソーシャルサポートは、受け手の自尊感情といった精神的な健康だけでなく、身体的な健康³¹を向上させることが示されている (Cohen, 1988; Porter & Chambless, 2017; Zimet, Dahlem, Zimet, & Farley, 1988)。また先行研究はソーシャルサポートと恋愛関係の長期性の間に正の関連があることを明らかにしており、ソーシャルサポートが多く提供されている恋愛関係ほど長続きすることを示している (Porter & Chambless, 2017)。

しかし文化心理学では、こうしたソーシャルサポートの提供量に文化差があることを明らかにしている。Kim らは、ヨーロッパ系アメリカ人の方が、アジア系アメリカ人よりも他者に対して積極的にソーシャルサポートを提供することを示している (Kim, Sherman, Ko, & Taylor, 2006)。また他者に対してソーシャルサポートを要求する際の方法にも文化差があり、アメリカ人など北米人は自分のストレス状態について他者と積極的に相談するなど顕示的 (explicit) なサポート要求を行なうのに対し、韓国人など東アジア人は自分のストレス状態を他者に対して直接的に伝えることを避け、より暗示的 (implicit) なサポート要求を行なうことが明らかにされている (Kim, Sherman, & Taylor, 2008)。

自己開示 (self-disclosure) 自己開示は、自己の秘密や過去の失敗といった“弱み”を他者にさらけ出す行動である (Collins & Miller, 1994; Sprecher & Hendrick, 2004)。自己開示を通じて自分の弱点を暴露することは、他者にその弱みを悪用されるリスクを伴う。しかし一方で、こうしたリスクゆえに自己開示は、開示者から受け手に対する高い信頼の現われと解釈され (Jones & Archer, 1976)³²、パートナーとの関係の質を向上させることが明らか

³¹ 例えば先行研究は、ソーシャルサポートを受けるほど心疾患などの疾病率が低いことや (Cohen, 1988)、ソーシャルサポートを受ける量と女性の難産傾向の間にネガティブな関連があることを示している (Boyce et al., 1986)。

³² ただし、自己開示が開示者から受け手に対する信頼の現れとして解釈されるためには、自己開示の対象が限定的である必要がある。自己開示が特定の相手に行われる場合、自己開示は開

にされている (Collins & Miller, 1994; Hendrick, Hendrick, & Adler, 1988)。

文化心理学では、こうした他者に対する自己開示の程度が文化によって異なることを見出している。例えば、日本人や中国人などの東アジア人に比べ、アメリカ人やカナダ人などの北米人は、恋人や友人といった親密な他者に対して、より積極的に自己開示を行うことが明らかにされている (Barnlund, 1975 西山・佐野 (訳), 1979; Chen, 1995; Gudykunst et al., 1996; Kito, 2005; Yoo, Kim, & Moon, 2012)。また、自己開示の受け手側の反応にも文化差があることが示されている。中国人とアメリカ人を比較した Wolfson & Pearce (1983) は、アメリカ人に比べて中国人は、自己開示をされた場合に開示者に対して義務感を覚えるなど、よりネガティブな反応を示すことが明らかにされている。

親密性 (intimacy) および情熱 (passion) 親密性や情熱といった対人心理である愛は、特に恋愛関係におけるパートナーとの強い心理的結びつきである (Sprecher et al., 1994; Sternberg, 1986)。恋愛関係において、愛はパートナー以外の異性に対する注意の抑制や (Gonzaga et al., 2008)、パートナーに対する批判的思考の抑制 (Bartels & Zeki, 2000)、およびパートナーの理想化 (Gunaydin & DeLong, 2015) を通じ、パートナーとの排他的かつ長期的な関係の形成に寄与することが示されている (Hatfield & Rapson, 1991, 2005, 2006; Le, Dove, Agnew, Korn, & Mutso, 2010; Morry, 2005; Sprecher et al., 1994; Sternberg, 1986; Yela, 2000)。

しかし文化心理学は、恋愛関係におけるパートナーに対する親密性や情熱の高さが文化によって異なることを示している。多国間比較研究を行い 48 カ国からデータを収集した Schmitt らは、日本をはじめとした東アジア社会よりも、アメリカをはじめとした北米社会の方が、パートナーに対してより高い情熱を感じることを示している (Schmitt et al., 2009)³³。この結果は他の研究でも再現されており、日本人や中国人などの東アジア人よりも、アメリカ人やカナダ人の方がパートナーに対してより高い情熱を感じる事が報告されている (Gao, 2001; Sprecher et al., 1994)。またパートナーに対する親密性に関しても、日本人よりもカナダ人の方が親密他者に対してより高い親密性を感じる事が明らかにされている (Marshall, 2008)。また先行研究は、こうした親密性や情熱などの愛が北米社会では

示者から受け手に対する信頼の現れだと解釈される。しかし、自己開示が不特定多数の他者に対して無差別的に行われている場合、自己開示行動が受け手を信頼して行われたものなのか、あるいは別の意図によって行われたものなのかを区別しにくくなり、その結果、信頼性の現れとは解釈されず、パートナーとの関係の質の向上には繋がらない (Jones & Archer, 1976)。

³³ Schmitt らの調査では、パートナーに対して感じる愛の主観的な尺度として、情動的投資尺度 (emotional investment scale: Schmitt & Buss, 2000) が用いられた (Schmitt et al., 2009)。この尺度は、親密性や情熱、コミットメントといった愛の下位要素 (Sternberg, 1986) を包括した尺度である。

結婚の前提として見なされるのに対し、日本などの東アジア社会では必ずしも愛が結婚の前提とされないことを示しており (Dion & Dion, 1996)、Kamo らは日本における恋愛関係は愛よりも義務を果たすことが重視されると論じている (Kamo, 1993)。

感謝 (gratitude) 対人感情である感謝は、他者の行為の結果として自分が利益を受け取った際に生じるポジティブな情動反応である (Naito & Washizu, 2015)³⁴。感謝は、日常経験に対してポジティブな解釈を加えたりネガティブ感情を中和したりすることを通じて個人の主観的幸福感を高めるほか、他者への利他行動への動機づけを高めることが明らかにされている (Emmons & McCullough, 2003)。

文化心理学は、他者に対して感謝を感じる際に付帯する心理反応が文化によって異なることを明らかにしている。たとえば Naito らは、他者の行為によって自分が利益を受け取った際に、日本人はアメリカ人よりも感謝とともに負債感 (indebtedness) を覚えることを明らかにしている (Naito & Washizu, 2015)。また、日本人とヨーロッパ人を比較した研究では、日本人はヨーロッパ人よりも、他者から利益を受けとったことに対する相手への感謝を表出する際に、感謝だけではなく相手に迷惑をかけたことについて言及する傾向が指摘されている (Coulmas, 1981)。

共感 (empathy) 共感とは、他者の感情状態の共有や心的状態の推論である (Davis, 1994; Decety & Svetlova, 2012)。他者に対する共感は、ストレス状態に置かれた他者に対する積極的な援助行動や協力行動といった向社会行動を引き起こすとされている (Eisenberg & Fabes, 1990 for review)。こうした共感とそれに基づく向社会行動は、発達の初期段階からみられることがわかっており、5-6 歳の児童を対象とした実験研究は、ストレスや苦痛を経験した他の児童に対して児童が高い共感を示し、積極的に自分の資源を分け与えようとする事が示されている (Williams, O'Driscoll, & Moore, 2014)。

しかし文化心理学研究は、こうした共感の程度に文化差があることを見出している。例えば先行研究は、援助行動など他者に対する向社会行動を導くとされる共感的配慮 (empathic concern: Davis, 1983; Eisenberg & Fabes, 1990) が、アジア人よりも北米人においてより高いことを示している (Atkins, Uskul, & Cooper, 2016; Trommsdorff, Friedlmeier, & Mayer, 2007)³⁵。これに加え、他者の心的状態の推論の正確性にも文化差があることが明ら

³⁴ Naito & Washizu (2015) は感謝の定義に相手に対する返報の義務を含んでいるが、Emmons & McCullough (2003) の定義には返報の義務は含まれていない。

³⁵ de Greck ら (2012) は、こうした他者の心的状態の推論の差異が、脳内の情報処理の経路の違いに起因することを示している。彼らは、中国人とドイツ人を対象に、怒り顔を表出した他者の写真を見た際の参加者の脳活動を検証した。その結果、怒り顔をみた際に、中国人はドイ

かにされている。先行研究は、アジア人は北米人に比べ親密な他者の心的状態の推論がより正確であることを示している。一方で、北米人はアジア人に比べ見知らぬ他者 (stranger) の心的状態の推論がより正確であることが示されている (Ma-Kellams & Blascovich, 2012)。

文化心理学理論と対人行動・対人心理の文化差に対する伝統的説明

こうした対人行動や対人心理の文化差を生み出す原因として文化心理学が注目してきたのが、国や地域において長い歴史の中で蓄積され、そこに暮らす人々の間で共有されてきた意味体系としての“文化”である (北山, 1994)。ここでの文化とは、当該の個人が生きている世界や社会に関する一般原則や規則、また同じ社会のなかで生きる他者に対する「他者 (人間) とはどう行動する生き物であるか」という一般的な観念や信念のことである (増田, 2014)。文化人類学者である Geertz は、人間は文化という網の目の上に支えられていると表現した。その上で Geertz は、文化は人間が社会生活を営む上で必要な知識や態度の伝達であり、それゆえに文化と人間を切り離して考えることはできないと論じた (Geertz, 1973 吉田・中牧・柳川・板橋 (訳), 1987)。

これまで文化心理学では、こうした世界や人間に関する一般的な観念や信念が国や地域によって異なるとして、それぞれの国や地域で共有された世界観や価値観に基づいて、人間の社会行動や社会心理の文化差を説明してきた (Markus & Kitayama, 1991; 北山, 1994)。では、上述したような対人行動や対人心理にみられる文化差に対して、伝統的な文化心理学理論はどのような説明を与えてきたのだろうか。

文化心理学における代表的な世界観・人間観のモデル

対人行動や対人心理における文化差に対する説明原理としてよく用いられてきた世界観および人間観のモデルが、個人主義－集団主義³⁶ (Hofstede, 1980) あるいは文化的自己観 (Markus & Kitayama, 1991) である³⁷ (e.g., Cassels et al., 2010; Chopik et al., 2017; Gao, 2001; Gudykunst et al., 1996; Ma-Kellams & Blascovich, 2012; Marshall, 2008; Miyamoto & Wilken,

ツ人よりも DLPFC (背外側前頭前野) がより強く反応することが示された。DLPFC は情動制御と強く関連することが示されており、この結果は、中国人はドイツ人に比べて、他者の怒り感情によって喚起された自分自身の怒り感情を素早くコントロールできることを示唆している。

³⁶ Hofstede は、個人主義－集団主義に加え、権力格差 (power distance)、男らしさ－女らしさ (masculinity-femininity)、不確実性の回避 (uncertainty avoidance) の 4 次元から文化を記述している (Hofstede, 1980)。これらの価値次元は、後に長期志向－短期志向 (long-term/short-term orientation) と快楽的－禁欲的 (indulgence-restraint) を新たに加え 6 次元とされた (Hofstede, Hofstede, & Minkov, 2010)。

³⁷ 2017 年 11 月 19 日時点における被引用数は、Hofstede (1980) が 44,003 件、Markus & Kitayama (1991) が 19,002 件と、引用数の多さからそれぞれの影響力の強さが伺える。

2010)。

個人主義—集団主義 (individualism-collectivism) は、個人と集団の役割に関する世界観のモデルである。このモデルでは、個人が他者から独立した存在であり集団の力³⁸や結びつきが比較的緩やかな社会を個人主義社会、一方で個人間の相互依存性が強く集団の力や結びつきが強固である社会を集団主義社会と定義する³⁹。また文化的自己観 (self-construal) は、自己概念に関する人間観のモデルである。このモデルでは、自己と他者の概念が物理的にも心理的にも独立した存在と考える人間観を相互独立的自己観 (independent self-construal)、自己と他者の概念が心理的に重複しており個人と他者とが相互依存関係にあると考える人間観を相互協調的自己観 (interdependent self-construal) と定義する。では、それぞれの世界観や人間観が優勢な社会には、どのような特徴があるのだろうか。

個人主義または相互独立的自己観が優勢な社会では、自他の概念は明確に区別される。個人と他者とは物理的にも心理的にも独立した存在であり、個人のアイデンティティは他者から独立した自分自身に固有の属性 (個人の能力やパーソナリティ、態度) に基づいて定義される (Figure 1-1a)。こうした文化における人間像とは、自らの独自性を追求し、高い自尊心を持ちながら積極的に自己主張する個人である (増田, 2014)。

一方、集団主義または相互協調的自己観が優勢な社会では、自他は物理的には独立した存在だが、自他の心理的な境界線は曖昧でしばしば重複する。個人のアイデンティティは、自分にとって重要な他者 (家族や友人など) によって定義される (Figure 1-1b)。こうした文化における人間像とは、自己利益を追求するのではなく、自分にとって重要な他者と自己との望みに折り合いをつけながら、他者からの期待や与えられた役割に応えようとする個人である (増田, 2014)。

³⁸ ここでの集団の力とは、国家権力などの集団成員に対する支配力の強さのことではなく、家族などの所属集団が個人のアイデンティティ確立や社会生活に与える影響の強さのことである (Hofstede, 1980)。

³⁹ 個人主義—集団主義を連続する一次元上の概念として扱うべきか、あるいは独立した二次元の概念として扱うべきかに関して、Hofstede (1980) は次のように述べている。個人はそれぞれ多種多様な価値観を持っており、その程度に違いこそあれ個人主義と集団主義は個人の内部で両立しうる概念である。このため個人について言及する場合には、個人主義—集団主義は独立した二次元の概念として扱うべきである。しかし集団を単位とする場合はこれとは異なる。集団について言及する場合には、集団成員の平均スコアが対象となる。加えて、集団は集団成員の平均に迎合する形で調整される。例えば当該の集団における平均スコアが集団主義よりも個人主義に偏っていた場合、集団内のシステムは多数派の要望に従う形で、個人主義的価値観に迎合するように調整・デザインされる。このため集団成員の間で価値観に分散があったとしても、集団は個人主義的になる。それゆえに集団について言及する場合には、個人主義—集団主義は独立した二つの次元ではなく、連続した一次元上の概念として扱うべきである (Hofstede, 1980)。

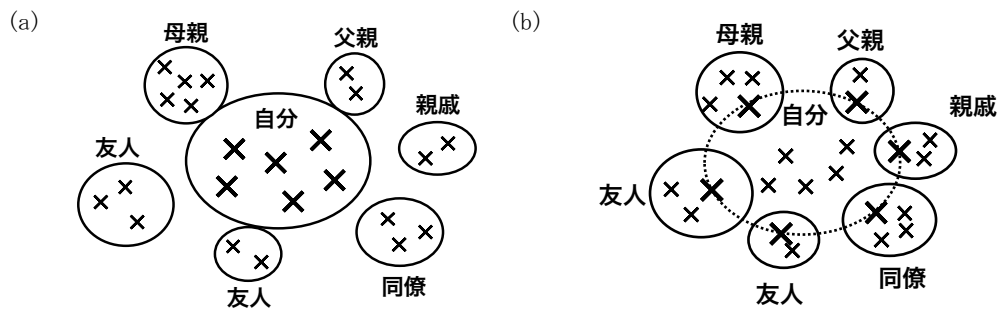


Figure 1-1. 文化的自己観における他者との自己概念の境界 (Markus & Kitayama, 1991 を元に作成)

相互独立的な自己観 (a)、および相互協調的な自己観 (b) におけるアイデンティティの形成および自他の境界線を図示したもの。図中の太字 X は、自分のアイデンティティを構成する要素を示している。相互独立的自己観 (a) では、自分と他者との境界線が明瞭であるとともに、自分のアイデンティティは個人内部の要素によってのみ定義される。一方、相互協調的な自己観 (b) では、自分の境界線があいまいで、また自己と他者の概念がしばしば重複する。自分のアイデンティティを構成する要素は個人内部の要素ではなく、他者と重複した概念によって定義される。

伝統的な文化心理学的理論による文化差の説明

文化心理学では、こうした世界観や人間観に基づいて対人行動や対人心理における文化差を説明してきた。ここでは、先述したソーシャルサポートの要求行動における文化差 (Kim et al., 2006, 2008) を例にとって、伝統的な文化心理学理論に基づく説明を紹介する。

ソーシャルサポート ソーシャルサポートの要求場面において、北米人はより顕示的にソーシャルサポートを要求し、東アジア人はより暗示的にソーシャルサポートを要求することを示した Kim らは、こうした文化差について次のように説明している (Kim et al., 2006, 2008)。北米に代表される個人主義あるいは相互独立的な文化では、個人の自己利益の追求が重視され、そのようにふるまうことが社会的にも許容される。他者に対する顕示的なサポート要求行動は、要求の受け手に対して心理的な負債感を与えるという負の側面がある。しかしこうした文化において、顕示的なサポート要求によって生じる負の側面は、個人が自分のストレス状態を解決するうえで他者から適切なサポートを引き出すための適切な手段として正当化される。このため個人主義あるいは相互独立的な文化に暮らす人々は、ある種“自己中心的”に、他者に負債感を与えることよりも自己利益を優先し、顕示的にサポート要求を行う。そしてそれゆえに、こうした顕示的なサポート要求に応える形で、サポートの提供量も多くなる。

一方、東アジアに代表される集団主義あるいは相互協調的な文化では、個人の自己利益の追求よりも他者との調和や集団の面子を維持することが重視され、社会的にもそのように行動することが望まれる。先述したように、他者に対する顕示的なサポート要求は、他者から適切なサポートを引き出すことができる反面、要求の受け手に対して心理的な負債感を与える。こうした負債感、サポートを要求した個人と受け手との関係に不和を引き

起こしかねない。このため集団主義あるいは相互協調的な文化に暮らす人々は、他者から適切なサポートを得るという自己利益を犠牲にしても、他者に迷惑をかけ社会関係の調和を乱さないよう、サポートの要求を控えたり暗示的な要求にとどめたりする。またそれゆえに個人がサポートを求めているかどうかの判断がしにくく、サポートの提供量も相対的に少なくなる。

伝統的な文化心理学理論の問題点

ソーシャルサポートに関する Kim らの説明にみられるように、個人主義—集団主義あるいは文化的自己観に基づく文化差の説明は、一見すると納得のいく説明に見える。しかし、こうした世界観や人間観に基づく伝統的な文化心理学理論による説明には、いくつかの重大な問題点がある。

第一の問題：同義反復（トートロジー）に陥りやすい

第一の問題は、文化に固有の世界観や人間観に基づいた説明が、しばしば同義反復（トートロジー）に陥りやすいという点である。個人主義あるいは相互独立的な人々は自己利益を重視するがゆえに他者に迷惑をかけることを厭わず、集団主義あるいは相互強調的な人々は内集団との調和を重視するがゆえに他者に迷惑をかけないよう配慮するという Kim らの解釈 (Kim et al., 2006, 2008) は、一見すると行動の説明として妥当であるように見える。しかし、実はこの説明は、説明したい現象である行動（従属変数）と、現象を生み出す原因として仮定される文化（独立変数）が、同じことの言い換え——すなわち同義反復になっている。

この問題は、文化差の説明原理を価値観や信念といった行動主体の内的側面に求めていることに起因する。先述したように Kim らは、個人主義あるいは相互独立的な文化に暮らす人々は自己利益を追求すべきであるという価値観を持つため、自己利益の追求行動である顕示的なサポート要求を行うと論じた (Kim et al., 2006, 2008)。しかしこの説明は、結局のところ自己利益を追求すべきだと考えている人々は自己利益を追求する、と言っているに過ぎない。つまり、自己利益の追求という現象を、行動レベルと心理レベルという異なるレベルで言い換えているに過ぎないのである (亀田・村田, 2010)。

こうした同義反復の理論から脱却するためには、説明したい現象である従属変数と、そうした現象を生み出す原因である独立変数の独立性が確保されていることが重要である。Kim らの説明では、従属変数であるサポート要求行動と独立変数である価値観が、いずれも同じ個人に起因する変数であるため変数間の独立性がなかった。独立変数を行動主体以外の要因——例えば制度などの社会環境に求めることで、独立変数と従属変数の独立性を

確保し、同義反復な説明から脱却することが可能になるだろう。

第二の問題：伝統的文化心理学理論と観察される現象とのパラドクス

第二の問題は、伝統的な文化心理学理論と相反するようにみえるパラドキシカルな対人行動や対人心理の文化差が見いだされている点である。伝統的な文化心理学理論では、個人主義または相互独立的な文化に暮らす人間とは自己利益や他者からの独立を重視する自己志向的な人々であり、集団主義または相互協調的な文化に暮らす人間とは集団の利益や他者との調和を重視する他者志向的な人々であるとされてきた (Hofstede, 1980; Markus & Kitayama, 1991)。しかし、こうした伝統的な文化心理学理論に相反する文化差の知見も報告されている。

例えば共感性に関する先行研究は、ストレス状態に置かれた他者を認識した際に、個人主義的・相互独立的とされる人々の方が他者志向的な反応を示し、集団主義的・相互協調的とされる人々の方が自己志向的な反応を示すことを明らかにしている (Cassels et al., 2010; Chopik et al., 2017; de Greck et al., 2012)。ストレス状態に置かれた他者に対する心理反応には、観察者自身のネガティブ情動の喚起と自己の不快な状態の解決行動を導く個人的ストレス (personal stress) と、他者の情動経験を理解し他者への救済行動を導く共感的配慮 (empathic concern) がある (e.g., Davis, 1983; Eisenberg & Fabes, 1990)。伝統的な文化心理学理論の直観に基づけば、個人主義的な人々は自分自身の利害を重視するため、他者のストレスに晒されたことによって生じる個人的ストレスを強く感じ自分自身の不快状態を解消しようとし、逆に集団主義的な人々は他者の利害を重視するため、自分のストレス状態の改善よりも、他者のストレス状態を理解し相手の苦痛を取り除こうとするはずである。しかし先行研究は、こうした予測とは逆の結果を示している (Cassels et al., 2010; Chopik et al., 2017; de Greck et al., 2012)。例えば Chopik ら (2017) は、63 カ国の間で多国間比較研究を実施し、集団主義的で他者志向的であるとされるアジア人の方が高い個人的ストレスを示し、個人主義的で自己志向的であるとされる北米人の方がストレス状態にある他者に対する高い共感的配慮を示すことを明らかにしている。

自己開示行動に関する文化差も、こうしたパラドキシカルな知見の一つである。恋愛パートナーなど親密な他者に対して自らの弱みをさらけ出す自己開示は、開示者から受け手に対する信頼の現れであり、相手との良好な関係の形成に役立つ (Collins & Miller, 1994; Hendrick et al., 1988)。この点において自己開示行動は、他者との関係志向的な行動であると考えることができる。このため伝統的な文化心理学のモデルに基づけば、他者からの独立を重視する個人主義あるいは相互独立的な文化に暮らす人々よりも、他者との良好な関係の維持を重視する集団主義あるいは相互協調的な文化に暮らす人々のほうが、積極的に

親密な他者に対して自己開示を行うだろうと予想される。しかし比較文化研究は、集団主義あるいは相互協調的で他者志向的であるとされる東アジア人よりも、個人主義あるいは相互独立的で自己志向的であるとされる北米人の方が、パートナーに対してより積極的に自己開示を行うことを明らかにしている (Chen, 1995; Gudykunst et al., 1996; Kito, 2005; Yoo et al., 2012)。

また親密性や情熱といった対人心理である愛も、他者志向的であるとされる集団主義・相互協調的文化よりも、自己志向的であるとされる個人主義・相互独立的文化においてより高いことが示されている (Adams, Anderson, & Adonu, 2004; Dion & Dion, 1993; Gao, 2001; Marshall, 2008; Sprecher et al., 1994)。親密性や情熱は、パートナーとの心理的なつながりの強さ——すなわち他者志向的な心理である。伝統的な文化心理学理論に則れば、自他を明確に区別し自分と他者との差異 (ユニークネス) を追求する個人主義あるいは相互独立的な人々よりも、他者との相互依存性が高く他者と密接に関わりあう集団主義あるいは相互協調的な人々のほうが、他者との心理的結びつきが強く、より高い親密性や情熱を感じるだろうと予想される。しかし先行研究は、集団主義・相互協調的で対人関係を重視するとされる東アジア人よりも、個人主義・相互独立的で他者からの独立性を重視するとされる北米人のほうが、パートナーに対する情熱 (Gao, 2001; Sprecher et al., 1994) や親密性 (Marshall, 2008) が高いことを示している。それだけでなく、むしろ集団主義あるいは相互協調的とされる東アジア人やアフリカ人は、個人主義あるいは相互独立的とされてきた北米人よりも他者を信頼せず (Yamagishi & Yamagishi, 1994)、相手が自分を裏切るのではないかと疑っていることが明らかにされている (Adams, 2005; Adams et al., 2004; Adams & Plaut, 2003)。

第三の問題：日和見的理論の危険性

こうしたパラドキシカルな知見に関しても、伝統的な文化心理学理論は従来の価値観や人間観に基づいた説明を与えてきた。しかしながら、そうした説明は新たな問題を抱えている。それが、第三の問題である日和見的理論に陥る危険性である。

例えば先述した共感性の文化差に対して、Chopik ら (2017) は、伝統的な文化心理学理論に基づき次のように説明している。集団主義的あるいは相互協調的な社会では、個人は自らのアイデンティティを他者との関係性によって定義する。このため自他の境界線が曖昧で、他者はしばしば自己の一部として認識される (Figure 1-1b)。一方、個人主義的あるいは相互独立的な社会では、個人は自らのアイデンティティを自己に固有の特徴によってのみ定義し、他者は自己とは独立した存在として認識される (Figure 1-1a)。

ストレス状態に置かれた他者を認識した際に、集団主義的あるいは相互協調的な文化の

人々は、自他の概念の区別が曖昧であるがゆえに、他者のストレス状態を自分の状態として認識してしまう。このため他者の救済よりも、まず自己の内的な不快状態を改善しようとする。一方で個人主義的あるいは相互独立的文化の人々は、自他の概念が明瞭に区別されているため、他者のストレス状態を自分自身と切り離して認識することができる。このため、他者のストレス状態を見ても自分自身のネガティブ情動が喚起されにくく、他者のストレス状態の理解と救済が可能になる (Chopik et al., 2017)。

こうした説明は、一見すると伝統的な文化心理学理論に整合した妥当な説明であるように見える。しかし、先述した Kim ら (2008) の議論と照らし合わせると、両者の議論は矛盾していることがわかる。Kim らの説明では、個人主義・相互独立的な文化の人々は自己利益を追求する自己志向的な人間で、集団主義・相互協調的な文化の人々は自分の欲求よりも他者に配慮する他者志向的な人間だった。しかし Chopik ら (2017) の説明では、個人主義・相互独立的な文化の人々はストレス状態にある他者の内的状態を推測しようとする他者志向的な人間で、集団主義・相互協調的な文化の人々は他者のストレス状態の理解よりも自分自身の内的なストレス状態に注目する自己志向的な人間に変わっている。

もし双方の説明を認める場合、個人主義—集団主義あるいは文化的自己観の解釈に多義性が生まれ、研究の文脈によって概念定義が変動する日和見的な理論になってしまう。また、これらの矛盾する解釈を両立させるために個人主義—集団主義あるいは文化的自己観を再定義することや新たな説明変数を加えることは、高次の現象をより低次の現象に落とし込むことで節約的な理論を作るべきだとするモーガンの公準 (Morgan, 1894) に反する。

こうした問題が生じる原因の一端は、個々の研究を包括するメタ理論の不足に起因している。文化心理学では個人主義—集団主義あるいは文化的自己観といった歴史的に蓄積され共有されてきた世界観や人間観である文化を説明原理として用いてきた。しかし上述したように、こうした文化の定義には多義性があり、個別の説明ごとに文化の定義が異なるがゆえに個々の研究間の一貫性が失われてしまう。こうした問題を解決するためには、個々の説明を包括する、研究間に一貫性を持たせるメタ理論の導入が必要である。

従来の理論的問題を解決する新たな理論的枠組みの必要性

ここまで述べてきたように、伝統的な文化心理学理論には、説明すべき現象 (従属変数) と説明原理 (独立変数) がしばしば同義反復に陥るという問題と、個別の研究を包括するメタ理論が不足しているという問題がある。こうした問題を解決し、対人行動や対人心理で観察さえる文化差に対する科学的妥当性の高い理論構築を可能にする新たな理論的枠組みとして本論文が注目するのが、社会生態学的アプローチである。

社会生態学的アプローチは、進化心理学と同様に適応論をメタ理論として、人間の社会

行動や社会心理に関する個別の研究を、「それが生存の上でどのように有利であるか」という問いに集約する (亀田・村田, 2010)。これにより、文化心理学に不足していた研究間で一貫性を持った理論構築が可能になるだろう。

第2章：社会生態学的アプローチ

第2章では、本論文が着目する棚理論的枠組みである社会生態学的アプローチについて述べる。社会的動物⁴⁰と称されるように、人間は社会を形成し、その中で他者と相互作用しながら生きている。社会とは、ヒトが自然環境へ適応するための道具として作り上げた集合的産物である。しかしそれと同時に、こうした社会に存在する他者は個人にとっての新たな適応対象となる（亀田・村田, 2010; Yamagishi, 2011）。このように、自然環境への適応の道具としての社会を人間にとっての新たな適応環境として捉え、人間の社会行動や社会心理が当該の社会環境で生きのびる上でいかに有利であるかを考える理論的枠組みが、社会生態学的アプローチ（socio-ecological approach）である（e.g., Nisbett & Cohen, 1996; Oishi & Graham, 2010; Uskul, Kitayama, & Nisbett, 2008; Yamagishi & Yamagishi, 1994; 亀田・村田, 2010; 山岸, 1998）。

以下ではまず、自然環境において社会——すなわち他個体との集団生活を営むことが、ヒトを含むいくつかの動物種の生存においていかに有利であるかを、動物行動生態学の知見を援用しながら説明する。その上で、個人が集合的に作り上げた社会環境それ自体が、転じて個人にとっての新たな適応環境となることを述べる。そして、こうした新たな適応環境としての社会環境が人間の社会行動や社会心理に与える影響を、先行研究を挙げながら説明する。その上で、最後に社会生態学的アプローチに立脚して恋愛関係における人間の行動や心理を検討することの利点を述べる。

自然環境への適応の道具としての集団

自然環境において社会を形成し他個体と集団で生活を営むことは、ヒトを含む動物にとって様々な利益をもたらす。本論文では特に、外敵から捕食されるリスクの低減と、採餌成功率（食料の確保）という2つの側面から、社会を作り集団で生活を営むことが、ヒトをはじめとした動物が自然環境で生きのびる上でいかに有利となるかを論じる。

捕食されるリスクの低減 集団で生活することの利益の一つは、外敵から捕食されるリス

⁴⁰ 社会的動物という語は、しばしばアリストテレスの“ポリス的存在（*zoon politikon*）”の訳語として紹介される。しかし、アリストテレスの著書である『政治学（Politics）』において、ポリス（国家）とは、生活上で必要とされる共同体（家族や集落など）の統合によって生み出される完成された共同体と定義される。すなわち、ここでは単に複数の個体が集合的に行動し相互作用するという意味での社会または社会集団は意図されていない。本論文が対象とする社会は、アリストテレスにおけるポリスの下位要素である個々の社会を含んでいる。この点を考慮すると、本論文における社会的動物の定義は、どちらかといえばホッブズが自身の著書である『リヴァイアサン（Leviathan）』において言及している、“ある共通の目的を持った人々が集合的に構築した社会”、すなわち“市民社会（*civil state*）”の方が定義としては近いといえる。

クの低減である。自然環境において、個体は他の動物（捕食動物）から捕食されるリスクに直面する。捕食動物は自分にとってより捕食しやすい対象——例えば、捕食者から物理的にもっとも近い対象——を優先的に捕食する（Hamilton, 1971）。もし被捕食者が単独でいる場合、他に選択肢がない捕食者はその個体を捕食しようとするだろう。しかし、もし同じ場所に被捕食者が2個体以上いた場合はどうだろうか。この場合、捕食者はそれぞれの個体と自分の物理距離を考慮して、より自分から近い方の個体を優先的に捕食しようとする。つまり被捕食者にとっては、単独でいるよりも他個体の傍にいた方が、自分が捕食されるリスクを分散させることができる。Hamilton (1971) は、個体同士が物理的な近接性を保つことで、自分の被捕食リスクを下げることを理論的に示している（Figure 2-1）。実際の動物実験に基づくデータも Hamilton の予測を支持しており、他個体との近接性が高いほど、捕食者から受ける攻撃行動の頻度が低いことが明らかにされている（De Vos & O’Riain, 2010）⁴¹。こうした、個体が自分自身の被捕食リスクを低減しようとして他個体と物理距離の近接性を求めることによって集団が形作られる現象を、Hamilton は利己的な群れ効果（selfish herd effect）と呼んでいる。

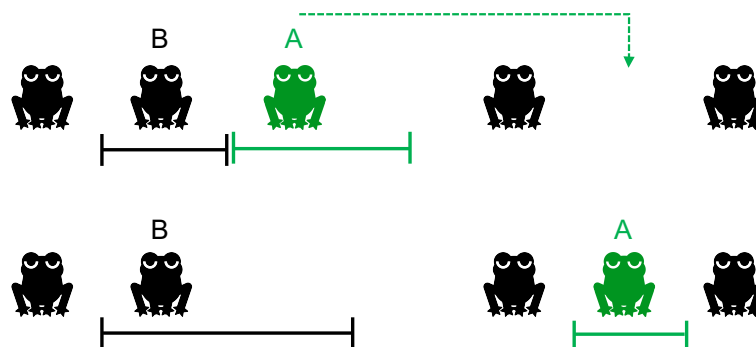


Figure 2-1. 危険領域（domain of danger）と被捕食率（Davies, Krebs, & West (2012) を元で作成）

Hamilton (1971) の理論モデルを図示したもの。カエルは個体ごとに危険領域（danger of fear: 図中の実線で示した範囲）を持つ。危険領域内に捕食者が現れた場合、その個体は捕食者によって優先的に捕食される。危険領域は隣接する他個体との距離が近いほど狭くなるため、個体は他個体に対して物理的に近づくことによって自らの危険領域を小さくし、自分が捕食されるリスクを下げるができる。ここで、上図の個体 A が矢印で示した場所に移動したとする。下図で示したように、移動後の個体 A の危険領域は、他個体との距離が近付いたことで小さくなる。一方、個体 B は個体 A が遠ざかったことで危険領域が広がっている。このため個体 B は、自分が捕食されるリスクを下げるために別の個体に対して物理的に近づく。これが繰り返されることで個体同士の物理的距離が狭まり、一つの群れ集団が形成されていく。

⁴¹ De Vos & O’Riain (2010) は、アザラシの模型を用いて Hamilton の仮説を実証した。彼らはアザラシの模型を海に浮かべ、捕食動物であるサメが模型を攻撃する頻度を測定した。アザラシの模型は筏でつながれ、模型同士の物理距離が調整できるようにされていた。実験の結果、模型同士の物理距離が離れているほど（危険領域が大きいほど）、捕食者であるサメに襲われる頻度が高くなるという線形の結果が得られ、Hamilton による利己的な群れ効果（Hamilton, 1971）が実証された。

採餌成功率の向上 集団を作ることのもう一つの利益として考えられるのが、採餌成功率の向上である。自然環境の下では、餌場はしばしばパッチ状に分布している。より肥沃な餌場を探索することは個体にとって有利となるが、個体が生涯のうちで探索に費やせるエネルギーには限りがある。この時、もし他個体と餌場の情報を共有することができれば、単独で餌場を探索するよりも効率良く良い餌場を見つけることができる。このことを支持するように、鳥類の研究は、しばしば個体が餌場の情報を他個体と共有し、集団で餌場を探索することを示している。例えば縄張りで生活するワタリガラス (*Corvus corax*) の若鳥は、餌を見つけると鳴き声をあげて他の個体を呼び寄せ、集団で採餌を行う (Heinrich, Marzluff, & Marzluff, 1993)。集団を作り他個体と餌を共有することは、一見すると自分の食の扶持を減らす不利益な行動に見える。しかしその実、この行動は他個体を呼び寄せた若鳥の採餌成功率を高めることが示されている。まだ未成熟で弱く自分の縄張りを確保できない若鳥は、餌を見つけても、そこを縄張りとする別の個体に餌を奪われてしまう。しかし、若鳥が6羽以上集まれば、縄張り個体に餌を横取りされことなく餌を食べることができる。つまり餌を見つけた時に他の若鳥を呼び寄せて集団を作ることは、自分よりも強い縄張り個体に餌を奪われることを防ぎ、より確実に食料を確保するための適応行動であるといえる。

原始環境におけるヒトもまた、集団を形成することで外敵から捕食されるリスクや食料の確保といった適応課題を解決していたと考えられる。例えば、約1万1千年前の完新世における温暖で湿潤な気候は、ヒトの定住性を促すとともに食料需要を増大させた (Bellwood, 2004 長田・佐藤 (監訳), 2008; Richerson, Boyd, & Bettinger, 2001)。気候の安定に伴い木の実などの食料を確保しやすくなったことで、食料を求めて常に移動し続ける必要性がなくなり、ヒトの定住性が促進された。しかし一方で、定住性は出産サイクルの縮小などを通じて人口を増大させ、増大した人口は食料を逼迫した。Bellwood は、こうした食料需要の増大に対応する形で、集団による体系化された農耕社会が発展していったと論じている。

適応環境としての社会環境

自然環境で生きのびるためにヒトが集合的に作り上げた社会は、自然環境とは独立に、そこで生きる個人の行動や心理に影響を与えるだろう。なぜなら集団の形成は、当該の集団を構成する成員の間に相互依存関係を生み出すからである。前節で挙げた利己的な群れ (Hamilton, 1971) は、こうした個体間の相互依存関係を示している。利己的な群れでは、個体は自分が捕食されるリスクを最小化するために、より別の個体との物理距離すなわち自分の危険領域が最小になる場所を目指して移動する。こうした個体の動きは、集団内の個

体間の物理距離を変動させ、別の個体の危険領域を縮小もしくは拡大させる。ある個体の移動によって危険領域が広がった別の個体は、自らの危険領域を最小化するために移動せざるを得なくなり、こうした個体の移動はまた集団内の別の個体の移動を誘発する。つまり集団において、個体は他個体の行動によって影響を受ける存在であると同時に、自らもまた他個体の行動に影響を与える存在でもある。こうした相互依存関係が成立する状況においては、同じ社会環境で暮らす他者との相互作用においていかにうまく立ち回るかが、個人にとっての新たな適応課題となる (亀田・村田, 2010; 戸田, 1992; Yamagishi, 2011)。

社会環境における他者との相互依存性がこうした新たな適応課題を生み出すことを、有名な論説の一つである共有地の悲劇 (Hardin, 1968) から考えてみる。同じ一つの牧草地を共有して生活する牛飼いがいるとする。このとき、牛飼いは互いの行動が互いに影響を与えあう相互依存関係にある。なぜなら、有限資源である牧草地において、ある牛飼いが放牧数を増やすことは、その分だけ別の牛飼いが放牧に利用できる牧草を減らすことにつながり、別の牛飼いがそれによって放牧数を調整しなければならないからである。こうした状況で牛飼いが生き残るために適応しなければならないのは、牧草地の豊かさという自然環境ではなく、同じ社会に暮らす他の牛飼いだである (亀田・村田, 2010)。なぜなら、牛飼いが安定して放牧を使い続けるためには、他の牛飼いの動向を注視し、他者の行動に応じて自分の行動を調整する必要があるからである。このように、同じ集団内に存在する他者は、自然環境とは独立に個人の行動や心理に影響を与える新たな淘汰圧を生み出すのである。

社会環境が適応環境であることの傍証

社会環境がヒトにとっての新たな淘汰圧を生み出す適応環境であったことを示唆する一つの傍証が、集団サイズと大脳新皮質の関連である (Dunbar, 1998)。ヒトは他の動物種と比べて体重に対する脳の比率が非常に大きいことで知られるが⁴²、特にヒトを含む霊長類の脳は大脳新皮質が非常に発達しているという特徴がある (Dunbar, 1992)。Dunbar は、真猿類や原猿類・ヒト科を含む様々な霊長類の平均集団サイズと全脳あたりの大脳新皮質の

⁴² 体重あたり脳の比率の重さは、脳化指数 (encephalization quotient: EQ) で表される。脳化指数とは体重を補正した場合の脳の重さを指標化したもので、脳の重量に定数 (後述) をかけたものを体重の 2/3 乗で割ることで算出される。例えばヒトの EQ は約 7.4~7.8、チンパンジーは 2.2~2.5、カラスは 1.25 程度である (Roth & Dicke, 2005)。脳化係数の計算式における定数は、どの動物を基準 (EQ=1) とするかによって異なる。多くの場合、ネコの EQ を基準として定数が設定される。ここで挙げたヒト、チンパンジー、カラスの EQ は、いずれもネコを基準として算出した場合の EQ である。

比率を調べた。その結果、集団サイズと大脳新皮質のサイズの間には線型の関係が見られ、平均集団サイズが大きい種ほど全脳あたりの大脳新皮質の比率が大きいことが明らかになった (Figure 2-2)。

大脳新皮質は、知覚や運動の制御、合理的な判断や推論などの高度な認知機能を司っている。先述した共有地の悲劇の例で述べたように、他者との相互作用の中でうまく立ち回るためには、他者を監視して相手の動向を監視・予測し、それに応じて自分の行動を調整することが必要になる (戸田, 1992; Yamagishi & Yamagishi, 1994)。Dunbar は、こうした複雑な他者との社会的相互作用に適応するために、ヒトの大脳新皮質が著しく発達したと論じている (社会脳仮説 social brain hypothesis: Dunbar, 1992, 1998)。さらに Byrne らは、大脳新皮質のサイズが、個体同士が戦略的に騙し合いを行う種ほどよく発達していることを示している (Byrne & Whiten, 1988; Humphrey, 1976)。この結果に基づき Byrne は、霊長類に見られる高い知性は、社会環境における個体間の相互作用においてうまく立ち回るために獲得されたものとして、マキャヴェリの知性 (Machiavellian intelligence) と呼んだ⁴³。

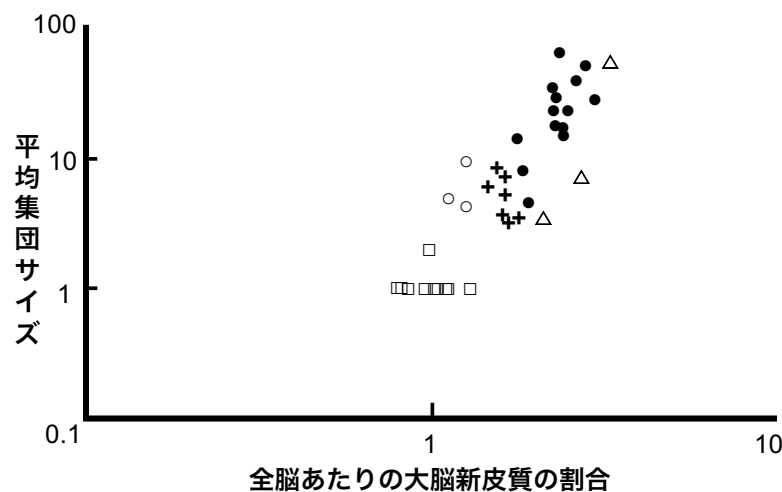


Figure 2-2. 大脳新皮質の比率と集団サイズの関連 (Dunbar (1992)をもとに作成)

縦軸を当該の種の平均的な集団サイズ、横軸を大脳新皮質のサイズ (脳全体に対する比率) として、様々な霊長類の種をプロットした図。黒丸 (●) は複婚型の真猿 (anthropoids)、プラス (+) は単婚型の真猿、白丸 (○) は昼行性の原猿 (prosimians)、白い四角 (□) は昼行性でない原猿、白い三角 (△) はヒト科 (hominoids) をそれぞれ表している。

社会環境が対人関係における人間の行動や心理に与える影響

では、自然環境への適応の道具として人間が集散的に作り出した社会環境は、対人関係における人間の行動や心理にどのような影響を与えるのだろうか。人間の社会行動や社会

⁴³ Humphrey は、霊長類に見られる高度な認知機能について知性の社会的機能と呼んでおり、マキャヴェリの知性と呼んでいるわけではない (Humphrey, 1976)。

心理に影響を与える社会環境変数としてこれまで注目されてきたのが、狩猟採集や牧畜・農耕といった生業形態である (e.g., Berry, 1979; Henrich et al., 2010; Nisbett & Cohen, 1996; Nisbett, 2003; Uskul, Kitayama, & Nisbett, 2008)。自然環境は多様であり、自然環境によってどのような生業形態が発展するかが異なる。例えば肥沃な草原地帯や河川の付近では農耕が発展し、山岳地帯や起伏の激しい土地では狩猟採集がそれぞれ発展した (Nisbett, 2003)。では、こうした生業形態の違いは、そこで暮らす個人の社会行動や社会心理にどのような影響を与えるのだろうか。

例えば Berry は、狩猟採集社会に暮らす人々よりも農耕社会に暮らす人々の方が、他者への同調傾向が強いことを明らかにしている (Berry, 1967, 1979)。狩猟採集社会は、移動性で相対的に人口密度が低い。一方、農耕社会は、定住性で相対的に人口密度が高い。このため、狩猟採集社会よりも農耕社会に暮らす人々の方が、日常的により多くの他者と関わり合う複雑な相互作用場面に直面しており、かつ定住性であるがゆえにこうした相互作用を長期的に続けざるを得ない。こうした農耕社会における複雑かつ長期的な相互作用においては、同じ集団内の他者の気持ちを敏感に察知し、他者の意見に反駁するよりも社会的な圧力を受け入れた方が有利になる。Berry はこの仮説を検証するために、狩猟採集を生業とするエスキモー (*Eskimo*)⁴⁴ と、農耕を生業とするテムネ (*Temne*) を対象に Asch (1956) の同調パラダイムを用いて実験を行なった (Berry, 1967)。その結果、エスキモーよりもテムネの方が強い同調傾向を示すという Berry の仮説を支持する結果が得られた。しかしエスキモーとテムネは経緯度や言語など生業形態以外の点でも異なっており、Berry の実験手続きではこうした交絡要因の影響を統制しきれないという問題がある (竹村・結城, 2014)。

これに対して Nisbett & Cohen (1996) は、地理的要因や言語・人種がある程度統制されているアメリカ在住の白人を対象に、歴史的な生業形態が他者への攻撃行動や怒り感情に与える影響を明らかにした。アメリカ国内の他地域に比べ、南部地域に暮らす白人は怒りっぽく、暴力事件や殺人事件の立件数が多い。特に南部における暴力事件の特徴は、個人の評判や地位といった名誉を他者によって貶められたことを原因とする点にある。加えて南部では、こうした個人の名誉を回復するための手立てとして、暴力による報復や制裁が社会的に推奨・容認される傾向にある。

Nisbett らは、こうしたアメリカ南部における白人の暴力性は、当該の社会環境における

⁴⁴ エスキモー (*Eskimo*) の呼称に関しては、差別用語であるためイヌイト (*Inuit*) と呼称すべきであるとする立場と、エスキモーという用語自体に差別的意味はなく、また彼ら自身がエスキモーを自称していることからエスキモーと呼称すべきであるとする立場がある。本稿では、Berry (1967) の用語をそのまま踏襲し、エスキモーと表記する (用語に関する詳細な議論に関しては、ヘンリー (1993) を参照されたい)。

適応の結果であるとの仮説を提唱した。アメリカ開拓時代、アメリカ北部には農耕民が多く入植し、南部には牧畜民が多く入植した。農耕社会に比べ、牧畜社会は財産である家畜動物を第三者に略奪されるリスクが高い。なぜなら、財産である家畜動物が自立歩行するがゆえに、略奪者が容易に家畜を連れ去ることができるからである。また入植当時の南部は中央政府の権力が弱く、財産である家畜の保護は本人の責任に依るところが大きかった (Cohen, Nisbett, Schwarz, & Bowdle, 1996)。このため、自分の権利を脅かした他者に対して攻撃を加えることは略奪者を退けるための有利な行動となる。それだけでなく、自らの権利が侵害された際に強く怒りを表出することは、潜在的な略奪者に対する強い牽制として機能したと考えられる (Nisbett & Cohen, 1996)。

Cohen らは、アメリカ北部および南部出身の大学生を対象に、出身地域によって暴力性の強さが異なることを実証した (Cohen et al., 1996)。Cohen らは、それぞれの地域出身の大学生参加者が廊下を歩いている際に、他者 (実験協力者) に肩をぶつけられ暴言を吐かれるという実験状況を設定した。肩をぶつけられた実験参加者の反応を測定した結果、北部出身の学生に比べて、南部出身の学生はより強く怒り感情を表出した。それだけでなく、北部出身の学生よりも南部出身の学生の方がストレスホルモンであるコルチゾールの濃度が高く、また攻撃的なふるまいが増えることが示された。これらの結果は、Nisbett & Cohen (1996) の理論を支持する結果である。

また近年、人々の思考様式や認知の多様性 (e.g., Markus & Kitayama, 1991) が、当該の社会環境における適応の結果であるとする仮説が提出されている (Talhelm et al., 2014; Uskul et al., 2008)。例えば Talhelm らは、中国国内の農耕社会における作付け様式の違いが、当該地域における人々の思考様式の多様性を生み出したと論じている (Talhelm et al., 2014)。中国国内では農耕が広く行われているが、地域によって稲作と麦作のどちらに向いているかが異なる。単独栽培が可能な麦作に比べ、稲作は水源を確保するための大規模な灌漑工事や整備、また刈り入れなど多大な労力が必要となる。このため稲作を主産業とする地域では、他の農家との協力が不可欠である。麦作地域に比べ、単独による食料の確保が難しい稲作地域において他の農家との協力関係を失うことは、自らの生存を脅かす重大な問題となる。このため、他の農家との協力関係が損なわれないよう、他者との葛藤を生じうる行動を回避し、他者との安定した協力関係を維持していくことが適応的となる。

この仮説を検証するため、Talhelm らは、中国国内の様々な地域出身の大学生を対象に、彼らの出身地域の作付け作物 (麦作または稲作) と彼らの思考様式の関連を調べた。その結果、麦作を主要とする地域出身の学生に比べ、稲作を主要とする地域出身の学生は、より相互協動的で友人に対して内集団ひいき的に振る舞う傾向を示すという、彼らの仮説を支持する結果が得られた (Talhelm et al., 2014)。

社会生態学的アプローチの利点

では、社会を新たな適応環境とみなす社会生態学的アプローチから人間の行動や心理メカニズムの多様性を理解することには、どのような利点があるのだろうか。ここでは、適応論をメタ理論として導入することによる進化心理学と文化心理学の理論的な橋渡しと、マイクロマクロの双方向性を持った理論モデル構築の2点を利点として挙げる。

第一の利点：適応論に基づく進化心理学と文化心理学の橋渡し 第一の利点は、適応論をメタ理論として導入することによって進化心理学と文化心理学の知見の橋渡しを行い、それぞれの領域の問題点を補完したより一般性の高い理論モデルの構築を可能にする点である (Oishi & Graham, 2010)。これまで進化心理学は、原始環境への適応としてヒトがいかなる恋愛行動や心理を獲得してきたかを論じてきた (Buss, 1989; Dunbar, 1993; Ekman, 1999a, 1999b; Fletcher et al., 2015; Gangestad & Simpson, 2000)。しかし一方で、進化心理学が導出する理論モデルは、狩猟採集などの原始社会という限定的な適応環境を想定しているがゆえに、人間の行動や心理に関する社会差や、異なる社会環境の下で特定の行動や心理が有利ないし不利に働くのかに関して具体的な予測を与えることができない (Oishi & Graham, 2010)。一方で社会生態学的アプローチは、ヒトが進化の過程で集合的に作り上げた多様な社会環境をヒトにとっての新たな適応環境として捉え、ヒトの社会行動や社会心理における国や地域間の差異を、異なる社会環境への適応の結果として解釈する。これにより、なぜ特定の行動や心理がある環境では見られやすく別の環境では見られにくいかに関して、特定の地域や文化的伝統を超えたより一般性の高い説明と予測を可能にする (Oishi & Graham, 2010; 竹村・結城, 2014; 山岸, 1998)。

また適応論をメタ理論として導入することで、文化心理学が提唱してきた行動や心理の社会差に関する個別の説明を「現在観察される行動や心理は生存において有利な機能を持つ」という単一原則に集約することができる (亀田・村田, 2010)。伝統的な文化心理学における理論では、説明変数と独立変数が単なる言い換えになり同義反復に陥るという問題や、個別の研究ごとに異なる説明が提唱され、そうした個別の説明同士がしばしば矛盾するという問題を抱えていた。これに対し社会生態学的アプローチでは、適応論をメタ理論として導入することで、説明変数である個人の行動や心理の原因を、当該の個人ではなく社会環境特性という外的変数に求める。これにより、説明変数と独立変数の独立性を確保し、同義反復に陥るリスクを回避することができる。また適応論をメタ理論として導入することで、個別の研究の問いを「その行動や心理は当該の社会環境における生存に有利であるか」という問いに集約する。これにより、個別の研究間で一貫性のある理論の構築が

可能になるだけでなく、個々の説明の妥当性が適応の観点から比較可能になる。これにより、個別の説明の関係性が体系的に整理できるとともに、それぞれの仮説が矛盾しているのか、あるいは矛盾しているとすればどちらがより科学的に妥当な説明であるかが検証可能になる (Oishi & Graham, 2010; 竹村・結城, 2014)。

第二の利点：マイクロ・マクロの双方向性を持った理論モデル 第二の利点は、社会環境が人間の行動や心理に影響を与えるというマクロからマイクロへの影響過程だけでなく、社会の中で生きる個人の行動や心理によって社会環境が集合的に再構築されるというマイクロからマクロへの影響過程を考慮した、双方向性のあるダイナミックなモデル構築が可能になる点である。

自然環境への適応の道具としてヒトは集合的に社会を構築し、こうした社会環境を新たな適応環境としてヒトは他者との相互作用でうまく立ち回るための行動や心理を獲得していく。こうしてある社会集団の中で特定の行動原理が多数派を占めるようになると、そうした行動原理を取ることが個人にとって有利になるように社会構造が変化していく (橋本, 2014; Yamagishi, 1988a, 1988b)。こうした社会と個人の双方向的な影響によって生みだされるダイナミックな変化を明らかにすることは、Lewin の場の理論 (Lewin, 1951) に端を発する社会心理学における大きな命題の一つである。しかし行動主義の台頭や認知革命などにより、心理学における関心の中心は、社会環境と個人の相互作用からマイクロな個人内過程の理解へと移っていった (増田, 2014; Oishi & Graham, 2010)。それは社会心理学も例外ではなく、こうした動きに合わせて社会心理学における研究の関心もまた社会認知など社会情報を個人がどのように内的に処理するかに移っていった。

しかし、確かに社会環境は個人の行動や心理に影響を与えるが、人間は環境から影響を受けるだけの受動的な存在ではない (亀田・村田, 2010)。人間は社会環境に応じて自分の行動や心理を調整する存在であると同時に、社会環境に対して能動的に働きかけることで自らの生存に有利なニッチを構築していく能動的存在でもある (Oishi & Graham, 2010; Yamagishi, 1988a, 1988b; Yamagishi & Yamagishi, 1994)。社会環境が個人の行動や心理に与える影響という単方向の影響プロセスだけでなく、社会と個人の相互作用を考慮することは、現在の人間の社会行動や社会心理の理解を助けるだけでなく、将来的な変化についても予測可能な理論モデルの構築を可能にするだろう。

第3章：本論文の理論

第3章では、社会生態学的アプローチに基づき、社会環境要因および個人要因が恋愛関係における人間の行動や心理に与える影響を与えるかに関する本論文の具体的な理論仮説について述べる。以下ではまず、人間の恋愛行動やそれを支える心理に影響を与える社会環境要因として本論文が特に注目する関係流動性 (Yuki & Schug, 2012) の概念定義と、関係流動性が人間の社会行動や社会心理に与える影響に関する先行研究を紹介する。その上で、第一の検討課題である関係流動性が人間の恋愛行動や恋愛心理に与える影響について本論文の具体的な理論仮説を述べる。続いて、恋愛行動や恋愛心理に影響を与える要因としてこれまで検討されてきた個人要因である配偶価値に関する先行研究を紹介する。その上で、第二の検討課題である社会環境要因である関係流動性と個人要因である配偶価値の交互作用効果が恋愛関係における人間の行動や心理に与える影響について本論文の具体的な理論仮説を述べる。以上の議論を踏まえ、最後に本論文の具体的な予測をまとめる。

3-1. 関係流動性の定義および関係流動性の高低が生み出す異なる適応課題

関係流動性とは、当該の社会環境において、個人が自由意志に基づいて自らの所属集団や相互作用のパートナーといった社会関係を取捨選択できる程度のことである (Oishi, Schug, Yuki, & Axt, 2015; Yuki & Schug, 2012)⁴⁵。関係流動性が高い社会環境では、新たな社会関係の形成機会が豊富に用意されており、個人は自らの意思に基づいて自由かつ容易に所属する集団や相互作用する相手を選択あるいは組み替えることができる。一方、関係流動性が低い社会環境では、そうした新たな社会関係の形成機会が乏しく、個人は生まれながらに既存の閉鎖的なコミュニティの中に組み込まれる (Adams, 2005; Yamagishi, Hashimoto, & Schug, 2008; 山岸, 1998)。それゆえにこうした社会環境では、個人が自らの所属集団や相互作用相手を自由に選び組み替えることは困難である。これまでの研究により、アメリカやイギリスなど欧米諸国は関係流動性が高く、日本などの東アジア諸国やガーナなどの西アフリカ諸国は関係流動性が低いことを示している (Adams, 2005; Ho, 1998;

⁴⁵ 関係流動性に類似した社会環境変数に、住居流動性 (residential mobility: Oishi, 2010) が挙げられる。住居流動性とは、当該の社会環境において人々が住居を移り住む頻度のことである。関係流動性と住居流動性は、いずれも社会関係の流動性に関する指標だが、両者は独立の変数である。関係流動性の場合、社会関係の取捨選択は個人の自由意思に基づいている。つまり、個人は自分で社会関係を維持する・しないを自由に選ぶことができる。これに対して住居流動性の場合、個人の自由意思によらない強制的な流動 (e.g., 幼少期の親の転勤に伴う引越など) も含まれる。また、関係流動性が個人レベルの変数ではなく社会環境レベルの変数であるのに対して、住居流動性は個人レベル・社会環境レベルの両方で算出できる (Oishi et al., 2015)。関係流動性と住居流動性は互いに独立の変数であり、関係流動性が高いが住居流動性が低い環境 (あるいはその逆) も考えられる (それぞれの具体例は、Oishi ら (2015) の Figure 5-1. を参照されたい)。

Yuki & Schug, 2012)。

こうした関係流動性の社会差は、アジア諸国と北米諸国における離婚率に見ることができ。例えば先行研究は、職業の流動性が社会によって異なることを示している (Chen, Chiu, & Chan, 2009)。例えば 1997 年における平均勤続年数は日本が 11.3 年、中国が 19.9 年であるのに対して、アメリカでは 7.4 年、イギリスでは 7.8 年である。加えて、アメリカではおよそ 34.5% が 2 年以内に転職するのに対して、中国における 2 年以内に転職する人の割合は 5.6% である⁴⁶ (Knight & Yueh, 2004)。これらのことは、欧米社会では個人が頻繁に勤務先を乗り換えるのに対し、東アジア社会では一度入社した企業に留まり続ける傾向が強いことを示している。また関係流動性の遠因の一つとして、移民の流入率が挙げられる。アメリカでは 1990 年から 2015 年の間に人口に対して平均 12.4% の移民が流入しているが、同期間における日本国内への移民の流入率は平均 1.4% である⁴⁷。このことは、日本よりもアメリカの方が新たな社会関係の潜在的パートナーの選択肢が多いことを示唆している。

また同じ国の中であっても、都市部と伝統的な村落では、都市部の方がより関係流動性が高い。例えば、人口密度が低く、当該の地域に暮らす全員が顔見知りで日常的に相互作用が繰り返されているような伝統的な村落では、見知らぬ他者と出会い新たな社会関係を形成する機会は乏しい。一方、都市部では出自の異なる様々な人々が流入するため、人口密度が高い。伝統的な村落とは異なり、都市部では既存の共同体が確立されていない (高木・竹村, 2015)。また人口密度が高いため、新たな他者と出会い関係を形成する機会も多い (Yuki & Schug, 2012)。このため都市部では、伝統的な村落に比べ新たな社会関係の形成機会が豊富で、個人は任意に自分の社会関係を取捨選択することができる。

さらに国や地域だけではなく、職種などの社会的文脈によっても関係流動性の高低は異なる。例えば企業の雇用形態には、勤続年数に従って職務上の地位や給与が上がる年功給や、勤続年数にかかわらず業績の高さに応じて地位や給与が上がる能力給などがある。年功給が確立されている職種は、能力給を採用する職種に比べて離職・転職率が低くなる (山岸, 1998)。なぜなら、年功給が採用されている職種において、離職や転職は個人にとって不利益になる可能性が高いからである。年功給の雇用形態では、勤続年数によって個人

⁴⁶ なお、日本における 2 年以内に転職する人の割合は 23.6% と、中国よりも高いがアメリカよりも低い。20 年以上連続して勤務する人の割合は、中国が 43.5% であるのに対し日本では 21.4% と低いが、イギリス (9.4%) やアメリカ (9.0%) に比べると日本は同じ会社に連続して 20 年以上勤務し続ける人の割合が高く、相対的に職業の流動性 (job mobility: Chen et al., 2009) が低い社会といえる。

⁴⁷ United Nation, Department of Economic and Social Affairs, Population Division (2015). International migrant stock.

の地位や収入が決まる。転職した場合、前職の勤続年数を引き継ぐことが出来ないため、転職することでかえって転職前よりも地位や収入が低下する可能性が高い。それゆえに年功給が確立されている職種の場合、転職するよりも同じ職場に勤め続ける方が個人にとって有利になる。一方、雇用形態が能力給の場合、地位や収入はあくまで当人の能力によって決まる。このため自分の能力が向上しない限り、同じ職場に勤め続けても地位や収入が上昇する可能性が低い。こうした状況では、むしろ現在の自分の能力でより高い地位や収入を得られる機会があるならば、別の職場に乗り換えた方が個人にとって有利になる。それゆえに、人々は自分の能力に対して最も高い地位と収入を与えてくれる職場を探し、頻繁に転職するようになる。

関係流動性の高低が異なる社会環境の適応課題

この様に、社会関係を個人が任意に取捨選択できる程度は社会環境によって異なる。こうした社会環境における関係流動性の差異は、そこで暮らす人々に対してそれぞれ異なる淘汰圧を生じる。では、関係流動性と高い社会と関係流動性が低い社会において、個人はいかなる適応課題に直面するのだろうか。

関係流動性の高い社会環境における主要な適応課題は、競争的な自己アピールである。先述したように、関係流動性が高い社会環境では、個人は豊富に存在する社会関係の選択肢の中から、自由に自分の所属集団や相互作用相手を取捨選択することができる (Yuki & Schug, 2012)。しかし、個人が結びうる社会関係の数には限りがあるため (Roberts, Wilson, Fedurek, & Dunbar, 2008)、魅力的でない社会関係に固執することは個人にとって不利益になる。こうした特定の関係に固執することによって失われる、代替関係に乗り換えていれば得られたはずの利益は、機会コスト (opportunity cost) と呼ばれる。こうした機会コストは、社会関係の選択肢が豊富で、かつ社会関係を自由に乗り換えられる社会環境ほど大きくなる (山岸, 1998)。

こうした社会環境では、積極的な自己アピールを通じて、自分が他者よりも優れた社会関係のパートナーであることを示すことが重要な適応課題となる (Barclay, 2013; Noë & Hammerstein, 1994, 1995)。相互選択に基づく社会関係において、個人はパートナーを選択する立場であると同時に、自らもまた相手から選択される立場にある。個人が自由に社会関係を取捨選択できる社会環境では、個人はより魅力的な相手と関係を形成しようとする (山岸, 1998; Yamagishi, 2011)。このことはすなわち、魅力的なパートナー候補であることを他者にアピールできなければ、他者からパートナーとして選んでもらいにくいことを意味している。それゆえに魅力的な相手から数少ないパートナー候補として選ばれるためには、積極的に自分が他者よりも秀でたパートナー候補であることを示す行動が有利になる。

Barclay は、こうした社会関係におけるパートナー選択の自由が積極的な自己アピール行動を生み出すことを、実験研究を通じて明らかにしている (Barclay & Willer, 2007)。彼らは囚人のジレンマ型の経済ゲーム⁴⁸を用いて、相互作用のパートナーを個人が自由に選択できる場合とそうでない場合とで、個人の他者に対する協力度が異なるかを検証した。実験の結果、参加者が任意にパートナーを選択できる条件では、パートナーがランダムに決定される条件に比べて、より他者への協力率が高いことが明らかになった。パートナーを自由に選択できる状況では、他者よりも自分が協力的なパートナーであることを示さなければ魅力的な (すなわち協力的な) 相手から選んでもらえない。このため、積極的な協力行動を通じた自己アピールが促進されたと考えられる。

一方、関係流動性の低い社会環境における主要な適応課題は、既存の社会関係内の調和を維持することである。先述したように、関係流動性が低い社会環境では、個人は生まれながらに既存の閉鎖的なコミュニティに埋め込まれ、個人の任意による自由な社会関係の取捨選択が難しい (Adams, 2005; Yamagishi et al., 2008)。乗り換えることができる代替関係の候補が少ないため、高関係流動性社会環境に比べて機会コストは小さくなり、人々は固定した相手との間に排他的な共同体を形成するようになる (山岸, 1990)⁴⁹。

こうした社会環境では、自分が魅力的であることをアピールするよりも、既存関係を良好に保ち維持し続けることが重要な適応課題となる。固定した相手との間に排他的な共同体が形成されると、当該の共同体内では相互協力とそれに基づく個人の利益が保証される。これに対し、新たな社会関係にはそうした相互協力の保証がなく、場合によっては相

⁴⁸ 囚人のジレンマはゲーム理論における代表的なモデルの一つであり、個人の合理的な行動と集団の合理的な行動が相反する構造である (岡田, 2008)。例えば、2人の囚人がいるとする。囚人は取り調べに対し、自白するか黙秘するかを選ぶことができる。もし2人が揃って自白すれば、罪が立証され2人とも懲役8年の判決になる。しかし、仮に一方だけが自白して他方が黙秘すれば、自白した囚人は恩赦によって刑期が3カ月に短縮され、黙秘した囚人は厳罰である懲役10年が言い渡される。もし2人が揃って黙秘を続ければ、罪を立証できず2人とも1年の刑期で済む。この場合、個人にとって合理的な行動は、相手の行動によらず自白することである。一方、2人を1つの集団として考えた場合、集団にとって合理的な行動は黙秘することである (お互い自白した場合は懲役の合計は16年、片方が黙秘した場合は10年3カ月、互いに黙秘すれば2年)。

⁴⁹ パートナーの取捨選択が困難で特定の相手との相互作用が繰り返される場合に機会コストが低下する理由を、山岸は利他的利己主義の観点から論じている (山岸, 1990)。例えば囚人のジレンマ状況において、相互作用が一度きりの場合、個人は自分にとって最も合理的な行動である非協力を取り、相手を搾取することができる。しかし相手との相互作用が繰り返される場合、非協力は次の相互作用における相手からの非協力を誘う (Tit-For-Tat 戦略: Axelrod, 1984)。つまり、相手との相互作用が長期的に繰り返される状況では、非協力的な振る舞いは結果的に互いが互いを搾取し合う相互に不利益な状況を生む。こうした状況では、個人は自己利益を最大化するために協力せざるを得なくなる。つまり、利己的な理由に基づいた利他行動が生じ、相互協力関係が確立される。

手から搾取される可能性もある。また、もし新しい社会関係へ乗り換えるために既存関係から離脱したとしても、多くの人がすでに排他的関係を形成している状況では代替関係を見つけられる可能性が低く、最悪の場合は孤立してしまう。このため関係流動性の低い社会環境では、社会関係の獲得や維持のために積極的に自己アピールをするよりも、むしろ排他的な共同体からの排斥を避け、協力関係を安定して維持するために、既存の社会関係の調和を乱すような行動を差し控えるよう自らの行動を調整する行動が個人にとって有利となる (Yamagishi, 2011; Yamagishi et al., 2008)。

関係流動性の行動的・心理的帰結

社会関係の流動性が人間の社会行動や社会心理に与える影響については、これまでの研究でも論じられている。例えば第2章でも述べた Berry らは、当該の社会環境における生業形態によって他者との相互依存性の程度が異なり、こうした相互依存性に基づく既存関係からの離脱可能性が人間の社会行動や社会心理に与える影響について論じている (Berry, 1967, 1979)。狩猟採集社会では、人々は個人あるいは家族を単位として独立に生計を立てている。こうした社会では、血縁を超えた他者と協力する必要性は低い。他者との相互依存性が低いこうした社会環境では、個人は他者とは独立に意思決定を行うため、他者の意見に迎合する必要性は低い。一方、農耕社会では水源を確保するための大規模な灌漑設備が必要となる。このため、そうした設備を作り維持するために個人的な好恶によらず血縁を超えた近隣他者と協力しあわなければならない。こうした他者との相互依存性が高い社会環境では、共同体から排斥されないよう、他者との関係の調和を維持することが重要である。なぜなら、もし既存の共同体から排斥された場合、灌漑設備など相互協力によって得られる利益を享受できなくなり、生計を立てることが困難になるからである。このため、他者と競合してまで自分の意見を通すよりも、共同体の調和を維持するために他者の意見に迎合し同調するようになる。

また Henrich らは、社会環境における市場経済の構造——特に新規他者との相互作用機会の多寡が、人々の他者に対する公平性に与える影響について論じている (Henrich et al., 2005; Henrich, Ensminger, et al., 2010)。彼らは 15 の小規模社会を対象に、それぞれの社会環境における非血縁他者との相互作用への依存度⁵⁰が、他者に対する金銭資源の分配におけ

⁵⁰ 相互作用への依存度の指標とし絵、ここでは他者と協力することによる利益 (payoffs to cooperation: PC) と、市場の統合度 (aggregate market integration: AMI) が用いられている。PC とは、血縁を超えた他者と協力することで得られる利益の大きさである。PC が低い社会環境とは、自給自足など経済活動が血縁内で完結している社会である。逆に PC が高い社会環境とは、捕鯨など大型動物を共同で狩猟するような、経済活動が血縁を超えた他者と行われている社会である。また、AMI とは当該の社会環境における市場経済への依存度である。AMI は3つ

る公平性⁵¹に与える影響を検証した。自給自足型の生活を送り経済活動が家族内で完結している社会環境では、血縁を超えた他者と相互作用することによって得られる利益が少なく、それゆえに非血縁他者との社会関係を失うことによる経済的損失は小さい。こうした社会環境では、人々は自己利益を最大化するような資源分配を行う。このため、他者よりも自分が多く資源を得るような公平性の低い資源分配を行う。一方、大型動物を共同で狩猟したり家畜の売買を行うなどして血縁を超えた他者との相互作用が生活基盤となっている社会環境では、他者との相互作用が個人に大きな利益をもたらす。それゆえに、こうした非血縁他者との社会関係を失うことは大きな経済的損失をもたらす。こうした社会環境では、人々は獲得した資源が自己と他者とで平等になるような、公平性の高い分配を行う。なぜなら、不公平な分配 (特に、自分が他者よりも得をするような分配) は、共同体からの排斥といった社会的制裁を生じ、重要な経済基盤の喪失をもたらしかねないからである。

先述した Berry (1967, 1979) や Henrich ら (2005) が論じた社会関係の流動性そのものに注目し、こうした社会関係の流動性が人間の社会行動やそれを支える心理に与える影響を検討した先駆的研究が、山岸による一般的信頼の研究である (山岸, 1998)。一般的信頼とは「他者は自分を裏切り搾取しようとする意図を持たないだろう」という他者一般に関する信念のことである。山岸は、日本人よりもアメリカ人の方が他者に対する一般的信頼が高いことを示した上で (Yamagishi & Yamagishi, 1994)、こうした一般的信頼の日米差が両社会における社会関係の流動性の差異によってもたらされると論じた。

山岸は、社会関係の流動性が高い環境ほど一般的信頼が高いことの理由として、一般的信頼には新たな社会関係の形成へと個人を駆り立てる「解き放ち」機能があると論じた (山岸, 1998; Yamagishi, 2011)。他者との相互作用には、相手から裏切られ搾取されるリスクが常につきまとう。こうしたリスクを回避し、相手に搾取されることなく相互協力を達成するための一つの方法は、決まった相手と相互作用を繰り返すことである⁴⁹。しかし、こうした関係の固定化には、より魅力的な代替関係を見逃すという機会コストが伴う。もし既存関係よりも代替関係から得られる利益が高ければ、既存関係を解消し新たな社会関係

の下位要素——他者との相互作用が失われた場合の損益、意思決定が行われる単位 (最小単位は家族)、およびローカルな居住地のサイズ——の平均値である。AMI が高い社会環境ほど、他者との相互作用の喪失に伴う経済的損失は大きくなり、逆に AMI が低い社会環境ほど他者との相互作用の喪失に伴う経済的損失は小さくなる。

⁵¹ Henrich らの研究では、最後通牒ゲーム (ultimatum game)、公共財ゲーム (public goods game)、および独裁者ゲーム (dictator game) における協力率が従属変数として用いられている。これらのゲームにおける結果は概ね一貫しており、Henrich らの論文では、特に 15 の小規模社会全てでデータが収集されている最後通牒ゲームにおける金銭の分配行動に関する研究結果が報告されている (Henrich et al., 2005)。

に乗り換えた方が個人にとっては有利になる。しかし、一度固定化された関係から離脱することは容易ではない。なぜなら、すでに相互作用を経験し相手の行動傾向が予測できる既存関係に比べ、新規関係は相手の行動傾向が予測できず、相手が自分に対して協力的に振る舞うのかそれとも非協力的に振る舞うのを予測しにくいからである。こうした状況で一般的信頼を高く持つことは、相手から裏切られるかもしれないという不安から個人を解き放ち、新たな代替関係への乗り換えを促す。こうした一般的信頼の解き放ち機能は、特に機会コストが大きく新規関係への乗り換えが個人にとって利益になる社会環境、すなわち豊富な社会関係の選択肢の中から個人が自由に社会関係を取捨選択できる流動的な社会環境においてより有利になる。

このように山岸は、社会関係の流動性が人々の社会心理である一般的信頼の高さに与える影響を明らかにした。しかし、そこには限界もある。それは、当該の社会環境における社会関係の流動性が測定されておらず、日本とアメリカにおける社会関係の流動的の差異や、こうした社会関係の流動性と人間の行動や心理の関係が直接検討されていないことである。

関係流動性の定量的測定を通じた行動的・心理的帰結の直接的検討

これに対して結城らは、社会関係の流動性を測定する尺度として関係流動性尺度を開発し、一般的信頼の高低に見られる日米差が、当該の社会環境における関係流動性の高低によって統計的に説明されることを示した (Yuki et al., 2007)。関係流動性尺度は、当該の社会環境における社会関係の取捨選択の自由度に関する人々の認知を測定する尺度である。回答者である個人自身ではなく、回答者の周辺人物 (具体的には、学校の友人や知人、職場の同僚、近隣の住民など) が普段からどの程度自由に社会関係を形成あるいは組み換えられているかを尋ねることで、個人を取り巻く社会環境における関係流動性の高低を測定することができる (Kito, Yuki, & Thomson, 2017)⁵²。

関係流動性尺度の開発により、当該の個人を取り巻く社会環境における社会関係の取捨選択の自由度を定量的に測定することが可能となり、関係流動性と人々の社会行動および社会心理との関連が実証的に検討できるようになった。これまで、関係流動性尺度を用いた様々な研究が行われ、社会環境における関係流動性の高低が、人間の社会行動や社会心理に与える影響が明らかにされてきた。

例えば Schug らは、社会環境における関係流動性の高低が、対人行動である自己開示の

⁵² 関係流動性に関する客観的な指標として、過去の一定期間 (1 週間・1 ヶ月・3 ヶ月) の間で新たに出会った新規他者の数を尋ねる方法を用いた研究もある (Schug, Yuki, Horikawa, & Takemura, 2009; Schug et al., 2010)。

程度に与える影響を明らかにしている (Schug, Yuki, & Maddux, 2010)。第 1 章で述べたように、自己開示とは自らの失敗や秘密といった弱みを他者に打ち明ける行動である (Collins & Miller, 1994; Sprecher & Hendrick, 2004)。自己開示には、相手に自分の弱みを悪用されるリスクが伴う。一方で、こうしたリスクが存在することで、自己開示は相手に対する信頼の現れと解釈され (安藤, 1986; Jones & Archer, 1976)、自分がパートナーを裏切らないことを約束するコミットメント・シグナリングとして機能する。しかしながら、自己開示は、受け手に対して心理的な負債感を与える場合があり、開示者と受け手の関係を悪化させたり、最悪の場合は関係の解消をもたらす可能性もある。Schug らは、自己開示に伴う利益とコストの大きさが、当該の社会環境における関係流動性によって異なると論じた。

先述のように、関係流動性が高く、個人が自由に社会関係を取捨選択できる社会環境では他者からパートナーとして選ばれ続けるための積極的な自己アピールが必要となる。このため、自己開示は自分が相手を裏切らない信頼できるパートナーであることを示すコミットメント・シグナリングとして機能し、相手からパートナーとして選ばれる可能性を高める。またこうした社会環境では、自己開示がもたらす関係の悪化や解消といったコストは相対的に小さくなる。なぜなら、仮に自己開示をすることで受け手との関係が悪化したり相手から関係を解消されたりしたとしても、新規関係の形成機会が豊富に存在する高関係流動性社会環境では容易に代替関係を見つけられるからである。このため関係流動性の高い社会環境では、自己開示の利益がコストを上回り、積極的な自己開示行動が有利となる。

一方、関係流動性が低く個人の自由な社会関係の取捨選択が難しい社会環境では、他者からパートナーとして選ばれるための積極的な自己アピールの必要性は低い。なぜなら、こうした社会では積極的に自己アピールしても新規関係の形成に繋がりにくく、また社会的に協力関係が保証されているため (山岸, 1990)、自らの信頼性を示す必要性が低いからである。それゆえに、自己開示によるコミットメント・シグナリングを行うことによる利益は相対的に小さくなる。その反面、自己開示に伴う関係の悪化や社会関係からの排斥といったコストは、こうした社会環境では個人にとって致命的な不利益となる。社会関係の新規形成機会に乏しい低関係流動性社会環境では、関係が悪化しても代替関係に乗り換えることが難しいため、悪化したまま関係を継続せざるを得ない。また、もし関係が解消した場合、代替関係を見つけられず孤立してしまう可能性が高い。このため関係流動性が低い社会環境では、自己開示の利益をコストが上回り、積極的な自己開示の有効性は低くなる。

Schug らは、日本人よりもアメリカ人の方が友人などの親密他者に対してより積極的に自己開示を行うことを示した上で、こうした自己開示の日米差が両社会の関係流動性の差

異によって説明されることを示した (Schug et al., 2010)。これに加え、社会環境における関係流動性の高さは、当該社会に暮らす人々の関係強化意図 (現在の関係を長期的に維持しようとする動機づけの強さ) を高めることを通じて、積極的な自己開示をもたらすことが示され、先述した Schug らの理論仮説を支持する結果が得られた⁵³。

しかし、Schug らの研究は日本とアメリカという異なる国を対象に行われたものであるがゆえに、関係流動性以外の文化的要因 (例えば言語や生活環境などの差異) の交絡を統制しきれていないという問題点がある。これに対し Thomson らは、そうした文化的交絡要因がある程度統制された日本人のみを対象に、異なる社会的文脈における関係流動性の高低が自己開示の程度に与える影響を検討している (Thomson & Ito, 2012)。Thomson らは、関係流動性の高低が異なる社会的文脈として、Facebook と mixi という 2 種類のソーシャルネットワーキングサイト (SNS) に注目した⁵⁴。SNS 環境はそれぞれのメインユーザのオフラインの社会環境構造を反映していると考えられており、実際、高関係流動性環境に暮らすアメリカ人をメインユーザとする Facebook は、低関係流動性環境に暮らす日本人をメインユーザとする mixi よりも関係流動性が高いことが示されている⁵⁵。Thomson らは、Facebook と mixi の双方を利用している日本人を対象に、それぞれの SNS における自己開示の程度を尋ねた。その結果、関係流動性が低いとされる mixi に比べ、高関係流動性であるとされる Facebook において、人々がより積極的に自己開示を行うことが示された。

また、社会環境における関係流動性が人間の社会心理に与える影響を検討した研究として、Falk らによる関係流動性と自己高揚傾向に関する研究が挙げられる (Falk, Heine, Yuki, & Takemura, 2009)。自己高揚傾向 (self-enhancing bias) とは、自分自身の能力や価値を実際よりも優れていると過大に見積もる認知バイアスの一種である (Brown, 1986)。自己高揚傾向は、他者からの拒絶といった社会的相互作用に付随する不安を退け、個人を積極的な社会関係の形成に向かわせる。例えば先行研究は、自分の価値を高く見積もる個人ほど、見知らぬ他者と積極的に交流しようとすることや (柳澤・西村・浦, 2010a, 2010b)、他者からの注意を引き付けるために大胆な行動を取りやすいことを示しており (Chatterjee & Hambrick, 2007)、初対面の相手からポジティブな印象を受ける傾向があることを明らかに

⁵³ 自己開示の社会差に関する先行研究は、低関係流動性社会であるとされる日本や中国などの東アジア社会よりも、高関係流動性社会であるとされるアメリカ社会において、より親しい他者に対する積極的な自己開示が見られることを明らかにしており (Chen, 1995; Kito, 2005; Wolfson & Pearce, 1983)、これらの結果は Schug らの関係流動性の理論に基づく予測と合致している (Schug et al., 2010)。

⁵⁴ Facebook はカリフォルニア州に本社を持つアメリカ発祥の SNS サイトであり、mixi は東京に本社を持つ日本発祥の SNS サイトである。

⁵⁵ Facebook が高関係流動性環境、mixi が低関係流動性環境であることについては、Takemura & Suzuki (2015) および Thomson, Yuki, & Ito (2015) を参照されたい。

している (Back, Schmukle, & Egloff, 2010)⁵⁶。

先述したように、機会コストが大きい高関係流動性社会環境では (山岸, 1998)、既存の
関係に不満がある場合や、より魅力的な代替関係への乗り換え機会がある場合には、既存
関係を解消し新規関係に乗り換えた方が個人にとって有利になる。また仮に新たな関係形
成を申し込んで相手から拒絶されたとしても、他の代替関係を容易に見つけることができ
る。このため、自己高揚的にふるまい積極的に新規関係の形成を追求することの利益がコ
ストを上回る。これに対し関係流動性が低い社会環境では、先述したように個人は例え既
存関係に不満がある場合や、より魅力的な代替関係がある場合であっても、代替関係に乘
り換えることが難しく、既存関係に留まらざるを得ない (Adams, 2005; Yamagishi et al.,
2008)。積極的に新たな社会関係の形成機会を追求したとしても、関係を乗り換えることが
難しい以上、自己高揚的に振る舞うことで得られる利益は相対的に小さくなる。それだけ
でなく、むしろこうした社会環境においては、自己高揚的に魅力的な代替関係を追求す
ることによって既存関係が悪化し、代替関係を見つけられずに孤立してしまうリスクが高い。この
ため、自己高揚的にふるまうことの利益をコストが上回る。

以上の議論に基づき Falk らは、低関係流動性社会に暮らす日本人と高関係流動性社会に
暮らすカナダ人を対象に、自己高揚傾向の社会差が両社会の関係流動性の差異によって説
明されるかどうかを検討した。その結果、自己高揚傾向は日本人よりもカナダ人でより強
く、こうした自己高揚傾向に見られる日加差は、両社会の関係流動性の高低によって説明
されることが示され、Falk らの理論仮説が支持された (Falk et al., 2009)。

Falk らの研究が示したように、自己高揚傾向のような自己に関するポジティブな心理傾
向は、高関係流動性環境では有利だが、低関係流動性環境ではかえって不利になる。で
は、低関係流動性社会において有利となる心理には、果たしてどのようなものが考えられ
るのだろうか。先行研究は、恥感情 (Sznycer et al., 2012, 2016) や社会不安 (Sato, Yuki, &
Norasakkunkit, 2014) が、低関係流動性環境においてより有利となることを明らかにしてい
る。恥感情とは、社会関係において他者から低い評価を受けた際に生じるネガティブな情
動反応の一つであり、自己の評判回復や既存関係からの排斥を回避するための行動を促す
(Gilbert, 1998; Sznycer et al., 2016)。また社会不安とは、自分が他者に迷惑をかけ、相手に不
快な思いをさせていないかという懸念の強さであり (Sato et al., 2014)、他者からの拒絶の
シグナル (自分の行動に対する不快な反応) を素早く検知することで、行動を改善し関係

⁵⁶ 自己高揚傾向が高く自分自身に価値があると思うことは他者から好意的に評価されるが、そ
の一方で、ナルシズム傾向が極端に高く、現実と大きくかけ離れて自分の能力や資質を過大評
価する個人は、最初はポジティブに評価されるものの、社会関係が長期化するにつれて不適応
を引き起こしやすくなることも明らかにされている (Back et al., 2010)。

の悪化や排斥を回避することができる。

関係流動性が高い社会環境では、既存の社会関係の悪化や排斥は個人にとってそれほど重大な不利益とはならない。なぜなら、もし既存の社会関係が悪化した場合、より魅力的な代替関係に容易に乗り換えることができるからである。このため、恥感情や社会不安といった社会的排斥につながるシグナルに対する敏感さを高く持つ必要性は相対的に低くなる。一方、関係流動性が低い社会環境では、社会的排斥につながるシグナル検知の重要性が高い (Hashimoto & Yamagishi, 2016; Yamagishi et al., 2008)。代替関係の選択肢に乏しく関係の乗り換えが困難な低関係流動性社会環境では、既存の社会関係の悪化やそれに伴う共同体からの排斥は、社会的孤立という大きな損失を個人にもたらす。このため、社会的排斥につながりうる自分の悪評や関係の不調和をいち早く検知し自らの行動を調整するために、恥感情や社会不安を高く持つ必要性は相対的に高くなる。

恥感情に関して Sznycer らは、高関係流動性社会に暮らすアメリカ人やイギリス人と低関係流動性社会に暮らす日本人の間で比較を行い、アメリカ人やイギリス人よりも日本人の方が友人関係などの社会的関係においてより恥感情を感じやすいことを示している (Sznycer et al., 2012)。また社会不安に関して佐藤らは、アメリカ人と日本人を比較し、アメリカ人よりも日本人の方がより強い社会不安を感じており、社会的排斥のシグナルに対してより敏感であることを示している (Sato et al., 2014)。これらの恥感情や社会不安に見られる社会差は、いずれも当該の社会環境における関係流動性の差異によって説明されることが示されている。

3-2. 関係流動性が恋愛関係における行動と心理に与える影響

では、こうした社会環境における関係流動性の高低による影響は、恋愛関係における人間の行動や心理に関しても同様に見られるのだろうか。近年、恋愛関係市場におけるパートナーの選択可能性が個人の行動や心理に与える影響を検討した研究も数多く報告されている (e.g., Baumeister, Reynolds, Winegard, & Vohs, 2017; Castro, Hattori, Yamamoto, & Lopes, 2013; Lowenstein, Howard, & Finley, 2014; Pawłowski & Dunbar, 1999; Wincenciak et al., 2015)⁵⁷。しかし、こうした恋愛関係市場モデルで用いられるパートナーの選択可能性の指

⁵⁷ 恋愛関係における動物の行動や心理は、これまで性選択理論 (sexual selection theory: SST, Darwin, 1859 渡辺 (訳), 2009) に基づく説明が主流であった。Noë は標準的な SST もまた性の需要と供給に関する市場モデルの一種であり、上位の理論モデルである Biological market theory (BMT) の枠組みの中で他の社会関係と同様に議論できるとしている (Noë & Hammerstein, 1994, 1995)。標準的な SST では、動物の行動や心理に影響を与える変数として実効性比 (脚注 58 参照) が想定される。しかし近年の研究は、こうした実効性比に基づく標準的な SST が当てはまらない恋愛行動を示す動物種がいることを指摘しており (Metz, Klump, & Friedl, 2007)、動物の恋愛行動を理解する上で BMT における社会関係の市場モデルを用いることの有用性が論じら

標は、その多くが性比⁵⁸などの生物学的指標を用いており、社会環境要因——特に関係流動性が人々の恋愛行動や恋愛心理に与える影響を直接検討した研究はまだない。以下ではまず、先述した社会関係一般に関する関係流動性の議論が恋愛関係においても適用できることを示すために、社会環境によって恋愛パートナーの取捨選択の程度が異なることを示す知見を紹介する。

社会環境によって恋愛関係の流動性が異なることの傍証

当該の社会環境において個人が恋愛パートナーを自由に取捨選択しているかどうかを表す指標の一つに、離婚率や再婚率が挙げられる。国際連合が刊行する国連人口統計年鑑は、様々な国における離婚率⁵⁹を示している。2012 年における日本および中国の離婚率はいずれも 1.8%であり、アメリカにおける離婚率である 2.7%、オーストラリアにおける離婚率である 2.2%と比べると、東アジア諸国よりも欧米諸国社会の離婚率が高いことが示されている。また再婚率に関しても同様の傾向が示されている。Pew Research Center の調査は、2012 年のアメリカにおいて結婚した夫婦の約 40%が再婚⁶⁰であることを示している⁶¹。一方で、同 2012 年 (平成 24 年) の日本で結婚が成立したカップルのうち再婚者の割合は 26%である⁶²。なお、これらの結果は単に日本など東アジア社会に暮らす夫婦が、アメリカなど欧米社会に暮らす夫婦に比べて現在の結婚関係に満足しているということの意味しない点に留意されたい。むしろ先行研究は、アメリカ社会に比べて日本社会の方が、平均して自分たちの結婚関係に対する満足度が低いことを示している (Kamo, 1993; Kaufman & Taniguchi, 2016)⁶³。このことはすなわち、日本人はアメリカ人よりも現在の結婚関係に

れている。

⁵⁸ ここでの性比とは、実効性比 (operational sex ratio) である (Emlen & Oring, 1977)。性比は広義に男女の比率を意味しているが、実効性比の場合は、ある時点における生殖可能な個体数の男女比率を意味する。

⁵⁹ ここでの離婚率は、人口 1,000 人あたりの離婚成立割合 (粗離婚率 crude divorce rate) を表している。また国際連合の調査データからは、後述する離婚が法的に許可されない国や、年間で離婚成立数が 30 組以下の国が除外されている。離婚が法的に許されていない国には、バチカン市国とフィリピン共和国がある。マルタ共和国はかつて離婚制度が存在しなかったが、2011 年の法改正により離婚制度が法的に整備された。

⁶⁰ 夫または妻のいずれかが再婚、または双方が再婚である場合の割合。

⁶¹ Pew Research Center, Social & Demographic Trends (2014). Retrieved by: <http://www.pewsocialtrends.org/2014/11/14/chapter-2-the-demographics-of-remarriage/> (2017.1.4)

⁶² 厚生労働省 (2012). 「人口動態特殊報告 (婚姻に関する統計)」

⁶³ ただし、結婚満足度には社会差がない可能性を示す論文も報告されている (Sorokowski et al., 2017)。Sorokowski らは、33 カ国の結婚満足度の平均値を報告している。彼らの研究の結果、結婚満足度の平均値はそれぞれカナダが 4.42 ($SD = 0.82$)、中国が 4.47 ($SD = 0.61$)、インドが 4.75 ($SD = 0.40$) と、国ごとの平均値に大きな差は見られない。ただし、彼らの研究はデータの収集法が国によって異なり、学生データと社会人のデータが混在している。このため、特に学生を通じて得られたデータを夫婦関係の代表値として用いることの妥当性には疑問が残る。ま

対して満足していないにも関わらず、アメリカ社会に比べて関係を解消しにくい社会であることを示唆している。

さらに先行研究は、恋愛関係にあるパートナーの奪い合いの頻度が社会によって異なることを示している。すでに特定の相手と恋愛関係が成立している場合でも、第三者によって自分が交際していたパートナーを奪われる、あるいは逆に自分がすでに特定の相手と交際関係にある異性を奪い取るといったことはしばしば起こる。こうした恋人の略奪行為 (mate-poaching; Schmitt & Buss, 2001) に関して先行研究は、日本や中国などの東アジア社会および南アフリカ社会よりも、アメリカやカナダなどの欧米社会の方が、より頻繁に恋人の奪い合いが行われていることを明らかにしている (鬼頭・山田・結城, 2014; Kito, Yamada, & Yuki, 2014; Schmitt et al., 2004)。このことは、東アジア社会および南アフリカ社会に比べ、北米社会では例え一度恋愛関係が形成されたとしても、頻繁に魅力的なパートナーの奪い合いが生じる流動的な恋愛関係市場であることを示している。

また先行研究は、文化的慣習が恋愛関係におけるパートナーの取捨選択に与える影響を示している。例えば婚姻関係に関する文化的慣習は社会によって異なることが示されている。血縁に基づく集団を基本とするような社会環境において、婚姻とは異なる血縁集団と同盟を結び経済的な負担の軽減や外集団との闘争における勝率を向上するための手段の一つであったとされる (Fisher, 1982 井沢・熊田 (訳), 1998)⁶⁴。つまり伝統的な婚姻関係において、結婚相手であるパートナーは当事者である個人が任意に取捨選択するものではなく、当事者以外の第三者——主に家長——によって外的に決定されるものとされる。こうした伝統的な婚姻の慣習は、近代の日本や中国・インドをはじめとする東アジアおよび南アジア社会で顕著であるとされる (Bejanyan, Marshall, & Ferenczi, 2014, 2015; Lalonde, Hynie, Pannu, & Tatla, 2004)⁶⁵。例えば、近代日本では仲人を介した見合い結婚が主流であり (Benedict, 1946 角田 (訳), 2008; Caldwell, Reddy, & Caldwell, 1988)、1960 年代までは結婚全体の過半数が見合い結婚であった^{66, 67}。また、インドではカースト制度により社会階層間

た、Kamo (1993) や Kaufman & Taniguchi (2016) とは異なり、彼らのデータには日本とアメリカは含まれていない。

⁶⁴ ここでの文化的慣習はあくまで社会的な承認に基づく婚姻関係に関するものであり、Fisher は婚外交渉 (配偶者以外の相手と性交渉を行うこと) が起こる場合や、配偶者と第三者の婚外交渉を許可する場合もあるとしている (Fisher, 1982 井沢・熊田 (訳), 1998)。

⁶⁵ こうした恋愛関係において家族間のつながりを重視する傾向を、Lalonde らは家族中心主義 (family allocentrism) と呼んでいる (Lalonde et al., 2004)。

⁶⁶ 国立社会保障・人口問題研究所 (2015)。「出生動向基本調査 (結婚と出産に関する全国調査)」より。1930 年代における日本の見合い結婚の割合は約 70% であり、1960 年代までは過半数が見合結婚である。その後見合い結婚の割合は徐々に減少し、2015 年時点では約 5% となっている。

⁶⁷ ただし日本において仲人を介した見合い結婚は、もともとは武士階級 (人口の一割程度) に

の移動が社会的に制限されており、身分を超えた結婚相手の取捨選択が困難である。これに加え、結婚相手は主に家族によって決定され、離婚や再婚⁶⁸に対して厳しい社会的罰則が課されていた (Gilmartin, 1997)。

一方で、こうした恋愛関係の形成や維持に際して当事者以外の第三者が介入する文化的慣習は、現代のアメリカやカナダといった北米社会では一般的ではない。例えば Lalonde らは、アメリカやカナダなどの北米社会における恋愛関係は、あくまで当事者である個人間の私的な結びつきであると論じている (Lalonde et al., 2004)。またアメリカでは核家族が主流であり、一般的に結婚した個人は家族から離れて独立の世帯を形成し生活する (Sussman, 1959)⁶⁹。こうした社会における婚姻関係とは、異なる血縁集団間の同盟関係ではない。むしろ北米社会における結婚とは、人間の基本的な欲求を満たし、個人を孤独から解き放つための手段、すなわち個人の幸福を増大させるための手段である (Diener, Suh, Eunkook, & Oishi, 2000)。こうした社会では、恋愛関係のパートナーは個人が自らの選好に基づいて自由に取捨選択するものであると考えられている。

このように先行研究は、社会環境によって恋愛パートナーの取捨選択の自由度が異なることを示唆している。しかしながら、恋愛パートナーの取捨選択の自由度それ自体を直接測定し、恋愛関係の流動性が恋愛関係における人間の行動や心理に与える影響を検討した研究はまだない。そこで本論文は、当該の社会環境における恋愛関係の取捨選択の自由度——すなわち恋愛関係流動性が、人間の恋愛行動や恋愛心理に与える影響を検討する。

関係流動性が恋愛行動と恋愛心理に与える影響

では、こうした社会環境における恋愛関係流動性の差異は、第1章で紹介したパートナーの獲得および保持行動やそれを支える心理に対してどのような影響を与えるのだろうか。以下では、恋愛関係における自己価値誇示やコミットメント・シグナリングなどのシ

のみ見られる限定的な慣習であったとする研究もある (阪井, 2007)。阪井は、国家の啓蒙活動によって近代化とともに自由恋愛に基づく結婚が統制され、見合い結婚が社会的な規範として定着する過程を論じている。

⁶⁸ インドにおける再婚を禁止する文化的慣習として、寡婦を夫の亡骸と一緒に火葬するサティーが挙げられる (Gilmartin, 1997)。この文化的慣習は 1829 年に法律上禁止されているが、禁止後もしばしば実行されているとされる。サティーを拒否した場合、当該の女性は社会階層 (カースト) から排斥されてしまう (Bernier, 1891 関 (訳), 2001)。

⁶⁹ 核家族とは、両親または養育者と子どもを中心とする独立世帯のことである。核家族は経済的に独立した世帯だが、血縁者からの補助を受けるなど定期的な交流は保たれている (Sussman, 1959)。多くの場合、核家族は長子を除く子世帯によって形成され、長子は生家に残り親世帯と同居することが一般的である。経済成長期のアメリカでは、当時の社会学者の推奨もあり核家族世帯が増加した。しかし、その後は徐々に核家族を拡張した家族様式 (両親または養育者と子ども以外の血縁者が同居) が増加している (Ruggles, 1994)。

グナリング行動 (Greenlees & McGrew, 1994; Zahavi, 1975, 1977) や、こうした恋愛行動を支える親密性や情熱などの愛 (Frank, 1988; Gonzaga et al., 2008)、そしてパートナー保持行動 (Buss & Shackelford, 1997; Buss et al., 2008) のそれぞれについて、関係流動性の高低がその有効性にいかなる影響を与えるかを述べる。

関係流動性がシグナリング行動とそれを支える心理に与える影響

恋愛関係において異性を自らに惹きつけ、パートナーとして選ばれ続けるため行動方略であるシグナリング行動には、自らが持つ優れた遺伝子型や能力を他者に示す自己価値誇示や、恋愛パートナーに対する自己の排他性を示し相手に長期的な関係形成を約束するコミットメント・シグナリングがある。では、社会環境における恋愛関係流動性は、これらの行動方略の有効性にどのような影響を与えるのだろうか。

自己価値誇示やコミットメント・シグナリングなどの積極的なシグナリング行動の有効性は、恋愛関係流動性の高い社会環境においてより有効となるだろう。先述のように、恋愛関係流動性の高い社会環境には恋愛パートナーの選択機会が豊富にあり、個人は任意にパートナーを選択あるいは組み替えることができる。こうした社会環境では、魅力的な異性の獲得をめぐる激しい競争が生じる (Barclay, 2013; Noë & Hammerstein, 1994, 1995)。こうした競争に打ち勝ち魅力的な異性を獲得するためには、自らが他者よりも優れたパートナー候補であることを示す必要がある。それゆえにこうした社会環境では、自己価値誇示を通じて自らの優れた遺伝子型や能力の高さをシグナルすることが有効になる (Nedelec & Beaver, 2014; Wheatley et al., 2014)。加えて、恋愛関係流動性が高い社会環境では、その乳関係の選択肢の豊富さゆえに機会コストが高く (山岸, 1998)、関係の解消可能性が高い (Schug et al., 2010)。これによって生じるパートナーからの裏切りの不安は、パートナーとの相互関係の形成に個人を躊躇させる (Frank, 1988)。それゆえにこうした社会環境では、自発的に代替関係の選択機会を放棄することを通じてパートナーとの関係に対する自らの排他性を証明するコミットメント・シグナリング (Gonzaga et al., 2008; Schug et al., 2010; Yamaguchi et al., 2015) が有効となる。

またそれゆえに、こうしたコミットメント・シグナリング行動を支える心理である親密性や情熱といった愛も、恋愛関係流動性が高い社会環境においてより高くなるだろう。こうした対人心理を高く持つことは恋愛関係におけるコミットメント・シグナリング行動の準備状態を整え、魅力的な恋愛パートナーの獲得機会において積極的なシグナリング行動の実行を可能にする (Haselton & Buss, 2000)⁷⁰。もちろん親密性が引き起こすソーシャルサ

⁷⁰ Haselton & Buss (2000) は、false-positive (第1種の過誤：誤検出) と false-negative (第2種の

ポートの提供 (Rini, Schetter, Hobel, Glynn, & Sandman, 2006) は無駄に終わる場合もある。また情熱によるパートナーの過度な理想化は (Gunaydin & DeLong, 2015)、質の低い関係に個人を固執させることにもなる。しかし流動的な恋愛関係市場では、これらの行動を起こした場合のコストよりも、行動せずにパートナーを獲得できない方が大きなコストになる。このため、積極的なコミットメント・シグナリング行動の準備状態である親密性や情熱を持つことが有効となるだろう。

一方、恋愛関係流動性が低い社会環境では、こうした自己価値誇示やコミットメント・シグナリングの有効性は相対的に低くなるだろう。恋愛関係流動性が低い社会環境では、個人の任意による恋愛パートナーの取捨選択が困難である。こうした社会環境では、自己価値誇示を通じて自己の魅力度を異性に示したとしても、異性を惹きつけることは難しく、仮に惹きつけられたとしても相手と関係を形成することは難しい。このため自己価値誇示行動の有効性は低くなるだろう。また低関係流動性環境では、その代替関係の選択肢の乏しさゆえにパートナーに裏切られ関係を解消されるという不安が生じにくい。こうした社会制度や慣習によって関係の長期性が外的に保障される社会環境においては (山岸, 1998)、パートナーに対して積極的に自らの誠実さを示し相手に安心を提供する必要性が高く、コミットメント・シグナリングの有効性も低くなるだろう。それどころか、低関係流動性環境ではこれらのシグナリング行動は個人にとって不利益を生じかねない。自分が他者よりも優れたパートナー候補であることを示す自己価値誇示は、他者からの妬み (envy)⁷¹ を生じ、他者からの攻撃行動や非協力を招く (Feather, 1989; Gino & Pierce, 2009, 2010; Lee & Gino, 2015)。またコミットメント・シグナリングによるパートナー以外の対人関係の放棄は、既存の社会ネットワーク内に不和を生じかねない。代替関係の選択肢が乏

過誤：見逃し) のコストに非対称性があるとき、人間はよりコストが高い方を回避するような心理傾向を獲得すると論じている。例えば、男性は女性からの好意を過大評価する傾向を持つ。このことは、男性にとって女性からの好意を過大評価し (false-positive) 拒絶されるコストよりも、女性からの好意を見逃し (false-negative) 生殖機会を失う方がより大きなコストとなるためだと解釈される。なぜなら、妊娠・出産を女性に依存する男性にとって、生殖機会の喪失は自らの包括適応度を下げる重大な損失になるからである。

⁷¹ 妬み (envy) は、他者が自分よりも優位な状態におかれた場合に喚起される対人感情である。日常語において妬みはしばしば嫉妬 (jealousy) と混同されるが、先行研究は両者を異なる行動を導く感情として区別している (Ramachandran & Jalal, 2017; Spitzberg & Cupach, 1998 谷口・加藤 (監訳), 2008)。Ramachandran & Jalal (2017) は、妬みは優れた他者の模倣 (emulation) を通じて優れた他者と類似した地位や資源を独立に得ようとする行動を導くのにに対し、嫉妬は他者の地位や資源そのものを奪い取る行動を導くとしている。ただし妬みと嫉妬の明確な定義は研究者によって定義が分かれる (Salovey & Rodin, 1986 for review)。一般的には、友人関係や仕事関係に関しては妬みが (Lee & Gino, 2015)、恋愛関係における嫉妬について言及する場合は、妬みよりも嫉妬 (特に性的嫉妬 sexual jealousy) が用いられることが多い (Brewer & Riley, 2009; Buss et al., 1992; Buunk et al., 1996)。

しい低関係流動性環境において、こうした行動は、既存の社会関係を悪化させ社会的排斥を導く行動として忌避されるだろう (山岸, 1998; Yamagishi & Yamagishi, 1994)。このため関係流動性が低い環境では、むしろ自己価値誇示やコミットメント・シグナリングは有効ではない行動となる可能性も考えられる。

それゆえに、こうした社会環境ではコミットメント・シグナリングを支える心理である親密性や情熱の有効性も相対的に低くなるだろう。それだけでなく、親密性に基づく外的なお節介は、かえってパートナーに負債感を与え、相手との関係を悪化させる可能性がある。また情熱によってパートナーに対し過度に盲目的になることは、パートナー以外の社会関係に不和を生じかねない。このため、むしろパートナーに対して親密性や情熱を高く持つことは有効でない可能性も考えられる。

関係流動性がパートナー保持行動に与える影響

恋愛関係におけるもう一つの重要な行動方略が、パートナー保持行動である。一度獲得した魅力的なパートナーをライバルに奪われないための行動には、パートナーに対する積極的な資源投資を通じて相手が自分との関係に留まるインセンティブを高める利益提供や、パートナーに近づいてくるライバルをけん制することでパートナーとライバルの接触を制限するコスト賦課がある (Buss, 2002; Buss et al., 2008; Shackelford, Goetz, et al., 2005)。では、社会環境における恋愛関係流動性は、こうした利益提供やコスト賦課の有効性にどのような影響を与えるのだろうか。

利益提供やコスト賦課といったパートナー保持行動は、恋愛関係流動性が高い社会環境においてより有効となるだろう。ここまで述べてきたように、恋愛関係流動性が高く、個人が自由にパートナーを取捨選択できる社会環境では、人々は自分にとって魅力的でない関係を解消し、より魅力的な代替関係に乗り換えようとする (Yamagishi, 2011)。このことに加え高恋愛関係流動性社会環境では、すでに特定の相手と排他的な関係を形成していた場合でもライバルにパートナーを奪われるリスクが高い (鬼頭・山田・結城, 2014; Kito et al., 2014; Schmitt et al., 2004)。こうしたパートナーの奪い合いが激しい環境では、パートナーが自分との関係に留まるインセンティブを高める行動や、パートナーを自分以外の異性から引き離し囲い込む行動が有効となる (Schacht & Bell, 2016)⁷²。このため、パートナーに対して贈り物や称賛を与える利益提供行動や、パートナーに対してライバルの悪口を吹き

⁷² Schacht & Bell (2016) のシミュレーション研究では、競争の指標として実効性比を想定している (恋愛関係市場における女性の供給量を操作)。ただし、実効性比に基づく理論モデルと、関係流動性理論のように社会関係を市場になぞらえるモデルはいずれも理論的に同じ結論が導出される (Noë & Hammerstein, 1994)。

込むコスト賦課行動が有効となる (Buss, 1988a; Buss & Shackelford, 1997; Shackelford, Goetz, et al., 2005)。

一方、恋愛関係流動性が低く恋愛関係の長期的な維持が社会的に保障されているような社会環境では、利益提供やコスト賦課といった積極的なパートナー保持行動の必要性は低くなる。恋愛関係流動性が低い社会環境では、個人が自由にパートナーを乗り換えることが難しい。それゆえにパートナーをライバルに奪われる可能性が低く、利益提供行動を通じてパートナーを自分との関係に留める行動や、コスト賦課行動を通じてパートナーとライバルを引き離す行動の有効性は低い。それだけでなく、むしろ恋愛関係流動性の低い社会環境において、利益提供やコスト賦課はかえって個人にとって不利益を生じうる可能性がある。特にコスト賦課は、ライバルやパートナーの悪口を流布したり、パートナーに近づくライバルを物理的に攻撃したりすることを通じて、パートナーを保持する行動である (Buss et al., 2008)。しかし、こうしたパートナーの交友関係を制限する行動はパートナーに心理的負担を与え、また近づいてきたライバルに直接攻撃を加えることは相手から反撃されるリスクを伴う (Buss, 1988a; Buss & Shackelford, 1997; Miner et al., 2009)。恋愛関係流動性が低く代替関係への乗り換え難しい社会環境では、コスト賦課によるパートナーとの関係悪化は大きな不利益となる。またライバルが同じ社会集団に所属している場合、悪口を流布したり直接攻撃したりするため、相手からの反撃はもちろん、所属する社会集団の中に不和を生じかねない。それゆえに、利益提供やコスト賦課といったパートナー保持行動の有効性は低くなるだろう。

本論文における第一の検討課題

以上の議論を踏まえ本論文は第一の検討課題として、恋愛関係の取捨選択の自由度——すなわち恋愛関係流動性が、ヒトの恋愛行動や恋愛心理に与える影響を検討する。これまで述べてきたように、先行研究は、恋愛関係の取捨選択の自由度が社会環境によって異なることを示唆してきた。しかし、恋愛関係の流動性を直接測定した研究はまだない。そこで本論文では、社会環境における恋愛関係流動性を測定し、恋愛関係流動性が恋愛関係におけるシグナリング行動やそれを支える心理である親密性や情熱、およびパートナー保持行動に与える影響を検討する。

第一の検討課題における具体的な予測は次の通りである。第一に、魅力的な異性を自らに惹きつけるための自己価値行動およびコミットメント・シグナリング行動は、いずれも低関係流動性社会環境よりも高関係流動性社会環境において有効だろう。第二に、こうした恋愛行動を支える対人心理である親密性や情熱といった対人心理もまた、低関係流動性社会環境よりも高関係流動性社会環境においてより高いだろう。そして第三に、恋愛パー

トナーをライバルから保持するための利益提供行動およびコスト賦課行動は、いずれも低関係流動性社会環境よりも高関係流動性社会環境でより有効だろう。

しかし、ここまで展開した本論文の理論には一つの限界がある。それは、人間の恋愛行動や恋愛心理に影響を与える要因として、社会環境要因である恋愛関係流動性のみを想定している点である。当然ながら、同じ関係流動性の高いあるいは低い社会環境であっても、その中で生きる個人の行動や心理には分散がある。先行研究は、こうした個人差のうち、恋愛関係市場における個人の魅力度である配偶価値 (Pawłowski & Dunbar, 1999a) によって、人間の恋愛行動が影響を受けることを明らかにしている。こうした個人要因の影響もまた、人間の恋愛行動やそれを支える心理を理解する上で考慮すべきであろう。そこで本論文では第二の検討課題として、社会環境要因である恋愛関係流動性と個人要因の双方に注目し、これら要因の交互作用効果が、人間の恋愛行動に与える影響を検討する。

3-3. 恋愛関係流動性と個人の配偶価値の交互作用効果

ここまで本論文では、社会環境要因である恋愛関係流動性が人間の恋愛行動や恋愛心理に与える影響について述べてきた。しかし先行研究は、社会環境要因以外にも人間の恋愛行動に与える要因を明らかにしている。それが、恋愛関係市場における個人の魅力度である配偶価値 (Pawłowski & Dunbar, 1999a) である。たとえ同じ社会環境を共有していたとしても、個人の配偶価値には分散がある。社会環境要因である恋愛関係流動性と、個人要因である配偶価値とが絡み合うことで生じる効果は、人間の恋愛行動にいかなる影響を与えるのだろうか。恋愛関係流動性と配偶価値の交互作用効果に関する具体的な理論仮説を述べるにあたり、以下ではまず恋愛関係における個人の配偶価値に関する先行研究の知見を紹介する。

配偶価値を規定する要因

恋愛関係において、個人は自らの適応度⁷³を最大化するような特性を持った相手——例えば当該の生態環境における生存において有利になる遺伝子型や高い生殖能力、あるいは長期的な関係維持の見込みが高い異性を好む (Buss, 1989; Furnham, 2009; Shackelford,

⁷³ ここでの適応度は、特に繁殖成功度 (reproductive success) を指している。繁殖成功度は、性交を通じて個体が生涯に残した子どもの数によって個体の適応度を表される (Crognier, 2003)。このため、繁殖成功度においては個体の遺伝子の頻度については仮定されていない。これに対して包括適応度 (Hamilton, 1964) は、生涯に残した子どもの数だけでなく、その子が残した孫や親戚など、個体と同じ対立遺伝子を共有する個体全てまで対象に含んでいる。協力行動や利他行動といった人間の社会行動に関しては、繁殖成功度よりも包括適応度に基づいて議論されることが多い。

Schmitt, et al., 2005)。こうした恋愛関係市場において好まれる特性をどの程度持っているかが、配偶価値 (mate value) である (Kamble, Shackelford, Pham, & Buss, 2014; Pawłowski & Dunbar, 1999a)。

恋愛関係において好まれる特性には性差がある (e.g., Buss, 1989; Furnham, 2009; Shackelford et al., 2005)。これは、生殖における養育への投資量に性の非対称性があることに起因する (Trivers, 1974; Trivers & Campbell, 1972)。ヒトを含め有性生殖を行う動物の多くは、男性よりも女性の方が養育に投資する。例えば女性は男性よりも大きな配偶子を生成し⁷⁴、妊娠出産を担う (Matsuda & Abrams, 1999; 長谷川, 2002; Trivers & Campbell, 1972)。男性は配偶子 (精子) を低コストで量産できるが、妊娠に必要な生殖器官を持たないため生殖の成功を女性に大きく依存する (Trivers & Campbell, 1972)。このため男性は、子どもをたくさん生んで育ててくれる女性を好むようになる。よって恋愛関係市場では、若く⁷⁵、腰のくびれた (Singh, 1993)、高い生殖能力を持つ女性ほど配偶価値が高くなる (Buss, 1989; Sorokowski, Kościński, Sorokowska, & Huanca, 2014)。

一方、女性は配偶子 (卵子) の生産コストが高く量産ができず、生涯の生殖機会に限られる。このため女性は、限られた生殖機会の中で自らの適応度を最大化するために、生まれてくる子どもが性的に成熟するまで生き延びられるような遺伝型を持つ男性や、継続的な養育資源を供給してくれる男性を好むようになる。よって恋愛関係市場では、学歴や社会的地位が高く、優れた遺伝子型や資源獲得能力を持つ男性ほど配偶価値が高くなる (Buss, 1989; Buss & Barnes, 1986; Farrelly et al., 2016; Furnham, 2009; Shackelford, Schmitt, et al., 2005)。

配偶価値が恋愛行動に与える影響

先行研究は、個人が自らの配偶価値に応じて恋愛関係における行動を調整することを明らかにしている (Pawłowski & Dunbar, 1999a)。こうした配偶価値など一定の条件に基づい

⁷⁴ ヒトのように異なるサイズの配偶子が接合する生殖は、異形配偶子接合 (anisogamy) と呼ばれる。一方、単細胞緑藻であるクラミドモナスなど、同じサイズの配偶子が接合する生殖は同形配偶子接合 (isogamy) と呼ばれる。同形配偶子接合よりも異形配偶子接合の方が、一般的にコストが低いとされるが (Matsuda & Abrams, 1999)、異形配偶子接合は種内の遺伝的多型を維持することで同形配偶子接合よりも寄生者への対抗力が強いとされる (赤の女王仮説; van Valen, 1973)。

⁷⁵ 女性の生殖能力は 10 代後半から 20 代前半にかけてピークを迎え、その後急落するとされている (Thornhill & Wilmsen Thornhill, 1983)。妊娠のピーク自体は 20 代前半だが、年齢が若いほど生涯に残された配偶機会が多い。また先行研究は、高齢出産になるほど母子の健康が損なわれやすいことを示している (Sauer, 2015)。ただし年齢と子どもの疾病リスク (e.g., 自閉症や統合失調症の発症リスク) の関係は母子だけではなく父子でも見られる (Bhandari, Sandlow, & Brannigan, 2011; Brown et al., 2002; Dunson, Baird, & Colombo, 2004)。

て個体が自らの行動を調整する戦略は、行動生態学において条件付き戦略 (conditional strategy) と呼ばれる (Gross, 1996; Lee, 2005)。これまでの研究は、恋愛関係において複数の戦術 (tactic)⁷⁶ が存在するとき、それぞれの戦術の有効性は絶対的なものではなく、その戦術を実行する個体自身の相対的な配偶価値によってどの戦術が最も有利となるかが異なることを示している。

例えば先行研究は、恋愛パートナーの獲得・保持戦略には、戦術したように自己価値誇示やコミットメント・シグナリングなど複数の戦略がある。このとき、いずれの戦術が有利となるかは、当該の恋愛関係市場における個人の相対的な配偶価値によって決まる。行動生態学では、こうした配偶価値の高さが恋愛パートナーの獲得戦術の使い分けを生み出すことを示している。例えば、ナタージャックヒキガエル (*Bufo calamita*) のオスは、自分の配偶価値の指標である体サイズ⁷⁷に応じて、鳴き戦術 (calling) とスニーク戦術 (sneaking) を使い分ける (Arak, 1983, 1988)。体が大きく魅力的なオスは鳴き戦術で多くのメスを惹きつけるが、体の小さなオスはスニーク戦略により魅力的なオスが惹きつけたメスを盗みとろうとする。オスの鳴き声は体サイズによって決まり、声が大きいのほどより多くのメスを惹きつけることができる。体の小さなオスの鳴き声は体の大きなオスの鳴き声にかき消されてしまう。このため配偶価値の低い小さなオスにとっては、鳴き戦術をとるよりもスニーク戦術の方が有利な戦術となる。

こうした配偶価値による戦術の使い分けは、人間でも見られるだろう。恋愛関係市場における外見的魅力や社会的地位などのシグナルは、多くの異性を惹き付け魅力的なパートナーの獲得機会を増やすことができる (Fisher & Cox, 2011; Kurzban & Weeden, 2005, 2007)。このため配偶価値が高く優れた遺伝子型や生殖能力を有する個人は、そうした自らの質の高さを誇示する自己価値誇示を積極的に行う (Greenlees & McGrew, 1994)。一方で、配偶価値の高い個人は特定の相手とのコミットメントを避ける傾向があることも知られている (Ellis, Simpson, & Campbell, 2002; Jonason & Buss, 2012; Simpson & Gangestad, 1992)。このため配偶価値の高い個人に比べて、配偶価値が低い個人の方がパートナーとの関係により強くコミットする (Buss, 2015)⁷⁸。よって配偶価値の低い個人は、配偶価値の高い個人よ

⁷⁶ 行動生態学では、戦略 (strategy) と戦術 (tactic) という用語は区別される (Davies, Krebs, & West, 2012; 展之・庸憲, 2012)。戦略とは遺伝的に規定された行動を意味し、戦術とは遺伝的に規定された行動のバリエーションを意味している。

⁷⁷ ナタージャックヒキガエルにおけるオスの競争力は体サイズに正比例している。オスは縄張りを巡り競争するが、体サイズが大きいオスほど競争で勝利しやすい (Arak, 1988)。

⁷⁸ たとえば配偶価値の高い男性はパートナーに不貞の疑いがある場合すぐにパートナーとの子に対する養育投資を減らす傾向にあるが、配偶価値の低い男性は養育投資を減らしにくい傾向にある (Buss, 2015)。

りもコミットメント・シグナリングを行うだろう^{79, 80}。

こうしたパートナー獲得戦略と同様、配偶価値が恋愛関係におけるパートナー保持行動に影響を与えることを示している (Brewer & Riley, 2009; Buss, 2015; Buss & Shackelford, 1997; Krems, Neel, Neuberg, Puts, & Kenrick, 2016)。配偶価値の高い個人に比べて配偶価値が低い個人は恋愛関係市場における競争力が弱く (Pawłowski & Dunbar, 1999a)、第三者であるライバルにパートナーを奪われる⁸¹可能性が高い。事実、配偶価値の低い個人はそうでない個人よりも高い嫉妬⁸²を感じており、パートナーをライバルに奪われるリスクをより強く感じている (Brewer & Riley, 2009)。このため配偶価値の低い個人ほど、より積極的にパートナー保持に従事しやすいだろう。加えて、配偶価値はパートナー保持における戦術の使い分けにも影響を与える。恋愛関係におけるパートナー保持戦略には、利益提供とコスト賦課がある (Buss et al., 2008)。先行研究は特にこうしたパートナー保持行動が男性にとって重要であるとした上で、配偶価値が高い男性は利益提供を用いる傾向にあり、配偶価値が低い男性はコスト賦課を用いる傾向にあることを示している (Buss, 1988a; Buss & Shackelford, 1997; Miner et al., 2009)。パートナーに対して積極的に贈り物や賞賛を贈る利益提供戦術は、パートナーである女性を自分との関係に留めやすいが、その実行には豊富な資源が必要となる。一方で、相手の行動を監視・制限するコスト賦課は、パートナーである女性に対して心理的な負担を与え、またライバルから反撃されるリスクが伴う。しかし、利益提供に比べて実行に必要なとされる資源が少ない (Buss, 2002; Buss et al., 2008)。このため、提供可能な資源を潤沢にもつ配偶価値の高い個人は利益提供を行うが、そうした資源に乏しい個人はコスト賦課を通じてパートナーを保護しようとする。

恋愛関係流動性と個人の配偶価値の交互作用効果

ここまで述べてきたように、人間の恋愛行動は、社会環境要因である恋愛関係流動性と、個人要因である配偶価値のそれぞれに影響を受ける。たとえ同じ社会環境の中でも、その中に生きる個人の特性には分散がある。例えば自己価値誇示やコミットメント・シグ

⁷⁹ 自己価値誇示のように個人の遺伝的形質をシグナルする戦術と、コミットメント・シグナリングのように相手への継続的投資をシグナルする戦術は、それぞれ良い遺伝子 (good gene) と良い養育者 (good parent) と対比される (Iwasa & Pomiankowski, 1999)。

⁸⁰ 条件付き戦略など個体が複数の戦術を使い分ける場合、しばしば優位個体が平均的に優れた戦術を取り、劣位個体は平均的に劣った戦術 (make the “best of the bad job”) をとると論じられるが、戦術間だけでなく同一の戦術内でも個体が得る利得は状況とともに変化するため、一概にいずれの戦術が優れていると論じることができない (Lee, 2005)。

⁸¹ ここでは、ライバルである第三者の能動的な働きかけによってパートナーが奪われる場合と、パートナー自身がより魅力的な異性を見つけて当該個人との関係を解消し去っていく場合の両方を含めて奪われると表記している。

⁸² 嫉妬 (jealousy) と妬み (envy) の定義および区別については、脚注 71 を参照されたい。

ナリングは高恋愛関係流動性社会において有効だと考えられるが、先行研究はこれらの戦術の有効性に個人差があることを示している。人間の恋愛行動や恋愛心理をより精緻に理解するためには、社会環境要因と個人要因の影響をそれぞれ単一に扱うのではなく、その交互作用がもたらす効果を明らかにする必要があるだろう (Kim & Markman, 2013; Na et al., 2010)⁸³。そこで本論文では、恋愛関係におけるシグナリング行動やパートナー保持行動に対する個人の配偶価値の効果が、社会環境の恋愛関係流動性によって異なると予想する。では、恋愛関係流動性が高い社会環境と低い社会環境において、恋愛行動に対する配偶価値の効果はどのように異なるのだろうか。

恋愛関係流動性が高い社会環境では、恋愛行動の選択に対する個人の配偶価値の効果が強いだろう。先述のように、恋愛関係流動性が高く競争的な恋愛関係市場では、魅力的な異性を自分に惹き付けるための自己価値誇示やコミットメント・シグナリング、および一度獲得したパートナーをライバルに奪われないための利益提供やコスト賦課といった積極的な恋愛行動が必要となる (Falk et al., 2009; Fisher & Cox, 2011; Kurzban & Weeden, 2005, 2007; Schug et al., 2010; Yuki & Schug, 2012)。しかし、自己価値誇示や利益提供といった戦術の実行には、実際に行方者である個人が優れた遺伝子型や高い生殖能力を持っている必要がある。先述したナタージャックヒキガエルの例のように (Arak, 1983, 1988)、配偶価値が低くそうした資質を持たない個人が自己価値誇示や利益提供を行っても、配偶価値の高い個人との競争に勝つことは難しく、そうした戦術に注いだ資源が無駄になってしまう可能性が高い。このため、これらの戦術は配偶価値の高い個人にとっては有利になるが、配偶価値の低い個人にとっては有用性の低い戦術になる。

一方で、コミットメント・シグナリングやコスト賦課は、自己価値誇示や利益提供に比べて、実行に必要とされる資源が少ない。その反面、より魅力的な異性の獲得機会の損失や (Ellis et al., 2002; Jonason & Buss, 2012; Simpson & Gangestad, 1992)、パートナーとの関係悪化およびライバルからの反撃など (Buss, 1988a; Buss & Shackelford, 1997; Miner et al., 2009; Salkicevic, Stanic, & Grabovac, 2014) リスクも高い。配偶価値が高い個人にとっては、自己価値誇示や利益提供の実行に費やすコストよりも、魅力的な異性の獲得機会の喪失やパートナーとの関係悪化コストの方が高い (Miner et al., 2009)。このため、配偶価値の高い個人にとってこうした戦術の有効性は低い。一方で、配偶価値の低い個人にとっては、こ

⁸³ Na ら (2010) は、国を単位として得られたパターンを個人のパターンとして論じることの問題を指摘している。例えば多国間比較データに基づいて国ごとの関係流動性および自己価値誇示行動の平均値の間に正相関がみられたとしても、それは関係流動性が高い社会環境に暮らす個人が一様に自己価値誇示を行うことを意味しない。国を単位として変数間の相関が得られた場合であっても、国の内部で得られうる相関のパターンには、a) 正相関、b) 無相関、c) 負相関のいずれもが考えられうる。

これらの戦術の方が有利となる。配偶価値の低い個人は、自己価値誇示や利益提供を行っても配偶価値の高い個人との競争に勝つ可能性が低い。このため、より魅力的な異性の獲得を目指して他者と協力するよりも、特定の相手と排他的な関係を形成しパートナーを保持していた方がより確実に自分の子孫を残せる可能性が高い。

このように、恋愛関係流動性が高く魅力的な異性を巡る競争が激しい社会環境では、個人は自らの配偶価値に応じて恋愛行動を調整するだろう。このため、恋愛関係流動性が高いほど、個人の配偶価値の効果が強いと考えられる。一方、恋愛関係流動性の低い社会環境では、こうした恋愛行動に対する個人の配偶価値の効果は相対的に弱くなるだろう。恋愛関係流動性が低い社会環境では、個人の任意によるパートナーの取捨選択が困難である一方で (Benedict, 1946 角田 (訳), 2008; Fisher, 1982 井沢・熊田 (訳), 1998)、一度確立した社会的関係の長期性は社会的に保証される (Yamagishi, 2011; Yamagishi et al., 2008)。こうした社会環境では、そもそも積極的なシグナリング行動を通じて異性を惹きつける必要性や、ライバルからパートナーを保持する必要性が低い。このため個人の配偶価値によらず、自己価値誇示やコミットメント・シグナリングといったパートナーを惹きつけるための戦術、および利益提供やコスト賦課といったパートナー保持戦術は総じて有効性が低い戦術となる。このように、恋愛関係流動性の低い社会環境では、個人の配偶価値に応じた恋愛行動の調整は見られにくいため、こうした社会環境では恋愛行動に対する個人の配偶価値の効果は相対的に小さくなるだろう。

本論文における第二の検討課題

以上の議論を踏まえ本論文では第二の検討課題として、社会環境要因である恋愛関係流動性と個人要因である配偶価値の交互作用効果が、人間の恋愛行動に与える影響を検討する。第一の検討課題において、本論文では社会環境特性である恋愛関係流動性が人間の恋愛行動や恋愛心理に与える影響に着目した。しかし、人間の恋愛行動に影響を与える要因は社会環境要因だけではない。先行研究が示すように、個人要因である配偶価値もまた、人間の恋愛行動に影響を与える。これまで、こうした社会環境要因と個人要因の交互作用が人間の恋愛行動に与える影響を検討した研究はない。そこで本論文では、社会環境の恋愛関係流動性と個人の配偶価値の交互作用効果が、恋愛関係におけるシグナリング行動やパートナー保持行動に与える影響を検討する。

第二の検討課題における具体的な予測は次の通りである。第一に、配偶価値の高い個人ほど恋愛関係において自己価値誇示や利益提供を行い、配偶価値の低い個人ほど恋愛関係においてコミットメント・シグナリングやコスト賦課を行うだろう。第二に、配偶価値の高い個人に比べ、配偶価値の低い個人の方がより積極的にパートナー保持行動に従事する

だろう。そして第三に、こうした恋愛行動に対する個人の配偶価値の効果は、恋愛関係流動性が低い社会環境よりも恋愛関係流動性が高い社会環境においてより強いだろう。

3-4. 検討課題のまとめと実証研究の概要

最後に、本論文の検討課題をまとめる。本論文の検討課題は、大きく2つある。第一の検討課題は、社会環境要因の一つである恋愛関係流動性が、人間の恋愛行動や恋愛心理に与える影響の検討である。検討にあたり本論文では、恋愛関係流動性が異なる社会環境であると考えられる日本（低関係流動性社会）とアメリカおよびカナダ（高関係流動性社会）の間で国際比較を行う。そして、社会環境における恋愛関係流動性が、恋愛関係においてパートナーを惹きつけるためのシグナリング行動である利益提供（研究 1-1）やコミットメント・シグナリング（研究 1-2）、そしてこうした恋愛行動を支える心理である親密性（研究 2-1）や情熱（研究 2-2）に与える影響を検討する。

第一の検討課題に取り組むことの意義として、大きく2つのことが挙げられる。第一の意義は、進化心理学理論に対して新たに社会環境の多様性の視点を加えることで、従来の理論モデルをさらに発展させる点である。これまで進化心理学は、適応の観点からヒトの恋愛行動や恋愛心理の一般的傾向を見出してきた。しかし、従来の研究は北米中心に行われ、また社会環境の多様性についてはあまり議論されてこなかった。本論文は、社会生態学的アプローチに則り、ヒトが集合的に作り上げた多様な社会環境の影響に着目する。こうした社会の多様性の視点は、従来の進化心理学的理論をより一般化可能性の高い理論へ発展させることに寄与するだろう。第二の意義は、文化心理学研究に対して適応論をメタ理論として導入することの有用性を提案し、従来の研究における個別理論をする理論の構築に貢献する点である。これまで文化心理学では、国や地域によって人間の社会行動や社会心理が異なることを明らかにしてきた。しかし、従来の研究ではこうした文化差に対して個別に説明が与えられ、個々の説明を包括する理論が不足していた。本論文は、恋愛行動や恋愛心理の社会差を、その行動や心理が当該の社会環境で生きる上でいかに有利であるかという一つの問いに集約する。こうしたメタ理論としての適応論の導入は、従来の文化心理学における個別の説明を統合しうる一つの枠組みとして、文化心理学理論のさらなる発展に寄与するだろう。

第二の検討課題は、社会環境要因である恋愛関係個人要因である配偶価値の交互作用効果が、人間の恋愛行動に与える影響の検討である。本論文では、一つ目の検討課題と同様、恋愛関係流動性が低い社会環境であると考えられる日本と、恋愛関係流動性が高い社会環境であると考えられるアメリカおよびカナダの間で国際比較を行う。そして、社会環境の関係流動性と個人の配偶価値の交互作用効果が、恋愛関係においてパートナーを惹き

つけるためのシグナリング行動 (研究 3-1) や、パートナーをライバルに奪われないよう守るためのパートナー保持行動 (研究 3-2) に与える影響を検討する。

第二の検討課題に取り組むことの意義は、社会環境要因と個人要因の交互作用効果が、人間の恋愛行動に与える影響を明らかにする点にある。Lewin (1951) は、場の理論において人間の社会行動は、社会環境要因と個人要因が相互作用することによって生み出されると論じた。こうした社会と個人の交互作用効果の検討は、社会心理学における大きな命題の一つである。近年、文化心理学では、社会によって個人特性の効果が異なることを示した研究もいくつか報告されている (Miyamoto & Wilken, 2010; Park et al., 2013)。しかし、こうした社会と個人の交互作用を検討した研究はまだ少なく、特に人間の恋愛行動に関してこうした交互作用を検討した研究は筆者の調べた限り見つかっていない。本論文における恋愛関係流動性と配偶価値の交互作用効果の検討は、こうした数少ない社会と個人の交互作用に関する知見を新たに追加するとともに、異なる社会環境だけでなく、個人差をも同時に説明・予測しうるより一般性の高い恋愛関係に関する理論モデルの発展に寄与するだろう。

第2部：実証研究

第1部で述べた本論文の理論を踏まえ、第2部では本論文における2つの検討課題に対して本論文が取り組んだ実証研究について述べる。先述したように、本論文の検討課題は大きく2つある。第一の検討課題は、社会環境要因である恋愛関係流動性が人間の恋愛行動や恋愛心理に与える影響の検討である。第4章から第5章では、第一の検討課題に対して本論文が取り組んだ4つの実証研究について述べる。まず第4章では、恋愛関係流動性が人間の恋愛行動に与える影響を検討するために取り組んだ、2つの研究を紹介する。まず研究1-1では、恋愛パートナーを惹きつけるための行動方略の一つである自己価値誇示 (Greenlees & McGrew, 1994; Singh, 1993; Zahavi, 1975) に注目し、恋愛関係流動性が自己価値誇示行動の実行意図に与える影響を検討する。続いて研究1-2では、恋愛パートナーを惹きつけるためのもう一つの行動方略であるコミットメント・シグナリング (Frank, 1988; Gonzaga et al., 2008; Yamaguchi et al., 2015) に注目し、恋愛関係流動性がコミットメント・シグナリング行動の実行意図に与える影響を検討する。

続く第5章では、恋愛関係流動性が人間の恋愛心理である親密性や情熱といった愛 (Hatfield & Rapson, 1991; Sprecher et al., 1994; Sternberg, 1986) に与える影響を検討するために取り組んだ2つの研究を紹介する。まず研究2-1では、恋愛行動を支える心理の一つである親密性に注目し、恋愛関係流動性が恋愛パートナーに対する親密性に与える影響を検討する。続いて研究2-2では、恋愛行動を支えるもう一つの心理である情熱に注目し、研究2-1と同様、恋愛関係流動性が恋愛パートナーに対する情熱に与える影響を検討する。これに加え研究2-2では、恋愛心理である情熱が、恋愛行動であるコミットメント・シグナリングの行動意図を高める機能を持つことについても検討する。

第6章では、第二の検討課題に対して本論文が取り組んだ実証研究について述べる。本論文における第二の検討課題は、社会環境要因である恋愛関係流動性と個人要因である配偶価値の交互作用効果が、人間の恋愛行動に与える影響の検討である。まず研究3-1では、恋愛関係においてパートナーを惹きつけるための行動方略である自己価値誇示およびコミットメント・シグナリングに注目する。そして、自己価値誇示行動とコミットメント・シグナリング行動の実行意図に対する個人の配偶価値の効果が、社会環境における恋愛関係流動性によって調整されることを検討する。続く研究3-2では、恋愛関係においてパートナーをライバルに奪われないための行動方略である利益提供およびコスト賦課に注目する。そして、利益提供行動およびコスト賦課の行動の実行意図に対する個人の配偶価値の効果が、社会環境における恋愛関係流動性によって調整されることを検討する。

第4章：関係流動性が恋愛行動に与える影響に関する実証研究

本研究の目的は、社会環境特性である恋愛関係流動性が、恋愛関係において異性を惹きつけるためのシグナリング行動である自己価値誇示行動およびコミットメントシグナリング行動の実行意図に与える影響を明らかにすることである。先述したように、恋愛関係流動性が高く恋愛パートナーの取捨選択の自由度が高い社会環境では、魅力的なパートナーの獲得をめぐる競争が激しい (Buss, 2006; Noë & Hammerstein, 1994, 1995)。またパートナーの組み替えが頻繁に起こるがゆえに、個人は相手に裏切られ関係を解消される不安を感じやすい (Frank, 1988)。こうした社会環境では、自己価値誇示行動を通じて自らがパートナーとして優れた特性 (Buss, 1989; Shackelford, Schmitt, et al., 2005) を持つことを示すことや、コミットメント・シグナリング行動によってパートナーに対する自己の排他性を示すことを通じた相手への安心提供 (Frank, 1988; Gonzaga et al., 2008) が有効となる。一方で、個人の自由な恋愛パートナーの取捨選択が難しい低恋愛関係流動性社会では、積極的な自己価値誇示による異性を惹きつける必要性が低い。また、一度形成した恋愛関係はその長期性が社会的に保障されるため (Adams et al., 2004; Yamagishi et al., 2008)、相手から裏切られる不安自体を感じにくく、それゆえにこうした不安を解消するための積極的なコミットメント・シグナリング行動の必要性も低い。

以上を踏まえ、第4章では恋愛関係流動性が低いと予想される日本と、恋愛関係流動性が高いと予想されるアメリカおよびカナダの間で国際比較研究を行う。第4章で検討する具体的な予測は、以下の通りである。第一に、恋愛関係における自己価値誇示行動の実行意図は、日本よりもアメリカまたはカナダにおいて高いだろう (研究 1-1)。第二に、自己価値誇示行動の実行意図に見られる社会差は、両社会の恋愛関係流動性の差異によって説明されるだろう (研究 1-1)。第三に、恋愛関係におけるコミットメント・シグナリング鼓動の実行意図は、日本よりもアメリカまたはカナダにおいて高いだろう (研究 1-2)。第四に、コミットメント・シグナリング行動の実行意図に見られる社会差は、両社会の恋愛関係流動性の差異によって説明されるだろう (研究 1-2)。そして最後に、コミットメント・シグナリング行動の実行意図に見られる社会差は、恋愛関係流動性が高い社会環境ほどコミットメント・シグナリング行動の有効性が高いからだろう (研究 1-2)。

研究 1-1. 関係流動性が自己価値誇示に与える影響の検討

研究 1-1. の目的は、社会環境要因である恋愛関係流動性が、自己価値誇示行動の実行意図に与える影響を明らかにすることである。第 1 部で述べたように、有性動物であるヒトにとって、子孫を残し自らの遺伝子を次世代へと継承する上で恋愛パートナーの獲得は不可欠である。特にパートナー遺伝的形質や生殖能力は、生まれてくる子どもの生存可能性や将来の生殖成功度に影響を与える (Buss, 1989; Shackelford, Schmitt, et al., 2005)。このため個人は、ヒトは自らの包括適応度を最大化させるために、可能な選択肢の中からもっとも優れた遺伝的形質や高い生殖能力を持つパートナーを獲得しようとする (Buss, 1989; Buss & Barnes, 1986; Fawcett et al., 2011)。

しかし、個人が一度に関係を結べるパートナーの数には限りがある (Roberts et al., 2008)。特に一夫一妻型の恋愛関係の場合、個人は一度に一人とだけ関係を結ぶ。このため、魅力的なパートナーをめぐる個人は激しく競争しあう (Barclay, 2013; Schacht, Tharp, & Smith, 2016; Wincenciak et al., 2015)。こうした競争に打ち勝ち、魅力的な異性から自分をパートナーとして選んでもらうために有効となる戦術の一つが、自らが他者よりも優れた遺伝的形質や高い生殖能力を持つことをシグナルする自己価値誇示である (Greenlees & McGrew, 1994; Singh, 1993; Zahavi, 1975)。では、こうした自己価値誇示はいかなる社会環境においても有効と言えるのだろうか。

本研究は、こうした恋愛関係における自己価値誇示行動の有効性は、社会環境における恋愛関係流動性、すなわち恋愛パートナーの取捨選択の自由度によって異なるとの仮説を立てる。先述のように、恋愛関係流動性が高い社会環境では、個人は豊富な選択肢の中から自由にパートナーを取捨選択することができる。こうしたパートナー選択の自由度は、魅力的なパートナーをめぐる激しい競争を生み出す (Barclay, 2013; Noë & Hammerstein, 1994, 1995)。こうした激しい競争に打ち勝ち魅力的な異性からパートナーとして選ばれるためには、顔立ちや体型、経済力などを通じて自らの優れた遺伝子型や生殖能力の高さをシグナルする自己価値誇示が有効となる (Nedelec & Beaver, 2014; Wheatley et al., 2014)。

一方、恋愛関係流動性の低い社会環境では、恋愛パートナーはしばしば当事者以外の第三者によって決定され、個人の任意によるパートナーの取捨選択が難しい (Adams, 2005; Yamagishi et al., 2008)。こうした社会環境では、自己価値誇示行動を通じて自らの優れた遺伝子型や高い生殖能力をシグナルしたとしても、魅力的なパートナーの獲得可能性を高めることは難しい。それだけでなく、むしろ恋愛関係流動性の低い社会環境において自己価値誇示行動は不利益を生じかねない。なぜなら、自己価値誇示によって自分が他者よりも優れていることを示すことは、妬みやそれに基づく攻撃行動を引き起こし、既存の社会関係に不和を生じる可能性が高いからである。代替関係の選択機会に乏しい低恋愛関係流

動性社会環境において、既存の社会関係の悪化やそれによる社会的排斥は致命的な不利益となる (Yamagishi & Yamagishi, 1994; 山岸, 1998)。このため、恋愛関係流動性の低い社会環境では、自己価値誇示の有効性は低くなるだろう。

以上を踏まえ研究 1-1 では、恋愛パートナーの獲得場面における自己価値誇示行動の実行意図に対する、恋愛関係流動性の影響を検討する。検討にあたり本研究は、恋愛関係流動性が低い社会であると考えられる日本と、恋愛関係流動性が高い社会であると考えられるカナダの間で比較研究を行い、以下の予測を検討する。第一に、恋愛関係における自己価値誇示行動の実行意図は、日本よりもカナダにおいてより高いだろう。第二に、自己価値誇示行動の実行意図に見られる日加差は両社会の恋愛関係流動性によって統計的に説明され、日本よりもカナダにおいて恋愛関係流動性が高く、恋愛関係流動性が高いほど自己価値誇示の実行意図が高いだろう。

参加者

参加者は、北海道大学に通う日本人大学生およびマニトバ大学に通うカナダ人大学生であった。参加者の募集は、北海道大学およびマニトバ大学の実験参加者プールを用いて行った。参加に対し北海道大学の学生は金銭を、マニトバ大学の学生は授業の単位をそれぞれ報酬として受け取った。分析に際し、国籍が日本またはカナダ以外の参加者、異性愛者ではない参加者 (同性愛・両性愛の参加者)、および質問紙の回答言語が母国語 (日本語または英語) ではない参加者を除外した。最終的な分析対象者は、日本人 78 名 (男性 40 名、女性 39 名), $M_{age} = 20.17$, $SD = 1.25$ 、およびカナダ人 94 名 (男性 47 名、女性 47 名), $M_{age} = 19.16$, $SD = 1.67$ であった。

手続き

オンライン上の調査プラットフォーム Qualtrics を用いて、質問紙調査を実施した。回答に先立ち、北海道大学の学生は紙で印刷された同意書に、マニトバ大学の学生はオンライン上の同意書を提示され、内容に同意した参加者のみが質問紙に回答した。

参加者を取り巻く恋愛関係市場の関係流動性を測定するために、恋愛関係流動性尺度を用いた。この尺度は、恋愛関係市場における関係流動性を測定することを目的として、社会関係一般に関する元の関係流動性尺度 (Yuki et al., 2007) を参考に新たに作成した尺度である。尺度は 8 項目から構成され (Table 4-1)、参加者はそれぞれの項目がどの程度自分の周辺環境における恋愛関係の様相に当てはまるかを 6 点尺度 (1.全く当てはまらない～6.非常に当てはまる) で回答した。日本およびカナダにおける尺度の信頼性は、それぞれ日本、 $\alpha = .69$ 、カナダ、 $\alpha = .69$ である。

Table 4-1. 恋愛関係流動性尺度 8 項目

-
1.	彼ら（あなたの周囲にいる人々）には、異性と新しく知り合いになる機会がたくさんある。
2.	彼らは、見知らぬ異性とはすぐに打ち解けない。(逆)
3.	彼らは、ふだんどんな異性と付き合うかを、自分の好みで選ぶことができる。
4.	彼らには、新しい恋人を見つける機会があまりない。(逆)
5.	もし現在の恋愛関係に満足していなければ、彼らは他の異性との新しい恋愛関係に乗り換えることができる。
6.	彼らには、付き合う異性を自由に選べないことがよくある。(逆)
7.	見知らぬ異性から話しかけられたとき、彼らは快く会話をする。
8.	たとえ現在の恋愛関係に満足していなくても、彼らはそこに留まり続けるしかないことがよくある。(逆)
-

(逆) は逆転項目であることを示す

参加者の恋愛関係における自己価値誇示行動の実行意図を測定するため、新たに自己価値誇示行動尺度を作成した。尺度は 7 項目から構成され、3 種類の自己価値誇示行動を含んでいた。尺度に含まれる 3 つの自己価値誇示行動はそれぞれ以下の通りである：1) 能力の誇示（自らの高い技能をシグナルする）、経済力の誇示（自分の金銭的資源の豊富さをシグナルする）、および魅力の誇示（身体的魅力や人となりをもシグナルする）⁸⁴ である (Table 4-2)。参加者は、自分が特定の異性と恋愛関係を形成しようとする場面を描いた短いシナリオを読み、それぞれの行動を自分がどの程度行うかを 7 点尺度（1. 絶対に取りたくない～7. 必ず取る）で回答した。質問紙の日本語は付録 1 を、英語版は付録 2 をそれぞれ参照されたい。

⁸⁴ 魅力の誇示項目における身体的魅力は、性格やユーモアといったパーソナリティとは質的に異なると考えられる。しかし本論文では、尺度作成時の基準に倣い、身体的魅力・性格・ユーモアをまとめて扱う。それぞれの差異に関しては、個別の行動ごとに行った分析の結果を参照されたい。

Table 4-2. 自己価値誇示尺度 7 項目

項目	
能力の誇示	
能力・特技	能力や特技など自分の長所をアピールする
運動能力	自分の運動能力が高いことをアピールする
経済力の誇示	
裕福	自分が裕福であることをアピールする
経済的安定	自分が経済的に安定していることをアピールする
魅力の誇示	
身体的魅力	自分の身体的魅力をアピールする
性格	自分の性格の良さ（親切さ、誠実さ、など）をアピールする
ユーモア	ユーモアのセンスがあることをアピールする

結果と考察

分析に先立ち、自己価値誇示行動として作成した尺度の信頼性を確かめるため、3種類の行動それぞれについて相関係数を算出した (Table 4-3)。まず参加者全体での相関分析の結果は、能力の誇示・経済力の誇示・魅力度の誇示の全てで項目間の有意な相関が得られた。しかし、国別での相関分析の結果は、日加で異なる相関のパターンを示している。特に日本においては、経済力の誇示を除いて各項目の間に有意な相関が得られなかった。このことは、本研究における自己価値誇示行動尺度は、特に日本において信頼性の高い尺度とは言えないことを示している。

この結果を踏まえ以下の分析では、尺度の作成時に基準とした3種類の自己価値誇示行動 (能力の誇示・経済力の誇示・魅力度の誇示) に則って算出した平均値と、個別の項目ごとの分析をそれぞれ行うことで、自己価値誇示行動に見られる日本とカナダのパターンの違いを検討した。

Table 4-3. 自己価値誇示行動間の相関係数

	日本 (<i>df</i> = 76)	カナダ (<i>df</i> = 90)	全体 (<i>df</i> = 169)
能力 (能力・特技、運動能力)	.15	.38***	.38***
経済力 (裕福、経済的安定)	.36**	.02	.28***
魅力 (身体的魅力、性格)	.20	.56***	.42***
魅力 (身体的魅力、ユーモア)	.10	.29**	.26**
魅力 (性格、ユーモア)	.17	.40***	.32***

** $p < .01$, *** $p < .001$

まず本研究が前提とする恋愛関係流動性の日加差を検討するため、 t 検定を行った。その結果、日本 ($M = 3.89$, $SD = .80$) よりもカナダ ($M = 4.32$, $SD = .65$) において関係流動性認知が高いことが示された, $t(171) = 4.08$, $p < .001$ 。この結果は、日本よりもカナダの方が

恋愛関係流動性の高い社会環境であるとする本研究の予測を支持する結果である。

次に、自己価値誇示行動の実行意図が日本よりもカナダで高いかどうかを確かめるため、3種類の自己価値誇示行動および個々の自己価値誇示行動のそれぞれについて、日本とカナダで t 検定を行った。その結果、まず3種類の自己価値誇示行動のそれぞれについて有意な日加差が得られた：それぞれ能力の誇示, $t(170) = 7.22, p < .001$ 、経済力の誇示, $t(170) = 6.81, p < .001$ および魅力の誇示, $t(170) = 7.95, p < .001$ (Figure 4-1)。この結果から、日本よりもカナダにおいて自己価値誇示行動の実行意図が高いとする本研究の予測は支持された (Figure 4-1)。

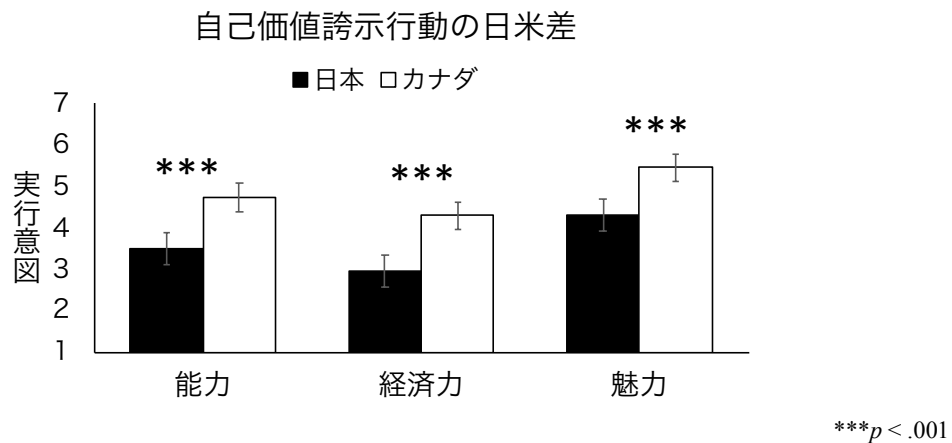


Figure 4-1. 自己価値誇示行動の日米差
能力の誇示、経済力の誇示、魅力の誇示のそれぞれに関する日加差のグラフ。縦軸はそれぞれの行動の実行意図を示し、値が大きいほど実行意図が高いことを意味している。エラーバーは標準誤差を示す。

自己価値誇示行動尺度の個々の項目それぞれについても同様に分析を行ったところ、3つの分類の場合と同様に、全ての項目で有意な日加差が見られた：能力・特技, $t(170) = 4.96, p < .001$ 、運動能力, $t(170) = 6.39, p < .001$ 、裕福, $t(170) = 4.46, p < .001$ 、経済的安定, $t(170) = 6.07, p < .001$ 、身体的魅力, $t(170) = 6.56, p < .001$ 、性格の良さ, $t(170) = 6.177, p < .001$ 、ユーモア, $t(170) = 3.65, p < .001$ 。個別の項目に関しても、日本人よりもカナダ人の方が自己価値誇示行動の実行意図が高いとする結果が得られ、本研究の予測は支持された。結果のグラフを Figure 4-2 に示した。

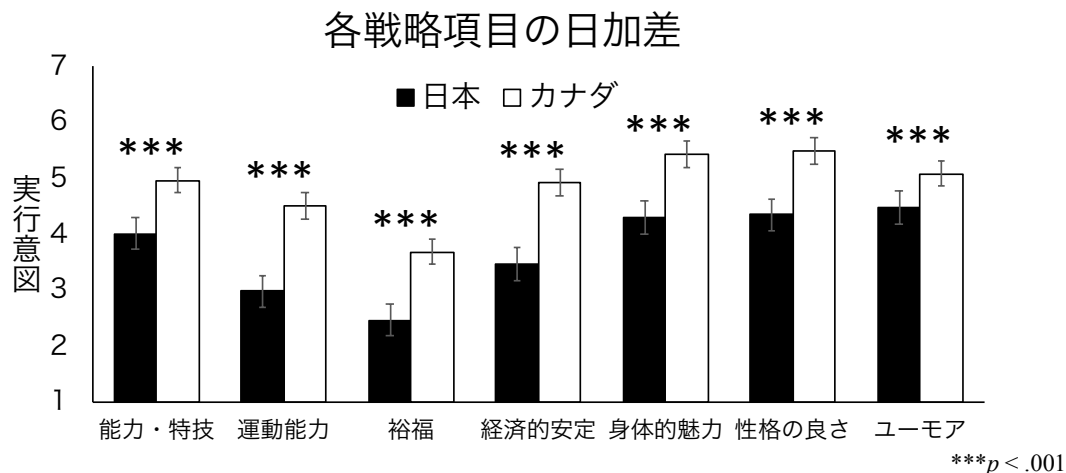


Figure 4-2. 各行動項目の日米差

能力 (能力・特技、運動能力)、経済力 (裕福、経済的安定)、身体的魅力 (身体的魅力、性格の良さ、ユーモア) の下位項目それぞれに関する日米差のグラフ。縦軸はそれぞれの行動の実行意図の高さを示し、値が高いほど実行意図が高いことを意味している。エラーバーは標準語差を示す。

次に、恋愛関係流動性と自己価値誇示の各行動との関連を見るため、相関分析を行った。まず尺度作成時の分類に則り、3種類の自己価値誇示行動と恋愛関係流動性認知の間に関連が見られるかを検討した。その結果、能力の誇示, $r(169) = .16, p = 0.41$ および魅力の誇示, $r(169) = .32, p < .001$ と恋愛関係流動性認知の間にそれぞれ有意な正の相関が見られた。これらの結果は、恋愛関係流動性が高いほど能力の誇示や魅力の誇示の実行意図が高いとする本研究の予測を支持する結果である。一方で、経済力の誇示と恋愛関係流動性認知の間には有意な相関は得られなかった, $r(169) = .10, p = .209$ 。この結果は、本研究の予測に反する結果である。この理由として、経済力の誇示——特に裕福さの誇示は、正規雇用でない学生における自己誇示行動として不適切であった可能性が考えられる。

自己価値誇示尺度の個別の項目についても同様に相関分析を行った結果、能力・特技, $r = .26, p = .032$ 、身体的魅力, $r = .26, p = .001$ 、性格の良さ, $r = .28, p < .001$ 、ユーモア, $r = .16, p = .34$ のそれぞれと恋愛関係流動性認知との間に有意な正の相関が見られ、経済的安定, $r = .13, p = .081$ と恋愛関係流動性認知との間に有意傾向の正の相関が得られた。これらの結果は、自己価値誇示行動の実行意図は恋愛関係流動性が高い社会環境ほど高いとする本研究の予測を支持する結果である。しかし、運動能力, $r = .10, p = .175$ および裕福, $r = .03, p = .747$ と恋愛関係流動性認知の間には有意な相関は得られなかった。この結果は本研究の予測に反する結果である。この理由として、能力・特技など抽象度の高い項目に比べ、運動能力や裕福さは具体性が高く実行可能性の個人差が大きく、恋愛関係流動性以外の個人要因が交絡していた可能性が考えられる。

恋愛関係流動性と能力の誇示および魅力の誇示の間に有意な正の相関関係が見られたた

め、それぞれの行動の日加差が両社会の関係流動性によって説明されるかを、Hayes (2012, 2013) による SPSS プラグイン PROCESS によるブートストラップ法を用いて、サンプリングサイズ 5,000 でそれぞれの行動に対する恋愛関係流動性認知を介した国の間接効果を検討した。その結果、魅力の誇示に対してのみ関係流動性を介した国の有意な間接効果が得られた、 $b = .06$, $SE = .03$, $95\%CI = [.02, .12]$ 。これは、日本よりもカナダの方が高恋愛関係流動性社会であり、恋愛関係流動性が高いほど魅力の誇示の実行意図が高いことを示している。この結果は、本研究の予測を支持する結果である。しかし一方で、能力の誇示に関しては関係流動性を介した国の有意な間接効果は得られなかった、 $b = .00$, $SE = .03$, $95\%CI = [-.05, .06]$ 。このため、日本よりもカナダの方が高恋愛関係流動性社会であり、恋愛関係流動性が高いほど能力の誇示行動の実行意図が高いとする本研究の予測は支持されなかった。この理由としては、上述したように、能力の誇示の下位項目である運動能力は個人差が大きく、こうした個人要因の影響が交絡していた可能性が考えられる。

個別の項目に関しても同様に分析を行った結果、いずれの行動に対しても恋愛関係流動性を介した国の有意な間接効果は得られなかった：それぞれ、能力・特技、 $b = .03$, $SE = .028$, $95\%CI = [-.03, .09]$ 、運動能力、 $b = -.02$, $SE = .03$, $95\%CI = [-.10, .06]$ 、裕福、 $b = -.04$, $SE = .05$, $95\%CI = [-.14, .04]$ 、経済的安定、 $b = .01$, $SE = .04$, $95\%CI = [-.08, .08]$ 、身体的魅力、 $b = .05$, $SE = .03$, $95\%CI = [-.00, .12]$ 、性格の良さ、 $b = .07$, $SE = .03$, $95\%CI = [.01, .15]$ 、ユーモア、 $b = .03$, $SE = .03$, $95\%CI = [-.02, .09]$ 。以上の結果から、個別の項目に関しては、日本よりもカナダにおいて恋愛関係流動性が高く、恋愛関係流動性が高いほど自己価値誇示行動の実行意図が高いとする本研究の予測は支持されなかった。先述したように、本研究で用いた恋愛関係流動性尺度および自己価値誇示行動尺度は、独自に作成したものでありいずれも信頼性が十分に高いとは言えない。それだけでなく、個別の項目は運動能力や裕福さといった具体的な項目が多く、それゆえに個人要因の影響を受け、恋愛関係流動性の影響が見られなかった可能性が考えられる。

本研究の問題と将来の検討課題

本研究には、改善すべき問題点がいくつかある。第一に、恋愛関係流動性尺度の信頼性が低い点である。本研究では、当該の社会環境における恋愛関係の流動性を測定するために、新たに恋愛関係流動性尺度を作成した。信頼性分析の結果、恋愛関係流動性尺度の信頼性は日本およびカナダにおいていずれも .7 を下回っており、信頼性が十分に高いとは言えない。そのため、今後の研究では尺度項目を改善し、より信頼性の高い尺度を作成する必要がある。第二に、自己価値誇示尺度項目の選定が恣意的で、尺度としての信頼性が低い点である。本研究は、先行研究の議論に基づいて、独自に 3 種類の自己価値誇示行動

を設定し項目を作成した。しかしそれぞれの項目間の相関が低く、また日本とカナダで相関のパターンに一貫性がないなど、尺度として信頼性が高いとは言えない。このため今後の研究では、恋愛関係流動性尺度と同様、尺度項目を改善し信頼性の高い尺度を作成する必要がある。第三に、参加者が大学生のみである点である。本研究は参加対象者を大学生としたが、大学生で得られたデータを社会一般の傾向として普遍化することに問題がある可能性がすでに指摘されている (Henrich, et al., 2010)。加えて、経済力の誇示は、正規雇用されていない大学生における自己価値誇示行動としては不適切である可能性が高い。このため今後の研究では、大学生だけではなく一般人を対象にデータの収集が必要だろう。

研究 1-2：関係流動性がコミットメント・シグナリングに与える影響の検討

研究 1-2 の目的は、社会環境における恋愛関係流動性が、コミットメント・シグナリング行動の実行意図に与える影響を明らかにすることである。恋愛関係において、パートナーの遺伝的な形質や高い生殖能力は生まれてくる子どもの生存可能性や将来の生殖成功率に影響する。それゆえに、研究 1-1 で注目したような自己価値誇示行動を通じて魅力的な異性を自らに惹きつける行動が適応的となる。しかし、恋愛関係において個人の適応度を上昇させる要因は、遺伝的な形質や生殖能力だけではない。一夫一妻型の恋愛関係においては、恋愛パートナーが自分を裏切ることなく相互関係を維持するかどうかもまた、個人の包括適応度を上昇させる重要な適応課題である (Arnocky et al., 2016; Barclay, 2016; Barclay & Willer, 2007; Farrelly et al., 2016)。

恋愛関係市場に存在する豊富なパートナーの選択肢は、恋愛パートナーがいずれ魅力的な異性を見つけて自分を捨てていくかもしれないという不安を生じる。こうした相互不安によって、お互いに長期的な恋愛関係を形成したいが相手を信じきれず関係の形成に踏み切れなくなるコミットメント問題を引き起こす (Frank, 1998)。こうしたコミットメント問題を解決するために有効となる行動方略の一つが、自発的に他のパートナー候補との関わりを断つことによって自らが長期的な恋愛関係の継続意図を持つことをシグナルする、コミットメント・シグナリングである (Frank, 1988; Gonzaga et al., 2008)。

本研究は、こうしたコミットメント・シグナリング行動の有効性に、社会環境における恋愛関係流動性が影響すると予想する。これまで述べたように、恋愛関係流動性が高く恋愛パートナーを自由に取捨選択できる社会環境では、既存関係にとどまるよりも魅力的なパートナーに乗り換えるよう強いインセンティブが働く (Yamagishi, 2011)。こうした社会環境ではパートナーに裏切られて捨てられる不安はより強くなる。それゆえに、コミットメント・シグナリング行動を通じて自らの誠実性を証明し、パートナーに安心を提供することが、恋愛パートナーとの長期的な関係を形成する上で有効となる。

一方、恋愛関係流動性が低い社会環境では、個人の自由な対人関係の取捨選択が難しい反面、対人関係の長期性は社会的に保障される (Adams, 2005; Adams et al., 2004; Yamagishi et al., 2008)。こうした社会環境では、そもそも魅力的なパートナーがいたとしても容易に関係を乗り換えることができないため、パートナーに裏切られ捨てられるという不安を感じにくい。それゆえに、コミットメント・シグナリングによる自らの誠実性アピールの必要性は低くなる。それだけでなく、コミットメント・シグナリングによりパートナー以外の異性との関わりを断つ行動やパートナーを他の異性よりも最良とする行動は、既存の社会関係内に不和を引き起こす行動として忌避されるだろう。

以上を踏まえ研究 1-2 では、恋愛関係におけるコミットメント・シグナリングの実行意

図に対する恋愛関係流動性の影響を検討する。検討にあたり本研究は、恋愛関係流動性が低い社会である日本と（研究 1-1 参照）、恋愛関係流動性が高い社会であると考えられるアメリカの間で比較研究を行い、以下の予測を検討する。第一に、恋愛関係におけるコミットメント・シグナリング行動の実行意図は、日本よりもアメリカで高いだろう。第二に、恋愛関係におけるコミットメント・シグナリング行動の有効性は、日本よりもアメリカで高いだろう。第三に、コミットメント・シグナリングの実行意図および有効性に見られる日米差は両社会の恋愛関係流動性によって統計的に説明され、日本よりもアメリカにおいて恋愛関係流動性が高く、恋愛関係流動性が高いほどコミットメント・シグナリング行動の有効性が高いため、コミットメント・シグナリング行動の実行意図が高くなるだろう。

以上の予測を検討するため、研究 1-2 では日常的なコミットメント・シグナリング行動を用いる。まず研究 1-2a では、日常の対面場面におけるコミットメント・シグナリング行動に対する恋愛関係流動性の影響を検討する。その上で、研究 1-2a の結果が場面特定のでないことを示すため、異なる日常場面であるオンライン場面（ソーシャルネットワーキングサイト場面）におけるコミットメント・シグナリング行動を用いて、研究 1-2a の結果が概念的に追試されることを検討する。

研究 1-2a：対面場面におけるコミットメント・シグナリング行動

研究 1-2a では、恋愛関係流動性が、日常の対面場面におけるコミットメント・シグナリング行動の実行意図および有効性に与える影響を検討する。先述のように、恋愛関係には互いに相手から裏切られるかもしれないという相互不安が伴う。こうした相互不安を乗り越え長期的な相互関係を形成するためには、自発的にパートナー以外の異性関係を制限することによって相手に対する自己の排他性を示し、相手に安心を提供するコミットメント・シグナリングが有効となる。

日常の対面場面におけるこうしたコミットメント・シグナリング行動の具体例の一つとして考えられるのが、結婚指輪の装着である。結婚指輪の装着は、当該の個人がすでに特定のパートナーと排他的な関係を形成していることを対外的に示す行動である。結婚指輪の装着は任意であり、個人は指輪を装着するか否かを自由を選択することができる。だからこそ、結婚指輪の装着は、自らがパートナーとの排他的関係を長期的に維持する意思があることを示すコミットメント・シグナリング行動として機能すると考えられる⁸⁵。

⁸⁵ ただし先行研究は、結婚指輪の装着のように特定の異性と恋愛関係にあることを示すことが、パートナー以外の異性を引き寄せてしまう可能性を示唆している (Parker & Burkley, 2009)。この傾向は特に女性で強く、女性は独身の男性よりも、既に特定のパートナーと恋愛関係にある男性に対してより高い関心を持ち、自分のパートナーとしてライバルから男性を奪おうとする意図が高いことが示されている。これは、既に女性からパートナーとして選択されて

そこで研究 1-2a では、結婚指輪の装着といった対面場面における日常的なコミットメント・シグナリング行動に着目し、こうした行動に恋愛関係流動性が与える影響を検討する。研究 1-2a における予想は次の通りである。第一に、コミットメント・シグナリング行動の実行意図は、日本よりもアメリカで高いだろう。第二に、コミットメント・シグナリング行動の有効性は、日本よりもアメリカで高いだろう。第三に、コミットメント・シグナリング行動にみられる日米差は、両社会の恋愛関係流動性によって統計的に説明され、日本よりもアメリカにおいて恋愛関係流動性が高く、恋愛関係流動性が高いほどコミットメント・シグナリング行動の有効性が高いために、コミットメント・シグナリング行動の実行意図が高くなるだろう。

参加者

参加者の募集は、クラウドソーシングサイトである Lancers (日本) および Amazon Mechanical Turk (アメリカ) を用いた。調査対象者は異性愛者の男女とし、分析に際して国籍が日本またはアメリカではない参加者、質問紙の回答言語が母国語 (日本語または英語) ではない参加者、および同性愛者・両性愛者の参加者を除外した。最終的な分析対象者は、日本人 118 名 (男性 55 名、女性 63 名), $M_{age} = 34.19$, $SD = 8.85$ 、アメリカ人 108 名 (男性 57 名、女性 51 名), $M_{age} = 33.58$, $SD = 9.68$ であった。

手続き

参加者は、オンライン上の質問紙に回答した。参加に際し全ての参加者にオンライン上の参加同意書を提示し、内容に同意した参加者のみが質問紙に回答した。参加者を取り巻く社会環境における恋愛関係の流動性の測定には、恋愛関係流動性尺度 6 項目 6 点尺度 (1. 全く当てはまらない～6. 非常に当てはまる) を用いた。本尺度は、研究 1-1 で用いた恋愛関係流動性尺度 (Table 4-1) に改善を加えた尺度である。研究 1-2a で用いた恋愛関係流動性尺度の具体的な項目を Table 4-4 に示した。

いるという事実が、パートナーとして優れた遺伝的形質を持つことのシグナルとして機能するためであると考えられる。

Table 4-4. 恋愛関係流動性尺度 6 項目

1.	彼ら（あなたの周囲にいる人々）には、将来恋人になるかもしれない異性と新しく知り合いになる機会がたくさんある。
2.	彼らは、自分の好みにぴったりの相手と、異性として付き合うことができている。
3.	彼らには、新しい恋人を見つける機会があまりない。（逆）
4.	もし現在の恋愛関係に満足していなければ、彼らはその関係を簡単に解消することができる。
5.	彼らには、恋人として付き合う異性を自由に選べないことがよくある。（逆）
6.	たとえ現在の恋愛関係に満足していなくても、彼らはそこに留まり続けるしかないことがよくある。（逆）

（逆）は逆転項目を示す。

コミットメント・シグナリング行動の実行意図および有効性を測定するために、シナリオによる場面想定法を用いた。参加者は、日常の対面場面を描いた3つのシナリオを読み、続く質問に回答した。本研究で用いた3つのシナリオは、次の通りである：1) 結婚指輪の装着（日常的に結婚指輪をつけるかつかないか）、2) お土産の差別化（お土産を配布する際に、パートナーとそれ以外の相手で格差をつけるか、また格差を公にするか）、3) デートの優先（友人と恋人との予定がダブルブッキングした際に、どちらの約束を優先するか）。参加者には、それぞれのシナリオにおける具体的な行動として、恋愛パートナーに対するコミットメントの高さの異なる行動が2種類または3種類提示された。それぞれのシナリオにおける具体的な行動を Table 4-5 にまとめた。

Table 4-5. 3 種類の対面場面シナリオと各シナリオにおける行動の例

シナリオ	パートナーに対する コミットメントの強さ	具体的な行動
結婚指輪の装着	高	普段から結婚指輪を装着する
	低	普段は結婚指輪を装着しない
お土産の差別化	高	職場の同僚の前でパートナーにだけ特別なお土産を渡す
	中	同僚にも土産を配り皆の前でパートナーに特別なお土産を渡す
	低	同僚にお土産を配り隠れてパートナーに特別なお土産を渡す
デートの優先	高	恋人との約束を優先する
	低	友人との約束を優先する

参加者は3つのシナリオを読み、自分の恋人がコミットメントの強さが異なる行動をとった場合にどう感じるかを、パートナーへの好意度、浮気意図の予測、関係継続意図、および他者から評価のそれぞれについて7点尺度で回答した。またこれに加え、参加者自身がそれぞれの行動のどれを行うかを選択した。以下では、結婚指輪の装着シナリオを例に詳細を説明する。

参加者には、まず次のような場面の説明が提示される。

“結婚している人の中には、普段から結婚指輪をはめている人と、はめていない人がいます。さてここで、現在あなたは結婚しているとします。もしもあなたの結婚相手が次のように振る舞った場合、あなたはどのように感じるでしょうか。それぞれの場面の後に続く質問に答えてください。”

続いて参加者には、この時のパートナーの行動例として、普段から結婚指輪をはめている場合と、普段は結婚指輪をはめていない場合とが提示された。参加者は、自分のパートナーがそれぞれの行動をとった場合の好意度（主観的な嬉しさやパートナーの魅力度評価）、浮気意図の予測（今後パートナーがどの程度浮気すると思うか）、関係の継続意図（今後もパートナーとの関係を継続していきたいと思うか）、および他者評価予測（その行動によって周囲の他者がどの程度快・不快に思うか）のそれぞれについて7点尺度で回答した。その後、参加者は、提示された2種類から3種類の行動の中から、自分であればどの行動をとるかを選択した。結婚指輪の装着シナリオ、お土産の差別化シナリオ、および恋人とのデート優先シナリオの提示順序および各シナリオ内での行動の提示順序は、全て参加者間でランダム化された。結婚指輪の装着以外のシナリオを含む質問紙の詳細については、付録3（日本語）および付録4（英語）をそれぞれ参照されたい。

結果と考察

恋愛関係流動性の日米差を t 検定により検討したところ、有意な日米差が得られ、 $t(224) = 10.82, p < .001$ 。日本よりもアメリカの方が恋愛関係流動性の高い社会であるとする本研究の前提が支持された。

続いて、コミットメント・シグナリング行動の実行意図に関する日米差を検討するため、カイ二乗検定を行った。その結果、結婚指輪の装着、 $\chi^2(1, N = 226) = 16.05, p < .001$ (Figure 4-3a)、お土産の差別化、 $\chi^2(2, N = 226) = 15.60, N = 226, p < .001$ (Figure 4-3b)、および恋人とのデートの優先、 $\chi^2(1, N = 226) = 12.60, p < .001$ (Figure 4-3c) の全てにおいて有意な日米差が得られた。このことから、日本人よりもアメリカ人の方が、結婚指輪の装着やお土産の差別化、あるいは恋人とのデートの優先といった日常的なコミットメント・シグナリング行動の実行意図が高いとする本研究の予想が支持された。

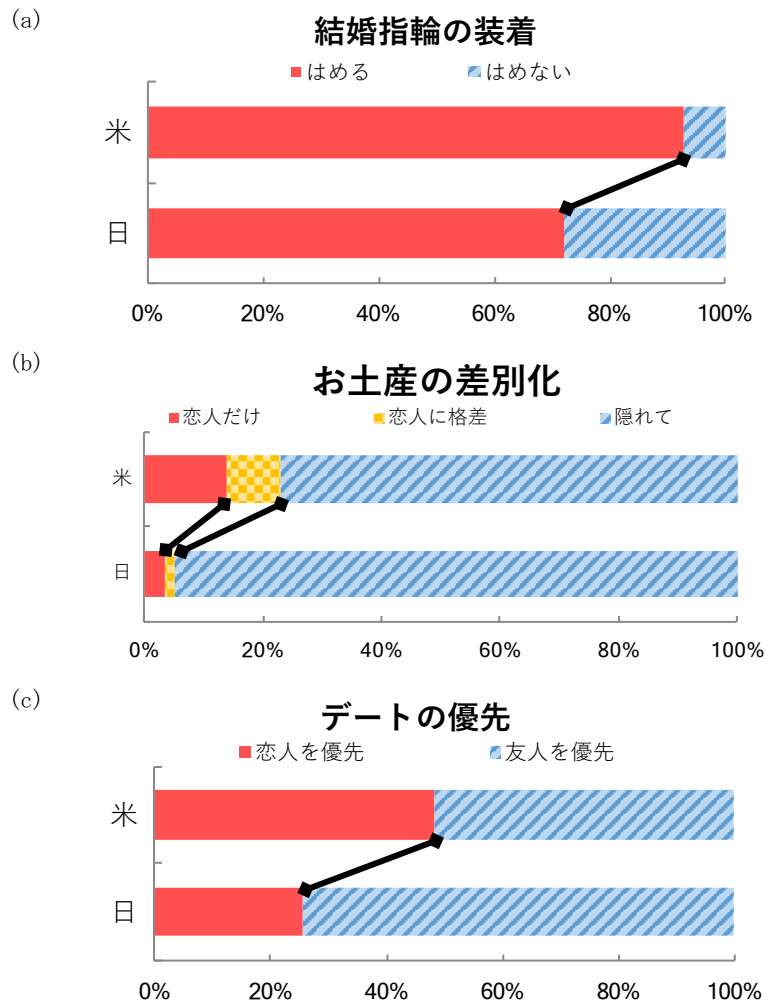


Figure 4-3 コミットメント・シグナリング行動の実行意図に関する日米差

縦軸における米はアメリカを、日は日本をそれぞれ示している。横軸はその行動を実行すると回答した参加者の割合を示している。赤色 (および黄色) 部分は、パートナーに対するコミットメントの程度が高い行動 (e.g., 普段から結婚指輪をはめる、皆の前で恋人にだけ特別なお土産を渡す、友人よりも恋人とのデートを優先する) を実行すると回答した参加者の割合を示している。

コミットメント・シグナリング行動の有効性が日米で異なることを検討するため、パートナーに対するコミットメントが高い行動と低い行動との評価の差分を有効性の指標として t 検定を行った。分析の結果、結婚指輪の装着シナリオにおいて、関係の継続意図, $t(224) = 2.67, p = .008$ 、および他者評価予測, $t(224) = 5.40, p < .001$ の有意な日米差が得られ、結婚指輪の装着は、日本よりもアメリカで関係継続意図を高め、かつ結婚指輪の装着が周囲の他者から好意的に評価されるだろうという、本研究の予測を支持する結果が得られた (Figure 4-4a)。しかし、好意度, $t(224) = 1.07, p = .285$ および浮気意図の推測, $t(224) = .13, p = .895$ に関しては有意な日米差は得られなかった。結婚指輪の装着は、日本でもアメリカと同様に文化的慣習としてある程度共有されている。このため、日本においても指

輪の装着は文化的慣習に沿った行動として好意的に評価された可能性が考えられる。この場合、指輪の装着行動は文化的慣習に倣ったものとして評価され、本人の能動的なコミットメント・シグナリングとして認識されず、浮気意図の推測の低減に繋がらなかった可能性が考えられる。

お土産の差別化に関しては、好意度, $t(224) = 7.97, p < .001$ と関係の継続意図, $t(224) = 4.47, p < .001$ 、者評価予測, $t(224) = 3.18, p = .002$ で有意な日米差が得られ、お土産の差別化が日本よりもアメリカでより好意的に評価され、相手との関係継続意図を高めるとともに、他者からもより好意的に評価されるだろうと予測するという本研究の予測を支持する結果が得られた (Figure 4-4b)。

最後にデートの優先に関しては、好意度, $t(224) = 4.26, p < .001$ 、浮気意図の推測, $t(224) = 2.45, p = .015$ 、関係継続意図, $t(224) = 4.94, p < .001$ 、他者評価予測, $t(224) = 5.70, p < .001$ のすべてで有意な日米差が得られた。この結果は、友人よりも恋人とのデートを優先する行動は、日本よりもアメリカにおいてより好意的に評価され、関係の継続意図を高めるとともに、浮気しない相手として評価され、さらに周囲の他者からも好意的に評価されるだろうという本研究の予測を支持する結果である (Figure 4-4c)。

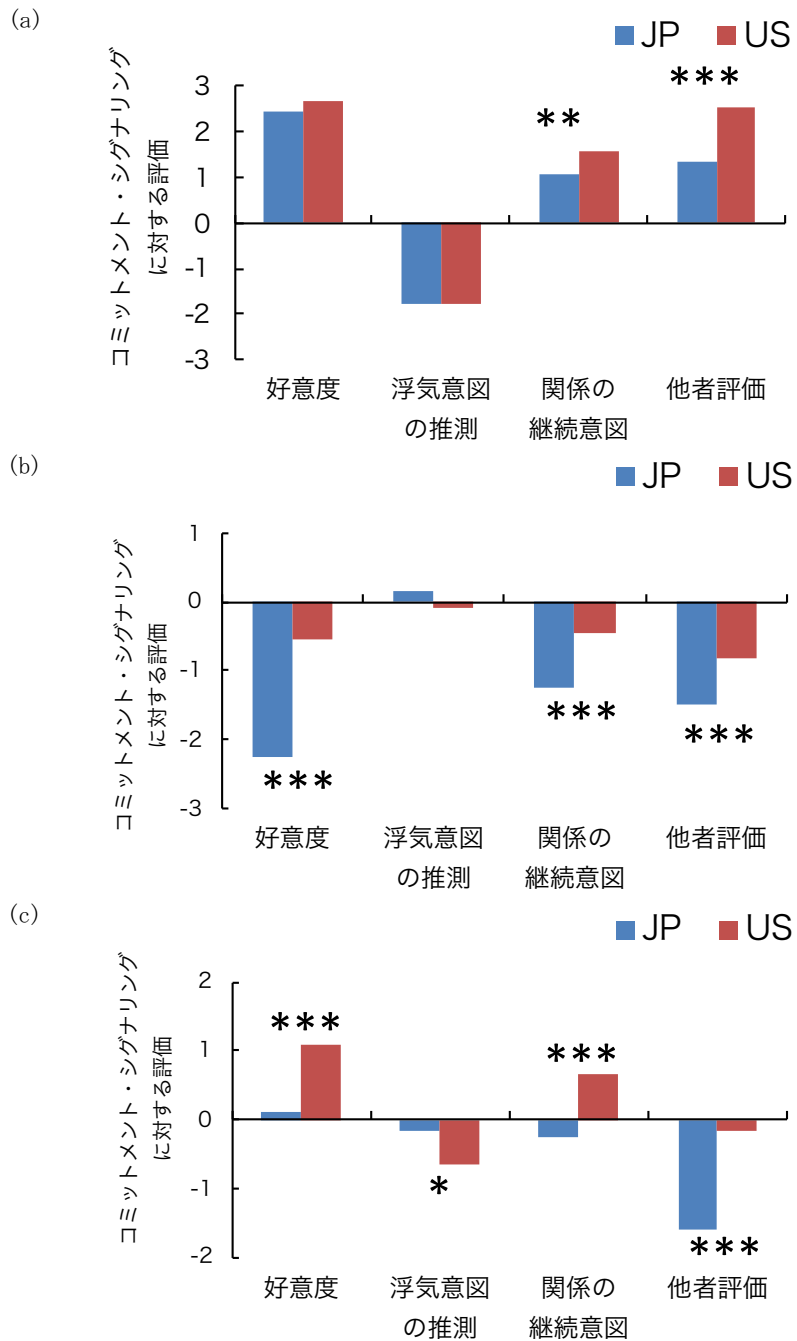


Figure 4-4. コミットメント・シグナリングに対する評価の日米差

好意度と関係の継続意図は、値が正であるほど、よりパートナーとして好意的に評価され、関係の継続意図が高いことを示す。浮気意図の推測に関しては、値が負であるほどパートナーの浮気意図の推測が低い (浮気しない) と評価していることを示す。他者評価に関しては、値が負であるほど周囲の他者がコミットメント・シグナリング行動を取ることで他者が不快に感じるだろうと推測していることを示している。

*** $p < .001$, ** $p < .01$

続いて、恋愛関係流動性がコミットメント・シグナリング行動の実行意図に与える影響を検討するため、Hayes (2012, 2013) の SPSS プラグイン PROCESS による 5,000 サンプル

ングによるブートストラップ法を用いて、恋愛関係流動性とコミットメント・シグナリングの有効性を介した、コミットメント・シグナリング行動の実行意図に対する国の間接効果を検討した。分析のモデル図を Figure 4-5 に示した。

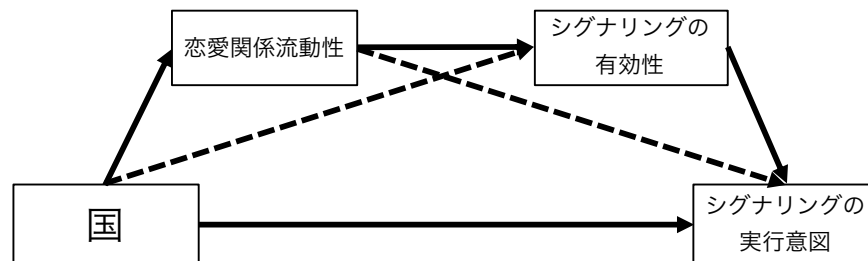


Figure 4-5. コミットメント・シグナリング行動の実行意図に対する恋愛関係流動性とシグナリング行動の有効性を介した国の間接効果モデル

結婚指輪の装着シナリオについて上述の分析を行った結果、恋愛関係流動性と好意度, $b = -.39$, $SE = .19$, $95\%CI = [-.82, -.05]$ 、関係継続意図, $b = -.23$, $SE = .15$, $95\%CI = [-.61, -.01]$ 、他者評価, $b = -.26$, $SE = .11$, $95\%CI = [-.56, -.08]$ を介した国の間接効果が有意だった。このことは、日本よりもアメリカの方が高恋愛関係流動性社会であり、恋愛関係流動性が高いほど結婚指輪の装着がコミットメント・シグナリングとして有効である——つまり、パートナーから好意的に評価され、関係の継続意図を高め、他者からも好意的に評価されるがゆえに結婚指輪の装着意図が高くなる——とする、本研究の予測を支持する結果である。

同様の分析をお土産の差別化シナリオに関して行った結果、関係流動性と好意度, $b = -.32$, $SE = .02$, $95\%CI = [-.28, -.10]$ および関係継続意図, $b = -.09$, $SE = .02$, $95\%CI = [-.08, -.00]$ を介した国の間接効果が有意だった。このことは、恋愛関係流動性が低い日本よりも、恋愛関係流動性が高いアメリカにおいて、お土産の差別化がコミットメント・シグナリングとして有効である——パートナーから好意的に評価され、関係継続意図を高める——がゆえにお土産の差別化意図が高いとする、本研究の予測を支持する結果である。結婚指輪の装着シナリオと概ね同じ結果が得られた。一方で、他者評価予測に関しては有意な間接効果は得られなかった, $b = -.009$, $SE = .022$, $95\%CI = [-.059, .030]$ 。これは、お土産の差別化は程度の差はあれ日本でもアメリカでも他者から否定的に評価されるだろうと推測していたためと考えられる。

一方で、デートの優先シナリオに関しては関係流動性と好意度, $b = -.17$, $SE = .14$, $95\%CI = [-.45, .08]$ 、関係継続意図, $b = -.04$, $SE = .14$, $95\%CI = [-.32, .24]$ 、他者反応予測, $b = .042$, $SE = .065$, $95\%CI = [-.068, .194]$ を介した国の間接効果はいずれも有意ではなかった。デートの優先シナリオに関しては、恋愛関係と友人関係が混交している。恋愛関係と友人関係は質的に異なる (e.g., 例えば異性愛者の場合、恋愛パートナーの候補は異性だけだが、友人関

係は両性を対象とするため相対的に選択肢が豊富になる)。このため、例えば恋愛関係の流動性は高いが友人関係の流動性は低いという環境も考えられる。そしてこうした環境では、恋愛パートナーの代替は容易に見つけられるのに対して、友人の代替を見つけるのは難しい。それゆえに、恋愛関係の流動性が高い社会環境であっても、恋愛パートナーよりも友人を優先すると回答する可能性が考えられる。こうした友人関係の流動性が交絡したことで、恋愛関係流動性の影響を検討できなかった可能性が考えられる。

なお、好意度と関係の継続意図の平均値をコミットメント・シグナリング行動の有効性の指標として、同様の分析を行ったところ、結婚指輪シナリオで有意な、 $b = -.41$, $SE = .20$, $95\%CI = [-.87, -.06]$ 、またお土産の差別化、 $b = -.03$, $SE = .02$, $95\%CI = [-.09, .00]$ およびデートの優先、 $b = -.17$, $SE = .11$, $95\%CI = [-.43, -.02]$ で有意傾向の国の間接効果が得られた。この結果は、日本よりもアメリカの方が高恋愛関係流動性社会環境であり、恋愛関係流動性が高いほどコミットメント・シグナリングによってパートナーを自分との関係に引きとどめる戦術として有効であるがゆえに、コミットメント・シグナリング行動の実行意図が高まるとする本研究の理論を支持するものである。

研究 1-2a では、特に結婚指輪の装着やお土産の差別化に関して、本研究の予測を支持する結果が得られた。しかし、研究 1-2a では結婚指輪の装着やお土産の差別化、デートの優先といった限られた対面場面におけるコミットメント・シグナリング行動しか扱っていない。このため、得られた結果がこれらの場面特有のものであるか、その一般化可能性には疑問が残る。そこで続く研究 1-2b では、新たにオンライン場面におけるコミットメント・シグナリング行動に着目する。そして、オンライン場面において研究 1-2a の知見を概念的に追試できるかを検証する。

研究 1-2b：オンライン場面におけるコミットメント・シグナリング行動

研究 1-2b の目的は、新たな日常場面であるオンライン場面におけるコミットメント・シグナリング行動の実行意図および有効性に対して恋愛関係が与える影響を検討することである。研究 1-2a では、日常の対面場面におけるコミットメント・シグナリング行動の実行意図および有効性が、恋愛関係流動性が低い日本よりも恋愛関係流動性が高いアメリカでより高いことが示された。この結果を踏まえ研究 1-2b では、異なる日常場面におけるコミットメント・シグナリング行動においても同様の結果が再現されるかどうかを確かめることにより、研究 1-2a で得られた知見が特定の場面に依存するものではないことを確認し、本研究の理論仮説が一般化可能性の高い理論であることを検証する。

研究 1-2b では、新たな日常場面として、オンライン場面におけるコミットメント・シグナリング行動に着目する。Facebook などの SNS は、利用者の実際の社会関係の流動性を

反映している (Takemura & Suzuki, 2015; Thomson, Yuki, & Ito, 2015)。このことから、オンライン状況は研究 1-2a における対面場面の拡張と捉えることができる。また SNS で発信される情報は、対面場面よりも広範な人々にも伝搬する (Marwick & Boyd, 2011)。このためコミットメント・シグナリングによって失われる潜在的なパートナー候補の数も多いと考えられる。それゆえに、こうした場面におけるコミットメント・シグナリング行動はパートナーに対する信頼性のより堅牢な証明として高く評価されるだろう。

以上を踏まえ研究 1-2b では、オンライン場面におけるコミットメント・シグナリング行動を用いて研究 1-2a の概念的追試を行う。研究 1-2b における予測は以下の通りである。第一に、コミットメント・シグナリング行動の実行意図は、日本よりもアメリカで高いだろう。第二に、コミットメント・シグナリング行動の有効性は、日本よりもアメリカで高いだろう。第三に、コミットメント・シグナリング行動にみられる日米差は、両社会の恋愛関係流動性によって統計的に説明され、日本よりもアメリカにおいて恋愛関係流動性が高く、恋愛関係流動性が高いほどコミットメント・シグナリング行動の有効性が高いため、コミットメント・シグナリング行動の実行意図が高くなるだろう。

参加者

参加者の募集は、研究 1-2a と同様クラウドソーシングサイトである Lancers (日本) および Amazon Mechanical Turk (アメリカ) を用いた。調査対象者は異性愛者の男女とし、分析に際して国籍が日本またはアメリカではない参加者、質問紙の回答言語が母国語 (日本語または英語) ではない参加者、および同性愛者・両性愛者の参加者を除外した。最終的な分析対象者は、日本人 115 名 (男性 39 名、女性 76 名), $M_{age} = 34.78$, $SD = 8.67$ 、アメリカ人 108 名 (男性 57 名、女性 44 名), $M_{age} = 33.10$, $SD = 8.14$ であった。

手続き

参加者はオンライン上の質問紙に回答した。参加に際し全ての参加者にオンライン上の参加同意書を提示し、内容に同意した参加者のみが質問紙に回答した。参加者を取り巻く社会環境における恋愛関係の流動性の測定には、研究 1-2b と同様に恋愛関係流動性尺度 6 項目 6 点尺度 (1. 全く当てはまらない～6. 非常に当てはまる) を用いた (具体的な尺度項目は Table 4-4 を参照されたい)。

研究 1-2a 同様、コミットメント・シグナリング行動の実行意図および有効性を測定するために、シナリオによる場面想定法を用いた。参加者は日常のオンライン場面を描いた 2 つのシナリオを読み、続く質問に回答した。本研究で用いた 2 つのシナリオはそれぞれ次の通りである：1) Facebook 交際状況公開 (Facebook 上で自分の交際状況や交際相手を公開

するかどうか)、および 2) SNS アイコン変更 (SNS 上のアイコンを自分とパートナーの 2 ショット写真に変更するかどうか)。参加者には、それぞれのシナリオにおける具体的な行動として、恋愛パートナーに対するコミットメントの高さの異なる行動が 2 種類または 3 種類提示された。それぞれのシナリオにおける具体的な行動を Table 4-6 にまとめた。

Table 4-6. 2 種類のオンライン場面シナリオと各シナリオにおける行動の例

シナリオ	パートナーに対する コミットメントの強さ	具体的な行動
Facebook	高	交際状況を公開し、交際相手を公開する
交際状況公表	中	交際状況を公開するが、交際相手は公開しない
	低	交際状況を公開しない
SNS	高	SNS のアイコンをパートナーとの 2 ショット写真にする
アイコン変更	低	SNS のアイコンを自分の写真にする

参加者は 2 つのシナリオを読み、自分の恋人がコミットメントの強さが異なる行動をとった場合にどう感じるかを、パートナーへの好意度、浮気意図の予測、関係継続意図、および他者から評価のそれぞれについて 7 点尺度で回答した。またこれに加え、参加者自身がそれぞれの行動のどれを行うかを選択した。以下では、Facebook 交際状況公表シナリオを例に詳細を説明する。

参加者には、まず次のような場面の説明が提示される⁸⁶。

“ソーシャルネットワーキングサービス Facebook のユーザーの中には、現在の自分の交際ステータス（※現在誰かと交際または結婚しているか、また、している場合は相手は誰かなど）を公表している人と、公表していない人がいます。なお、この交際ステータスは、初期設定では表示されません。交際状況を表示するには、ユーザー自身が設定を変更する必要があります。

さてここで、あなたに恋人ができたとします。もしもあなたの恋人が、次のように振舞った場合、あなたはどのように感じるでしょうか。それぞれの場面の後続く質問に答えてください。”

続いて参加者には、この時のパートナーの行動例として、1) 交際状況と交際相手を公開する、2) 交際状況のみを公開する、および 3) 交際状況を公開しない場合がそれぞれ提示された。参加者は、自分のパートナーがそれぞれの行動をとった場合の好意度（主観的な嬉しさやパートナーの魅力度評価）、浮気意図の予測（今後パートナーがどの程度浮気する

⁸⁶ SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）に関しては、SNS を知らない参加者に向けて注釈を加えている。

と思うか)、関係の継続意図 (今後もパートナーとの関係を継続していきたいと思うか)、および他者評価予測 (その行動によって周囲の他者がどの程度快・不快に思うか) のそれぞれについて7点尺度で回答した。その後、参加者は、提示された2種類から3種類の行動の中から、自分であればどの行動をとるかを選択した。研究1と同様、Facebook 交際状況公開シナリオと SNS アイコン変更シナリオの提示順序およびシナリオ内での行動の提示順序は全て参加者間でランダム化された。それぞれのシナリオを含む質問紙の詳細については、付録5 (日本語) および付録6 (英語) をそれぞれ参照されたい。

結果と考察

恋愛関係流動性の日米差を t 検定により検討したところ、研究 1-2a と同様、有意な日米差が得られ、 $t(214) = 9.41, p < .001$ 、日本よりもアメリカの方が高関係流動性社会であることが示された。

続いてコミットメント・シグナリング行動の実行意図に関する日米差を検討するため、カイ二乗検定を行なった。その結果、Facebook 交際状況公表、 $\chi^2(2, N = 216) = 47.89, p < .001$ (Figure 4-6a)、SN アイコン変更 ($\chi^2(1, N = 216) = 17.84, p < .001$) (Figure 4-6b) のいずれにおいても有意な日米差が見られた。このことから、研究 1-2a と同様、日本人よりもアメリカの方が、Facebook 上での交際状況の公表や SNS アイコンとしてパートナーとの写真を設定するなど、日常的なコミットメント・シグナリング行動の実行糸が高いこととする予測を支持する結果が得られた。

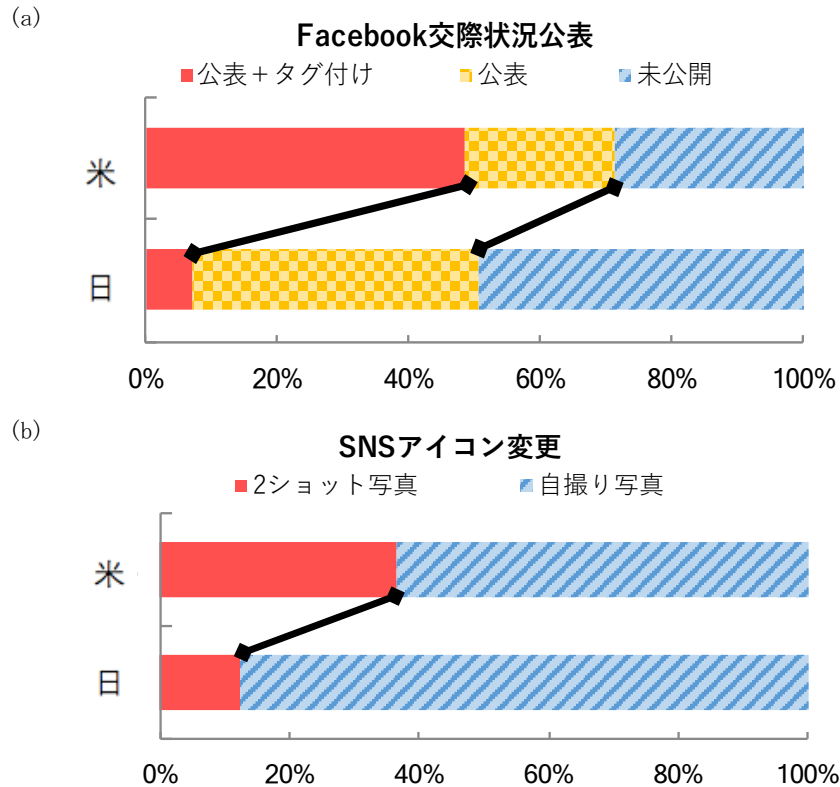


Figure 4-6. オンライン場面におけるコミットメント・シグナリング行動の日米差
縦軸における米はアメリカを、日は日本をそれぞれ示している。横軸はその行動を実行すると回答した参加者の割合を示している。赤色 (および黄色) 部分は、パートナーに対するコミットメントの程度が高い行動 (e.g., Facebook 上で交際状況と交際相手を公開する、SNS のアイコンを恋人との2ショット写真に変更する) を実行すると回答した参加者の割合を示している。

コミットメント・シグナリング行動の有効性が日米で異なることを検討するため、パートナーに対するコミットメントが高い行動と低い行動との評価の差分を有効性の指標として t 検定を行った。その結果、Facebook 交際状況公表シナリオにおいて、好意度, $t(214) = 3.36, p = .001$ 、関係継続意図, $t(214) = 3.82, p < .001$ 、他者評価予測, $t(214) = 5.08, p < .001$ の有意な日米差が得られ、Facebook 上での交際状況および交際相手の公表は、日本よりもアメリカでパートナーから好意的に評価され、関係継続意図を高め、かつ他者から好意的に評価されるだろうとする本研究の予測を支持する結果が得られた (Figure 4-7a)。しかし、浮気意図の推測については有意な日米差は得られなかった, $t(214) = 1.38, p = .169$ 。

Facebook が日本において比較的流動性の高い社会的文脈であり (Takemura & Suzuki, 2015; Thomson et al., 2015)、それゆえに日本においても Facebook においてパートナーから裏切られるリスクを感じやすいと考えられる。このため、交際状況の公開によってそうしたリスクの認知を緩和された可能性がある。

SNS アイコン変更シナリオにおいても同様に、好意度, $t(214) = 5.70, p < .001$ 、関係の継続意図, $t(214) = 4.02, p < .001$ 、他者評価予測, $t(214) = 6.26, p < .001$ の有意な日米差が見られ、また浮気意図の推測, $t(214) = 1.87, p = .063$ で有意傾向の日米差が見られた。これらの結果は、日本よりもアメリカ人で SNS のアイコンをパートナーとの 2 ショット写真に変更することがより好意的に蛹化され、浮気意図の推測を引き下げ、関係の継続意図を高め、さらに周囲の他者からも好意的に評価されるだろうとする本研究の予測を支持しする結果である (Figure 4-7b)。これらの結果は、研究 1-2a とも合致する。

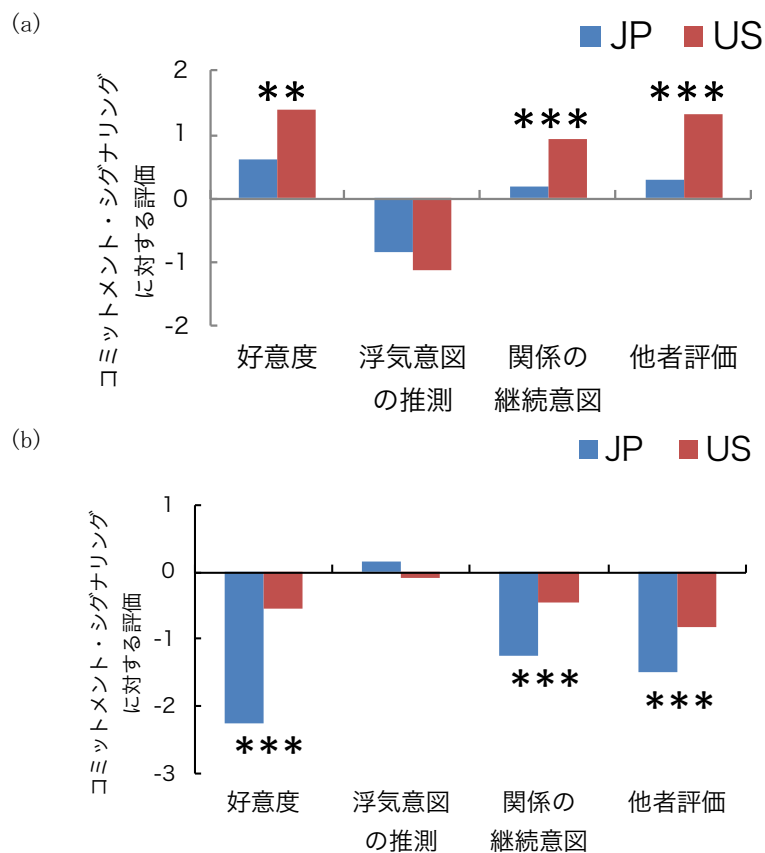


Figure 4-7. コミットメント・シグナリングに対する評価の日米差

好意度と関係の継続意図に関しては、値が正であるほど、よりパートナーとして好意的に評価され、関係の継続意図が高いことを示す。浮気意図の推測に関しては、値が負であるほど、パートナーの浮気意図の推測が低い (浮気しない) と評価していることを示す。他者評価に関しては、値が負であるほど、周囲の他者がその行動を取ることによって不快に感じると推測していることを示している。 *** $p < .001$, ** $p < .01$

続いて、恋愛関係流動性がコミットメント・シグナリング行動の実行意図に与える影響を検討するため、Hayes (2012, 2013) の SPSS プラグイン PROCESS による 5,000 サンプルによるブートストラップ法を用いて、恋愛関係流動性とコミットメント・シグナリングの有効性を介した、コミットメント・シグナリング行動の実行意図に対する国の間接効果を検討した。

Facebook 交際状況公開シナリオについて上述の分析を行った結果、関係流動性と好意度, $b = -.05, SE = .03, 95\%CI = [-.12, -.00]$ 、および関係継続意図, $b = -.05, SE = .03, 95\%CI = [-.11, -.00]$ を介した国の間接効果が有意だった。このことは、日本よりもアメリカの方が高恋愛関係流動性社会であり、恋愛関係流動性が高いほど Facebook における交際状況の公表がコミットメント・シグナリング行動として有効である——つまり、パートナーから好意的に評価され、関係の継続意図を高めるがゆえに Facebook における交際状況の公表意図が高くなるとする研究 1-2a と同様、本研究の予測を支持する結果が得られた。しかし、研究 1-2a とは異なり、恋愛関係流動性と他者反応予測を介した国の間接効果は有意ではなかった, $b = -.02, SE = .03, 95\%CI = [-.08, .02]$ 。先行研究は、日本人は個人情報を開示することに抵抗感があることを示している (Thomson et al., 2015)。本分析では、交際状況だけでなく交際相手を特定する行動を用いた。このため、恋愛関係流動性だけではなく、こうした個人情報を開示することの懸念の強さが他者反応予測に影響を与えた可能性が考えられる。

同様の分析を SNS アイコン変更シナリオに関して行った結果、関係流動性と好意度, $b = -.01, SE = .05, 95\%CI = [-.12, .09]$ 、関係継続意図, $b = -.09, SE = .08, 95\%CI = [-.28, -.02]$ 、および他者評価予測, $b = -.09, SE = .06, 95\%CI = [-.23, .02]$ を介した国の間接効果は、いずれも有意ではなかった。SNS アイコン変更シナリオに関しては、日本だけでなくアメリカにおいても好意度や関係継続意図、他者反応予想のいずれも低い。このため、恋愛関係流動性によらずあまり有効な行動とは言えなかった可能性が高い。

なお、研究 1-2a と同様に好意度と関係の継続意図の平均値をコミットメント・シグナリング行動の有効性の指標として、同様の分析を行ったところ Facebook 交際状況公表シナリオで恋愛関係流動性とコミットメント・シグナリング行動の有効性を介した有意な国の間接効果が得られた, $b = -.05, SE = .03, 95\%CI = [-.12, -.01]$ 。しかし、SNS アイコン変更シナリオでは、有意な間接効果は得られなかった, $b = -.04, SE = .07, 95\%CI = [-.21, .06]$ 。SNS アイコン変更シナリオで有意な間接効果が得られなかった理由については、上述と同様の理由が考えられる。

本研究の問題と将来の検討課題

以上を踏まえ、研究 1-2a ならびに研究 1-2b にはいくつか改善すべき点がある。第一に、結果の一般化可能性が低い点である。本研究では、2つの研究を通じて様々な日常場面におけるコミットメント・シグナリング行動の実行意図や有効性を検討することで、得られた知見が個別の文脈に依存したものではなく一般化可能性の高いものであることを確認しようとした。しかしながら、場面の選択には恣意性が残り、本研究の知見がどの程度一般化可能であるかについては、特定の社会的文脈に依存しない指標を用いた検討が必要

であろう。第二に、場面想定法による限界である。本研究では参加者の日常に近い行動を例示した。しかし、一部の設問を除き、参加者の行動指標は実際の行動ではない。それゆえに、現実の参加者の行動と質問紙上の回答の間に乖離がある可能性がある。このため今後は、行動実験などを通じて参加者の実際の行動指標を測定する検討が必要であろう。

第4章まとめ

第4章では、3つの研究を通じて恋愛関係流動性が人間の恋愛行動に与える影響を検討した。研究の結果、自己価値誇示行動 (研究 1-1) やコミットメント・シグナリング行動 (研究 1-2a, 1-2b) の実行意図は、日本よりもアメリカやカナダでより高いことが示された。さらに、自己価値誇示行動と恋愛関係流動性の間に有意な正相関が見られ、恋愛関係流動性が高いほど自己価値誇示行動の実行意図が高いという本研究の予想を支持する結果が得られた。それだけでなく、コミットメント・シグナリング行動については、恋愛関係流動性が高いほどコミットメント・シグナリング行動の有効性が高く、それゆえに行動の実行意図が高いとする本研究の予測が支持された。

しかし、自己価値誇示の社会差に対する恋愛関係流動性の媒介効果は得られず、自己価値誇示行動の実行意図に見られる社会差が関係流動性によってもたらされたものであるとする本研究の予測は支持されなかった。しかし、すでに述べたように研究 1-1 で用いた恋愛関係流動性尺度および自己価値誇示尺度は信頼性および妥当性が低い。それゆえに、恋愛関係流動性の効果や自己価値誇示行動の実行意図を正しく検出できなかった可能性が考えられる。

第5章：関係流動性が恋愛心理に与える影響に関する実証研究

本研究の目的は、社会環境要因である恋愛関係流動性が、恋愛関係における対人心理である親密性や情熱といった愛に与える影響を明らかにすることである。個人が自由に恋愛パートナーを取捨選択できる恋愛関係流動性社会環境では、個人はパートナーに裏切られる不安を感じやすい (Frank, 1988)。こうした相互不安を解消しパートナーとの排他的関係を形成するために有効な方略が、自発的に魅力的な関係への乗り換え機会を放棄することでパートナーへの自らの排他性を示し、相手に安心を提供するコミットメント・シグナリングである (Frank, 1988; Gonzaga et al., 2008; Yamaguchi et al., 2015)。しかし、恋愛パートナーの豊富な選択肢から自由に相手を取捨選択できる社会環境において、魅力的な代替関係への乗り換え機会を放棄し既存関係の留まり続けることは機会コストが大きい (山岸, 1998)。それゆえに、恋愛関係流動性の高い社会環境では、個人に対して既存関係よりも魅力的な代替関係へ乗り換えるよう強いインセンティブが働く (Yamagishi, 2011)。

こうした誘惑を乗り越えてパートナーとの長期的な互惠関係を形成するための戦術であるコミットメント・シグナリングを可能にするのが、親密性や情熱といった愛である (Frank, 1988; Gonzaga et al., 2008)。親密性や情熱は、個人を恋愛関係の形成に方向付けるとともに (Sternberg, 1986)、特定のパートナーに対する認知的集中状態をもたらす (Gonzaga et al., 2008)。加えて、パートナーに対して愛を感じることで、相手の理想化が生じる (Gunaydin & DeLong, 2015)。これによって個人は、恋愛関係流動性が高い社会環境に存在する魅力的な代替関係への乗り換えというインセンティブを乗り越え、コミットメント・シグナリングを実行することができると考えられる。

以上を踏まえ第5章では、第4章において恋愛関係流動性が低いことが示された日本と、恋愛関係流動性が高いことが示されたアメリカおよびカナダの間で国際比較研究を行う。第5章で検討する具体的な予測は、以下の通りである。第一に、恋愛パートナーに対する対人心理である親密性 (研究 2-1) や情熱 (研究 2-2) は、日本よりもアメリカまたはカナダにおいて高いだろう。第二に、親密性 (研究 2-1) や情熱 (研究 2-2) の高さに見られる社会差は、両社会の恋愛関係流動性の差異によって説明されるだろう。そして最後に、恋愛関係流動性は、パートナーへの情熱を高めることを通じて積極的なコミットメント・シグナリング行動を導くだろう (研究 2-2)。

研究 2-1：関係流動性がパートナーに対する親密性に与える影響の検討

本研究 2-1 の目的は、社会環境における恋愛関係流動性が、恋愛パートナーに対する対人心理の一つである親密性に与える影響を明らかにすることにある。他者との心理的なつながりの強さである親密性は (Sternberg, 1986)、恋愛関係をはじめ友人関係など親密な関係において重要な役割を果たすと考えられる。

これまで述べてきたように、恋愛関係は配偶行動や相互扶助を通じて直接的もしくは間接的に個人の適応度を上昇させる (e.g., Buss & Schmitt, 1993; Gonzaga, Haselton, Smurda, Davies, & Poore, 2008)。また親密関係の一つである友人関係は、社会的・情緒的サポートの源として個人の精神的健康や安定、自立を促すほか (福岡 & 橋本, 1995)、将来生じる他者との葛藤の解決に寄与するなど (DeScioli & Kurzban, 2009)、個人が直面する様々な問題の解決に役立つ。このため、恋愛関係や友人関係を良好かつ安定的に保つことは、人々にとって重要な適応課題である (Gonzaga et al., 2008; Schug et al., 2010)。

こうした対人関係の良好さや安定性に影響を及ぼす要素の 1 つが、パートナーとの心理的なつながりの強さである親密性である (Sternberg, 1986)。パートナーに対する親密性の強さは関係の段階とともに変化するが、特に関係の維持段階でパートナーに対して強い親密性を感じることで、パートナーとの関係満足度の高さや関係の長期的な維持につながる事が示されている (Le et al., 2010; Morry, 2005)。

関係流動性が高く、個人が自由に対人関係を取捨選択することができる社会環境では、より魅力的な第三者にパートナーを奪われる可能性が高く関係が解消しやすい (Yuki, Sato, Takemura, & Oishi, 2013)。このため、関係の喪失を避けるための積極的な行動が必要とされる (Schug et al., 2010)。こうした社会環境では、パートナーに対して高い親密性を持つことが有効となる。なぜなら対人心理である親密性は、パートナーへの積極的なサポート提供 (Rini et al., 2006) といった相手に対する惜しみない援助行動を引き起こすからである。このため、パートナーに対して自分との関係にとどまることの利益のアピールとなり、相手との関係継続において有利となる。一方、関係流動性が低く個人が任意に取捨選択できない社会環境では、対人関係の長期性や安定性が外的に保障される (Yamagishi et al., 2008)。こうした社会環境では、関係の喪失を避けるために積極的な行動をとる必要性が低いため、パートナーに対する親密性を高く持つことの有効性は低くなる。それだけでなく、むしろ低関係流動性社会環境ではパートナーに対する親密性は不利益を引き起こすかもしれない。例えば Adams らは、人々が社会的な相互作用相手を自由に選ばない社会環境では、親しい相手であっても相手に騙されて搾取されないよう常に疑い続けている必要性が高いことを示している (Adams et al., 2004; Adams & Plaut, 2003)。

近年、関係流動性が高いとされるアメリカやカナダなどの北米社会に暮らす人々の方

が、関係流動性が低いとされる日本や中国などの東アジア社会に暮らす人々よりも、恋人 (Marshall, 2008) や友人 (You & Malley-Morrison, 2000) に対してより高い親密性を感じることを見出している。しかし、こうした親密性の高さに見られる社会差とそれぞれの社会環境における関係流動性の関連を直接検討した研究はまだない。

そこで本研究は、低関係流動性社会である日本と高関係流動性社会であるカナダの間で比較研究を行い、以下の予測を検討する。第一に、対人関係におけるパートナーに対する親密性は日本よりもカナダでより高いだろう。第二に、こうした対人パートナーに対する親密性の社会差が、両社会における関係流動性の差異によって説明されるだろう。

参加者

参加者は、北海道大学に通う日本人大学生またはマニトバ大学に通うカナダ人大学生であった。参加者の募集は、北海道大学およびマニトバ大学の実験参加者プールを用いて行った。参加に対し北海道大学の学生は金銭を、マニトバ大学の学生は授業の単位をそれぞれ報酬として受け取った。分析に際し、国籍が日本またはカナダ以外の参加者、および質問紙の回答言語が母国語 (日本語または英語) ではない参加者を除外した。最終的な分析対象者は、北海道大学の学生 204 名, $M_{age} = 19.56$, $SD = 1.17$ 、マニトバ大学の学生 107 名, $M_{age} = 20.66$, $SD = 3.02$ であった。

手続き

オンライン上の調査プラットフォーム Qualtrics を用いて、質問紙調査を実施した。回答に先立ち、北海道大学の学生は紙で印刷された同意書、マニトバ大学の学生はオンライン上の同意書を提示され、同意書の内容に同意した参加者のみが質問紙に回答した。

参加者と 3 種類の親密他者 (親友・恋人・家族の中で最も親しい人)⁸⁷ に対する親密性の高さを、Inclusion of Other in the Self Scale (IOS 尺度: Aron, Aron, & Smollan, 1992)⁸⁸ を用いて測定した。IOS 尺度は、大きさの等しい 2 つの円を用いて、一方の円を「自己」もう一方の円を「相手 (親友・恋人・家族の中で最も親しい人)」として、2 つの円の重なりによって親密性を測定する。参加者は、2 つの円が重なっていない状態 (1) からほぼ完全に重なった状態 (7) までの円の重なりが異なる 7 段階の図を提示され、自分とそれ

⁸⁷ 「親友」の英訳は“closest friend”とした。また家族関係は個人の任意によらず関係流動性の影響を受けにくいと考えられるため、比較対象として家族の中でもっとも親しい人との親しさを尋ねた。

⁸⁸ IOS 尺度はその信頼性と妥当性が確認されている (Aron, Aron, & Smollan, 1992)。また言語に依存しない尺度であるため、国際比較研究において広く用いられている (Johnson, Haigh, Craig, & Becker, 2009; Uskul, Hynie, & Lalonde, 2004)。

それぞれのパートナーとの関係をもっともよく表しているものを1つ選んだ。円の重なりが大きいほど、親密性得点が高く2者間の親密性が高いことを示す (Figure 5-1)。

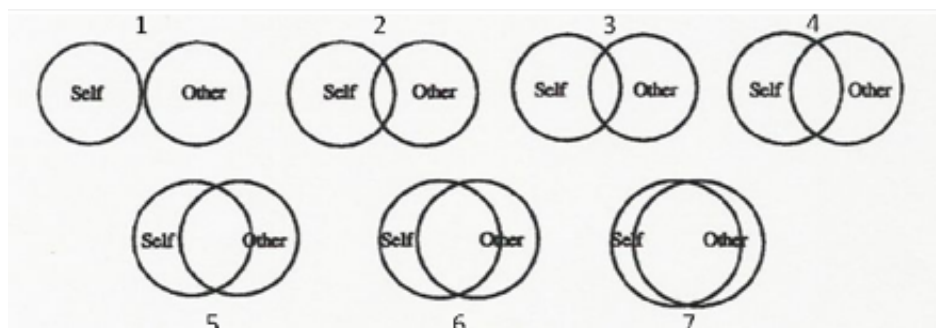


Figure 5-1. IOS 尺度の図
日本語では self を自己、Other を相手と表記した同様の同心円が表示された。

参加者の周辺環境における関係流動性を、関係流動性尺度 (Yuki et al., 2007; Yuki & Schug, 2012) 12 項目 7 点尺度で測定した (1: 全く当てはまらない～7: 非常によく当てはまる)。本研究では、恋愛関係だけではなく友人関係や家族関係も対象としていたことから、恋愛関係流動性尺度ではなく、社会関係一般について測定するオリジナルの関係流動性尺度を用いた。結城らの関係流動性尺度は、「新規出会うの機会 (5 項目)」および「関係形成・解消の自由度 (7 項目)」の 2 つの下位因子に分類できる (Yuki et al., 2007)。これら 2 つの因子それぞれ信頼性係数を算出したところ、日加それぞれで高い信頼性が得られた。それぞれ、新規出会うの機会： $\alpha = .81$ (日)、 $\alpha = .77$ (加)、関係形成・解消の自由度： $\alpha = .87$ (日)、 $\alpha = .73$ (加)。関係流動性尺度の具体的な項目を Table 5-1 に示した。質問紙の詳細については、付録 7 (日本語) および付録 8 (英語) を参照されたい。

Table 5-1. 関係流動性尺 12 項目 (下位因子ごと)

新規出会いの機会

彼ら（あなたと普段付き合いのある人たち）には、人々と新しく知り合いになる機会がたくさんある。

(1)

彼らは、初対面の人と会話を交わすことがよくある。(2)

彼らには、新しい友人を見つける機会があまりない。(逆転) (4)

彼らにとって見知らぬ人と会話することはそうあることではない。(5・逆)

彼らが新しい人たちと出会うのは簡単なことだ。(8)

関係形成・解消の自由度

彼らは、ふだんどんな人たちと付き合うかを、自分の好みで選ぶことができる。(3)

もし現在所属している集団が気に入らなければ、彼らは新しい集団に移っていくだろう。(6)

彼らにとって、付き合う相手を自由に選べないことはよくある。(7・逆)

たとえ所属する集団に満足していなかったとしても、彼らはたいていそこに居続けることになる。(9・逆)

彼らはどの集団や組織に所属するかを自分の好みで選ぶことができる。(10)

たとえ現在の対人関係に満足していなくても、彼らはそこに留まり続けるしかないことがよくある。

(11・逆)

たとえ現在所属する集団から離れたいと思っても、彼らはそこに留まらざるを得ないことがよくある。

(12・逆)

括弧内の数値は項目の提示順を示し、「逆」は逆転項目であることを示す。

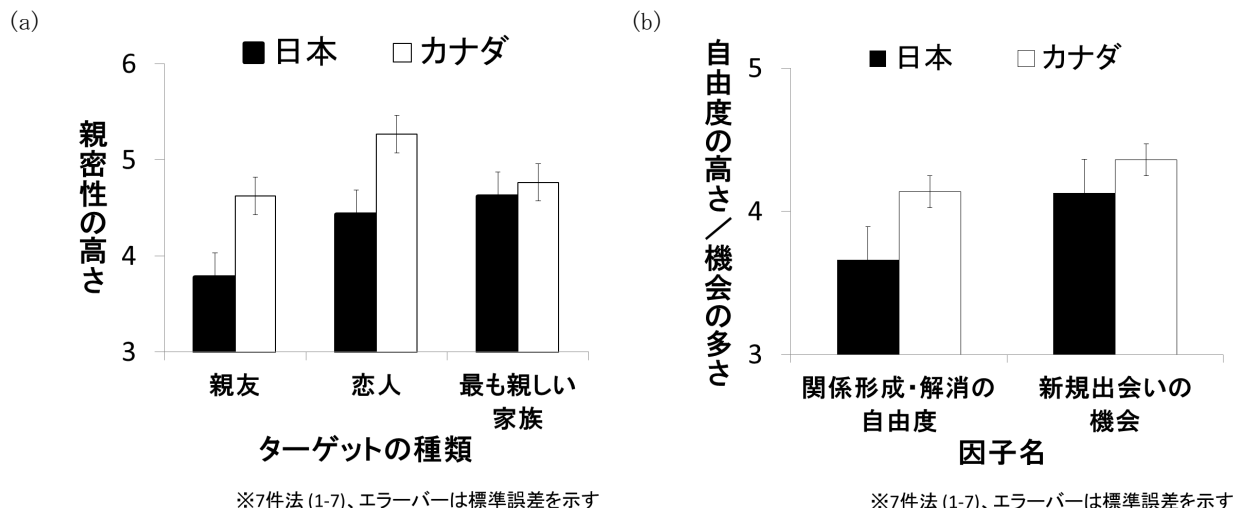
結果と考察

親友・恋人・最も親しい家族の一員のそれぞれをターゲットとした IOS 得点の日加差を検討するため、参加者の国籍 (カナダ・日本) ×ターゲット (親友・恋人・最も親しい家族) の 2 要因混合分散分析を行った。国籍は被験者間要因、ターゲットは被験者内要因であった。国およびターゲット別の平均値を Figure 5-2a に示した。分析の結果、国籍の主効果が有意傾向、 $F(1, 126) = 3.36, p = .069$ 、ターゲットの主効果が有意であった、 $F(2, 252) = 4.17, p = .017$ 。また、国籍とターゲットとの交互作用効果が有意であった、 $F(2, 252) = 5.03, p = .008$ 。

そこで、ターゲットごとに国籍の単純主効果検定を行ったところ、親友、 $F(1, 126) = 4.17, p = .043$ および恋人、 $F(1, 126) = 6.98, p = .009$ に対する IOS 得点の日加差が有意であり、日本人よりもカナダ人の方が、親友、 $M = 3.77, SD = 1.65$ (日本)、 $M = 4.63, SD = 1.53$ (カナダ) および恋人、 $M = 4.43, SD = 1.86$ (日本)、 $M = 5.27, SD = 1.72$ (カナダ) に対する親密性が高いことが示された。一方、最も親しい家族に対する IOS 得点に関しては、日本人、 $M = 4.62, SD = 1.68$ とカナダ人、 $M = 4.77, SD = 1.56$ の間で有意差は見られなかった、 $F(1, 126) = .40, p = .53$ 。家族関係は、社会環境の関係流動性に関わらず個人が任意に選択することは難しい。このため、社会環境による差異が得られなかったと考えられる。

次に、社会環境の関係流動性の日加差を検討するため、関係流動性の下位因子それぞれについて国籍を独立変数とする t 検定を行った。その結果、「関係形成・解消の自由度」(日本、 $M = 3.66, SD = .84$ 、カナダ、 $M = 4.14, SD = .68$) および「新規出会いの機会」(日本、

$M = 4.13, SD = .77$ 、カナダ、 $M = 4.36, SD = .84$) の両因子ともに、日本人よりもカナダ人の方が有意に高いことが示された (それぞれ $t(309) = 2.44, p = .015, t(309) = 5.07, p < .001$; Figure 5-2b)。



※7件法 (1-7)、エラーバーは標準誤差を示す
Figure 5-2. 3 種類のターゲットに対する親密性の日加差 (a)、および関係流動性の下位因子の日加差 (b)
図 a の縦軸は、それぞれのターゲットに対する親密性の高さ (IOS 尺度における円の重なり大きさ) を示しており、値が大きいほど親密性が高いことを意味する。図 b の縦軸は関係流動性における社会関係の形成・解消の自由度の高さあるいは新規出会うの機会の多さを示しており、値が大きいほどそれぞれ自由度が高く、機会が多いことを意味する。

次に、親友および恋人に対する IOS 得点の日加差が両社会の関係流動性によって説明されるかどうかを検討するため、関係流動性の下位因子それぞれについて、Hayes (2012, 2013) による SPSS プラグイン PROCESS を用いて、ブートストラップ法による媒介分析を行った。その結果、まず「関係形成・解消の自由度」因子が親友に対する IOS 得点の日加差を有意に媒介することが示された：親友との IOS 得点に対する関係流動性を介した国の間接効果 $b = .12, SE = .06, 95\%CI = [.01, .27]$, 効果量 $K^2 = .04, SE = .02, 95\%CI = [.01, .08]$ 。(Figure 5-3)。しかし予想に反して、恋人に対する IOS 得点の日加差については、有意な媒介効果が得られなかった：恋人との IOS 得点に対する関係流動性を介した国の間接効果, $b = .03, SE = .19, 95\%CI = [-.29, .44]$, 効果量 $K^2 = .01, SE = .03, 95\%CI = [.00, .03]$ 。この理由として、本研究で用いた関係流動性尺度が、恋愛関係の流動性の測定尺度として適切でなかった可能性がある (詳細は、後述の本研究の問題と将来の検討課題で述べる)。

「新規出会うの機会」因子についても同様に分析を行った結果、親友および恋人に対する IOS 得点のいずれの日加差に関しても有意な媒介効果は得られなかった (それぞれの IOS 得点に対する関係流動性を介した国の間接効果は、 $b = .00, SE = .03, 95\%CI = [-.06, .07]$, 効果量 $K^2 = .00, SE = .01, 95\%CI = [.00, .00]$ 、 $b = -.03, SE = .06, 95\%CI = [-.17, .09]$, 効果量 K^2

= .01, $SE = .01$, [95%CI = .00, .03])。

関係流動性の下位因子である関係形成・解消の自由度因子については有意な媒介効果が得られたが、新規出会いの機会因子については有意な媒介効果が得られなかった理由として、親密性が対人関係の喪失リスクに対する適応心理であることが考えられる。新規他者との出会いの多さはそれだけでは関係の喪失リスクに直結せず、パートナー維持に個人を方向づけるには至らない。しかし関係形成・解消の自由度はパートナーをライバルに奪われる可能性の現れであり、積極的な維持行動に個人を方向づけると考えられる。

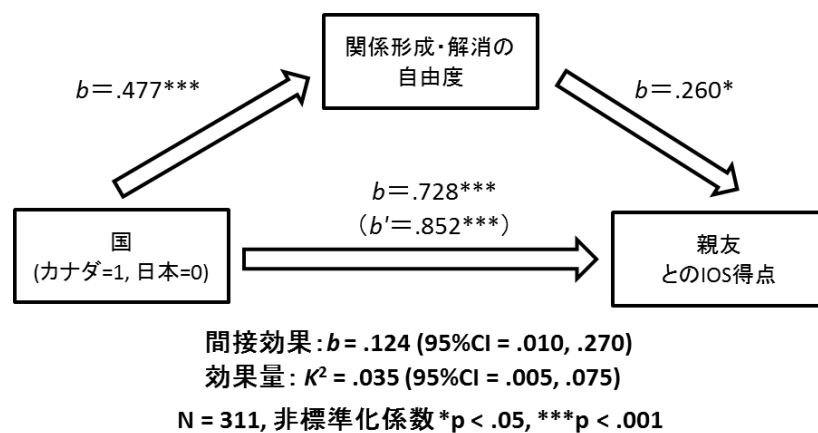


Figure 5-3. 親友に対する IOS 得点の日加差に関する、関係形成・解消の自由度因子の媒介効果
z 関係流動性の下位因子 (関係形成・解消の自由度) の媒介効果。b'は国籍を独立変数、友人との IOS 得点を従属変数として回帰分析を行った時の非標準化偏回帰係数を示している。b は媒介変数として関係形成・解消の自由度を投入した後の非標準化偏回帰係数を示している。

本研究の問題と将来の検討課題

本研究では、恋人に対する親密性の日加差に対する関係流動性の有意な媒介効果は得られなかった。この理由として、本研究で用いた関係流動性尺度が、恋愛関係の流動性の測定尺度として適切でなかった可能性が考えられる。本研究では、恋愛関係だけでなく友人関係や家族関係も研究対象としたため、社会関係一般について尋ねるオリジナルの関係流動性尺度を用いた。しかし恋愛関係と友人関係は質的に大きく異なる。例えば日本やカナダを含む多くの近代社会では恋愛関係は一対一が主流なのに対し、友人関係は同時に複数の相手と関係を結ぶことが主流である。また異性愛者の場合、恋愛関係市場は異性に限られるが、友人関係市場には異性も両性も含まれる。このため今後の研究では、恋愛関係流動性尺度を用いた親密性の再検討が必要だろう。

また本研究は、社会環境の関係流動性が親密性に影響を与える具体的な過程については未明である。序論で述べたように、本研究は親密性が社会的サポートの提供など、対人関係の形成や維持における適応行動を導く適応心理であるとの仮説を立てた。しかし親密性

の社会差に関しては他の説明も可能である。例えば、関係流動性が高い環境では、対人関係は個人が自発的に形成するものであり、人間は本質的には孤独な存在である (Adams et al., 2004)。こうした孤独感を解消するために人々が自己開示などの対人行動をとった結果、他者との心的な結びつきが強まった可能性も考えられる。あるいは、対人関係の取捨選択が自由である高関係流動性社会環境では、低関係流動性社会環境に比べ、親密性の低い関係が解消されやすく、結果として親密性の高い関係だけが維持されている可能性もある。今後の研究では、いずれの過程が働いているのかについて検討を行う必要があるだろう。

研究 2-2：関係流動性がパートナーへの情熱の高さに与える影響の検討

本研究の目的は、社会環境の関係流動性が、恋愛関係における対人心理の一つである情熱に与える影響を明らかにすることにある。先述のように、恋愛関係においてパートナーとの排他的な長期的関係は、生まれてくる子の生存可能性を高め将来の生殖成功率を高める上で重要となる (Hill & Kaplan, 1999a, 1999b; Iwasa & Pomiankowski, 1999; Kaplan et al., 2000; Simpson & Gangestad, 1992)。しかし、長期的な相互関係の形成には、相手に裏切られ関係を解消されるかもしれない不安がつきまとう (Frank, 1988)。それゆえに、こうした相互不安の解消が長期的な恋愛関係の達成には必要となる。

Frank (1988) は、こうした問題の解決として情熱が役立つとしている。個人を特定の相手との関係形成に方向付ける情熱は (Hatfield & Sprecher, 1986; Sternberg, 1986, 1997)、パートナーの理想化や (Gunaydin & DeLong, 2015)、パートナーへの批判的思考の抑制 (Bartels & Zeki, 2000)、そして代替関係への注意の抑制 (Gonzaga et al., 2008; Marazziti et al., 2003) といった帰結をもたらす。このため、パートナーが自分に対して高い情熱を持っていると認識することで、相手に捨てられるという不安が解消され、相互のコミットメント達成が容易にする。

恋愛関係流動性が高い社会環境では、個人は自由にパートナーを取捨選択できる。このため人々は、既存の関係よりも魅力的な代替関係があれば積極的に関係を乗り換えようとする (Yamagishi, 2011)。こうした社会環境では、情熱による自発的なコミットメント・シグナリングが、パートナーとの相互コミットメントを達成する上で有効となる (Frank, 1988)。一方、恋愛関係流動性の低い社会環境では、人々は既存の閉鎖的なコミットメント関係に組み込まれ、自由にパートナーを取捨選択することは難しい (Yamagishi et al., 2008; Yamagishi, Jin, & Miller, 1998)。こうした社会環境では、個人はパートナーを喪失するというリスクに直面していないため、相手から捨てられるという不安を感じにくい。このため、情熱による自発的なコミットメント・シグナリングの有効性は低くなるだろう。それだけでなく、特定のパートナー以外との関係を自発的に制限することは、既存の社会関係に不和を生じうる行動として忌避され、有効性は低くなるだろう。

先行研究は、恋愛関係におけるパートナーに対する情熱が、東アジア人よりも北米人において高いことを示している (Gao, 2001; Sprecher et al., 1994)。しかし、関係流動性と情熱の関連を直接検討した研究はまだない。そこで本研究は、恋愛関係における流動性を測定し、こうした情熱の社会差が両社会の恋愛関係流動性によって説明されることを検討する。

本研究は、恋愛関係流動性が低い社会である日本と、恋愛関係流動性が高い社会であるアメリカの間で比較研究を行う。本研究の予測は次の通りである。第一に、パートナーに

対する情熱は、日本よりもアメリカで高いだろう。第二に、こうしたパートナーに対する情熱の日米差は、関係流動性によって媒介されるだろう。第三に、恋愛関係流動性の高さは、パートナーへの情熱を高めることを通じて、パートナーに対するコミットメント・シグナリング行動の実行意図を高めるだろう。

参加者

参加者の募集は、クラウドソーシングサイトである Lancers (日本) および Amazon Mechanical Turk (アメリカ) を用いた。調査対象者は異性愛者の男女とし、分析に際して国籍が日本またはアメリカではない参加者、質問紙の回答言語が母国語 (日本語または英語) ではない参加者、および同性愛者・両性愛者の参加者を除外した。最終的な分析対象者は、日本人 51 名, $M_{\text{age}} = 38.25$, $SD_{\text{age}} = 8.38$ 、アメリカ人 107 名, $M_{\text{age}} = 35.78$, $SD_{\text{age}} = 12.20$ であった⁸⁹。

手続き

参加者を取り巻く社会環境における恋愛関係流動性を測定するため、恋愛関係流動性尺度 6 項目 6 点尺度を用いた (尺度の詳細については、Table 4-4 を参照されたい)。恋愛関係流動性尺度の信頼性は、それぞれ、 $\alpha = .81$ (日本)、 $\alpha = .84$ (アメリカ) であった。また、現在交際中のパートナーに対する参加者の情熱の強さの測定には、Passionate Love Scale (PLS: Hatfield & Sprecher, 1986) 15 項目 6 点尺度 (1. まったく当てはまらない～6. 非常に当てはまる) を用いた。尺度の信頼性はそれぞれ、 $\alpha = .88$ (日本)、 $\alpha = .92$ (アメリカ) であった。

参加者のコミットメント・シグナリング行動の実行意図を測定するため、参加者に 3 種類のコミットメント行動を提示し、恋愛関係においてそれらの行動をどの程度行うかを尋ねた。参加者は、特定の異性 (X さん) と長期的な恋愛関係を形成しようとしている場面を想像するよう尋ねられた。その際、参加者には 3 種類 6 項目のコミットメント・シグナリング行動がそれぞれ提示され、それぞれの行動をどの程度採択するかを 6 点尺度 (1. 絶対に取りたくない～6. 必ず取る) で回答した。参加者に提示されたコミットメント・シグナリング行動の種類と具体的な項目、および日米における項目間の相関を Table 5-2 に示した。

⁸⁹ 本研究では、募集に際し現在交際中であることを条件としなかった。交際相手の有無で除外しなかった場合の参加者数は、日本人 103 名, $M_{\text{age}} = 36.76$, $SD_{\text{age}} = 8.01$ 、アメリカ人 154 名, $M_{\text{age}} = 34.86$, $SD_{\text{age}} = 11.99$ であったが、特に日本人において元々のサンプルサイズが少ないこともあり、最終的な分析対象者の数が少なく、かつ日米でサンプルサイズに開きが生じた。

Table 5-2. コミットメント・シグナリング行動項目とそれぞれの項目間相関 (日米)

	項目間相関	
	米	日
恋人との近接性確保 X さんに話しかける頻度や、メールや電話の数を増やす。 X さんと一緒に過ごす時間を増やす	.38**	.64**
恋人の優先 X さんを特別扱いする。 X さんと出かけるチャンスがあれば、他の男性／女性との先約を断る。	.42**	.41**
代替関係の放棄 X さん以外の異性とプライベートで出かけたりしないようにする。 X さんを含む何人かの異性が集まっている中で、X さんだけに話しかけるよう努める。	.22**	.25*

** $p < .01$, *** $p < .001$.

結果と考察

まず、恋愛関係流動性が日本よりもアメリカにおいて高いことを確かめるため、国籍を独立変数とする t 検定を行ったところ、有意な日米差が得られ、 $t(156) = 7.49, p < .001$ 、予想通りアメリカ ($M = 4.57, SD = .81$) の方が日本 ($M = 3.58, SD = .70$) よりも恋愛関係流動性が高いことが示された。

パートナーに対する情熱の強さについても同様に分析を行ったところ、有意な日米差が得られ、 $t(156) = 5.30, p < .001$ 、予想通りアメリカ人 ($M = 4.60, SD = .93$) の方が日本人 ($M = 3.74, SD = 1.01$) よりもパートナーに対してより強い情熱を感じていることが示された。こうしたパートナーに対する情熱の日米差が両社会の恋愛関係流動性によって説明されることを検討するため、Hayes (2012, 2013) による SPSS プラグイン PROCESS を用いてブートストラップ法による関係流動性の媒介効果を分析した。その結果、パートナーに対する情熱に対する、関係流動性を介した国の有意な間接効果が得られた、 $b = .28$ [95%CI = .09, .52], $K^2 = .12$ [95%CI = .04, .20] (Figure 5-4)。この結果は、パートナーへの情熱の日米差が両社会の恋愛関係流動性の差異によって説明されるとする本研究の予測を支持する結果である。

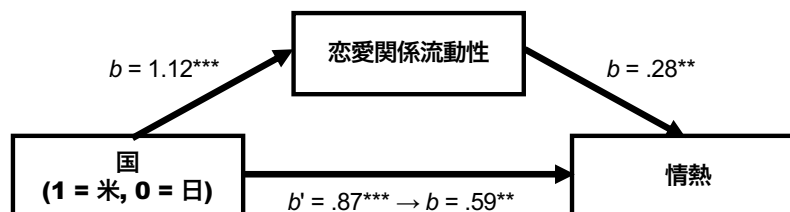


Figure 5-4. パートナーに対する情熱の日米差に対する恋愛関係流動性の媒介効果

図中の b はそれぞれ非標準化偏回帰係数を示している。係数 b' は、国を独立変数、パートナーに対する情熱の強さを従属変数として回帰分析を行った場合の非標準化変回帰係数を示している。 b は媒介変数として恋愛関係流動性を投入した後の日標準化偏回帰係数を示している。*** $p < .001$, ** $p < .01$.

最後に、恋愛関係流動性が高位ほどパートナーに対する情熱が高く、パートナーへの情熱が高いほどコミットメント・シグナリング行動の実行意図が高くなることを検証するため、3種類のコミットメント・シグナリング行動それぞれの実行意図に対する、情熱を介した恋愛関係流動性の間接効果を AMOS によるブートストラップサンプリング法を用いて分析した。分析の結果、3種類のコミットメント・シグナリング行動の実行意図すべてに対して、情熱を介した恋愛関係流動性の有意な間接効果が得られた：それぞれ、恋人との近接性確保行動, $b = .27$, 95%CI = [.21, 1.85]、恋人の優先行動, $b = .48$, 95%CI = [.12, .51]、代替関係の放棄行動, $b = .31$, 95%CI = [.16, .50] (Figure 5-5)。これらの結果は、恋愛関係流動性が高いほどパートナーへの情熱が高く、パートナーへの情熱が高いほどコミットメント・シグナリング行動の実行意図が高くなるとする本研究の予測を支持する結果である。

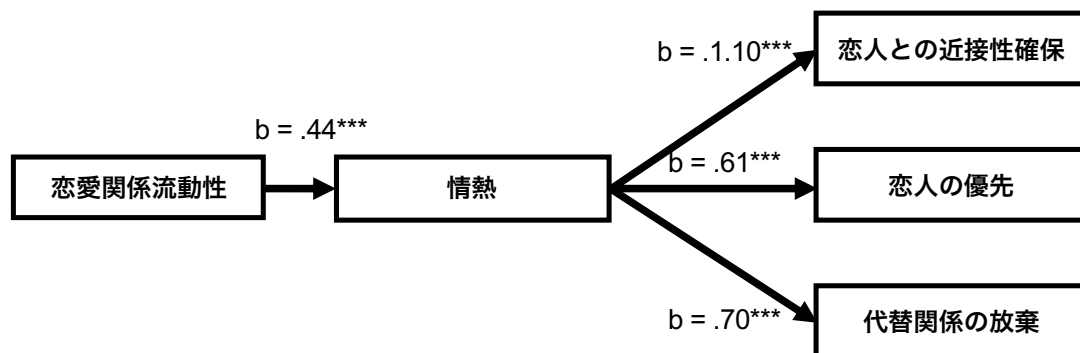


Figure 5-5. コミットメント・シグナリング行動に対する情熱を介した恋愛関係流動性の間接効果
3種類のコミットメント・シグナリング行動に対する、パートナーへの情熱の強さを介した恋愛関係流動性の間接効果。図中の係数は全て非標準化編回帰係数を示している。*** $p < .001$ 。

本研究の問題と将来の検討課題

以上の結果は、恋愛関係流動性が高い社会環境ほどパートナーへの情熱が高く、こうしたパートナーへの高い情熱によって積極的なコミットメント・シグナリング行動が導かれるとする本研究の予測を支持する結果である。しかし、本研究にはいくつかの改善点が考えられる。第一に、本研究はコミットメント・シグナリングとして3種類の行動しか想定しておらず、また各項目間の相関も高いとは言えない。このため、今後の研究ではさらに信頼性の高い行動指標の作成が必要である。第二に、パートナーに対して強い情熱を感じるものの実際の利益やコスト・ベネフィットを測定していない。情熱やそれが導くコミットメント・シグナリング行動の有効性を論じるためには、パートナーに対する情熱の高さとそれが導くコミットメント・シグナリング行動の社会的帰結を明らかにする必要があるだろう。本研究の予測が正しければ、パートナーに対する情熱が高くコミットメント・シ

グナリング行動の実行意図が高い個人の方が、そうでない個人よりもパートナーとの関係維持に成功しており、さらにこの傾向は恋愛関係流動性が高い社会ほど強いはずである。このため今後の研究では、情熱やコミットメント・シグナリング行動と恋愛関係の継続性との関連を検討する必要があるだろう。

第5章まとめ

第5章では、恋愛関係流動性が人間の恋愛心理に与える影響を検討した。研究の結果、恋愛パートナーに対する親密性 (研究 2-1) や情熱 (研究 2-2) は、日本よりもアメリカやカナダでより高いことが示された。さらに、情熱の日米差は、両社会の恋愛関係流動性の差異によって説明されることが示された。それだけでなく、恋愛関係流動性の高さは、パートナーへの高い情熱を導くことを通じて、パートナーへの積極的なコミットメント・シグナリング行動を導くとする本研究の予測を支持する結果が得られた。

しかし本研究では、恋愛パートナーの親密性に関する恋愛関係流動性の影響については検討できなかった。なぜなら、研究 2-1 では恋愛関係を含め友人関係や家族関係といった異なる親密関係を対象としたため、社会関係一般の関係流動性尺度を用いたためである。恋愛関係と友人関係では適応的機能が異なる (恋愛関係は繁殖する上で必要となるが、友人関係は社会的葛藤における同盟関係として機能する)。そのため、恋愛関係流動性を測定した上で、恋愛パートナーへの親密性に対する恋愛関係流動性の影響を再検討する必要がある。

第6章：恋愛関係流動性と配偶価値の交互作用効果に関する実証研究

本研究の目的は、社会環境要因である恋愛関係流動性と個人要因である個人の配偶価値の交互作用効果が、恋愛関係における人間の行動に与える影響を明らかにすることである。第4章および第5章では、社会環境要因である恋愛関係流動性がヒトの恋愛行動や恋愛心理にどのような影響を与えるかを検討してきた。しかし、ヒトの恋愛行動に影響を与える要因は社会環境要因だけではない。

先述したように、恋愛関係流動性が高い社会環境では、自己価値誇示やコミットメント・シグナリングなどのシグナリング行動や、利益提供やコスト賦課を通じたパートナー保持行動が必要となる。しかし、個人の配偶価値 (Pawlowski & Dunbar, 1999a) によって、これらの行動のいずれが有利となるかは異なる。自己価値誇示や利益提供行動は、個人が実際に優れた遺伝子型や能力、豊富な資源を有している必要がある。それゆえに、配偶価値が高い個人でなければこうした行動を実行することは難しい (Buss et al., 2008; Greenlees & McGrew, 1994; Miner et al., 2009)。一方で、コミットメント・シグナリングやコスト賦課といった行動は、そうした遺伝子型や能力、あるいは豊富な資源を必要としない反面、機会コストの喪失や、パートナーへの心理的負担、ライバルからの反撃と言ったリスクを伴う。配偶価値が低い個人は、恋愛関係市場における競争力が弱くパートナーの喪失リスクが高いため (Brewer & Riley, 2009; Pawlowski & Dunbar, 1999a)、こうしたコストを負うとしてもコミットメント・シグナリングやコスト賦課を取らざるを得ない (Buss, 2002; Buss et al., 2008)。

こうした配偶価値による戦術の使い分けは、恋愛関係流動性の高い社会環境においてより強くなるだろう。なぜなら、個人の自由な恋愛パートナーの取捨選択が難しい恋愛関係流動性の低い社会環境では、個人の配偶価値によらずシグナリング行動やパートナー保持行動を行う必要性が低いからである。

これまで、こうした社会環境要因と個人要因の交互作用が人間の恋愛行動に与える影響の検討はあまり行われていない。そこで本研究では、社会環境の恋愛関係流動性と個人の配偶価値の交互作用効果が、恋愛関係におけるシグナリング行動やパートナー保持行動に与える影響を検討する。本研究の具体的な予測は次の通りである。第一に、配偶価値の高い個人ほど恋愛関係において自己価値誇示や利益提供を行い、配偶価値の低い個人ほど恋愛関係においてコミットメント・シグナリングやコスト賦課を行うだろう。第二に、配偶価値の高い個人に比べ、配偶価値の低い個人の方がより積極的にパートナー保持行動に従事するだろう。そして第三に、こうした恋愛行動に対する個人の配偶価値の効果は、恋愛関係流動性が低い社会環境よりも恋愛関係流動性が高い社会環境において強いだろう。

研究 3-1：シグナリング行動における流動性と配偶価値の交互作用効果の検討

本研究の目的は、社会環境要因である恋愛関係流動性と個人要因である配偶価値の交互作用が、恋愛関係において異性を惹きつけるためのシグナリング行動に与える影響を明らかにすることである。これまで述べてきたように、恋愛関係において魅力的な異性の獲得と維持はヒトの重要な適応課題である (Buss, 1989; Fawcett et al., 2011; Shackelford, Goetz, et al., 2005)。しかし個人が関係を結べる相手には限りがあるため (Roberts et al., 2008)、魅力的な異性からパートナーとして選ばれるためには、自分が他者よりも優れたパートナー候補であることを示す必要がある。そうしたシグナリング行動として有効なのが、自らの優れた遺伝的形質を示す自己価値誇示や、パートナーに対する排他性を約束し自らの誠実性を示すコミットメント・シグナリングである。

自己価値誇示やコミットメント・シグナリングのように、恋愛関係において異性から選ばれるためのシグナリング行動は複数ある。しかし、いずれの行動が個人にとって最適戦略となるかは、当該の恋愛関係市場における個人の相対的な配偶価値によって決まる (Ellis et al., 2002; Greenlees & McGrew, 1994; Miner et al., 2009)。自己価値誇示を行うのは、配偶価値が高く優れた遺伝子型や高い生殖能力を有する人々である (Greenlees & McGrew, 1994)。また、配偶価値の高い人々は特定の相手に対するコミットメントを避ける傾向がある (Ellis et al., 2002; Jonason & Buss, 2012; Simpson & Gangestad, 1992)。なぜなら、配偶価値の高い個人は多くの異性を惹きつけられるため、特定のパートナーにコミットすることで失われる機会コストがより大きいからである。このため、配偶価値の高い人々に比べ配偶価値が低い個人の方が、パートナーに対して自分の排他性と長期的関係の継続意図が高いことを示すコミットメントをシグナルする (Buss, 2015)。では、こうした個人特性である配偶価値に基づくシグナリング行動の使い分けは、果たして社会普遍的に見られるのだろうか。

本研究は、シグナリング行動の選択に対する配偶価値の影響の強さが、当該社会環境の恋愛関係流動性によって調整されるとの仮説を立てる。恋愛関係流動性が高い社会環境では、出会いの機会が豊富で対人関係選択の自由度が高いがゆえにパートナーをめぐる競争が激しく (Barclay, 2013)、関係構築のための積極的な努力が必要とされる (Adams, 2005; Adams et al., 2004; Schug et al., 2010)。このため、配偶価値が高い個人は積極的な自己価値誇示を通じて魅力的なパートナーの獲得機会を増やすことができる。一方で配偶価値の低い個人は、異性を十分に惹きつけられるだけの自己価値誇示を実行することは難しい。そのため、コミットメント・シグナリングを通じて、特定のパートナーに対し長期的な互惠関係の維持を約束することがより有効となる。

しかし、恋愛関係流動性が低く自由な関係の取捨選択が難しい社会環境では (山岸,

1998; Yamagishi, Hashimoto, & Schug, 2008)、自己価値誇示を通じて自らの優れた遺伝的形質や高い生殖能力をシグナルしても、魅力的なパートナーの獲得機会を増やすことは難しい。また対人関係の長期的な安定性が外的に保証されているため、コミットメント・シグナリングによる自らの誠実性を示す有効性も低い。それゆえに、こうした社会環境では、個人の配偶価値に関わらず自己価値誇示やコミットメント・シグナリングの有効性は低いだろう。

以上を踏まえ本研究 3-1 では、恋愛関係における自己価値誇示やコミットメント・シグナリング行動の実行意図に対する個人の配偶価値の効果が、恋愛関係流動性によって調整されることを検討する。本研究の具体的な予測は以下の通りである。第一に、恋愛関係流動性が低い日本よりも、恋愛関係流動性が高いアメリカにおいて自己価値誇示行動およびコミットメント・シグナリング行動の実行意図が高いだろう。第二に、配偶価値の高い個人ほどより自己価値誇示を行い、配偶価値の低い個人ほどコミットメント・シグナリングを行うだろう。第三に、シグナリング行動の実行意図に見られる配偶価値の効果は、恋愛関係流動性が低い社会環境よりも恋愛関係流動性が社会環境でより強いだろう。

参加者

参加者の募集は、クラウドソーシングサイトである Lancers (日本) および Amazon Mechanical Turk (アメリカ) を用いた。調査対象者は異性愛者の男女とし、分析に際して国籍が日本またはアメリカではない参加者、質問紙の回答言語が母国語 (日本語または英語) ではない参加者、および同性愛者・両性愛者の参加者を除外した。最終的な分析対象者は、日本人 118 名 (男性 61 名、女性 57 名), $M_{age} = 36.27$, $SD = 10.73$ 、アメリカ人 117 名 (男性 75 名、女性 42 名), $M_{age} = 33.70$, $SD = 10.13$ であった。

手続き

参加者を取り巻く社会環境における恋愛関係流動性を測定するため、恋愛関係流動性尺度 6 項目 6 点尺度を用いた (尺度の詳細は Table 4-4 を参照されたい)。尺度の信頼性はそれぞれ、 $\alpha = .75$ (日本)、 $\alpha = .82$ (アメリカ) であった。また参加者の配偶価値の測定には、Mate Value Inventory 4 項目 7 点尺度 (MVI: Edlund & Sagarin, 2014) を用いた。尺度の信頼性はそれぞれ、 $\alpha = .88$ (日本)、 $\alpha = .91$ (アメリカ) であった。

パートナーに対する自己価値誇示行動およびコミットメント・シグナリング行動の実行意図を測定するために、恋愛関係における行動尺度 6 項目 7 点尺度を作成した。尺度項目には、自己価値誇示行動 (e.g., 自分の優れた能力や特技などを、X さんの前で披露する)、コミットメント・シグナリング行動 (e.g., X さんだけに、他の異性に話したことのない秘

密を打ち明ける)、および不破回避行動 (e.g., X さん以外の友人や知り合いとの関係が悪くならないよう、X さんだけを優先しすぎないようにする) の 3 要素から構成され、各 2 項目で構成されていた。具体的な項目の詳細を、Table 6-1 に示した。質問紙の詳細は、付録 11 (日本語) および付録 12 (英語) を参照されたい。

Table 6-1. 恋愛関係における行動尺度における各因子の項目と日米における項目間相関

	項目間相関 (r)	
	日本	アメリカ
自己価値誇示	.65***	.50***
自分の優れた能力や特技などを、X さんの前で披露する。		
X さんに、自分の長所をアピールする。		
コミットメント・シグナリング	.06	.20*
X さん以外の異性との関わりを、X さんにもはっきりとわかるように断つ (他の異性と話したり、一緒に出かけたりしないようにする、など)。		
X さんだけに、他の異性に話したことの秘密を打ち明ける。		
不破回避	.25**	.29**
X さん以外の友人や知り合いとの関係が悪くならないよう、X さんだけを 優先しすぎないようにする。		
X さんに好意を持っていることが、周囲の人にばれないよう隠す。		

* $p < .05$, ** $p < .01$, *** $p < .001$

結果と考察

参加者を取り巻く社会環境における恋愛関係流動性の社会差を検討するため、国を独立変数とする t 検定を行ったところ、日米の有意な差が得られ、 $t(233) = 8.28, p < .001$ 、日本よりもアメリカの方が高関係流動性社会であることが示された。続いて、恋愛関係における自己価値誇示、コミットメント・シグナリング、および不破回避行動の日米差を検討するため、各項目について平均値を算出し合成変数として国籍を独立変数とする t 検定を行った。その結果、自己価値誇示行動で有意傾向、 $t(233) = 1.95, p = .053$ 、不破回避で有意な日米差が得られた、 $t(233) = 3.27, p = .001$ 。このことから、日本人よりもアメリカの方が自己価値誇示行動の実行意図が高く、日本人はアメリカ人よりも不破回避行動の実行意図が高いという本研究の予測が支持された。一方で、コミットメント・シグナリング行動に関しては、日本人の方がアメリカ人よりも実行意図が高いという予想に反する結果が得られた、 $t(233) = 2.70, p = .007$ 。それぞれの行動に関する実行意図の日米差を、Figure 6-1 に示した。

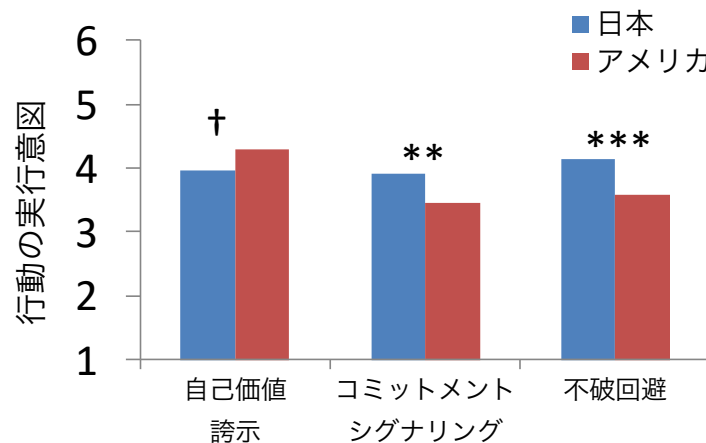


Figure 6-1. 自己価値誇示、コミットメント・シグナリング、不破回避に関する実行意図の日米差
† = .053, ** $p < .01$, *** $p < .001$

関係流動性とそれぞれの恋愛行動の実行意図の関連を調べるために相関分析を行った結果、関係流動性と自己価値誇示の間には有意な相関が得られなかった、 $r = .05, p = .427$ 。一方で、関係流動性とコミットメント・シグナリングの間には負の相関が得られ、 $r = -.25, p < .001$ 、関係流動性が低いほどコミットメント・シグナリング行動の実行意図が高いとの結果が得られた。この結果は、本研究の予測および研究2および研究4で得られた結果にも反する結果である。また関係流動性と不破回避の間に負の相関が得られた、 $r = -.25, p < .001$ 。この結果は、関係流動性が低いほど不破回避行動の実行意図が高いとする本研究の予測を支持する結果である。

これらの結果を踏まえ、恋愛行動の日米差が両社会の関係流動性の違いによって説明されるかどうかを、Hayes (2012, 2013) による SPSS プラグイン PROCESS を用いて、ブートストラップ法による媒介分析を行った。その結果、コミットメント・シグナリング、 $b = -.27, SE = .11, 95\%CI = [-.50, -.07]$ および不破回避、 $b = -.26, SE = .11, 95\%CI = [-.49, -.06]$ において関係流動性を介した国の有意な間接効果が得られた⁹⁰。しかしこの結果は、予想に反し、コミットメント・シグナリング行動の実行意図に見られる日米差が両社会の恋愛関係流動性の差異によって説明され、恋愛関係流動性が低い日本社会の方が恋愛関係流動性が高いアメリカ社会よりコミットメント・シグナリングを行うことを示している。一方で不破回避行動に関しては、関係流動性が低いほど不破回避行動の実行意図が高いことが示され、本研究の予測が支持された。

⁹⁰ 自己価値誇示に関しては、関係流動性と自己価値誇示行動の相関が有意ではなかったため、本文中では結果を記載していない。なお、自己価値誇示行動の実行意図に関して同様に媒介分析を行った場合の関係流動性を介した国の間接効果は有意ではない、 $b = .01, SE = .20, 95\%CI = [-.18, .23]$ 。

コミットメント・シグナリングについて予想に反する結果が得られた理由に、関係の断絶を明確に表記したことが考えられる。流動的な社会環境では、親密ではないがゆるい社会的つながりを持つことは、転職などの新たな社会関係を形成するきっかけとなりうる (Granovetter, 1973)。このため、単に接触頻度を控えるだけでなく完全に関係を断ち切ってしまう行動は、こうした緩やかな社会ネットワークの喪失を意味し、それによって流動性の高いアメリカ社会における実行意図が低くなった可能性が考えられる。

次に配偶価値の効果を確かめるため、配偶価値とそれぞれの恋愛行動に関して相関分析を行った。その結果、予想通り、配偶価値と自己価値誇示の間に正の相関が得られた, $r(232) = .34, p < .001$ 。しかし予想に反して、配偶価値とコミットメント・シグナリングの間にも正の相関が得られた, $r(232) = .15, p = .026$ 。これらの結果は、配偶価値の高い人々ほど、自己価値誇示とコミットメント・シグナリングのいずれも実行意図が高いことを示している。一方で不破回避行動に関しては配偶価値と負の相関が得られ, $r(232) = .29, p = < .001$ 、配偶価値が低い人々ほど不破回避行動の実行意図が高いことが示された。

配偶価値の効果が国によって異なるかを検討するため、重回帰分析により国籍と配偶価値の交互作用の検討を行ったところ、いずれの恋愛行動に関しても有意な交互作用は得られなかった：自己価値誇示, $\beta = -.21, p = .324$ 、コミットメント・シグナリング, $\beta = -.02, p = .939$ 、不破回避, $\beta = -.21, p = .350$ 。

そこで、日本人とアメリカ人の全体を対象に、関係流動性と配偶価値の交互作用効果を重回帰分析により検討したところ、コミットメント・シグナリングにおいてのみ有意傾向の交互作用効果が得られた, $\beta = -.11, p = .083$ 。自己価値誇示および不破回避における交互作用効果はそれぞれ：自己価値誇示, $\beta = .04, p = .479$ 、不破回避, $\beta = -.03, p = .625$ 。コミットメント・シグナリング行動の実行意図に関して単純傾斜分析を行った結果、恋愛関係流動性が高い社会環境では有意傾向, $b = .15, p = .082$ 、恋愛関係流動性が低い社会環境では有意な配偶価値の効果が得られた, $b = .37, p < .001$ (Figure 6-2)。恋愛関係流動性が低い社会環境の方が配偶価値の効果が強いことを示すこの結果は、本研究の予測に反する結果である。

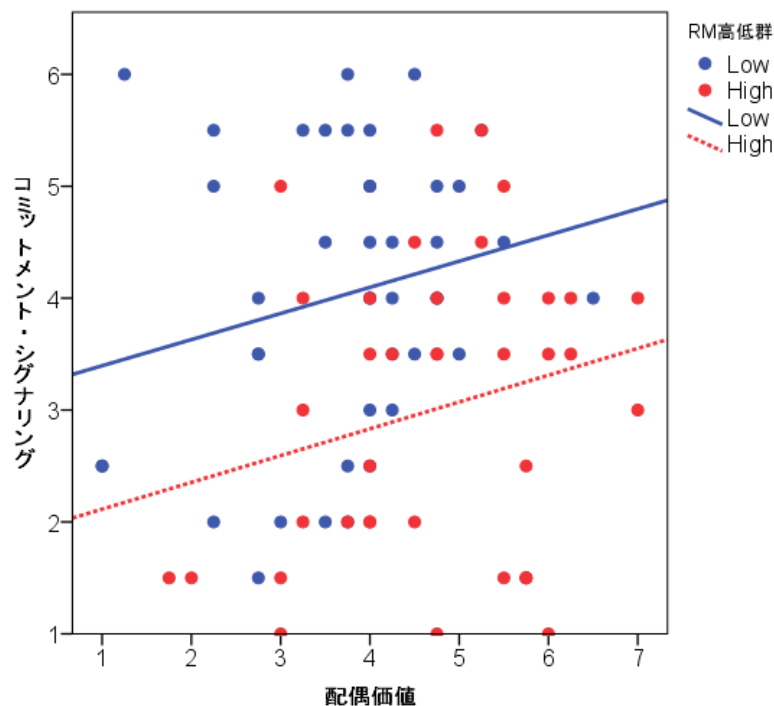


Figure 6-2. コミットメント・シグナリング行動の実行意図に対する関係流動性と配偶価値の交互作用効果
 青い丸は低関係流動性社会に暮らす人々 (関係流動性尺度得点 $-1SD$)、赤い丸は高関係流動性社会に暮らす人々 (関係流動性尺度得点 $+1SD$) をそれぞれ示している。青い直線は低関係流動性社会における個人の配偶価値とコミットメント・シグナリングの実行意図との回帰直線、赤い点線は高関係流動性社会における個人の配偶価値とコミットメント・シグナリングの実行意図との回帰直線を示している。

本研究の問題点と今後の検討課題

本研究にはいくつかの改善すべき点がある。第一の問題は、恋愛行動の測定尺度の信頼性が低い点である。本研究では、これまでの研究を踏まえ自己価値誇示、コミットメント・シグナリング、不破回避の項目を作成した。しかし、自己価値誇では高い項目間相関が得られたものの、コミットメント・シグナリングおよび不破回避に関しては項目間相関が有意ではないか、有意であっても相関係数が低かった。このため今後の研究では、さらなる尺度の改善が必要である。

第二の問題点は、シナリオによる場面想定法のため、実際の行動と質問紙における回答の間に乖離がある可能性である。場面想定法の場合、参加者は実際の行動ではなく想像に基づいて回答を行う。このため、回答が必ずしも実際の行動を反映していない可能性がある。このため今後は、日記法などの手法を用いて、参加者が恋愛関係においてどのような行動をとったかを逐次収集するなど、より現実の行動を反映した見当が必要であろう。第三に、行動の社会的帰結を測定していない点である。本研究では自己価値誇示やコミットメント・シグナリング、および不破回避のそれぞれが、恋愛関係流動性の高いまたは低い社会において有効であるとの予測を立てた。しかし、これらの行動が実際に当該の社会環

境において有効であるか、また配偶価値に基づく使い分けが有効であるかを論じるには、実際にこれらの行動や配偶価値による使い分けが魅力的なパートナーの獲得や維持に寄与することを示す必要があるだろう。

研究 3-2：パートナー保持における流動性と配偶価値の交互作用効果の検討

本研究の目的は、社会環境特性である関係流動性と個人特性である配偶価値の交互作用が、恋愛関係におけるパートナー保持行動に与える影響を明らかにすることである。先述のように、妊娠や出産を担う女性と異なり、男性は子孫との血縁確証が困難である。そのため男性にとって、パートナーをライバルに奪われないよう保持し続けることは、パートナーとの配偶機会の喪失だけでなく父性の不確実性を低減し非血縁児の養育に資源を搾取されるリスクを回避するための重要な適応課題となる (Buss, 2002)。こうした適応課題の解決に有効なのが、パートナーへの贈り物や賞賛を通じて相手が関係にとどまるインセンティブを高める利益提供や、パートナーに近づくライバルを攻撃するコスト賦課である (Buss, 1988a; Buss et al., 2008; Shackelford, Goetz, et al., 2005)。

利益提供やコスト賦課のように、恋愛関係におけるパートナー保持行動には複数ある。しかし、こうした戦術のいずれが個人にとって最適となるかは、当該の恋愛関係市場における個人の相対的な配偶価値によって決まる (e.g., Buss et al., 2008; Miner, Starratt, & Shackelford, 2009; Shackelford et al., 2005)。配偶価値の高い男性は、パートナーが関係にとどまるインセンティブを十分に高められる程度の資源を有するため利益提供を実行することができる。しかしながら配偶価値が低くそうした資源を十分に持たない男性は、利益提供を行ってもパートナーを引きとどめることは難しい。それゆえに、配偶価値が低い男性はコスト不可によってパートナーが自分のライバルと接触しないよう、近づいてきたライバルを攻撃したりパートナーの行動を制限したりするコスト賦課を取る方が有効となる。また先行研究は、女性の配偶価値の影響についても明らかにしている。配偶価値が高い女性は配偶価値の低い女性に比べてパートナー保持行動を頻繁に受ける傾向がある (Buss & Shackelford, 1997; Salkicevic et al., 2014)。では、こうした恋人保持行動に対する配偶価値の影響は、果たして社会普遍的に見られるのだろうか。

本研究は、パートナー保持行動の選択に対する配偶価値の影響の強さが、当該社会環境の関係流動性によって調整されるとの仮説を立てる。恋愛関係流動性が高い社会環境では、人々は容易にパートナーを取捨選択できるがゆえに関係が解消しやすい (Schug et al., 2010)。それだけでなく、こうした社会環境では、たとえ関係が成立していたとしても、ライバルによって恋人を奪われる可能性が高い (Kito, Yamada, & Yuki, 2014; 鬼頭・山田・結城, 2014)。このため配偶価値が高い男性は自分の潤沢な資源を用いた利益提供により、女性を自分に繋ぎとめようとするだろう。一方でそうした資源を持たない男性は、利益提供によってパートナーを十分につなぎとめることが難しい。それゆえに女性がライバルと接触しないように、近づいてくるライバルを攻撃するコスト賦課を行う方が有効になる。これに加え、こうした社会環境では配偶価値の高い女性には関係の形成を求めて男性が殺到

するため、配偶価値の高い女性と交際している男性ほど積極的に保持を行うだろう。

一方、人々が閉鎖的なコミットメント関係に埋め込まれ、パートナーを自由に取捨選択できない恋愛関係流動性の低い社会では、恋人をめぐる奪い合いが生じにくい。こうした社会環境では、男性がパートナーをライバルに奪われるリスクに直面していないため、個人の配偶価値に関わらず利益提供やコスト賦課などのパートナー保持行動は取られないだろう。また女性の配偶価値に関しても、女性の配偶価値に関わらずライバルに奪われるリスクは低いため、パートナーである女性の配偶価値に関わらず、男性は積極的な恋人保持行動を行わないだろう。

以上を踏まえ本研究は、恋愛関係における利益提供やコスト賦課などのパートナー保持行動に対する社会環境特性の関係流動性と個人特性の配偶価値の交互作用効果を検討する。本研究の予測は以下の通りである。第一に、恋愛関係流動性が低い日本よりも、恋愛関係流動性が高いアメリカにおいてより利益提供行動およびコスト賦課行動の実行意図が高いだろう。第二に、配偶価値の高い男性ほどより利益提供を行い、配偶価値の低い男性ほどコスト賦課を行うだろう。第三に、配偶価値が高い女性ほど男性からパートナー保持行動を受けるだろう。最後に、パートナー保持行動の実行意図に見られる男性および女性の配偶価値の効果は、恋愛関係流動性が低い社会環境よりも恋愛関係流動性が高い社会環境でより強いだろう。以上の予測を検討するにあたって本研究は、まず先行研究 (Miner et al., 2009) に倣い、すでにパートナー保持に対する配偶価値の効果が明らかにされている男性を対象に研究を行う。それにより、社会環境の恋愛関係流動性が、こうした個人の配偶価値の効果を調整することを確認する。それにあたり本研究では、行動主体である男性ではなく行動の受け手である女性を対象に研究を実施した。これにより、より客観性の高いパートナー保持行動の頻度が測定できると考えられる。

参加者

参加者の募集は、クラウドソーシングサイトである Lancers (日本) および Amazon Mechanical Turk (アメリカ) を用いた。調査対象者は、先行研究 (Miner et al., 2009) に倣い、18 歳以上の異性愛者で、かつ現在交際中の恋人がいる女性とした。分析に際して国籍が日本またはアメリカではない参加者、質問紙の回答言語が母国語 (日本語または英語) ではない参加者を除外した。最終的な分析対象者は、日本人 121 名、 $M_{\text{age}} = 36.73$, $SD = 8.73$ 、アメリカ人 120 名、 $M_{\text{age}} = 34.78$, $SD = 11.34$ であった。

手続き

参加者を取り巻く社会環境における恋愛関係流動性を測定するため、恋愛関係流動性尺

度 6 項目 6 点尺度を用いた (尺度の詳細は Table4-4 を参照されたい)。尺度の信頼性はそれぞれ、 $\alpha = .72$ (日本)、 $\alpha = .75$ (アメリカ) であった。また参加者および参加者の男性パートナーに関する配偶価値の測定には、Trait Specific Dependence Inventory 34 項目 (TSDI: Ellis et al., 2002) 5 点尺度を用いた。尺度の信頼性はそれぞれ、女性の TSDI : $\alpha = .97$ (日本)、 $\alpha = .96$ (アメリカ)、男性の TSDI : $\alpha = .97$ (日本)、 $\alpha = .97$ (アメリカ) であった。

また、過去 1 年間で恋人である男性から受けたパートナー保持行動の種類と頻度を、Mate Retention Inventory 短縮版 38 項目 4 点尺度 (MRI-SF: Buss et al., 2008) でそれぞれ測定した。MRI 尺度は利益提供とコスト賦課の 2 因子からなる。利益提供はそれぞれ利益による誘引 (positive inducement) と関係の公表 (public signals of possession)、コスト賦課はそれぞれ異性への牽制 (intersexual negative inducement)、同性への牽制 (intrasexual negative inducement)、および直接的防衛 (direct guard) から構成される。それぞれの因子および要素に関する日米の信頼性係数を Table 6-2 に示した。なお、TSDI ならびに MRI 尺度の詳細な項目については、付録 13 (日本語) および付録 14 (英語) を参照されたい。

Table 6-2. MRI-SF の下位因子および各要素の日米ごとの信頼性係数

	信頼性 (α)	
利益提供	.88	.89
利益による誘引	.84	.87
関係の公表	.85	.83
コスト賦課	.92	.94
異性への牽制	.83	.85
同性への牽制	.77	.77
直接的防衛	.70	.82

結果と考察

参加者を取り巻く社会環境における恋愛関係流動性の社会差を検討するため国籍を独立変数とする t 検定を行ったところ、有意な日米差が得られ、 $t(239) = 9.82, p < .001$ 、日本よりもアメリカの方が高恋愛関係流動性社会であることが示された。続いて、先行研究である Miner ら (2009) に倣い、MRI-SF を利益提供・コスト賦課の 2 因子に分類し同様に t 検定を行った結果、利益提供、 $t(239) = 6.04, p < .001$ 、およびコスト賦課、 $t(239) = 1.94, p = .05$ に両方で有意な日米差が得られ、日本人女性よりもアメリカ人女性の方がパートナー保持より頻繁に受けているとする本研究の予測を支持する結果が示された (Figure 6-3)。またそれぞれの下位因子を構成する下位要素について t 検定を行った結果、利益提供の下位要素である利益による誘引、 $t(239) = 3.16, p = .002$ および関係の公表、 $t(239) = 7.83, p < .001$ で有意な日米差が得られ、いずれも日本よりもアメリカにおいてより行われていた。コスト賦課の下位要素に関しては、異性への牽制、 $t(239) = .53, p = .595$ を除き、同性への牽制、 t

(239) = 2.36, $p = .010$ および直接的防衛, $t(239) = 2.48, p = .014$ においていずれも有意差が得られ、日本よりもアメリカにおいてより頻繁にパートナー保持が行われていることが示された (Figure 6-4)。

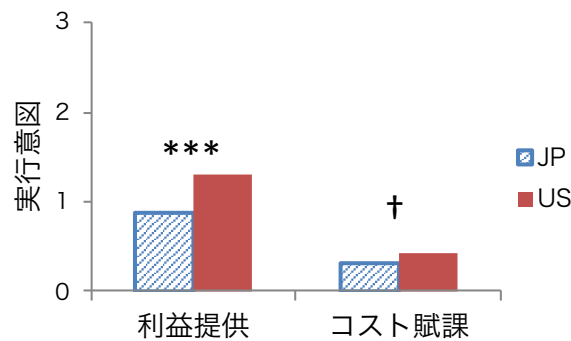


Figure 6-3. 利益提供行動およびコスト賦課行動の頻度における日米差

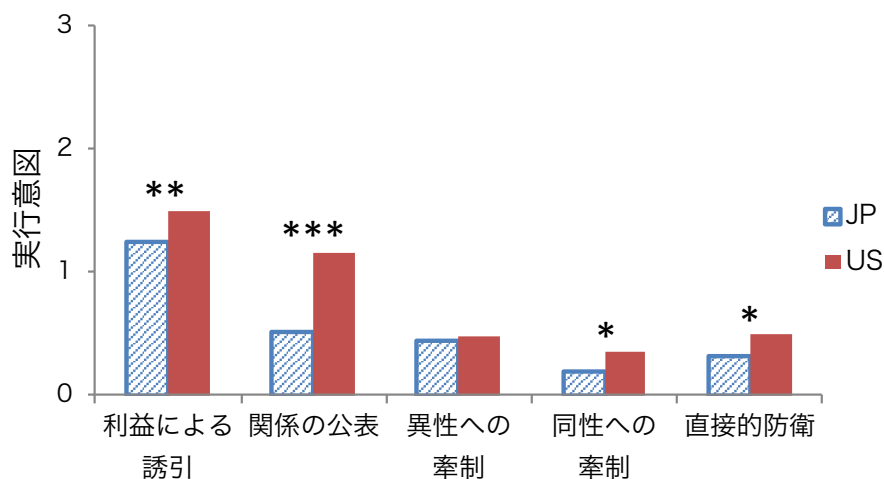


Figure 6-4. 利益提供行動およびコスト賦課行動の下位要素の頻度における日米差

これらの日米差が両社会における恋愛関係流動性の際によって説明されるかどうかを、Hayes (2012, 2013) による SPSS プラグイン PROCESS を用いてブートストラップ法による媒介分析を行った。その結果、利益提供およびコスト賦課、ならびに各行動の下位要素の全てにおいて、恋愛関係流動性を介した国の有意な間接効果が得られた：それぞれ利益提供, $b = .15, SE = .05, 95\%CI = [.056, .240]$ 、利益による誘引, $b = .14, SE = .05, 95\%CI = [.04, .24]$ 、関係の公表, $b = .16, SE = .05, 95\%CI = [.07, .27]$ 、コスト賦課, $b = -.11, SE = .04, 95\%CI = [-.19, -.04]$ 、異性への牽制, $b = -.08, SE = .04, 95\%CI = [-.18, -.00]$ 、同性への牽制, $b = -.11, SE = .04, 95\%CI = [-.20, -.04]$ 、直接的防衛, $b = -.12, SE = .04, 95\%CI = [-.22, -.04]$ 。このことから、利益提供に関しては、予想通り日本よりアメリカの方が高恋愛関係流動性であ

り、恋愛関係流動性が高いほど利益提供行動を行うことが示された。しかしコスト賦課に関しては、日本よりアメリカの方が高恋愛関係流動性であり、恋愛関係流動性が高いほどコスト賦課を受けないという予想とは逆の結果が示された。これに関しては、恋愛関係流動性が高い社会環境では容易に関係を解消できるため (Yuki et al., 2013; Yuki & Schug, 2012)、恋愛関係流動性の高い社会に暮らす女性が、コスト賦課を受けた場合にその関係を不利益であるとして解消し、結果として恋愛関係流動性の高い社会に暮らす女性ほど交際中にコスト賦課を受けていない、という結果になった可能性も考えられる。

先行研究の結果が追試されるかを検討するため、男性の配偶価値および女性の配偶価値とパートナー保持行動の相関係数を算出したところ、予想に反して男性の配偶価値とパートナー保持行動の間には日米ともにいずれも有意な相関が得られなかった。女性の配偶価値に関してはアメリカにおいて異性への牽制および直接的防衛の間で有意傾向の相関が得られたものの相関係数は低く、またそれ以外の行動についてはいずれも有意な相関は得られなかった。男性および女性の配偶価値とパートナー保持行動の相関係数を Table 6-3 に示した。

Table 4. 男性および女性の配偶価値とパートナー保持行動の相関

	男性の配偶価値		女性の配偶価値	
	日	米	日	米
利益提供	.03	.06	-.04	.14
利益による誘因	.02	.08	-.09	.13
関係の公表	.03	.03	.03	.13
コスト賦課	-.07	-.01	-.02	.15
異性への牽制	-.11	.02	-.04	.16 † ₁
同性への牽制	-.01	.02	.02	.12
直接的防衛	-.06	-.05	-.02	.14 † ₂

†₁ = .074, †₂ = .096

恋愛関係流動性によってパートナー保持行動に対する男性および女性の配偶価値の影響が調整されるかどうかを検討するため、パートナー保持行動に対する関係流動性と配偶価値の交互作用効果を重回帰分析により検討した⁹¹。その結果、関係流動性と男性の配偶価値の交互作用はいずれも有意ではなかった：それぞれ利益提供, $\beta = .04, p = .269$ 、利益による誘因, $\beta = .04, p = .273$ 、関係の公表, $\beta = .04, p = .357$ 、コスト賦課, $\beta = .01, p = .784$ 、異性への牽制, $\beta = .00, p = .980$ 、同性への牽制, $\beta = .03, p = .312$ 、直接的防衛, $\beta = -.01, p = .818$ 。利益提供およびコスト賦課行動に対する、恋愛関係流動性と男性の配偶価値の交互作用の

⁹¹ なお、国と配偶価値の交互作用についても検討したが、利益による誘因に関してのみ、国と女性の配偶価値 (TSDI) の間に有意傾向の交互作用が得られた, $\beta = .13, p = .092$ 。国と男性の配偶価値の交互作用に関してはいずれも有意ではなく、国と女性の配偶の交互作用に関して利益による誘因以外はいずれも有意ではなかった。

グラフを Figure 6-5 に示した。

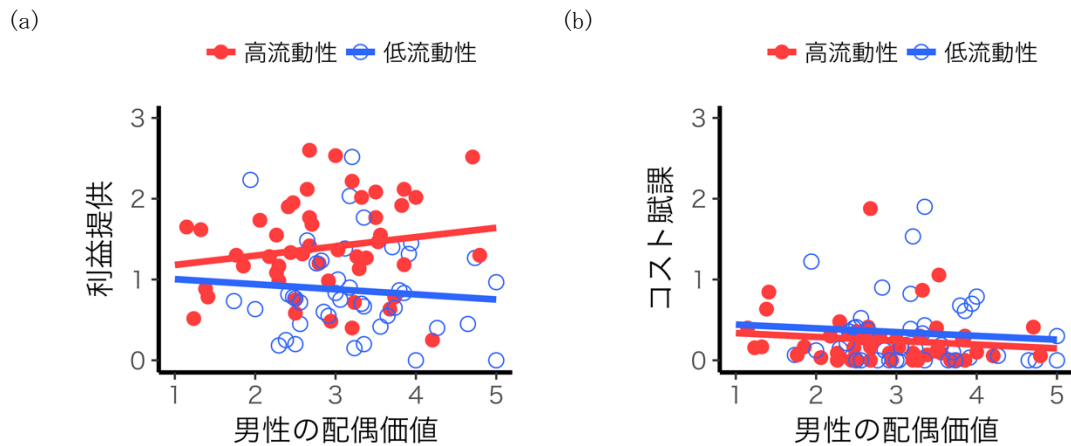


Figure 6-5. 恋愛関係流動性と男性の配偶価値の交互作用効果が、利益提供 (a) およびコスト賦課 (b) に与える影響。赤い点は高関係流動性社会の人々 (関係流動性尺度得点+1SD) の人々、青い点は低関係流動性社会の人々 (関係流動性尺度得点-1SD) をそれぞれ示している。赤い直線は高関係流動性社会の人々に関する男性の配偶価値と利益提供およびコスト賦課の回帰直線、青い直線は低関係流動性社会の人々に関する男性の配偶価値と利益提供およびコスト賦課の回帰直線をそれぞれ示している。

一方で、関係流動性と女性の配偶価値に関しては、利益提供, $\beta = .10, p = .005$ およびその下位要素である利益による誘因, $\beta = .12, p = .002$ 、関係の公表, $\beta = .08, p = .048$ において有意な交互作用が得られた (Figure 6-6)。しかし、コスト賦課に関してはいずれも有意な交互作用効果は得られなかった：それぞれコスト賦課, $\beta = .03, p = .378$ 、異性への牽制, $\beta = .04, p = .201$ 、同性への牽制, $\beta = .03, p = .31$ 、直接的防衛, $\beta = .01, p = .875$ 。

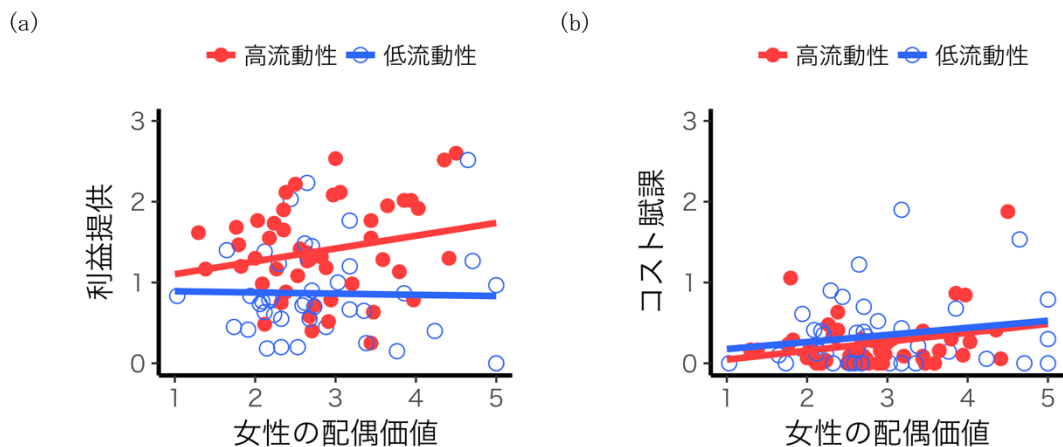


Figure 6-6. 恋愛関係流動性と女性の配偶価値の交互作用効果が、利益提供 (a) およびコスト賦課 (b) に与える影響。赤い点は高関係流動性社会の人々 (関係流動性尺度得点+1SD) の人々、青い点は低関係流動性社会の人々 (関係流動性尺度得点-1SD) をそれぞれ示している。赤い直線は高関係流動性社会の人々に関する女性の配偶価値と利益提供およびコスト賦課の回帰直線、青い直線は低関係流動性社会の人々に関する女性の配偶価値と利益提供およびコスト賦課の回帰直線をそれぞれ示している。

単純傾斜分析の結果、女性の配偶価値の効果は恋愛関係流動性が高い社会環境においてのみ有意であった：それぞれ利益提供, $b = .21, SE = .06, p = .001$ 、利益による誘因, $b = .19, SE = .07, p = .005$ 、関係の公表, $b = .23, SE = .07, p = .002$ ⁹²。配偶価値の高い女性ほど恋人から利益提供による恋人保持を受けるが、この傾向は関係流動性が高い環境でのみ見られることが示された。利益提供の下位要素である利益による誘因および関係の公表に対する関係流動性と女性の配偶価値の交互作用効果を、Figure 6-7 に示した。

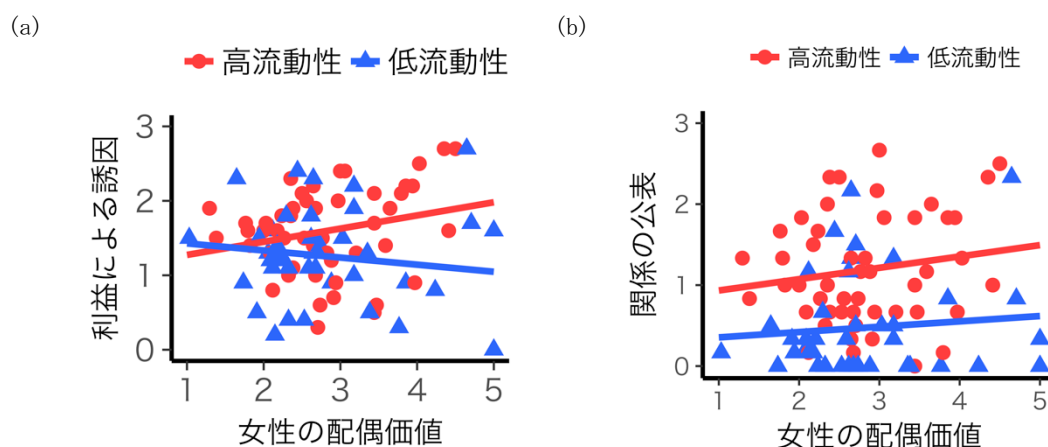


Figure 6-7. 恋愛関係流動性と女性の配偶価値の交互作用効果が、利益による誘引 (a) および関係の公表 (b) に与える影響。赤い点は高関係流動性社会の人々 (関係流動性尺度得点+1SD) の人々、青い点は低関係流動性社会の人々 (関係流動性尺度得点-1SD) をそれぞれ示している。赤い直線は高関係流動性社会の人々に関する女性の配偶価値と利益による誘引および関係の公表の回帰直線、青い直線は低関係流動性社会の人々に関する女性の配偶価値と利益による誘引および関係の公表の回帰直線をそれぞれ示している。

本研究の目的は、利益提供やコスト賦課に対する配偶価値の効果は、社会環境の恋愛関係流動性によって調整されることの検討であった。研究の結果、日本よりもアメリカに暮らす女性の方が、利益提供やコスト賦課を頻繁に受けていた。また利益提供に関して女性の配偶価値の交互作用が見られ、恋愛関係流動性が高い社会環境では、配偶価値の高い女性ほど恋人である男性から頻繁に利益提供行動を受けていることが示された。この結果は、本研究の理論と一貫する結果である。一方で、コスト賦課行動に対しては有意な交互作用効果は得られなかった。この結果は、参加者の女性のほとんどが配偶価値に関わらずコスト賦課行動を受けていないと回答していたために得られたと考えられる。

また本研究では、パートナー保持行動に対する男性の配偶価値の効果および、恋愛関係流動性と男性の配偶価値の交互作用効果はいずれも有意ではなかった。この結果は、配偶

⁹² 恋愛関係流動性が低い社会環境における女性の配偶価値の効果はそれぞれ：利益提供, $b = -.03, SE = .06, p = .608$ 、利益による誘因 $b = -.10, SE = .07, p = .13$ 、関係の公表 $b = .04, SE = .07, p = .618$ である。

価値の効果を示した先行研究の知見とも異なる結果である。Figure 6-5a を見ると、結果のパターンとしては本研究の予想通り、高恋愛関係流動性社会では男性の配偶価値と利益提供に正の関連があり、定恋愛関係流動性社会では男性の配偶価値と利益提供が負の相関を示している。このため、全体で相関を見た場合に高流動性のパターンと低流動性のパターンが打ち消しあい、配偶価値と利益提供との間に相関が見られなかった可能性がある。交互作用に関しては、結果の傾向としては予想に合致するパターンが得られているため、追試研究を行いパターンが一貫して得られるかを検討する必要がある。コスト賦課に関しては、本研究ではほとんどの女性が受けていないと回答していた。このため床効果が生じ、配偶価値との関連が見られなかったと考えられる。

本研究の問題点と今後の検討課題

本研究にはいくつかの改善すべき点がある。第一に、交絡要因の統制がなされていない点である。人々の恋愛行動に影響を与える要因として、ソシオセクシャリティがある (Jonason & Buss, 2012)。ソシオセクシャリティは、個人が長期的な恋愛関係を望むのか、それとも短期的な恋愛関係 (e.g., 一夜限りの性的関係など) を好むかの指標である。頻繁に引越が繰り返されるなどパートナーの行動が予想しにくい環境下では、人は長期的な関係よりも目先の短期的な関係を好むようになる (Belsky et al., 1991; Ross & Hill, 2002)。ソシオセクシュアリティの高さはパートナー保持行動の実行意図に影響を与え、短期的関係を志向する人々は長期的関係を志向する人々よりもパートナー保持行動の実行意図が低いことが予想される。このため今後は、こうした交絡要因についても検討する必要がある。

第二に、パートナーを奪われるリスクについて操作していない。これまでの研究で明らかにしてきたように、恋愛関係流動性の低い日本社会よりも恋愛関係流動性の高いアメリカ社会の方が、人々はパートナーに対して積極的にコミットメント・シグナリングをしており、そうした行動を支える情熱も高い。このことは、パートナーが自分との関係に対して排他的であるという安心をパートナーに対して提供する。すなわち、日常的にはパートナー喪失のリスクが低減されている可能性がある。このため、今後の研究ではパートナーをライバルに奪われるリスクを顕在化させた上で、男性の配偶価値および恋愛関係流動性と配偶価値の交互作用が得られるかについて検討する必要があるだろう。

第6章まとめ

第6章では、社会環境要因である恋愛関係流動性と個人要因である配偶価値の交互作用効果が、恋愛関係におけるシグナリング行動 (研究 3-1) やパートナー保持行動 (研究 3-2) に与える影響について検討した。研究 3-1 では、予想に反してコミットメント・シグナリ

ングがアメリカよりも日本でより行われることや、コミットメント・シグナリングが配偶価値の高い個人により行われ、かつ配偶価値の効果が恋愛関係流動性の低い社会環境においてより強いとの結果が得られた。この理由には、研究 3-1 で用いたコミットメント・シグナリング行動が関係の断絶を表現していたため、弱い紐帯による転職など新たな社会関係の橋渡し機能 (Granovetter, 1973) が有効となるアメリカ社会において有効な戦略であると判断されなかった可能性が考えられる。またこの場合、配偶価値が高い人はたとえ関係を断絶しても容易に代替関係を見つけられるが、配偶価値の低い人は関係が断絶すると次の代替関係を見つけにくい。それゆえに、配偶価値が高いほどコミットメント・シグナリングを行うという予想と逆に結果が出た可能性がある。

一方で、パートナー保持に関しては、配偶価値の高い女性ほどパートナーから積極的な利益提供を受けており、かつそうした配偶価値の効果は恋愛関係流動性が高いほど強いとする本研究の予想を支持する結果が得られた。コスト賦課に関してはこうした交互作用は得られなかったが、これはそもそも参加者である女性の多くが、コスト賦課を受けていないと回答していたためである。また男性の配偶価値に関しては、統計的な有意差はないものの、結果のパターンとしては予測を支持する結果が得られている。このため、今後さらなる追試を行い、こうしたパターンが頑健に得られるかを検討する必要があるだろう。

第3部：総合考察

本論文の目的は、社会環境要因である恋愛関係流動性と個人要因である配偶価値が、恋愛関係におけるヒトの行動や心理に与える影響を明らかにすることであった。本論文では、ヒトの恋愛関係における適応行動や適応心理として、異性に対して自らが持つパートナーとしての優れた特性を示すことで相手からの被選択を得るシグナリング行動 (Gonzaga et al., 2008; Greenlees & McGrew, 1994; Zahavi, 1975) や、そうした行動を支える心理である愛 (Frank, 1988)、そして獲得した異性をライバルに奪われないよう守るパートナー保持行動 (Buss et al., 2008; Shackelford, Goetz, et al., 2005) に注目した。そして、社会生態学的アプローチ (亀田 & 村田, 2010; Nisbett & Cohen, 1996; Oishi & Graham, 2010; Talhelm et al., 2014) に則り、ヒトが進化の歴史の中で生態環境への適応の道具として集合的に作り上げてきた社会環境の多様性と、そうした多様な社会環境が生み出す異なる淘汰圧が、ヒトの恋愛行動や恋愛心理に与える影響について予測を立てた。

本論文は、恋愛行動や恋愛心理に影響を与える社会環境要因として、関係流動性 (Yuki & Schug, 2012)、すなわち社会関係の取捨選択の自由度に注目した。社会関係が流動的で個人が自由に対人関係を取捨選択できる社会環境は、既存の関係にとどまるよりも魅力的な関係に乗り換えるよう個人に働きかける (山岸, 1998; Yamagishi, 2011)。このため、より魅力的な異性がいれば個人は容易に関係を乗り換えてしまい、関係が解消しやすくなる (Schug et al., 2010; Yuki et al., 2013)。それゆえに、常に自らがパートナーとして魅力的であることを示し続けるとともに、獲得したパートナーを他者に奪われないようライバルを退け続ける必要がある。こうした社会環境では、先述したシグナリング行動やパートナー保持行動の有効性が高く、また、こうした行動を支える心理である愛を高く持つことも有効となるだろう。一方で、個人が既存の社会ネットワークに組み込まれ自由に社会関係を取捨選択できない社会環境では (Adams et al., 2004; Yamagishi et al., 2008)、こうした恋愛行動や恋愛心理の有効性は低くなるだろう。なぜなら、こうした社会環境では、シグナリング行動によって異性を惹きつけても関係を形成できる見込みは低いからである。このためシグナリング行動やそれを支える心理の有効性も低くなるだろう。一方、こうした社会環境では、関係の長期的な継続が社会的に保証されるがゆえに、パートナーをライバルに奪われる可能性も低い。このため、ライバルにパートナーを奪われないよう守るための積極的な保持行動の必要性も低くなる。

これらに加えて本論文では、同じ社会環境内に存在する個人の分散にも注目する。先行研究は、同じ恋愛関係市場においても、個人の競争力——すなわち個人の恋愛パートナーとしての魅力度 (Pawłowski & Dunbar, 1999b) には分散があることを明らかにしている。恋愛関係市場において、こうした配偶価値は、個人にとってそれぞれの恋愛行動がどの程度適応的であるかに影響する (Gross, 1996; Hutchings & Myers, 1994; Włodarski, Manning, &

Dunbar, 2015)。これまで、配偶価値の高い個人は自らの優れた遺伝子型や高い生殖能力を示す自己価値誇示によって異性を惹きつけ (Greenlees & McGrew, 1994)、また豊富な資源量に基づく利益提供によってパートナーを引き止めることが明らかにされてきた (Buss et al., 2008; Miner et al., 2009)。一方、そうした遺伝的形質や生殖能力に劣る配偶価値の低い個人は、コミットメント・シグナリングを通じて異性と排他的な関係を形成する (Buss, 2015)。また資源量が不足しているため利益提供の実行が困難であるがゆえに、ライバルを退けるためには、パートナーへ心理的負担を与えるといったリスクを負ってでも、コスト賦課によるパートナー保持を行わざるを得ない (Miner et al., 2009; Shackelford, Goetz, et al., 2005)。こうした配偶価値の効果は、恋愛関係流動性が高い社会環境においてより強くなるだろう。なぜなら、恋愛関係流動性が高く競争的な恋愛関係市場では、配偶価値が高い個人は自己価値誇示や利益提供によって自らの包括適応度を最大化し、配偶価値が低い個人はコミットメント・シグナリングやコスト賦課によって不適応 (パートナーを獲得できず孤立する) を回避できるからである。しかし恋愛関係流動性が低い社会環境では、そもそもこうした行動の必要性が低い。それゆえに、個人の配偶価値に関わらず、人々はこうした行動を取らないだろう。

結果のまとめ

以上の理論に基づき、本論文では3つの実証研究を通じて、社会環境の恋愛関係流動性と個人の配偶価値がヒトの恋愛行動および恋愛心理に与える影響を検討した。以下では、それぞれの研究で得られた成果をまとめる。

まず研究 1-1 では、シグナリング行動の一つである自己価値誇示行動の実行意図に社会差があり、日本よりもカナダにおいてより実行意図が高いことが示された。また研究 1-2a および研究 1-2b の結果、コミットメント・シグナリング行動の実行意図も社会によって異なり、日本よりもアメリカで高いことが示された。これらの結果は、これまでヒト普遍的な適応方略であると考えられてきたシグナリング行動に社会差が存在し、東アジア社会よりも北米社会においてより行われる傾向にあることを示している。

さらに、研究 1-2a および研究 1-2b の結果、コミットメント・シグナリング行動の有効性が日本よりもアメリカでより高く、かつこうしたコミットメント・シグナリング行動の実行意図や有効性の社会差が、両社会の恋愛関係流動性によって説明されることが明らかとなった。これらの結果は、恋愛関係流動性が高い競争的な恋愛関係市場では人々がパートナーに裏切られる不安を強く感じるため、コミットメント・シグナリングによる安心提供が有効となり、相手から恋愛パートナーとして選ばれることにつながるとする本論文の理論仮説を支持する結果である。

しかし、研究 1-1 においては、自己価値誇示行動と恋愛関係流動性との間に有意な関連が得られず、自己価値誇示行動の社会差が当該社会の恋愛関係流動性によって説明されるとする本論文の予測は支持されなかった。しかし研究 1-1 には、方法論上の問題、特に質問尺度の信頼性および妥当性が確認されていないという問題があった。このため、自己価値誇示行動の社会差が恋愛関係流動性によるものではないと結論づけるには、尺度の改善を踏まえた、さらなる研究が必要であろう。

続く研究 2 では、こうした行動を支える対人心理である親密性や情熱もまた日本よりも北米で高いという一貫した結果が得られることが示された。研究 2-1 の結果、日本人よりもカナダの方が恋人や親友に対する親密性が高いことが示された。この結果は、日本人よりもカナダの方がパートナーとの間に強い心理的な繋がりを形成していることを示唆している。加えて、日本人における恋愛関係や友人関係の親密性が低いというこの結果は、日本社会では例え親密性が低い関係であっても解消されることなく維持されることを示唆している。

しかし、研究 2-1 では、恋人に対する親密性の社会差が両社会の関係流動性の差異によって説明されるとする本論文の予測は支持されなかった。だがこの結果に基づいて親密性の社会差が恋愛関係流動性によって説明されないと結論づけることはできない。なぜなら、研究 2-1 で用いた関係流動性尺度は、友人関係などを対象とした社会関係一般の流動性を測定する尺度であり (Yuki et al., 2007)、恋愛関係の流動性の測定において適切ではなかった可能性があるからである。研究 2-1 の結果は、親友に対する親密性の社会差が、当該の関係流動性認知によって統計的に説明されることを示している。このことから、社会関係の流動性の高さは社会的なパートナーすなわち友人に対する親密性を高めるといえる。このため今後の研究においては、恋愛関係流動性を測定した上で、恋愛パートナーに対する親密性の社会差が、当該の社会環境における恋愛関係流動性によって説明されるかどうかを検討する必要がある。

また研究 2-2 の結果、恋人に対する情熱の高さが日本よりもアメリカにおいて高いことが示された。この結果は研究 2-1 とも一貫しており、日本人よりも北米の方が、パートナー志向的な感情状態にあることを示している。さらに研究 2-1 では、恋愛関係流動性の高さによってもたらされるパートナーへの高い情熱と、コミットメント・シグナリング行動の実行意図の間に正の関連が示された。このことは、恋愛関係流動性の高さが、パートナーに対する強い情熱をもたらしことを通じて相手に対する積極的なコミットメント・シグナリングによる安心提供を促すことを示唆している。これらの結果から、コミットメント・シグナリング行動に関する本論文の理論は支持された。

最後に研究 3 では、恋愛関係におけるシグナリング行動やパートナー保持行動に対する

個人の配偶価値の効果が、恋愛関係流動性によって異なることを示唆する結果が得られた。研究 3-1 の結果は、本論文の予測に反して自己価値誇示の有意な社会差が得られず、またコミットメント・シグナリングがアメリカよりも日本で行われるという本論文の予測に反する結果が示された。これらの結果は、研究 1-1 および研究 1-2 の結果とも相反する結果である。また配偶価値に関しても、配偶価値が高いほどコミットメント・シグナリングの実行意図が高いという本論文の予測に反する結果が得られた。加えて、配偶価値と恋愛関係流動性の交互作用に関しても、恋愛関係流動性が低いほど配偶価値の効果が強いという結果が得られ、本論文の予測は支持されなかった。これらの結果が得られた理由の一つに、尺度項目の妥当性の低さが考えられる。研究 3-1 では、コミットメント・シグナリング行動の項目例としてパートナー以外の異性との断絶を用いた。しかし、関係流動性が高い社会環境では、比較的親密性の低い社会的つながりである弱い紐帯が、転職をはじめとした新たな社会関係の形成に寄与することが指摘されている (Chen et al., 2009; Granovetter, 1973)。それゆえに、こうした関係の断絶を意図する行動は関係流動性の高いアメリカ社会で忌避された可能性が考えられる。また配偶価値に関して予測に反した結果が得られた理由として、関係を断絶した場合に新規関係を見つけられる可能性は、配偶価値が高いほど高いことが考えられる。配偶価値が低い場合、異性を惹きつけることが難しいがゆえに、一度関係を断絶してしまうと既存の関係を喪失した後に新規関係に乗り換えにくくなってしまう。このため、関係を断絶することのコストは大きくなる。それゆえに、配偶価値の高い個人の方が関係断絶の実行可能性が高かったとも考えられる。研究 1-2 および研究 2-2 においてコミットメント・シグナリング行動が日本よりも北米で行われるという結果が繰り返し得られていることから、今回の結果は方法論上の問題に起因する可能性が高いと考えられる。

一方、研究 3-2 では本論文の予測を支持する結果が得られた。研究 3-2 の結果、日本よりもアメリカにおいてパートナー保持行動がより行われており、配偶価値の高い個人ほどより頻繁にパートナー保持行動を受けていることが示された。また、パートナー保持行動の社会差は、当該社会の恋愛関係流動性の高低によって説明されることが示され、恋愛関係流動性が高い社会環境に暮らすほど、低恋愛関係流動性社会に暮らす個人よりも頻繁にパートナー保持を受けることが明らかになった。このことは、恋愛関係流動性が高くパートナーの喪失リスクが高い社会環境において、個人はより積極的にパートナー保持を行うとする本論文の予測と合致する。さらに、配偶価値が高く魅力的な個人には、関係形成を求めて多くの異性が集まる。このため、配偶価値の高い異性と交際している個人ほど、よりライバルにパートナーを奪われるリスクに直面しており、積極的な保持行動を行うことを示唆している。さらに、恋愛関係流動性と個人の配偶価値との間に有意な交互作用効果

が得られ、パートナー保持行動に対する個人の配偶価値の効果が、恋愛関係流動性の高い社会環境においてより強いことが示された。つまり、配偶価値が高いパートナーほどライバルに奪われる可能性が高いためパートナー保持が必要となるが、この傾向は低恋愛関係流動性社会よりも、高恋愛関係流動性社会でより強くなる。この結果は、恋愛関係流動性が低い社会環境では、パートナーの配偶価値によらずライバルにパートナーを奪われるリスクが社会的に低減されているがゆえに、個人の配偶価値によらず積極的なパートナー保持の必要性が低いとする本論文の予測と合致する。

本論文の意義

本論文の意義として、大きく3つの点を挙げたい。第一の意義は、進化心理学が見出してきたヒトの恋愛行動や恋愛心理に関する知見に対し社会差の知見を追加することで、社会環境の多様性に対する進化心理学理論の適用可能性を示す点である。これまで、進化心理学におけるヒトの恋愛関係研究は、ヒトという種に普遍的な恋愛行動や恋愛心理に関する様々な一般的傾向を見出してきた (Buss, 1988b, 2006; Shackelford, Schmitt, et al., 2005)。従来の研究は、ヒトの様々な行動や心理を、それが行動の主体である個人に対していかなる利益をもたらすかという観点によって集約することで、一貫性を持った理論を構築してきた。このことに加えて、こうした適応論的観点は、同様の視点を採用する行動生態学や進化人類学、生物学などの他分野とも高い整合性を持ち (e.g., Gross, 1996; Kaplan et al., 2000)、進化心理学分野に限らず適用可能な学際的理論を可能にしてきた。

しかしながら近年、進化心理学のみならず、北米を中心に行われてきた従来の心理学研究に対して、従来の北米中心に得られたデータは他の社会地域に比べて特殊な値を取り、その一般化可能性には疑いがあることが指摘されている (Henrich, Heine, et al., 2010)。では、進化心理学が中心となって見出してきたヒトの恋愛行動や恋愛心理に関する従来の諸理論は、北米社会にのみ適用できる汎用性の低い理論なのだろうか。

この点に対し本論文の知見は、進化心理学における適応のモデルが、北米社会に限らず様々な社会または社会的文脈に適用可能であることを示す。本論文が則る社会生態学的アプローチ (e.g., 亀田 & 村田, 2010; Nisbett & Cohen, 1996; Oishi & Graham, 2010; Talhelm et al., 2014) は、自然環境のみならず、ヒトが能動的に作り上げた社会環境もまたヒトにとっての適応環境であると考え。このことは、従来の進化心理学の理論を、社会環境の多様性とその差異にまで拡張することで、より一般化可能性の高い理論へと発展させるだろう。それだけでなく、ヒトが能動的に作り上げた社会環境が転じてヒトの行動に与える影響という双方向性のプロセスに関する議論は (Oishi & Graham, 2010)、現在の社会環境のみならず個人が相互作用することで生み出される将来のダイナミックな変化についても予測

可能にするだろう。

本論文の第二の意義は、文化心理学に対して、従来の個別理論を集約しうるメタ理論としての適応論の可能性と有用性を示唆する点である。これまで文化心理学は、特定の国や地域において、長い歴史の中で人間が作り上げ、蓄積し、共有してきた世界観や人間観のモデルである“文化”の多様性を見出してきた (Hofstede, 1980; Markus & Kitayama, 1991)。その上で、こうした文化が、人間の認知や感情、動機といった個人の内的過程や対人行動、対人心理に影響を与えることを明らかにしてきた。こうした比較文化の視点は、人間の行動や心理の、国や地域による差異とその原因を明らかにするだけではなく、ヒトに普遍的な傾向と文化の影響とを切り離すことを可能にする。こうした視点は、真にヒト一般に適用可能なモデル構築において重要であるといえよう。

しかしながら、文化心理学における従来の理論モデルには一つの大きな問題があった。それは、文化心理学が文化間の差異を説明する際に用いてきた代表的な世界観や人間観のモデルに多義性がある点である。例えば先述したように、Kim ら (2006, 2008) は個人主義あるいは相互独立的な人々を自己志向的な人々、集団主義あるいは相互協調的な人々を他者志向的な人々と定義した。しかし Chopik ら (2017) は、前者を他者志向的な人々、後者を自己志向的な人々と定義している。このように、同じモデルから導出された説明であるにも関わらず、研究によってその定義が異なっている。こうした多義性は、個別の研究において導出された説明同士の関係性を不明瞭にし、それぞれの説明が一貫性を持つのか、あるいは、それぞれの説明のいずれが妥当であるのかが検証し難いという問題を生じる。これに対して本論文は、こうした個別研究ごとの説明を包括し、それぞれの関係性を整理する新たな理論的枠組みの一つとして、適応論が有用であることを示す。

適応論では、個々の研究の問いを「それが生存上でいかに有利であるか」という大きな命題に集約する (亀田・村田, 2010)。このように共通の命題を共有することで、個々の研究間の説明に一貫性が生じる。これに加え、こうした命題は、理論の妥当性を検証する上での比較水準となり、相反するように見える複数の説明に対して、それぞれの説明の妥当性を比較判断することが可能になる。

また適応論を導入することの利点はこれだけではない。先述したように、適応論は進化心理学をはじめ、行動生態学や進化人類学、生物学など様々な学問領域の共通基盤として用いられている。適応論をメタ理論として理論モデルを構築することは、文化心理学研究とこれら諸分野との橋渡しを可能にする。そして、こうした学際的な理論の橋渡しは、例えばシミュレーション・モデルなど、これまで文化心理学研究ではあまり行われてこなかった手法の応用などを通じて、文化心理学研究をさらに発展させうるだろう (Mesoudi, Chang, Murray, & Lu, 2015; Nowak, Gelfand, Borkowski, Cohen, & Hernandez, 2015)。

さらに本研究の第三の意義として、現実社会への応用可能性を挙げたい。現在、日本社会における恋愛関係は徐々に流動的になりつつあると考えられる。例えば、1930年代の日本社会では、第三者を介して結婚相手を見つける見合い結婚が主流（69%）だった。しかし、時代の流れとともに徐々に見合い結婚の割合は減少し、代わって恋愛結婚の割合が急増した。2015年時点では見合い結婚の割合は5.3%まで減少し、恋愛結婚が87.9%とそのほとんどもを占めている⁹³。また離婚への抵抗感も徐々に少なくなっていることが明らかにされている。例えば1992年では離婚を許容する割合⁹⁴が36.8%（男性31%、女性41.9%）であるのに対し、2005年時点では45.7%（男性38.7%、女性52%）と増加傾向にある。これらの統計データからも伺えるように、日本は徐々に流動的かつ競争的な恋愛関係市場へと変化しており（八代, 1993）、恋愛パートナーは第三者を介して外的に決められるものから、個人が能動的に獲得するものへと変わってきた（山田, 2010; 山田・白河, 2009）。しかしながら、こうした恋愛関係市場の自由化には弊害も伴っていると考えられる。例えば1980年代から「結婚したい」と考える人の割合はあまり減衰していない一方で（1982年時点における「結婚したい」と考える人の割合は男性が95.9%、女性が94.2%であるのに対し、2010年時点での同割合は男性が84.8%、女性は87.7%である⁹⁵）、未婚率は年々増大している（例えば、25歳時点における女性の未婚率は、1980年においては41%であるのに対し、2010年度では74.6%である⁹⁶）⁹⁷。もちろん、こうした変化の背景には、社会の経済的変化や女性の社会進出といった要因も考えられるだろう。しかし、こうした乖離の原因の一端には、流動化する社会環境に対する不適応（e.g., 結婚したいがパートナーのを見つけ方がわからない、など）もあるだろう。だとすれば、本論文が示した恋愛関係流動性の高い社会環境における適応行動および適応心理に関する知見は、競争的な恋愛関係市場においてどう振る舞うべきかについて、助言を呈示することが可能であろう。

本論文の限界と将来の展望

未検討の課題

最後に、本論文の限界と将来の展望について述べる。まず本論文には、未検討の課題がいくつか残っている。第一の課題は、恋愛関係における対人心理である嫉妬感情の検討で

⁹³ 国立社会保障・人口問題研究所（2015）「出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）」

⁹⁴ 「問題のある結婚生活なら早く解消した方がよい」、「自分の生き方を大切にするようになったことの反映である」および「社会における離婚への抵抗感が薄れており、やむを得ない」と回答した人の割合（厚生労働省（2013）「厚生労働白書」）。

⁹⁵ 「いずれ結婚するつもり」と回答した人の割合。

⁹⁶ 厚生労働省（2013）「厚生労働白書」

⁹⁷ 同様の未婚率の増加は男性でも見られるが、特に女性で大きい（1980年での男性の25歳時点での未婚率は約75%、2010年時点の未婚率は約80%）。

ある。先行研究は、パートナー保持行動を駆動する対人心理として、嫉妬感情の存在を指摘している (Buss, Larsen, Westen, & Semmelroth, 1992; Shackelford, Goetz, et al., 2005)。嫉妬感情は、恋愛関係におけるパートナー喪失リスクに対して喚起される心理である (Buunk et al., 1996; Hupka, 1981)。先行研究は、嫉妬感情に社会差があることを示唆しており、アメリカ人はドイツ人やタイ人に比べてより強い嫉妬を感じる傾向にあることを示している (e.g., Buunk & Hupka, 1987; Croucher et al., 2012)。このため今後の研究では、こうした嫉妬感情の社会差を検討した上で、恋愛関係流動性が高い社会環境ほど恋愛関係における嫉妬が高いことや、こうした嫉妬感情がパートナー保持行動の実行意図を高めるかどうかを検討する必要がある。

第二の課題は、対人心理に対する恋愛関係流動性と個人の配偶価値の交互作用効果の検討である。本論文では、恋愛行動であるシグナリングとパートナー保持に注目し、それぞれの行動に対する個人の配偶価値の効果が、恋愛関係流動性が高い社会環境においてより強いとの予測を検討した。では、これらの恋愛行動の背後にあると想定される恋愛心理である親密性や情熱、あるいは嫉妬といった心理に関しても同様に、恋愛関係流動性と個人の配偶価値の交互作用が得られるのだろうか。今後の研究では、上述した嫉妬感情と合わせて、こうした恋愛心理に対する恋愛関係流動性と個人の配偶価値の交互作用効果の検討を行う必要がある。

第三に、シグナリング行動やパートナー保持行動、あるいはこれらの行動を支える心理である親密性や心理の社会的帰結の検討である。本論文では、シグナリングやパートナー保持といった行動、あるいは親密性や情熱といった対人心理の程度やその有効性が、社会環境によって異なることを示した。しかし、こうした恋愛行動や恋愛心理が当該の社会環境において適応的であると論じるためには、実際にシグナリング行動やパートナー保持行動を頻繁に行う人、あるいは恋愛パートナーに対する親密性や情熱が高い人の方が、恋愛関係の獲得や維持において成功を収めていることを示す必要がある。こうした手法には、例えば人々に過去の恋愛経験や、現在の関係の長期性や関係満足度を尋ねる方法が考えられる (e.g., Aron & Henkemeyer, 1995; Rusbult, Martz, & Agnew, 1998; Yela, 2000)。あるいは、進化心理学や進化人類学などで用いられる子どもの数や子どもの健康 (Apicella, Feinberg, & Marlowe, 2007) もまた指標として有用だろう。今後の研究では、これらの指標を測定した上で、シグナリング行動やパートナー保持行動、親密性や情熱といった恋愛行動や恋愛心理が、恋愛関係流動性が高い社会環境において実際に個人の生殖にとって有利となることを示す必要がある。

本論文の限界と将来の展望

最後に、本論文の限界と展望を述べる。まず本論文における第一の限界は、恋愛関係流動性の測定法に関する点である。本論文では、これまでの先行研究と同様、社会環境における恋愛関係流動性の測定に質問紙を用いた。すなわち、ここで測定しているのは参加者の恋愛関係流動性認知である。質問紙により測定される関係流動性認知は、あくまで回答者自身を取り巻く周辺環境の流動性であり、その点において社会環境をある程度反映していると考えられる (Kito et al., 2017)。また近年では、こうした恋愛関係流動性認知と、社会関係に関わる様々な環境要因 (e.g., 経済状況や疾病率、離婚率など) との関連も明らかにされている (Thomson et al., *in prep*)。しかし、質問紙尺度を用いた本論文の測定法では、回答者の主観的な歪みが含まれている可能性は否めない。また、本論文の中で述べたように、魅力的な個人には関係形成を求めて人々が集まる (Barclay, 2016; Buss, 1989; Noë & Hammerstein, 1995; Shackelford, Schmitt, et al., 2005)。つまり、社会環境の流動性を測定する際に、こうした本人の魅力度の効果が交絡している可能性がある。

こうした問題の解決には、主観的な認知ではなく過去の一定期間の間に新しく知り合った新規他者の実数を尋ねる方法がある (Schug et al., 2010)。あるいは、実験的に関係流動性を統制することも有用だろう。他にも、プライミングなどを用いて関係流動性のような社会レベルの変数を操作する方法も考えられる (Thomas & Stewart-Williams, 2018)。あるいは、個人の認知ではなく、地域間の統計データ (e.g., 地域間の流出入数、離婚・再婚率、転職率など) を用いるなどして、測定された関係流動性尺度が実際の社会におけるパートナー選択の自由を反映していることを確証する必要がある。

第二の限界は、文化的な交絡要因を統制しきれていない点にある。本論文では、恋愛関係流動性の程度が異なる社会環境として、日本とアメリカおよびカナダを対象に国際比較研究を実施した。しかし、Berry (1967, 1979) の研究について説明した際に指摘したように、こうした日本やアメリカ、カナダといった国の間の比較研究には、恋愛関係流動性以外の文化的要因、すなわち言語や民族、宗教といった交絡要因が存在している (竹村・結城, 2014)。それゆえに、本論文で得られた知見が、日本やアメリカあるいはカナダといった特定の国においてのみ見られるものではないことを示すためには、こうした文化的要因を統制した上での検討が必要となる。

こうした問題の解決には、言語や民族、宗教といった文化的な交絡要因がある程度統制された集団間での比較が有用であろう。例えば先行研究は、同じ大学に通う大学生を対象に、入学時点と進級後と比較することで、こうした問題を回避している (佐藤・結城・竹村, 2011)。同じ日本であっても、大学入学時と進級後では関係流動性は異なる。大学入学時は、新たな他者との出会いが豊富に存在し、まだコミュニティが確立されていないため個人は自由に社会関係を取捨選択することができる。しかし、進級につれてコミュニティ

が確立されると、新たな出会いの数も減り、社会関係の取捨選択は比較的困難になる。このため大学入学時に比べて、関係流動性は低くなると予想される。このことと同様に、同じ国の中でも大学の入学時・進級時とでは恋愛関係の流動性も異なるだろう。今後の研究では、こうした日本国内あるいは同じ地域内を対象に、異なる社会的文脈間の比較を行うことで、本論文の知見の頑健性を確かめる必要があるだろう。

第三は、質問紙法による限界である。本論文で行なった全ての実証研究は、質問紙による場面想定法を用いている。しかしながら、例えばパートナー保持におけるコスト賦課のように質問項目の中には社会的に望ましくないとされる行動も含まれる。こうした社会的に望ましくない項目に関して、個人は実際よりも控えめに回答する傾向があることが知られている (Fisher, 1993)。このため今後の研究では、実際の行動について尋ねる、あるいは日記法や行動実験を通じて実際の人々の行動を測定する必要がある。

またこうした問題は、行動だけでなく心理の測定についても言える。例えば近年の神経科学の発達に伴い、親密性や愛を感じている際の脳活動を測定した研究も数多く報告されている (e.g., Bartels & Zeki, 2000, 2004; Fisher, Aron, & Brown, 2005)。参加者の主観的な心理状態も重要であるが、こうした生理反応を合わせて測定することで、より信頼性の高い指標となるだろう。またこうした生理反応の測定は、新たな研究の発展にもつながる。先行研究は、情動反応の制御に社会差があることを示しており、東アジア人は北米人よりも情動の制御に長けていることを明らかにしている (de Greck et al., 2012; Murata, Moser, & Kitayama, 2013)。では、本論文で扱った親密性や情熱の社会差は、心理状態の喚起レベルが異なるから得られたものなのだろうか。あるいは、喚起レベルには差がないが、その抑制能力が異なるから得られたものなのだろうか。こうした対人心理の背後にある詳細なプロセスを検討する上で、神経科学的な対人心理の測定は有用であろう。

最後に今後の展望として、社会と個人が互いに影響し合うダイナミックなプロセスの検討をあげたい。社会生態学的アプローチでは、ヒトが能動的に社会を作り上げ、そうした社会の構造がそこで生きるヒトの行動や心理に影響を与え、そうしたヒトの行動や心理がまた社会を構築していくという双方向性のプロセスが考慮されている (Oishi & Graham, 2010)。しかし本論文では、社会環境が個人の行動や心理、あるいは個人特性に与える影響を主に扱ってきた。第二の検討課題において社会と個人の交互作用を検討しているものの、そうした個人の行動や心理が集合的に作り出す社会の変化についてはまだ検討できていない。こうしたダイナミックな変化のプロセスの検討は、社会が将来どのように変化をするかを予測可能にするだろう。

それだけでなく、こうしたダイナミクスの検討は、関係流動性の高低がなぜ当該の社会環境において維持されるかを説明しうるだろう。例えば先行研究は、ヒトには自分と似た

相手を好きになる類似性選好があり (Byrne, 1961)、関係流動性が高いほど友人との類似性が高いことを示している (Schug et al., 2010)。しかし、類似した個人同士がマッチしていくのであれば、最終的に類似度の高い同士がマッチし合い (Berscheid, Dion, Walster, & Walster, 1971; Kalmijn, 1994) 関係が固定化する——すなわち流動性が収束する可能性が考えられる。しかし実際には、関係流動性が高いアメリカ社会でこうした収束が起きることではなく、関係流動性の高い状況が維持されている。それぞれの社会環境における個人の行動や心理が集合的に作りだす変化を検討することで、なぜこうした高関係流動性の維持が可能になるかを明らかにすることができるかもしれない。以上の改善点や示唆を踏まえ、今後さらなる研究を進めていく必要がある。

引用文献

- Adams, G. (2005). The cultural grounding of personal relationship: enemyship in North American and West African worlds. *Journal of Personality and Social Psychology*, 88(6), 948–68.
<https://doi.org/10.1037/0022-3514.88.6.948>
- Adams, G., Anderson, S. L., & Adonu, J. K. (2004). The cultural grounding of closeness and intimacy. In I. D. Mashek & A. Aron (Eds.), *Handbook of closeness and intimacy*. (pp. 321–339). Mahwah, NJ: Lawrence Erlbaum Associates.
- Adams, G., & Plaut, V. C. (2003). The cultural grounding of personal relationship: Friendship in North American and West African worlds. *Personal Relationships*, 10, 333–347.
<https://doi.org/10.1037/0022-3514.88.6.948>
- Alvergne, A., Faurie, C., & Raymond, M. (2009). Father-offspring resemblance predicts paternal investment in humans. *Animal Behaviour*, 78(1), 61–69.
<https://doi.org/10.1016/j.anbehav.2009.03.019>
- 安藤清志. (1986). 対人関係における自己開示の機能. 東京女子大学紀要論集, 36(2), 167–199.
- Apicella, C. L., Feinberg, D. R., & Marlowe, F. W. (2007). Voice pitch predicts reproductive success in male hunter-gatherers. *Biology Letters*, 3(6), 682–684.
<https://doi.org/10.1098/rsbl.2007.0410>
- Arak, A. (1983). Sexual selection by male-male competition in natterjack toad choruses. *Nature*, 306(5940), 261–262. <https://doi.org/10.1038/306261a0>
- Arak, A. (1988). Callers and satellites in the natterjack toad: evolutionarily stable decision rules. *Animal Behaviour*, 36(2), 416–432. [https://doi.org/10.1016/S0003-3472\(88\)80012-5](https://doi.org/10.1016/S0003-3472(88)80012-5)
- Arnocky, S., Piché, T., Albert, G., Ouellette, D., & Barclay, P. (2016). Altruism predicts mating success in humans. *British Journal of Psychology*, 108(2), 416–435.
<https://doi.org/10.1111/bjop.12208>
- Aron, A., Aron, E. N., & Smollan, D. (1992). Inclusion of Other in the Self Scale and the structure of interpersonal closeness. *Journal of Personality and Social Psychology*, 63(4), 596–612.
<https://doi.org/10.1037/0022-3514.63.4.596>
- Aron, A., & Henkemeyer, L. (1995). Marital satisfaction and passionate love. *Journal of Social and Personal Relationships*, 12(1), 139–146. <https://doi.org/10.1177/0265407595121010>
- Asch, S. E. (1956). Studies of independence and conformity: I. A minority of one against a unanimous majority. *Psychological Monographs: General and Applied*, 70(9), 1–70.
<https://doi.org/10.1037/h0093718>
- Atkins, D., Uskul, A. K., & Cooper, N. R. (2016). Culture shapes empathic responses to physical and

- social pain. *Emotion*, 16(5), 587–601. <https://doi.org/10.1037/emo0000162>
- Axelrod, R. (1984). *The evolution of cooperation*. New York: Basic Books.
- Back, M. D., Schmukle, S. C., & Egloff, B. (2010). Why are narcissists so charming at first sight? Decoding the narcissism–popularity link at zero acquaintance. *Journal of Personality and Social Psychology*, 98(1), 132–145. <https://doi.org/10.1037/a0016338>
- Barclay, P. (2013). Strategies for cooperation in biological markets, especially for humans. *Evolution and Human Behavior*, 34(3), 164–175. <https://doi.org/10.1016/j.evolhumbehav.2013.02.002>
- Barclay, P. (2016). Biological markets and the effects of partner choice on cooperation and friendship. *Current Opinion in Psychology*, 7, 33–38. <https://doi.org/10.1016/j.copsyc.2015.07.012>
- Barclay, P., & Willer, R. (2007). Partner choice creates competitive altruism in humans. *Proceedings. Biological Sciences / The Royal Society*, 274(1610), 749–753. <https://doi.org/10.1098/rspb.2006.0209>
- Barnlund, D. C. (1975). *Public and private self in Japan and the United States*. Tokyo, Japan: The Simul Press. 西山千・佐野雅子 (訳). (1979). 日本人の表現構造：公的自己と私的自己・アメリカ人との比較. サイマル出版会.
- Bartels, A., & Zeki, S. (2000). The neural basis of romantic love. *Neuroreport*, 11(17), 3829–3834. <https://doi.org/10.1097/00001756-200011270-00046>
- Bartels, A., & Zeki, S. (2004). The neural correlates of maternal and romantic love. *NeuroImage*, 21(3), 1155–1166. <https://doi.org/10.1016/j.neuroimage.2003.11.003>
- Bauch, C. T., & McElreath, R. (2016). Disease dynamics and costly punishment can foster socially imposed monogamy. *Nature Communications*, 7, 11219. <https://doi.org/10.1038/ncomms11219>
- Baumeister, R. F., Reynolds, T., Winegard, B., & Vohs, K. D. (2017). Competing for love: Applying sexual economics theory to mating contests. *Journal of Economic Psychology*, 63, 230–241. <https://doi.org/10.1016/j.joep.2017.07.009>
- Bejanyan, K., Marshall, T. C., & Ferenczi, N. (2014). Romantic ideals, mate preferences, and anticipation of future difficulties in marital life: A comparative study of young adults in India and America. *Frontiers in Psychology*, 5. <https://doi.org/10.3389/fpsyg.2014.01355>
- Bejanyan, K., Marshall, T. C., & Ferenczi, N. (2015). Associations of collectivism with relationship commitment, passion, and mate preferences: Opposing roles of parental influence and family allocentrism. *PLoS ONE*, 10(2), 1–24. <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0117374>
- Bellwood, P. S. (2004). *First Farmers: The Origins of Agricultural Societies*. Wiley-Blackwell. 長田俊樹・佐藤洋一郎 (監訳). (2008). 農耕起源の人類史. 京都大学学術出版会.

- Belsky, J., Steinberg, L., Draper, P., Belsky, J., Steinberg, L., & Draper, P. (1991). Childhood Experience, Interpersonal Development, and Reproductive Strategy : An Theoretical Paper
Childhood Experience , Interpersonal Development , and Reproductive Strategy : An
Evolutionary Theory of Socialization. *Child Development*, 62(4), 647–670.
<https://doi.org/10.1111/j.1467-8624.1991.tb01558.x>
- Benedict, R. 角田安正 (訳). (2008). 菊と刀. 光文社.
- Benshoof, L., & Thornhill, R. (1979). The evolution of monogamy and concealed ovulation in humans. *Journal of Social and Biological Systems*, 2(2), 95–106. [https://doi.org/10.1016/0140-1750\(79\)90001-0](https://doi.org/10.1016/0140-1750(79)90001-0)
- Bernier, F. 関美奈子 (訳) (2001). ムガル帝国誌. 岩波書店
- Berry, J. W. (1967). Independence and conformity in subsistence-level societies. *Journal of Personality and Social Psychology*, 7(4), 415–418. <https://doi.org/10.1037/h0025231>
- Berry, J. W. (1979). A cultural ecology of social behavior. *Advances in Experimental Social Psychology*, 12, 177–207.
- Berscheid, E., Dion, K., Walster, E., & Walster, G. W. (1971). Physical attractiveness and dating choice: A test of the matching hypothesis. *Journal of Experimental Social Psychology*, 7(2), 173–189. [https://doi.org/10.1016/0022-1031\(71\)90065-5](https://doi.org/10.1016/0022-1031(71)90065-5)
- Bertram, B. C. R. (1975). Social factors influencing reproduction in wild lions. *Journal of Zoology*, 177(4), 463–482. <https://doi.org/10.1111/j.1469-7998.1975.tb02246.x>
- Bhandari, A., Sandlow, J. I., & Brannigan, R. E. (2011). Risks to offspring associated with advanced paternal age. *Journal of Andrology*, 32(2), 121–122. <https://doi.org/10.2164/jandrol.110.010595>
- Boyce, W. T., Schaefer, C., Harrison, H. R., Haffner, W. H., Lewis, M., & Wright, A. L. (1986). Social and cultural factors in pregnancy complications among Navajo women. *American Journal of Epidemiology*, 124(2), 242–253.
- Brewer, G., & Riley, C. (2009). Height, relationship satisfaction, jealousy, and mate retention. *Evolutionary Psychology*, 7(3), 477–489.
- Brown, A. S., Schaefer, C. A., Wyatt, R. J., Begg, M. D., Goetz, R., Bresnahan, M. A., ... Susser, E. S. (2002). Paternal age and risk of schizophrenia in adult offspring. *The American Journal of Psychiatry*, 159(9), 1528–33. <https://doi.org/10.1176/appi.ajp.159.9.1528>
- Brown, J. D. (1986). Evaluations of Self and Others: Self-Enhancement Biases in Social Judgments. *Social Cognition*, 4(4), 353–376. <https://doi.org/10.1521/soco.1986.4.4.353>
- Buss, D. M. (1988a). From vigilance to violence. Tactics of mate retention in American undergraduates. *Ethology and Sociobiology*, 9(5), 291–317. <https://doi.org/10.1016/0162->

3095(88)90010-6

- Buss, D. M. (1988b). The evolution of human intrasexual competition: Tactics of mate attraction. *Journal of Personality and Social Psychology*, 54(4), 616–628. <https://doi.org/10.1037/0022-3514.54.4.616>
- Buss, D. M. (1989). Sex differences in human mate preferences: Evolutionary hypotheses tested in 37 cultures. *Behavioral and Brain Sciences*, 12(1), 1–14.
- Buss, D. M. (2002). Human mate guarding. *Neuro Endocrinology Letters*, 23 Suppl 4(December), 23–29.
- Buss, D. M. (2006). Strategies of Human Mating. *Psychological Topics*, 15(C), 239–260. [https://doi.org/10.1016/0162-3095\(96\)00128-8](https://doi.org/10.1016/0162-3095(96)00128-8)
- Buss, D. M. (2015). *Evolutionary psychology: The New Science of the Mind* (5th ed.). New York: Routledge.
- Buss, D. M., Abbott, M., Angleitner, A., Asherian, A., Biaggio, A., Blanco-Villasenor, A., ... Yang, K.-S. (1990). International Preferences in Selecting Mates: A study of 37 cultures. *Journal of Cross-Cultural Psychology*, 21(1), 5–47. <https://doi.org/10.1177/0022022190211001>
- Buss, D. M., & Barnes, M. (1986). Preferences in human mate selection. *Journal of Personality and Social Psychology*, 50(3), 559–570. <https://doi.org/10.1037/0022-3514.50.3.559>
- Buss, D. M., Larsen, R. J., Westen, D., & Semmelroth, J. (1992). Sex differences in jealousy: Evolution, physiology, and psychology. *Psychological Science*, 3(4), 251–255.
- Buss, D. M., & Schmitt, D. P. (1993). Sexual strategies theory: An evolutionary perspective on human mating. *Psychological Review*, 100(2), 204–232. <https://doi.org/10.1037/0033-295X.100.2.204>
- Buss, D. M., & Shackelford, T. K. (1997). From vigilance to violence: mate retention tactics in married couples. *Journal of Personality and Social Psychology*, 72(2), 346–361. <https://doi.org/10.1037/0022-3514.72.2.346>
- Buss, D. M., & Shackelford, T. K. (2008). Attractive women want it all: Good genes, economic investment, parenting proclivities, and emotional commitment. *Evolutionary Psychology*, 6(1), 134–146.
- Buss, D. M., Shackelford, T. K., & McKibbin, W. F. (2008). The Mate Retention Inventory-Short Form (MRI-SF). *Personality and Individual Differences*, 44(1), 322–334. <https://doi.org/10.1016/j.paid.2007.08.013>
- Buunk, B., & Hupka, R. B. (1987). Cross-cultural differences in the elicitation of sexual jealousy. *The Journal of Sex Research*, 23(1), 12–22. <https://doi.org/10.1080/00224498709551338>

- Buunk, B. P., Angleitner, A., Oubaid, V., Buss, D. M., From, T., & States, U. (1996). Sex Differences in Jealousy in Evolutionary and Cultural Perspective. *Psychological Science*, 7(6), 359–363.
- Byrne, D. (1961). Interpersonal attraction and attitude similarity. *The Journal of Abnormal and Social Psychology*, 62(3), 713–715.
- Byrne, R. W., & Whiten, A. (1988). Machiavellian intelligence: Social experts and the evolution of intellect in monkey, apes and humans. Clarendon Press.
- Caldwell, J., Reddy, P., & Caldwell, P. (1988). The causes of demographic change: experimental research in south India. *Population Studies*, 37, 343–361.
- Cassels, T. G., Chan, S., Chung, W., & Birch, S. A. J. (2010). The Role of Culture in Affective Empathy: Cultural and Bicultural Differences. *Journal of Cognition and Culture*, 10(3), 309–326. <https://doi.org/10.1163/156853710X531203>
- Castro, F. N., Hattori, W. T., Yamamoto, M. E., & Lopes, F. A. (2013). Romantic partners in a market perspective: expectations about what ensures a highly desirable partner. *Psychological Reports*, 113(2), 605–18. <https://doi.org/10.2466/21.19.PR0.113x23z6>
- Chatterjee, A., & Hambrick, D. C. (2007). It's All about Me: Narcissistic Chief Executive Officers and Their Effects on Company Strategy and Performance. *Administrative Science Quarterly*, 52(3), 351–386. <https://doi.org/10.2189/asqu.52.3.351>
- Chen, G.-M. (1995). Differences in Self-Disclosure Patterns among Americans Versus Chinese. *Journal of Cross-Cultural Psychology*, 26(1), 84–91. <https://doi.org/10.1177/0022022195261006>
- Chen, J., Chiu, C., & Chan, S. F. (2009). The cultural effects of job mobility and the belief in a fixed world: Evidence from performance forecast. *Journal of Personality and Social Psychology*, 97(5), 851–865. <https://doi.org/10.1037/a0015950>
- Chopik, W. J., O'Brien, E., & Konrath, S. H. (2017). Differences in Empathic Concern and Perspective Taking Across 63 Countries. *Journal of Cross-Cultural Psychology*, 48(1), 23–38. <https://doi.org/10.1177/0022022116673910>
- Cohen, D., Nisbett, R. E., Schwarz, N., & Bowdle, B. F. (1996). Insult, aggression, and the Southern culture of honor: An “experimental ethnography.” *Interpersonal Relations and Group Processes*, 70(5), 945–960. <https://doi.org/10.1037/0022-3514.70.5.945>
- Cohen, S. (1988). Psychosocial models of the role of social support in the etiology of physical disease. *Health Psychology*, 7(3), 269–297. <https://doi.org/10.1037/0278-6133.7.3.269>
- Collins, N. L., & Miller, L. C. (1994). Self-disclosure and liking: a meta-analytic review. *Psychological Bulletin*, 116(3), 457–475. <https://doi.org/10.1037/0033-2909.116.3.457>

- Coulmas, F. (1981). "Poison to your soul": Thanks and apologies contrastively viewed. In F. Coulmas (Ed.), *Conversational Routine: Explorations in Standardized Communication Situations and Prepatterned Speech* (pp. 69–91). The Hague, the Netherlands: Mouton Publishers. <https://doi.org/10.1515/9783110809145.69>
- Crognier, E. (2003). Reproductive success: Which meaning? *American Journal of Human Biology*, 15(3), 352–360. <https://doi.org/10.1002/ajhb.10153>
- Croucher, S. M., Homsey, D., Guarino, L., Bohlin, B., Trumpetto, J., Izzo, A., Huy, A., Sykes, T. (2012). Jealousy in Four Nations: A Cross-Cultural Analysis. *Communication Research Reports*, 29(4), 353–360. <https://doi.org/10.1080/08824096.2012.723273>
- Davies, N. B., Krebs, J. R., & West, S. A. (2012). *An Introduction to Behavioural Ecology* (4th ed.). Wiley-Blackwell.
- Davis, M. H. (1983). A Multidimensional Approach to Individual Differences in Empathy. *Journal of Personality and Social Psychology*, 44(1), 113–126. <https://doi.org/10.1037/0022-3514.44.1.113>
- Davis, M. H. (1994). *Empathy: a social psychological approach*. Boulder, CO: Westview Press.
- de Greck, M., Shi, Z., Wang, G., Zuo, X., Yang, X., Wang, X., Northoff, G., Han, S. (2012). Culture modulates brain activity during empathy with anger. *NeuroImage*, 59(3), 2871–2882. <https://doi.org/10.1016/j.neuroimage.2011.09.052>
- De Vos, A., & O’Riain, M. J. (2010). Sharks shape the geometry of a selfish seal herd: experimental evidence from seal decoys. *Biology Letters*, 6(1), 48–50. <https://doi.org/10.1098/rsbl.2009.0628>
- Decety, J., & Svetlova, M. (2012). Putting together phylogenetic and ontogenetic perspectives on empathy. *Developmental Cognitive Neuroscience*, 2(1), 1–24. <https://doi.org/10.1016/j.dcn.2011.05.003>
- DeScioli, P., & Kurzban, R. (2009). The alliance hypothesis for human friendship. *PLoS ONE*, 4(6). <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0005802>
- Diener, E., Suh, C. L., Eunkook, G., & Oishi, S. (2000). Similarity of the relations between marital status and subjective well-being across cultures. *Journal of Cross-Cultural Psychology*, 31(4), 419–436.
- Dion, K. K., & Dion, K. L. (1993). Individualistic and Collectivistic Perspectives on Gender and the Cultural Context of Love and Intimacy. *Journal of Social Issues*, 49(3), 53–69. <https://doi.org/10.1111/j.1540-4560.1993.tb01168.x>
- Dion, K. K., & Dion, K. L. (1996). Cultural perspectives on romantic love. *Personal Relationships*, 3(1), 5–17. <https://doi.org/10.1111/j.1475-6811.1996.tb00101.x>

- Domingue, B. W., Fletcher, J., Conley, D., & Boardman, J. D. (2014). Genetic and educational assortative mating among US adults. *Proceedings of the National Academy of Sciences*, 111(22), 7996–8000. <https://doi.org/10.1073/pnas.1321426111>
- Dunbar, R. I. M. (1992). Neocortex size as a constraint on group size in primates. *Journal of Human Evolution*, 22(6), 469–493. [https://doi.org/10.1016/0047-2484\(92\)90081-J](https://doi.org/10.1016/0047-2484(92)90081-J)
- Dunbar, R. I. M. (1993). Coevolution of neocortical size, group size and language in humans. *Behavioral and Brain Sciences*, 16, 681–735. <https://doi.org/10.1017/S0140525X00032325>
- Dunbar, R. I. M. (1998). The Social Brain Hypothesis. *Evolutionary Anthropology*, 178–190. [https://doi.org/10.1002/\(SICI\)1520-6505\(1998\)6:5<178::AID-EVAN5>3.3.CO;2-P](https://doi.org/10.1002/(SICI)1520-6505(1998)6:5<178::AID-EVAN5>3.3.CO;2-P)
- Dunson, D. B., Baird, D. D., & Colombo, B. (2004). Increased infertility with age in men and women. *Obstetrics and Gynecology*, 103(1), 51–56. <https://doi.org/10.1097/01.AOG.0000100153.24061.45>
- Edlund, J. E., & Sagarin, B. J. (2014). The mate value scale. *Personality and Individual Differences*, 64, 72–77. <https://doi.org/10.1016/j.paid.2014.02.005>
- Eisenberg, N., & Fabes, R. a. (1990). Empathy: Conceptualisation, measurement, and relation to prosocial behavior. *Motivation and Emotion*, 21(2), 65–86.
- Ekman, P. (1999a). Basic emotion. In T. Dalgleish & M. Power (Eds.), *Handbook of Cognition and Emotion* (pp. 45–60). John Wiley & Sons Ltd.
- Ekman, P. (1999b). Facial Expression. In T. Dalgleish & M. Power (Eds.), *Handbook of Cognition and Emotion* (Vol. 21, pp. 301–320). John Wiley & Sons Ltd.
- Ellis, B. J., Simpson, J. A., & Campbell, L. (2002). Trait-specific dependence in romantic relationships. *Journal of Personality*, 70(5), 611–659. <https://doi.org/10.1016/j.paid.2008.02.016>
- Emlen, S., & Oring, L. (1977). Ecology, sexual selection, and the evolution of mating systems. *Science*, 197(4300), 215–223. <https://doi.org/10.1126/science.327542>
- Emmons, R. A., & McCullough, M. E. (2003). Counting blessings versus burdens: An experimental investigation of gratitude and subjective well-being in daily life. *Journal of Personality and Social Psychology*, 84(2), 377–389. <https://doi.org/10.1037/0022-3514.84.2.377>
- Falk, C. F., Heine, S. J., Yuki, M., & Takemura, K. (2009). Why do Westerners self-enhance more than East Asians? *European Journal of Personality*, 23(3), 183–203. <https://doi.org/10.1002/per>
- Farrelly, D., Clemson, P., & Guthrie, M. (2016). Are Women’s Mate Preferences for Altruism Also Influenced by Physical Attractiveness? *Evolutionary Psychology*, 14(1), 147470491562369. <https://doi.org/10.1177/1474704915623698>

- Fawcett, T. W., Boogert, N. J., & Lefebvre, L. (2011). Female assessment: Cheap tricks or costly calculations? *Behavioral Ecology*, 22(3), 462–463. <https://doi.org/10.1093/beheco/arr012>
- Feather, N. T. (1989). Attitudes towards the high achiever: The fall of the tall poppy. *Australian Journal of Psychology*, 41(3), 239–267. <https://doi.org/10.1080/00049538908260088>
- Fisher, H., Aron, A., & Brown, L. L. (2005). Romantic love: an fMRI study of a neural mechanism for mate choice. *The Journal of Comparative Neurology*, 493(1), 58–62. <https://doi.org/10.1002/cne.20772>
- Fisher, H. 井沢紘生・熊田清子 (訳). (1998). 結婚の起源. どうぶつ社.
- Fisher, M., & Cox, A. (2011). Four strategies used during intrasexual competition for mates. *Personal Relationships*, 18(1), 20–38. <https://doi.org/10.1111/j.1475-6811.2010.01307.x>
- Fisher, R. J. (1993). Social Desirability Bias and the Validity of Indirect Questioning. *Journal of Consumer Research*, 20(2), 303. <https://doi.org/10.1086/209351>
- Fitzpatrick, M. J., Feder, E., Rowe, L., & Sokolowski, M. B. (2007). Maintaining a behaviour polymorphism by frequency-dependent selection on a single gene. *Nature*, 447(7141), 210–212. <https://doi.org/10.1038/nature05764>
- Fletcher, G. J. O., Simpson, J. A., Campbell, L., & Overall, N. C. (2015). Pair-Bonding, Romantic Love, and Evolution: The Curious Case of Homo sapiens. *Perspectives on Psychological Science*, 10(1), 20–36. <https://doi.org/10.1177/1745691614561683>
- Frank, R. H. (1988). *Passions Within Reason: The Strategic Role of the Emotions*. New York: WW Norton & Co.
- 福岡欣治・橋本幸. (1995). 大学生における家族および友人についての知覚されたサポートと精神的健康の関係. *日本教育心理学研究*, 43(2), 185–193. <https://doi.org/10.5926/arepj.49.150>
- Furnham, A. (2009). Sex differences in mate selection preferences. *Personality and Individual Differences*, 47(4), 262–267. <https://doi.org/10.1016/j.paid.2009.03.013>
- Gangestad, S. S. W., & Simpson, J. A. J. (2000). The evolution of human mating: Trade-offs and strategic pluralism. *Behavioral and Brain Sciences*, 23(4), 573–87; discussion 587–644. Retrieved from <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/11301543>
- Gao, G. (2001). Intimacy, passion, and commitment in Chinese and US American romantic relationships. *International Journal of Intercultural Relations*, 25(3), 329–342. [https://doi.org/10.1016/S0147-1767\(01\)00007-4](https://doi.org/10.1016/S0147-1767(01)00007-4)
- Gao, G. (2016). *Cross-Cultural Romantic Relationships*. Oxford Research Encyclopedia of Communication (Vol. 1). Oxford University Press.

- <https://doi.org/10.1093/acrefore/9780190228613.013.160>
- Geertz, C. 吉田禎吾・中牧弘允・柳川啓一・板橋作美 (訳). (1987). 文化の解釈学. 岩波書店.
- Gilbert, P. (1998). What Is shame? Some core issues and controversies. Oxford University Press.
- Gilmartin, S. (1997). The Sati, the Bride, and the Widow: Sacrificial Woman in the Nineteenth Century. *Victorian Literature and Culture*, 25(1), 141–158.
- Gino, F., & Pierce, L. (2009). The abundance effect: Unethical behavior in the presence of wealth. *Organizational Behavior and Human Decision Processes*.
<https://doi.org/10.1016/j.obhdp.2009.03.003>
- Gino, F., & Pierce, L. (2010). Robin Hood Under the Hood: Wealth-Based Discrimination in Illicit Customer Help. *Organization Science*, 21(6), 1176–1194.
<https://doi.org/10.1287/orsc.1090.0498>
- Gonzaga, G. C., Haselton, M. G., Smurda, J., Davies, M. S., & Poore, J. C. (2008). Love, desire, and the suppression of thoughts of romantic alternatives. *Evolution and Human Behavior*, 29(2), 119–126. <https://doi.org/10.1016/j.evolhumbehav.2007.11.003>
- Granovetter, M. S. (1973). The Strength of Weak Ties. *American Journal of Sociology*, 78(6), 1360–1380. <https://doi.org/10.1086/225469>
- Greenlees, I. A., & McGrew, W. C. (1994). Sex and age differences in preferences and tactics of mate attraction: Analysis of published advertisements. *Ethology and Sociobiology*, 15(2), 59–72. [https://doi.org/10.1016/0162-3095\(94\)90017-5](https://doi.org/10.1016/0162-3095(94)90017-5)
- Gross, M. R. (1996). Alternative reproductive strategies and tactics: Diversity within sexes. *Trends in Ecology and Evolution*, 11(2), 92–98. [https://doi.org/10.1016/0169-5347\(96\)81050-0](https://doi.org/10.1016/0169-5347(96)81050-0)
- Gudykunst, W. B., Matsumoto, Y., Ting-Toomey, S., Nishida, T., Kim, K., & Heyman, S. (1996). The Influence of Cultural Individualism-Collectivism, Self Construals, and Individual Values on Communication Styles Across Cultures. *Human Communication Research*, 22(4), 510–543. <https://doi.org/10.1111/j.1468-2958.1996.tb00377.x>
- Gunaydin, G., & DeLong, J. E. (2015). Reverse correlating love: Highly passionate women idealize their partner's facial appearance. *PLoS ONE*, 10(3), 1–10.
<https://doi.org/10.1371/journal.pone.0121094>
- Hamilton, W. D. (1964). The genetical evolution of social behaviour. I. *Journal of Theoretical Biology*, 7(1), 1–16. [https://doi.org/10.1016/0022-5193\(64\)90038-4](https://doi.org/10.1016/0022-5193(64)90038-4)
- Hamilton, W. D. (1971). Geometry for the selfish herd. *Journal of Theoretical Biology*, 31(2), 295–311. [https://doi.org/10.1016/0022-5193\(71\)90189-5](https://doi.org/10.1016/0022-5193(71)90189-5)

- Hardin, G. (1968). The Tragedy of the Commons. *Science*, 162(3859), 1243–1248.
<https://doi.org/10.1126/science.162.3859.1243>
- 長谷川真理子. (2002). 生き物をめぐる 4 つのなぜ. 集英社.
- Haselton, M. G., & Buss, D. M. (2000). Error management theory: a new perspective on biases in cross-sex mind reading. *Journal of Personality and Social Psychology*, 78(1), 81–91.
<https://doi.org/10.1037/0022-3514.78.1.81>
- 橋本博文. (2014). 「文化」への適応戦略. 西条辰義・山岸俊男 (編), 文化を実験する：社会行動の文化・制度的基盤 (pp. 141–165). 勁草書房.
- Hashimoto, H., & Yamagishi, T. (2016). Duality of independence and interdependence: An adaptationist perspective. *Asian Journal of Social Psychology*, 19(4), 286–297.
<https://doi.org/10.1111/ajsp.12145>
- Hatfield, E., & Rapson, R. L. (1991). Passionate Love and Sexual Desire: Multidisciplinary Perspectives. In J. P. Forgas & J. Fitness (Ed.), *Social relationships: Cognitive, affective, and motivational processes. The Sydney Symposium of Social Psychology* (pp. 21–38). New York: Psychology Press.
- Hatfield, E., & Rapson, R. L. (2005). *Love and sex: Cross-cultural perspectives*. New York: Allyn & Bacon.
- Hatfield, E., & Rapson, R. L. (2006). Passionate love, sexual desire, and mate selection: cross-cultural and historical perspectives. *Frontiers of Social Psychology: Close Relationships*, 227–244. <https://doi.org/10.4324/9780203782972>
- Hatfield, E., & Sprecher, S. (1986). Measuring passionate love in intimate relationships. *Journal of Adolescence*, 9, 383–410. [https://doi.org/10.1016/S0140-1971\(86\)80043-4](https://doi.org/10.1016/S0140-1971(86)80043-4)
- Heinrich, B., Marzluff, J. M., & Marzluff, C. M. (1993). Common Ravens Are Attracted by Appeasement Calls of Food Discoverers When Attacked. *The Auk*, 110(2), 247–254.
<https://doi.org/10.2307/4088553>
- Hendrick, S. S., Hendrick, C., & Adler, N. L. (1988). Romantic relationships: Love, satisfaction, and staying together. *Journal of Personality and Social Psychology*, 54(6), 980–988.
<https://doi.org/10.1037/0022-3514.54.6.980>
- Henrich, J., Boyd, R., Bowles, S., Camerer, C., Fehr, E., Gintis, H., McElreath, R., Alvard, M., Barr, A., Ensminger, J., Henrich, N S., Hill, K., Gil-White, F., Gurven, M., Marlowe, F. W., Patton, J. Q., Tracer, D. (2005). “Economic man” in cross-cultural perspective: Behavioral experiments in 15 small-scale societies. *Behavioral and Brain Sciences*, 28(06), 795–855.
<https://doi.org/10.1017/S0140525X05000142>

- Henrich, J., Boyd, R., & Richerson, P. J. (2012). The puzzle of monogamous marriage. *Philosophical Transactions of the Royal Society B: Biological Sciences*, 367(1589), 657–669. <https://doi.org/10.1098/rstb.2011.0290>
- Henrich, J., Ensminger, J., McElreath, R., Barr, A., Barrett, C., Bolyanatz, A., Cardenas, J. C., Gurven, M., Gwako, E., Henrich, N., Lesorogol, C., Marlowe, F., Tracer, D., Ziker, J. (2010). Markets, Religion, Community Size, and the Evolution of Fairness and Punishment. *Science*, 327(5972), 1480–1484. <https://doi.org/10.1126/science.1182238>
- Henrich, J., Heine, S. J., & Norenzayan, A. (2010). The weirdest people in the world? *Behavioral and Brain Sciences*, 33(2–3), 61–83. <https://doi.org/10.1017/S0140525X0999152X>
- ヘンリースチュワート. (1993). イヌイットか, エスキモーか—民族呼称の問題. *民族学研究*, 58(1), 85–88.
- Hill, K., & Kaplan, H. S. (1999a). Life History Traits in Humans: Theory and Empirical Studies. *Annual Review of Anthropology*, 28, 397–430. <https://doi.org/10.2307/223400>
- Hill, K., & Kaplan, H. S. (1999b). The Physiology of Life History Trade-offs in animals. *Annual Review of Anthropology*, 28, 397–430.
- Ho, D. Y. F. (1998). Interpersonal relationships and relationship dominance: An analysis based on methodological relationalism. *Asian Journal of Social Psychology*, 1(1), 1–16. <https://doi.org/10.1111/1467-839X.00002>
- Hofstede, G. H. (1980). *Culture's Consequences: International Differences in Work-related Values*. Beverly Hills: SAGE.
- Hofstede, G. H., Hofstede, G. J., & Minkov, M. (2010). *Cultures and Organizations: Software of the Mind*. McGraw-Hill Education.
- Humphrey, N. K. (1976). The social function of intellect. *Growing Points in Ethology*, 37(5), 303–317. <https://doi.org/10.2307/375925>
- Hunter, G. R., Gower, B. A., & Kane, B. L. (2010). Age related shift in visceral fat. *International Journal of Body Composition Research*, 8(3), 103–108.
- Hupka, R. B. (1981). Cultural determinants of jealousy. *Alternative Lifestyles*, 4(3), 310–356.
- Hutchings, J., & Myers, R. (1994). The evolution of alternative mating strategies in variable environments. *Evolutionary Ecology*, 8(3), 256–268. Retrieved from <http://link.springer.com/article/10.1007/BF01238277>
- Inoue, M., Sobue, T., & Tsugane, S. (2004). Impact of body mass index on the risk of total cancer incidence and mortality among middle-aged Japanese: data from a large-scale population-based cohort study--the JPHC study. *Cancer Causes & Control: CCC*, 15(7), 671–680.

- <https://doi.org/10.1023/B:CACO.0000036177.77953.47>
- Ishii, K., Mojaverian, T., Masuno, K., & Kim, H. S. (2017). Cultural Differences in Motivation for Seeking Social Support and the Emotional Consequences of Receiving Support: The Role of Influence and Adjustment Goals. *Journal of Cross-Cultural Psychology*, 48(9), 1442–1456. <https://doi.org/10.1177/0022022117731091>
- Iwasa, Y., & Pomiankowski, A. (1999). Good Parent and Good Genes Models of Handicap Evolution. *Journal of Theoretical Biology*, 200(1), 97–109. <https://doi.org/10.1006/jtbi.1999.0979>
- Johnson, A. J., Haigh, M. M., Craig, E. A., & Becker, J. A. H. (2009). Relational closeness: Comparing undergraduate college students' geographically close and long-distance friendships. *Personal Relationships*, 16(4), 631–646. <https://doi.org/10.1111/j.1475-6811.2009.01243.x>
- Jonason, P. K., & Buss, D. M. (2012). Avoiding entangling commitments: Tactics for implementing a short-term mating strategy. *Personality and Individual Differences*, 52(5), 606–610. <https://doi.org/10.1016/j.paid.2011.12.015>
- Jones, E. E., & Archer, R. L. (1976). Are there special effects of personalistic self-disclosure? *Journal of Experimental Social Psychology*, 12(2), 180–193. [https://doi.org/10.1016/0022-1031\(76\)90069-X](https://doi.org/10.1016/0022-1031(76)90069-X)
- Kalmijn, M. (1994). Assortative Mating by Cultural and Economic Occupational Status. *American Journal of Sociology*, 100(2), 422. <https://doi.org/10.1086/230542>
- Kamble, S., Shackelford, T. K., Pham, M., & Buss, D. M. (2014). Indian mate preferences: Continuity, sex differences, and cultural change across a quarter of a century. *Personality and Individual Differences*, 70, 150–155. <https://doi.org/10.1016/j.paid.2014.06.024>
- 亀田達也・村田光二. (2010). 複雑さに挑む社会心理学 (第2版). 有斐閣.
- Kamo, Y. (1993). Determinants of Marital Satisfaction: A Comparison of the United States and Japan. *Journal of Social and Personal Relationships*, 10(4), 551–568. <https://doi.org/10.1177/0265407593104005>
- Kaplan, H., Hill, K., Lancaster, J., & Hurtado, A. M. (2000). A theory of human life history evolution: Diet, intelligence, and longevity. *Evolutionary Anthropology: Issues, News, and Reviews*, 9(4), 156–185. [https://doi.org/10.1002/1520-6505\(2000\)9:4<156::AID-EVAN5>3.3.CO;2-Z](https://doi.org/10.1002/1520-6505(2000)9:4<156::AID-EVAN5>3.3.CO;2-Z)
- Kaufman, G., & Taniguchi, H. (2016). Marriage and Happiness in Japan and the United States. *International Journal of Sociology of the Family*, 36(1), 25–48. <https://doi.org/10.2307/23070777>

- Kim, H. S., Sherman, D. K., Ko, D., & Taylor, S. E. (2006). Pursuit of Comfort and Pursuit of Harmony : Culture, Relationships, and Social Support Seeking. *Personality and Social Psychology Bulletin*, 32(12), 1595–1607. <https://doi.org/10.1177/0146167206291991>
- Kim, H. S., Sherman, D. K., & Taylor, S. E. (2008). Culture and social support. *The American Psychologist*, 63(6), 518–26. <https://doi.org/10.1037/0003-066X>
- Kim, K., & Markman, A. B. (2013). Individual differences, cultural differences, and dialectic conflict description and resolution. *International Journal of Psychology*, 48(5), 797–808. <https://doi.org/10.1080/00207594.2012.711908>
- 北山忍. (1994). 文化的自己観と心理のプロセス. *社会心理学研究*, 10(3), 153–167.
- Kito, M. (2005). Self-disclosure in romantic relationships and friendships among American and Japanese college students. *The Journal of Social Psychology*, 145(2), 127–140. <https://doi.org/10.3200/SOCP.145.2.127-140>
- 鬼頭美江・山田順子・結城雅樹. (2014). 恋人をめぐる略奪と競争：恋愛競争性に関する日加比較研究. 日本社会心理学会第 55 回大会. 北海道大学: 日本社会心理学会.
- Kito, M., Yamada, J., & Yuki, M. (2014). Mate poaching experiences in a high relational mobility society: Cross-cultural study in Canada and Japan. In International Association for Relationship Research. Melbourne, Australia.
- Kito, M., Yuki, M., & Thomson, R. (2017). Relational mobility and close relationships: A socioecological approach to explain cross-cultural differences. *Personal Relationships*, 24(1), 114–130. <https://doi.org/10.1111/pere.12174>
- Knight, J., & Yueh, L. (2004). Job mobility of residents and migrants in urban China. *Journal of Comparative Economics*, 32(4), 637–660. <https://doi.org/10.1016/j.jce.2004.07.004>
- Kokko, H., & Morrell, L. J. (2005). Mate guarding, male attractiveness, and paternity under social monogamy. *Behavioral Ecology*, 16(4), 724–731. <https://doi.org/10.1093/beheco/ari050>
- Krems, J. A., Neel, R., Neuberg, S. L., Puts, D. A., & Kenrick, D. T. (2016). Women selectively guard their (desirable) mates from ovulating women. *Journal of Personality and Social Psychology*, 110(4), 551–573. <https://doi.org/10.1037/pspi0000044>
- Kromer, J., Hummel, T., Pietrowski, D., Giani, A. S., Sauter, J., Ehninger, G., Schmidt, A. H., Croy, I. (2016). Influence of HLA on human partnership and sexual satisfaction. *Scientific Reports*, 6(March), 6–11. <https://doi.org/10.1038/srep32550>
- Kunz, K., Witthuhn, M., & Uhl, G. (2014). Do the size and age of mating plugs alter their efficacy in protecting paternity? *Behavioral Ecology and Sociobiology*, 68(8), 1321–1328. <https://doi.org/10.1007/s00265-014-1742-7>

- Kurzban, R., & Weeden, J. (2005). HurryDate: Mate preferences in action. *Evolution and Human Behavior*, 26(3), 227–244. <https://doi.org/10.1016/j.evolhumbehav.2004.08.012>
- Kurzban, R., & Weeden, J. (2007). Do advertised preferences predict the behavior of speed daters? *Personal Relationships*, 14, 623–632. <https://doi.org/10.1111/j.1475-6811.2007.00175.x>
- 展之沓掛, & 庸憲古賀. (2012). 行動生態学. (日本生態学会, Ed.). 共立出版.
- Laland, K. N., & Brown, G. R. (2011). Sense and Nonsense: Evolutionary perspectives on human behaviour (Second edi). Oxford: Oxford University Press.
- Lalonde, R. N., Hynie, M., Pannu, M., & Tatla, S. (2004). The Role of Culture in Interpersonal Relationships: Do second generation South Asian Canadians want a traditional partner? *Journal of Cross-Cultural Psychology*, 35(5), 503–524. <https://doi.org/10.1177/0022022104268386>
- Le, B., Dove, N. L., Agnew, C. R., Korn, M. S., & Mutso, A. A. (2010). Predicting nonmarital romantic relationship dissolution: A meta-analytic synthesis. *Personal Relationships*, 17(3), 377–390. <https://doi.org/10.1111/j.1475-6811.2010.01285.x>
- Lee, J. J., & Gino, F. (2015). Envy and Interpersonal Corruption: Social Comparison Processes and Unethical Behavior in Organizations. *Harvard University Paper Series*, (67).
- Lee, J. S. F. (2005). Alternative reproductive tactics and status-dependent selection. *Behavioral Ecology*, 16(3), 566–570. <https://doi.org/10.1093/beheco/ari030>
- Leivers, S., Rhodes, G., & Simmons, L. W. (2014). Sperm Competition in Humans: Mate Guarding Behavior Negatively Correlates with Ejaculate Quality. *PLoS ONE*, 9(9), e108099. <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0108099>
- Lewin, K. (1951). Field theory in social science: selected theoretical papers. (D. Cartwright, Ed.). Harper & Row.
- Liao, M. M., Lezotte, D., Lowenstein, S. R., Howard, K., Finley, Z., Feng, Z., Byyny, R. L., Sankoff, J. D., Douglas, I S., Haukoos, J. S. (2014). Sensitivity of systemic inflammatory response syndrome for critical illness among ED patients. *American Journal of Emergency Medicine*, 32(11), 1319–1325. <https://doi.org/10.1016/j.ajem.2014.07.035>
- Lie, H. C., Rhodes, G., & Simmons, L. W. (2010). Is genetic diversity associated with mating success in humans? *Animal Behaviour*, 79(4), 903–909. <https://doi.org/10.1016/j.anbehav.2009.12.040>
- Ma-Kellams, C., & Blascovich, J. (2012). Inferring the Emotions of Friends Versus Strangers: The Role of Culture and Self-Construal. *Personality and Social Psychology Bulletin*, 38(7), 933–945. <https://doi.org/10.1177/0146167212440291>
- Marazziti, D., Di Nasso, E., Masala, I., Baroni, S., Abelli, M., Mengali, F., Mungai, F., Rucci, P.

- (2003). Normal and obsessional jealousy: A study of a population of young adults. *European Psychiatry*, 18, 106–111. [https://doi.org/10.1016/S0924-9338\(03\)00024-5](https://doi.org/10.1016/S0924-9338(03)00024-5)
- Markus, H. R., & Kitayama, S. (1991). Culture and the self: Implications for cognition, emotion, and motivation. *Psychological Review*, 98(2), 224–253.
- Marlowe, F. (2000). Paternal investment and the human mating system. *Behavioural Processes*, 51(1–3), 45–61. [https://doi.org/10.1016/S0376-6357\(00\)00118-2](https://doi.org/10.1016/S0376-6357(00)00118-2)
- Marshall, T. C. (2008). Cultural differences in intimacy: The influence of gender-role ideology and individualism-collectivism. *Journal of Social and Personal Relationships*, 25(1), 143–168. <https://doi.org/10.1177/0265407507086810>
- Marwick, A. E., & Boyd, D. (2011). I tweet honestly, I tweet passionately: Twitter users, context collapse, and the imagined audience. *New Media & Society*, 13(1), 114–133. <https://doi.org/10.1177/1461444810365313>
- 増田貴彦. (2014). 文化と心. 西条辰義 (監修)・山岸俊男 (編著), 文化を実験する：社会行動の文化・制度的基盤 (pp. 3–34). 勁草書房.
- Matsuda, H., & Abrams, P. A. (1999). Why are equally sized gametes so rare? The instability of isogamy and the cost of anisogamy. *Evolutionary Ecology Research*, 1(7), 769–784.
- McLean, C. Y., Reno, P. L., Pollen, A. A., Bassan, A. I., Capellini, T. D., Guenther, C., Indjeian, V. B., Lim, X., Menke, D. B., Schaar, B. T., Wenger, A. M., Bejerano, G., Kingsley, D. M. (2104). Human-specific loss of regulatory DNA and the evolution of human-specific traits. *Nature*, 471(7337), 216–219. <https://doi.org/10.1038/nature09774>
- Mesoudi, A., Chang, L., Murray, K., & Lu, H. J. (2015). Higher frequency of social learning in China than in the West shows cultural variation in the dynamics of cultural evolution. *Proceedings of the Royal Society B*, 282(20142209), 1–7. <https://doi.org/10.1098/rspb.2014.2209>
- Metz, M., Klump, G. M., & Friedl, T. W. P. (2007). Temporal changes in demand for and supply of nests in red bishops (*Euplectes orix*): Dynamics of a biological market. *Behavioral Ecology and Sociobiology*, 61(9), 1369–1381. <https://doi.org/10.1007/s00265-007-0367-5>
- Miner, E. J., Starratt, V. G., & Shackelford, T. K. (2009). It's not all about her: Men's mate value and mate retention. *Personality and Individual Differences*, 47(3), 214–218. <https://doi.org/10.1016/j.paid.2009.03.002>
- Miyamoto, Y., & Wilken, B. (2010). Culturally contingent situated cognition: influencing other people fosters analytic perception in the United States but not in Japan. *Psychological Science: A Journal of the American Psychological Society*, 21(11), 1616–1622.

<https://doi.org/10.1177/0956797610385954>

- Morgan, C. L. (1894). An introduction to comparative psychology. In *The contemporary science series* (Vol. 45, p. 382 S.).
- Morry, M. M. (2005). Allocentrism and Friendship Satisfaction: The Mediating Roles of Disclosure and Closeness. *Canadian Journal of Behavioral Science*, 37(3), 211–222.
- Murata, A., Moser, J. S., & Kitayama, S. (2013). Culture shapes electrocortical responses during emotion suppression. *Social Cognitive and Affective Neuroscience*, 8(5), 595–601.
<https://doi.org/10.1093/scan/nss036>
- Na, J., Grossmann, I., Varnum, M. E. W., Kitayama, S., Gonzalez, R., & Nisbett, R. E. (2010). Cultural differences are not always reducible to individual differences. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*, 107(14), 6192–6197.
<https://doi.org/10.1073/pnas.1001911107>
- Naito, T., & Washizu, N. (2015). Note on cultural universals and variations of gratitude from an East Asian point of view. *International Journal of Behavioral Science*, 10(2), 1–8.
- Nedelec, J. L., & Beaver, K. M. (2014). Physical attractiveness as a phenotypic marker of health: An assessment using a nationally representative sample of American adults. *Evolution and Human Behavior*, 35(6), 456–463. <https://doi.org/10.1016/j.evolhumbehav.2014.06.004>
- Nisbett, R. E. (2003). *The Geography of Thought: How Asians and Westerners Think Differently and Why*. New York: Free Press.
- Nisbett, R. E., & Cohen, D. (1996). *Culture of honor: The psychology of violence in the South*. Westview Pr. Boulder, CO: Westview Press.
[8&lr=&q=8OeaNuDVJ1EJ:scholar.google.com/&hl=en&num=50:scholar.google.com/](https://scholar.google.com/&hl=en&num=50:scholar.google.com/8&lr=&q=8OeaNuDVJ1EJ:scholar.google.com/&hl=en&num=50:scholar.google.com/)
- Noë, R., & Hammerstein, P. (1994). Biological markets: supply and demand determine the effect of partner choice in cooperation, mutualism and mating. *Behavioral Ecology and Sociobiology*, 35(1), 1–11. <https://doi.org/10.2307/4600969>
- Noë, R., & Hammerstein, P. (1995). Biological Markets. *THREE*, 10(8), 336–339.
- Nowak, A., Gelfand, M. J., Borkowski, W., Cohen, D., & Hernandez, I. (2015). The Evolutionary Basis of Honor Cultures. *Psychological Science*, 27(1), 12–24.
<https://doi.org/10.1177/0956797615602860>
- Oishi, S. (2010). The Psychology of Residential Mobility: Implications for the Self, Social Relationships, and Well-Being. *Perspectives on Psychological Science*, 5(1), 5–21.
<https://doi.org/10.1177/1745691609356781>
- Oishi, S., & Graham, J. (2010). Social Ecology: Lost and Found in Psychological Science.

- Perspectives on Psychological Science*, 5(4), 356–377.
<https://doi.org/10.1177/1745691610374588>
- Oishi, S., Schug, J., Yuki, M., & Axt, J. (2015). The Psychology of Residential and Relational Mobilities. *Handbook of Advances in Culture and Psychology*, Volume 5.
<https://doi.org/10.1093/acprof:oso/9780190218966.003.0005>
- 岡田章. (2008). ゲーム理論・入門：人間社会の理解のために. 有斐閣.
- Park, J., Kitayama, S., Markus, H. R., Coe, C. L., Miyamoto, Y., Karasawa, M., ... Ryff, C. D. (2013). Social status and anger expression: The cultural moderation hypothesis. *Emotion*, 13(6), 1122–1131. <https://doi.org/10.1037/a0034273>
- Parker, G. A. (1970). Sperm competition and its evolutionary effect on copula duration in the fly *Scatophaga stercoraria*. *Journal of Insect Physiology*, 16(7), 1301–1328.
[https://doi.org/10.1016/0022-1910\(70\)90131-9](https://doi.org/10.1016/0022-1910(70)90131-9)
- Parker, J., & Burkley, M. (2009). Who's chasing whom? The impact of gender and relationship status on mate poaching. *Journal of Experimental Social Psychology*, 45(4), 1016–1019.
<https://doi.org/10.1016/j.jesp.2009.04.022>
- Pawłowski, B., & Dunbar, R. I. M. (1999a). Impact of market value on human mate choice decisions. *Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences*, 266(1416), 281–285.
<https://doi.org/10.1098/rspb.1999.0634>
- Pawłowski, B., & Dunbar, R. I. M. (1999b). Withholding age as putative deception in mate search tactics. *Evolution and Human Behavior*, 20(1), 53–69. [https://doi.org/10.1016/S1090-5138\(98\)00038-5](https://doi.org/10.1016/S1090-5138(98)00038-5)
- Porter, E., & Chambless, D. L. (2017). Social Anxiety and Social Support in Romantic Relationships. *Behavior Therapy*, 48(3), 335–348. <https://doi.org/10.1016/j.beth.2016.12.002>
- Ramachandran, V. S., & Jalal, B. (2017). The evolutionary psychology of envy and jealousy. *Frontiers in Psychology*, 8, 1619. <https://doi.org/10.3389/FPSYG.2017.01619>
- Richerson, P. J., Boyd, R., & Bettinger, R. L. (2001). Was Agriculture Impossible during the Pleistocene but Mandatory during the Holocene? A Climate Change Hypothesis. *American Antiquity*, 66(03), 387–411. <https://doi.org/10.2307/2694241>
- Rini, C., Schetter, C. D., Hobel, C. J., Glynn, L. M., & Sandman, C. A. (2006). Effective social support: Antecedents and consequences of partner support during pregnancy. *Personal Relationships*, 13(2), 207–229. <https://doi.org/10.1111/j.1475-6811.2006.00114.x>
- Roberts, G. (1998). Competitive altruism: from reciprocity to the handicap principle. *Proceedings of the Royal Society of London B: Biological Sciences*, 265, 427–431.

- <https://doi.org/10.1098/rspb.1998.0312>
- Roberts, S. G. B., Wilson, R., Fedurek, P., & Dunbar, R. I. M. (2008). Individual differences and personal social network size and structure. *Personality and Individual Differences*, 44(4), 954–964. <https://doi.org/10.1016/j.paid.2007.10.033>
- Ross, L. T., & Hill, E. M. (2002). Childhood Unpredictability, Schemas for Unpredictability, and Risk Taking. *Social Behavior and Personality: An International Journal*, 30(5), 453–473. <https://doi.org/10.2224/sbp.2002.30.5.453>
- Roth, G., & Dicke, U. (2005). Evolution of the brain and intelligence. *Trends in Cognitive Sciences*, 9(5), 250–257. <https://doi.org/10.1016/j.tics.2005.03.005>
- Ruggles, S. (1994). The transformation of American family structure. *American Historical Review*, 99(1), 103–128.
- Rusbult, C. E. (1980). Commitment and satisfaction in romantic associations: A test of the investment model. *Journal of Experimental Social Psychology*, 16, 172–186. [https://doi.org/10.1016/0022-1031\(80\)90007-4](https://doi.org/10.1016/0022-1031(80)90007-4)
- Rusbult, C. E., Martz, J. M., & Agnew, C. R. (1998). The investment model scale: Measuring commitment level, satisfaction level, quality of alternatives, and investment size. *Personal Relationships*, 5, 357–387. <https://doi.org/10.1111/j.1475-6811.1998.tb00177.x>
- 阪井裕一郎. (2007). 戦前期における「仲人結婚」の規範化過程. 日本教育社会学会大会発表要旨集録, 59, 339–340.
- Salkicevic, S., Stanic, A. L., & Grabovac, M. T. (2014). Good Mates Retain Us Right: Investigating the Relationship between Mate Retention Strategies, Mate Value, and Relationship Satisfaction. *Evolutionary Psychology*, 12(5), 147470491401200. <https://doi.org/10.1177/147470491401200512>
- Salovey, P., & Rodin, J. (1986). The Differentiation of Social-Comparison Jealousy and Romantic Jealousy. *Journal of Personality and Social Psychology*, 50(6), 1100–1112. <https://doi.org/10.1037/0022-3514.50.6.1100>
- 佐藤剛介・結城雅樹・竹村幸祐. (2011). 幸福感の規定因に対する社会生態学的環境の干渉効果—社会状況間比較による検討—. 北海道心理学研究, 34, 21–33.
- Sato, K., Yuki, M., & Norasakkunkit, V. (2014). A socio-ecological approach to cross-cultural differences in the sensitivity to social rejection: The partially mediating role of relational mobility. *Journal of Cross-Cultural Psychology*, 45(10), 1549–1560. <https://doi.org/10.1177/0022022114544320>
- Sauer, M. V. (2015). Reproduction at an advanced maternal age and maternal health. *Fertility and*

- Sterility*, 103(5), 1136–1143. <https://doi.org/10.1016/j.fertnstert.2015.03.004>
- Schacht, R., & Bell, A. V. (2016). The evolution of monogamy in response to partner scarcity. *Scientific Reports*, 6(1), 32472. <https://doi.org/10.1038/srep32472>
- Schacht, R., Tharp, D., & Smith, K. R. (2016). Marriage Markets and Male Mating Effort: Violence and Crime Are Elevated Where Men Are Rare. *Human Nature*, 27(4), 489–500. <https://doi.org/10.1007/s12110-016-9271-x>
- Schmitt, D. P., Alcalay, L., Allik, J., Angleitner, A., Ault, L., Austers, I., ... Zupanè, A. (2004). Patterns and universals of mate poaching across 53 nations: the effects of sex, culture, and personality on romantically attracting another person's partner. *Journal of Personality and Social Psychology*, 86(4), 560–584. <https://doi.org/10.1037/0022-3514.86.4.560>
- Schmitt, D. P., & Buss, D. M. (2000). Sexual Dimensions of Person Description: Beyond or Subsumed by the Big Five? *Journal of Research in Personality*, 34(2), 141–177. <https://doi.org/10.1006/jrpe.1999.2267>
- Schmitt, D. P., & Buss, D. M. (2001). Human mate poaching: Tactics and temptations for infiltrating existing mateships. *Journal of Personality and Social Psychology*, 80(6), 894–917. <https://doi.org/10.1037/0022-3514.80.6.894>
- Schmitt, D. P., Youn, G., Bond, B., Brooks, S., Frye, H., Johnson, S., Klesman, J., Peplinski, C., Sampias, J., Sherrill, M., Stoka, C. (2009). When will I feel love? The effects of culture, personality, and gender on the psychological tendency to love. *Journal of Research in Personality*, 43(5), 830–846. <https://doi.org/10.1016/j.jrp.2009.05.008>
- Schug, J., Yuki, M., Horikawa, H., & Takemura, K. (2009). Similarity attraction and actually selecting similar others: How cross-societal differences in relational mobility affect interpersonal similarity in Japan and the USA. *Asian Journal of Social Psychology*, 12(2), 95–103. <https://doi.org/10.1111/j.1467-839X.2009.01277.x>
- Schug, J., Yuki, M., & Maddux, W. (2010). Relational mobility explains between-and within-culture differences in self-disclosure to close friends. *Psychological Science*, 21(10), 1471–1478. Retrieved from <http://pss.sagepub.com/content/21/10/1471.short>
- Shackelford, T. K., Goetz, A. T., Buss, D. M., Euler, H. A., & Hoier, S. (2005). When we hurt the ones we love: Predicting violence against women from men's mate retention. *Personal Relationships*, 12(4), 447–463. <https://doi.org/10.1111/j.1475-6811.2005.00125.x>
- Shackelford, T. K., Schmitt, D. P., & Buss, D. M. (2005). Universal dimensions of human mate preferences. *Personality and Individual Differences*, 39, 447–458. <https://doi.org/10.1016/j.paid.2005.01.023>

- Simpson, J. a, & Gangestad, S. W. (1992). Sociosexuality and Romantic Partner Choice. *Journal of Personality*, 60(1), 31–51. <https://doi.org/10.1111/j.1467-6494.1992.tb00264.x>
- Singh, D. (1993). Adaptive significance of female physical attractiveness: Role of waist-to-hip ratio. *Journal of Personality and Social Psychology*, 65(2), 293–307. <https://doi.org/10.1037//0022-3514.65.2.293>
- Sorokowski, P., Kościński, K., Sorokowska, A., & Huanca, T. (2014). Preference for women's body mass and waist-to-hip ratio in tsimane' men of the Bolivian Amazon: Biological and cultural determinants. *PLoS ONE*, 9(8). <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0105468>
- Sorokowski, P., Randall, A. K., Groyecka, A., Frackowiak, T., Cantarero, K., Hilpert, P., ... Sorokowska, A. (2017). Marital Satisfaction, Sex, Age, Marriage Duration, Religion, Number of Children, Economic Status, Education, and Collectivistic Values: Data from 33 Countries. *Frontiers in Psychology*, 8(July), 1–7. <https://doi.org/10.3389/fpsyg.2017.01199>
- Spitzberg, B. H., Cupach, W. R. 谷口弘一・加藤司 (監訳). (2008). 親密な関係のダークサイド. 北大路書房.
- Sprecher, S., Aron, A., Hatfield, E., Cortese, A., Potapova, E., & Levitskaya, A. (1994). Love: American style, Russian style, and Japanese style. *Personal Relationships*. <https://doi.org/10.1111/j.1475-6811.1994.tb00070.x>
- Sprecher, S., & Hendrick, S. S. (2004). Self-Disclosure in Intimate Relationships: Associations with Individual and Relationship Characteristics Over Time. *Journal of Social and Clinical Psychology*, 23(6), 857–877. <https://doi.org/10.1521/jscp.23.6.857.54803>
- Sternberg, R. J. (1986). A triangular theory of love. *Psychological Review*, 93(2), 119–135.
- Sternberg, R. J. (1997). Construct validation of a triangular love scale. *European Journal of Social Psychology*, 27(3), 313–335. [https://doi.org/10.1002/\(SICI\)1099-0992\(199705\)27:3<313::AID-EJSP824>3.3.CO;2-W](https://doi.org/10.1002/(SICI)1099-0992(199705)27:3<313::AID-EJSP824>3.3.CO;2-W)
- Stockley, P. (2002). Sperm competition risk and male genital anatomy: Comparative evidence for reduced duration of female sexual receptivity in primates with penile spines. *Evolutionary Ecology*, 16(2), 123–137. <https://doi.org/10.1023/A:1016323511091>
- Sugiyama, L. S. (2004). Is beauty in the context-sensitive adaptations of the beholder? Shiwiar use of waist-to-hip ratio in assessments of female mate value. *Evolution and Human Behavior*, 25(1), 51–62. [https://doi.org/10.1016/S1090-5138\(03\)00083-7](https://doi.org/10.1016/S1090-5138(03)00083-7)
- Sussman, M. B. (1959). The Isolated Nuclear Family: Fact or Fiction. *Social Problems*, 6(4), 333–340.
- Sznycer, D., Takemura, K., Delton, A. W., Sato, K., Robertson, T. E., & Tooby, J. (2012). Cross-

- cultural differences and similarities in shame activation thresholds: An adaptationist and ecological approach. *Evolutionary Psychology*, 10(2), 352–370.
<https://doi.org/10.1016/j.biotechadv.2011.08.021/>
- Sznycer, D., Tooby, J., Cosmides, L., Porat, R., Shalvi, S., & Halperin, E. (2016). Shame closely tracks the threat of devaluation by others, even across cultures. *Proceedings of the National Academy of Sciences*, 201514699. <https://doi.org/10.1073/pnas.1514699113>
- 高木修・竹村和久 (編). (2015). 無縁社会のゆくえー人々の絆はなぜなくなるの？. 誠信書房.
- Takemura, K., & Suzuki, S. (2015). Self-expression and relationship formation in high relational mobility environments: A study of dual users of American and Japanese social networking sites. *International Journal of Psychology*. <https://doi.org/10.1002/ijop.12208>
- 竹村幸祐・結城雅樹. (2014). 文化への社会生態学的アプローチ. In 西条辰義 (監修)・山岸俊男 (編著), 文化を実験する：社会行動の文化・制度的基盤 (pp. 91–140). 勁草書房.
- Talhelm, T., Zhang, X., Oishi, S., Duan, D., Lan, X., & Kitayama, S. (2014). Large-Scale Psychological Rice Versus Wheat Agriculture. *Science*, 344(May), 603–608.
- Thiessen, D., & Gregg, B. (1980). Human assortative mating and genetic equilibrium: An evolutionary perspective. *Ethology and Sociobiology*, 1(2), 111–140.
[https://doi.org/10.1016/0162-3095\(80\)90003-5](https://doi.org/10.1016/0162-3095(80)90003-5)
- Thobejane, T. D., & Flora, T. (2014). An Exploration of Polygamous Marriages : A Worldview. *Mediterranean Journal of Social Sciences*, 5(27), 1058–1066.
<https://doi.org/10.5901/mjss.2014.v5n27p1058>
- Thomas, A. G., & Stewart-Williams, S. (2018). Mating strategy flexibility in the laboratory: Preferences for long- and short-term mating change in response to evolutionarily relevant variables. *Evolution and Human Behavior*, 39(1), 82–93.
<https://doi.org/10.1016/j.evolhumbehav.2017.10.004>
- Thomson, R., & Ito, N. (2012). The effect of relational mobility on SNS user behavior: A study of Japanese dual-users of Mixi and Facebook. *The Journal of International Media, Communication, and Tourism Studies*, 14, 3–22. Retrieved from
<http://133.87.26.249/dspace/handle/2115/48860>
- Thomson, R., Yuki, M., & Ito, N. (2015). A socio-ecological approach to national differences in online privacy concern: The role of relational mobility and trust. *Computers in Human Behavior*, 51(PA), 285–292. <https://doi.org/10.1016/j.chb.2015.04.068>
- Thornhill, R., & Wilmsen Thornhill, N. (1983). Human rape: An evolutionary analysis. *Ethology and*

- Sociobiology*, 4(3), 137–173. [https://doi.org/10.1016/0162-3095\(83\)90027-4](https://doi.org/10.1016/0162-3095(83)90027-4)
- 戸田正直. (1992). 感情一人を動かしている適応プログラム. 東京大学出版会.
- Trivers, R. L. (1974). Parent-offspring conflict. *Integrative and Comparative Biology*, 14(1), 249–264. <https://doi.org/10.1093/icb/14.1.249>
- Trivers, R. L., & Campbell, B. (1972). Parental Investment and Sexual Selection. (B. Campbell, Ed.), *Sexual Selection and the Descent of Man*. Chicago, IL: Aldine.
- Trommsdorff, G., Friedlmeier, W., & Mayer, B. (2007). Sympathy, distress, and prosocial behavior of preschool children in four cultures. *International Journal of Behavioral Development*, 31(3), 284–293. <https://doi.org/10.1177/0165025407076441>
- Uskul, A. K., Hynie, M., & Lalonde, R. N. (2004). Interdependence as a Mediator between Culture and Interpersonal Closeness for Euro-Canadians and Turks. *Journal of Cross-Cultural Psychology*, 35(2), 174–191. <https://doi.org/10.1177/0022022103262243>
- Uskul, A. K., Kitayama, S., & Nisbett, R. E. (2008). Ecocultural basis of cognition: farmers and fishermen are more holistic than herders. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*, 105(25), 8552–6. <https://doi.org/10.1073/pnas.0803874105>
- van Valen, L. (1973). A new evolutionary law. *Evolutionary Theory*, 1(1), 1–30.
- Wedekind, C., & Penn, D. (2000). MHC genes, body odours, and odour preferences. *Nephrology Dialysis Transplantation*, 15(9), 1269–1271. <https://doi.org/10.1093/ndt/15.9.1269>
- Wheatley, J. R., Apicella, C. A., Burriss, R. P., Cárdenas, R. A., Bailey, D. H., Welling, L. L. M., & Puts, D. A. (2014). Women’s faces and voices are cues to reproductive potential in industrial and forager societies. *Evolution and Human Behavior*, 35(4), 264–271. <https://doi.org/10.1016/j.evolhumbehav.2014.02.006>
- Williams, A., O’Driscoll, K., & Moore, C. (2014). The influence of empathic concern on prosocial behavior in children. *Frontiers in Psychology*, 5(MAY), 1–8. <https://doi.org/10.3389/fpsyg.2014.00425>
- Wincenciak, J., Fincher, C. L., Fisher, C. I., Hahn, A. C., Jones, B. C., & DeBruine, L. M. (2015). Mate choice, mate preference, and biological markets: The relationship between partner choice and health preference is modulated by women’s own attractiveness. *Evolution and Human Behavior*, 36(4), 274–278. <https://doi.org/10.1016/j.evolhumbehav.2014.12.004>
- Wlodarski, R., Manning, J., & Dunbar, R. I. M. (2015). Stay or stray? Evidence for alternative mating strategy phenotypes in both men and women. *Biology Letters*, 11(2), 20140977. <https://doi.org/10.1098/rsbl.2014.0977>
- Wolfson, K., & Pearce, W. B. (1983). A cross-cultural comparison of the implications of self-

- disclosure on conversational logics. *Communication Quarterly*, 31(3), 249–256.
<https://doi.org/10.1080/01463378309369511>
- 山田昌弘. (2010). 「婚活」現象の社会学. 東洋経済新報社.
- 山田昌弘・白河桃子. (2009). 「婚活」時代. デイスクヴァー携書.
- Yamagishi, T. (1988a). Exit from the group as an individualistic solution to the free rider problem in the United States and Japan. *Journal of Experimental Social Psychology*, 24(6), 530–542.
[https://doi.org/10.1016/0022-1031\(88\)90051-0](https://doi.org/10.1016/0022-1031(88)90051-0)
- Yamagishi, T. (1988b). The Provision of a Sanctioning System in the United States and Japan. *Social Psychology Quarterly*, 51(3), 265–271. <https://doi.org/10.2307/2786924>
- 山岸俊男. (1990). 社会的ジレンマの主要な理論的アプローチ. 心理学評論, 32, 262–294.
- 山岸俊男. (1998). 信頼の構造—心の社会と進化ゲーム—. 東京大学出版会.
- Yamagishi, T. (2011). Trust. Springer Tokyo. <https://doi.org/10.1007/978-4-431-53936-0>
- Yamagishi, T., Hashimoto, H., & Schug, J. (2008). Preferences versus strategies as explanations for culture-specific behavior. *Psychological Science*, 19(6), 579–584.
<https://doi.org/10.1111/j.1467-9280.2008.02126.x>
- Yamagishi, T., Jin, N., & Miller, A. S. (1998). In-group Bias and Culture of Collectivism. *Asian Journal of Social Psychology*, 1(3), 315–328. <https://doi.org/10.1111/1467-839X.00020>
- Yamagishi, T., & Yamagishi, M. (1994). Trust and commitment in the United States and Japan. *Motivation and Emotion*, 18(2), 129–166. <https://doi.org/10.1007/BF02249397>
- Yamaguchi, M., Smith, A., & Ohtsubo, Y. (2015). Commitment signals in friendship and romantic relationships. *Evolution and Human Behavior*, 36(6), 467–474.
<https://doi.org/10.1016/j.evolhumbehav.2015.05.002>
- Yamamoto, M. E., Chellappa, S., Cacho, M. S. R. F., & Huntingford, F. a. (1999). Mate guarding in an Amazonian cichlid, *Pterophyllum scalare*. *Journal of Fish Biology*, 55(4), 888–891.
<https://doi.org/10.1111/j.1095-8649.1999.tb00727.x>
- 柳澤邦昭・西村太志・浦光博. (2010a). 円滑な他者との相互作用様相に特性自尊心が及ぼす影響—複数の個室環境において、繰り返しの説得納得ゲームを用いた検討—. シミュレーション &ゲーミング, 20(2), 37–45.
- 柳澤邦昭・西村太志・浦光博. (2010b). 低自尊心者は身近な人しか選べないのか—他者選択に特性自尊心及び相互作用の質が及ぼす影響—. 実験社会心理学研究, 50(1), 89–102.
- 八代尚宏. (1993). 結婚の経済学：結婚とは人生における最大の投資. 二見書房.
- Yela, C. (2000). Predictors of and factors related to loving and sexual satisfaction for men and women. *European Journal of Personality*, 50(1), 235–243.

- Yoo, J. J., Kim, D., & Moon, J. H. (2012). Exploring Cross-Cultural Differences in Self-Presentation and Self-Disclosure in Social Networking Sites: A Comparison of Korean and American SNS Users. *The Journal of Advertising and Promotion Research*, 1(2), 77–118.
<https://doi.org/http://dx.doi.org/10.14377/JAPR.2012.9.30.77>
- You, H. S., & Malley-Morrison, K. (2000). Young Adult Attachment Styles and Intimate Relationships with Close Friends: A Cross-Cultural Study of Koreans and Caucasian Americans. *Journal of Cross-Cultural Psychology*, 31(4), 528–534.
<https://doi.org/10.1177/0022022100031004006>
- Yuki, M., Sato, K., Takemura, K., & Oishi, S. (2013). Social ecology moderates the association between self-esteem and happiness. *Journal of Experimental Social Psychology*, 49(4), 741–746. <https://doi.org/10.1016/j.jesp.2013.02.006>
- Yuki, M., & Schug, J. (2012). Relational mobility: A socioecological approach to personal relationships. In & A. D. K. O. Gillath, G.E. Adams (Ed.), *Relationship science: Integrating evolutionary, neuroscience, and sociocultural approaches*. (pp. 137–151). Washington D.C.: American Psychological Association.
- Yuki, M., Schug, J., Horikawa, H., Takemura, K., Sato, K., Yokota, K., & Kamaya, K. (2007). Development of a scale to measure perceptions of relational mobility in society (CERSS Working Paper No. 75). *CERSS Working Paper*. Sapporo.
- Zahavi, A. (1975). Mate selection - a selection for a handicap. *Journal of Theoretical Biology*, 53, 205–214. [https://doi.org/10.1016/0022-5193\(75\)90111-3](https://doi.org/10.1016/0022-5193(75)90111-3)
- Zahavi, A. (1977). The cost of honesty. Further Remarks on the Handicap Principle. *Journal of Theoretical Biology*, 67(3), 603–605. [https://doi.org/10.1016/0022-5193\(77\)90061-3](https://doi.org/10.1016/0022-5193(77)90061-3)
- Zimet, G. D., Dahlem, N. W., Zimet, S. G., & Farley, G. K. (1988). The Multidimensional Scale of Perceived Social Support. *Journal of Personality Assessment*, 52(1), 30–41.
https://doi.org/10.1207/s15327752jpa5201_2

謝辞

まず最初に、修士課程から6年間に渡ってご指導をいただいた結城雅樹先生に、深い感謝を申し上げます。基礎さえも不十分な状態で修士課程に入学して以降、実験の実施から分析手法、文章の書き方に至るまで、一からご指導をいただきました。高度な議論についていけずゼミで発言できない時期も長く続きましたが、つど分かりやすく噛み砕いた説明をいただき、またどんなに瑣末な発言でも丁寧に拾い上げていただけたことで、最後には議論に多少の貢献ができるまでに至ったものと思います。研究内外を含めて脇の甘いところが多く、先生には多大なご迷惑をおかけしました。見捨てることなく最後までご指導いただき、感謝に堪えません。先生のサポートなしでは、博士課程に進学することも叶わなかったと思います。

また明治学院大学におられる鬼頭美江先生にも、心から感謝を申し上げます。鬼頭先生が北海道大学に来られた時期と入学時期が重なったのは、素晴らしい幸運でした。修士課程で研究テーマに悩んでいた際に、先生のプロジェクトに入れて頂いたことで対人関係に関心を持ち、こうして博士論文として執筆するに至りました。また鬼頭先生には、研究以外の日常的な部分に関しても様々なサポートをいただきました。心が弱く折れることも多い私が辞めることなく今に至ったのは、修士課程の間に鬼頭先生から多大なサポートを頂いたおかげです。

そして、行動システム科学講座の先生方にもお礼を申し上げます。特に瀧本先生には、着任直後の忙しい時からゼミにお邪魔させていただき、行動生態学に関する貴重なお話を伺っただけでなく、研究者の方をご紹介いただくなど、ゼミ生でないにもかかわらず、門外漢の私をゼミで受け入れてくださり、さらに研究に関してアドバイスをいただきました。この場を借りて感謝を申し上げます。

結城ゼミの先輩である佐藤さん、李さん、会津さん、同期だった小松さんをはじめ、院生や学部生の皆様にも、感謝を申し上げます。ゼミの垣根を超えた議論は非常に楽しく、また陰性という近い立場だからこそその奇譚ない意見は、非常に参考になりました。離れて見て改めて、みなさんと過ごした研究室の環境が素晴らしいものだったと気付かされました。

最後に、長いモラトリアムを寛大にサポートをしてくれる両親に心から感謝します。

2018年5月7日

山田順子

付録 (質問紙)

付録 1：研究 1-1. 質問紙 (日本語)	p.1
付録 2：研究 1-1. 質問紙 (英語)	p.27
付録 3：研究 1-2a. 質問紙 (日本語)	p.51
付録 4：研究 1-2a. 質問紙 (英語)	p.67
付録 5：研究 1-2b. 質問紙 (日本語)	p.83
付録 6：研究 1-2b. 質問紙 (英語)	p.97
付録 7：研究 2-1. 質問紙 (日本語)	p.110
付録 8：研究 2-1. 質問紙 (英語)	p.117
付録 9：研究 2-2. 質問紙 (日本語)	p.129
付録 10：研究 2-2. 質問紙 (英語)	p.145
付録 11：研究 3-1. 質問紙 (日本語)	p.159
付録 12：研究 3-1. 質問紙 (英語)	p.169
付録 13：研究 3-2. 質問紙 (日本語)	p.179
付録 14：研究 3-2. 質問紙 (英語)	p.193

付録 1：研究 1-1. 質問紙 (日本語)



日本語 ▼

Manitoba Consent

INFORMED CONSENT

Study Name: Interpersonal Perceptions and Behaviors in Close Relationships

Researchers: Dr. Marian Morry, Professor, mormy@cc.umanitoba.ca, Department of Psychology, P508 Duff Roblin, 204-474-7840
Dr. Mie Kito, JSPS Research Fellow, mkit@lynx.let.hokudai.ac.jp, Department of Behavioral Sciences, Hokkaido University, JAPAN

This consent form is only part of the process of informed consent. It should give you the basic idea of what the research is about and what your participation will involve. If you would like more detail about something mentioned here, or information not included here, you should feel free to ask before beginning the survey by contacting Dr. Morry at mormy@cc.umanitoba.ca. Please take the time to read this carefully and to understand any accompanying information.

This study involves completing scales about yourself and your close relationships. You will also be asked socio-demographic questions such as your age, gender, ethnicity, relationship status, place of birth, nationality, and the number of times you have moved.

Your responses to the questionnaire will be kept anonymous. Your name will not be associated with the data file. Only Dr. Morry, Dr. Kito, and their research assistants will have access to this data. Anonymous data such as responses on the questionnaire will be kept indefinitely on password-protected computers which only Dr. Morry, Dr. Kito, and their research assistants will have access to. It will take approximately 50 minutes to complete this survey, and you will receive 2 experimental credits toward your research participation requirement. Participation in this study is voluntary, and you can refuse to answer any question or withdraw your consent at any time without penalty or loss of your experimental credit. At the end of the session today, you will be provided with feedback about our specific hypotheses. In addition, if you provide your email address below, you will be emailed the results of the study in around May 2014. The findings of this study will be presented at international psychology conferences and will be published in a psychology journal.

Your consent on this form indicates that you have understood to your satisfaction the information regarding participation in the research project and agree to participate as a subject. In no way does this

waive your legal rights nor release the researchers, sponsors, or involved institutions from their legal and professional responsibilities. You are free to withdraw from the study at any time by closing your browser, and/or refrain from answering any questions you prefer to omit, without prejudice or consequence.

The University of Manitoba Research Ethics Board(s) and a representative(s) of the University of Manitoba Research Quality Management / Assurance office may also require access to your research records for safety and quality assurance purposes.

This research has been approved by the Psychology/Sociology Research Ethics Board at the University of Manitoba. If you have any concerns or complaints about this project you may contact any of the above-named persons or the Human Ethics Coordinator (HEC) at 204-474-7122. For your records and reference, you are strongly encouraged to print it off before you move onto the next page.

If you would like to **receive the results of this study**, please include your email address here:

I have read the above information and hereby (click on the appropriate box below):

- ☐ PROVIDE my consent (access questionnaire)
☐ DO NOT PROVIDE my consent (exit program)

Instructions

この度は調査にご協力いただきありがとうございます。

この調査は、皆さんの対人行動と感情について調べるものです。

皆さんの回答は、匿名の情報としてコンピューターで統計的に処理され、研究目的以外で使用されることはありません。正直な考えをお答え下さい。

以下の注意をよく読み、回答を始めてください。

－回答上の注意－

- ・ 回答には、正しい答えや誤った答えはありませんので、あまり深く考えずに頭に浮かんだものをお答えください。
- ・ 同じような質問が繰り返されていると感じるかもしれませんが、どの質問も必要かつ重要で、真剣にお答えください。全ての質問にできるだけ順番通りに答え、一度答えた質問をあど直さないでください。
- ・ ブラウザの戻るボタンは押さないでください。ブラウザの戻るボタンを押すと、回答が正しく保存されま

せん。また、キーボードの「Backspace」キーも、入力したテキストを修正する時以外は押さないでください。エラーが発生することがあります。

受付でお渡しした7桁のID番号を入力してください。

※半角数字で入力してください。

Rmob_romantic

あなたの周囲にいる人々の異性関係(恋人や恋愛対象の異性など)についてお尋ねします。次のそれぞれの文が、それらの人々に全体としてどれくらい当てはまるかを、想像してお答えください。

	まったく 当てはま らない 1	当てはま らない 2	あまり 当てはま らない 3	少し 当てはま る 4	当てはま る 5	非常に 当てはま る 6
彼ら(あなたの周囲にいる人々)には、異性と新しく知り合いになる機会がたくさんある。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らは、見知らぬ異性とはすぐに打ち解けない。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らは、ふだんどんな異性と付き合うかを、自分の好みで選ぶことができる。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らには、新しい恋人を見つける機会がありません。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
もし現在の恋愛関係に満足していなければ、彼らは他の異性との新しい恋愛関係に移り換えることができる。	まったく 当てはま らない 1	当てはま らない 2	あまり 当てはま らない 3	少し 当てはま る 4	当てはま る 5	非常に 当てはま る 6
彼らには、付き合う異性を自由に選べないことがある。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
見知らぬ異性から話しかけられたとき、彼らは快く会話をする。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
たとえ現在の恋愛関係に満足していなくても、彼らはそこに留まり続けるしかないのである。	☐	☐	☐	☐	☐	☐

過去 **1週間**で、あなたが新しく知り合った異性は何人いますか？ おおよその人数をお答えください。

persons

過去 **1ヶ月**で、あなたが新しく知り合った異性は何人いますか？ おおよその人数をお答えください。

persons

過去 **3ヶ月**で、あなたが新しく知り合った異性は何人いますか？ おおよその人数をお答えください。

persons

Rmob_friendship

あなたの周囲にいる人々の友人関係についてお尋ねします。次のそれぞれの文が、それらの人々に全体としてどれくらい当てはまるかを、想像してお答え下さい。

	まったく 当てはま らない 1	当てはま らない 2	あまり 当てはま らない 3	少し 当てはま る 4	当てはま る 5	非常に 当てはま る 6
彼ら(あなたの周囲にいる人々)には、人々と新しく友人になる機会がたくさんある。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らは、見知らぬ人とはすぐに打ち解けない。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らは、ふだんどんな友人と付き合うかを、自分の好みで選ぶことができる。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らには、新しい友人を見つける機会がありません。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
もし現在の友人関係に満足していなければ、彼らは別の新しい友人関係に移り換えることができる。	まったく 当てはま らない 1	当てはま らない 2	あまり 当てはま らない 3	少し 当てはま る 4	当てはま る 5	非常に 当てはま る 6
彼らにとって、付き合う友人を自由に選べないことはよくある。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
見知らぬ人から話しかけられたとき、彼らは快く会話をする。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
たとえ現在の友人関係に満足していなくても、彼らはそこに留まり続けるしかないのである。	☐	☐	☐	☐	☐	☐

過去**1週間**で、あなたが新しく知り合いや友人になった人は何人いますか？おおよその人数をお答えください。

persons

過去**1ヶ月間**で、あなたが新しく知り合いや友人になった人は何人いますか？おおよその人数をお答えください。

persons

過去**3ヶ月間**で、あなたが新しく知り合いや友人になった人は何人いますか？おおよその人数をお答えください。

persons

以上でこのセクションは終了です。
次のページからは新しいセクションが始まります。

Demographic 1

このセクションでは、あなたの恋愛関係についてお尋ねします。

このセクションには、あなたの恋愛関係についての質問が含まれます。あなたの回答内容は統計的に処理され、また個人が特定されることはありません。どうぞ安心してお答え下さい。

あなたが好きになったり、性的魅力を感じる相手を次の選択肢から選んでください。

☐

異性の人

- ☐

同性の人
- ☐

その時々で、性別は関係ない

あなたには現在、交際している異性はいますか？

- ☐

誰とも交際していない
- ☐

特定の異性(1人)と二人きりで出かけたり食事に行ったりしている
- ☐

複数の異性と、それぞれ二人きりで出かけたり食事に行ったりしている
- ☐

特定の異性(1人)と交際している
- ☐

婚約している
- ☐

結婚している

あなたは、これまでに何人の異性と付き合った(告白などを通して恋人関係になった)ことがありますか？現在恋人がいる方は、**現在の恋人を含めた人数**を半角数字で入力してください。

partners

現在の恋愛関係

あなたの現在の恋愛関係についてお尋ねします。
既婚の方は、夫婦関係についてお答えください。

あなたが現在交際している恋人のイニシャルを記入してください。

例：北大 太郎 ⇒ HT(姓・名の順で)

その恋人とは、いつ付き合い始めましたか？
婚約・結婚している方は、婚約・結婚した年月ではなく、**恋人として付き合い始めた年月**を半角数字で入力してください。はっきりと覚えていない場合は、おおよそで記入してください。

年(西暦)

を個人的に非常に魅力的だと思う。

私は
「\${q:QID197/ChoiceTextEntryValue}」
を本当に信頼できると感じている。

「\${q:QID197/ChoiceTextEntryValue}」
と私の関係は情熱的である。

私は自分の人生において
「\${QID197ChoiceTextEntryValue}」
をととても大切にしている。

私は他の誰よりも
「\${QID197ChoiceTextEntryValue}」
と一緒にいたい。

私にとって
「\${QID:197:ChoiceTextEntryValue}」
との関係よりも大切なものなど他にない。

「\${q://QID197/ChoiceTextEntryValue}」
は私のことを本当に理解してくれていると
思う。

全く	あまり	少し	非常に
当てはまら ない	当てはま らない	当てはま る	当てはま る
1	3	5	7

「\${q}://QID197/ChoiceTextEntryValue}」
と一緒にいるとても幸せである。

「\${q}://QID197/ChoiceTextEntryValue}」
は私の理想的な人である。

「\${q:QID197/ChoiceTextEntryValue}」
を見るだけでドキドキしてしまう。

私は「\${q::QID197/ChoiceTextEntryValue}」に、心理的にかなり助けられている。

私は
「\${q://QID197/ChoiceTextEntryValue}」
に対して、自分自身に関する非常に個人
的な情報を包み隠さず伝えている。

「\${q://QID 197/ChoiceTextEntryValue}」
なしの生活など考えられない。

Social support for Romantic partner

あなたは、現在の恋人(\$q://QID197/ChoiceTextEntryValueさん)に対して、以下の行動をどの程度とっていますか。最も当てはまる選択肢を選んでください。

※既婚の方は、配偶者の方に対する行動についてお答えください。

あなたは...

	全く とっていない 1	少とっている 2	ある程度 とっている 3	けっこう とっている 4	非常によく とっている 5
恋人を助ます	☐	☐	☐	☐	☐
役に立つ情報を教えてあげる	☐	☐	☐	☐	☐
恋人の自信が高まるようなことを言う	☐	☐	☐	☐	☐

恋人が話したがついている時に、話を聞いてあげる
恋人を一人の人間として気にかけていることを示す

恋人が何を考え、どのように感じるかを理解するよう努める

恋人が困っている時に、考えをまとめるを手伝う

恋人を直接的に助ける（何かをしてあげたり、必要としている物を与

自分には恋人が必要としているとき
えるなど)

に頼れる存在であると感じさせてあげる

積極的な関係形成動機(恋人)

次のそれぞれの項目は、\$(q:QID197ChoiceTextEntryValue)\$さんと付き合い始める前のあなたの行動や考えにどの程度当てはまりますか？最も当てはまる選択肢を選んでください。

※既婚の方は、配偶者の方と付き合い始める前の行動や考えについてお答え下さい。

	全く 当てはまらない	1	2	3	4	5	6	7
恋人を積極的に探していた	○							
恋人を作りたいと思っていた								
誰かに魅力を感じたとき、その人と恋人になりたいと思った	○							
恋人はいなくてもいいと思う	○							

過去の自己開示量(恋人)

あなたはこれまで、以下のそれぞれの事柄をどのくらい\$ {q}/{QID 197/Choice TextEntryValue}さんに打ち明けてきましたか。最も当てはまる選択肢を選んでください。

※既婚の方は、夫婦関係についてお答えください。

	全く 打ち明けて こなかった	1	2	3	4	5
最も深刻な 内容でも 打ち明けてきた						
深刻な内容を 打ち明けてきた						
少し深刻な 内容を 打ち明けてきた						
軽微な 内容に照って 打ち明けてきた						
ほとんど 打ち明けて こなかった						

あなたが心配していること

☐

あなたがひどい目に遭った経験

☐

☐

☐

☐

☐

Perceived similarity_romantic

あなたと\$[q:/QID197/ChoiceTextEntryValue]さんは、以下のそれぞれの面において、お互いほどの程度似ていますか。最も当てはまる選択肢を選んでください。

	全く 似ていない 1	全く 似ていない 2	あまり 似ていない 3	どちらとも えない 4	少し 似ている 5	似ている 6	非常に 似ている 7
性格	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
趣味	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
価値観	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
行動	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
生活スタイル	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

関係強化・維持動機（恋愛）

以下のそれぞれの文章は、あなたの考えにどの程度当てはまりますか。最も当てはまる選択肢を選んでください。

誰かと恋愛関係にある時...

	全く 当てはまら ない 1	全く 当てはまら ない 2	あまり 当てはまら ない 3	どちらとも えない 4	少し 当て はまる 5	当て はまる 6	非常に 当て はまる 7
私はその人との関係を一層深めるために、できるだけの努力を怠らなくなる	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私はその人との関係に問題が発生しないように注意深くしている	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私はその人との関係にはあまり時間や努力をつぎ込みたくない	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
その関係をより一層深められるように、できるだけの努力をすると、結局は自分のためになる	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
その関係に問題が発生しないように注意深くしていると、結局は自分のためになる	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
その関係にあまり時間や努力をつぎ込んで、自分の得にはならない	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Closest Friend

以上でこのセクションは終了です。
次のページからは新しいセクションが始まります。

このセクションでは、あなたの最も親しい友人についてお尋ねします。

最も親しい友人を思い浮かべて下さい。

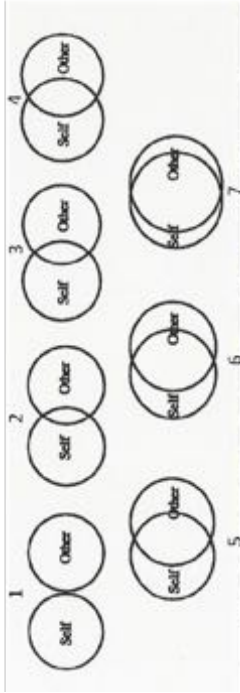
次のページからの「最も親しい友人」に関する質問では、その友人について回答して下さい。

最も親しい友人と初めて知り合ってから何年目になりましたか？年数でお答え下さい。（半角数字）

years

IOS_friend

下の7つの図にある「相手」は、あなたの最も親しい友人を表しています。あなたとその友人との関係を最も適切に表していると思われる図を1つだけ選んでください。



当てはまる数字を選んでください。

1	2	3	4	5	6	7
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Social support for friend

あなたは、最も親しい友人に対して、以下の行動をどの程度とっていますか。最も当てはまる選択肢を選んでください。

あなたは、...	全く とっていない 1	少し とっている 2	ある程度 とっている 3	けっこう とっている 4	非常によく とっている 5
友人を励ます	☐	☐	☐	☐	☐
役に立つ情報を教えてあげる	☐	☐	☐	☐	☐
友人の自信が高まるようなことを 言う	☐	☐	☐	☐	☐
友人が居たがったっている時に、話を 聞いてあげる	☐	☐	☐	☐	☐
友人を一人の人間として気にかけて いることを示す	☐	☐	☐	☐	☐
友人が何を考え、どのように感じ るかを理解しよう努める	全く とっていない 1	少し とっている 2	ある程度 とっている 3	けっこう とっている 4	非常によく とっている 5
友人が困っている時に、考えをま どめるのを手伝う	☐	☐	☐	☐	☐
友人を直接的に助ける(何かをし てあげたり、必要としている物を与 えるなど)	☐	☐	☐	☐	☐
自分は友人が必要としている時に 頼れる存在であると感じさせてあ げる	☐	☐	☐	☐	☐

積極的な関係形成動機(友人)

次のそれぞれの項目は、**あなたと最も親しい友人との関係が始まる前の**あなたの行動や考えにどの程度当てはまると思いますか？最も当てはまる選択肢を選んでください。

友人を積極的に探していた	全く 当てはまらない 1	当てはまらな い 2	当てはまらな い 3	どちらともい えない 4	少し 当てはまる 5	非常に 当てはまる 7
友人を作りたいと思っていた	☐	☐	☐	☐	☐	☐
誰かに好感を抱いたとき、その人 と友人になりたいと思っていた	☐	☐	☐	☐	☐	☐

友人ははやくともいいと思ってい
た

☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

過去の自己開示量(友人)

あなたはこれまで、以下のそれぞれの事柄を**最も親しい友人**にどのくらい打ち明けてきましたか。最も当てはまる選択肢を選んでください。

	全く 打ち明けてこなか った 1	軽微な 内容に限って 打ち明けてきた 2	少し深刻な 内容を 打ち明けてきた 3	深刻な内容を 打ち明けてきた 4	最も深刻な 内容でも 打ち明けてきた 5
あなたが秘密にしていること	☐	☐	☐	☐	☐
あなたが恥ずかしい経験	☐	☐	☐	☐	☐
あなたが失敗した経験	☐	☐	☐	☐	☐
あなたが心配していること	☐	☐	☐	☐	☐
あなたがひどい目に遭った経験	☐	☐	☐	☐	☐

Perceived similarity_friendship

あなたとあなたの最も親しい友人は、以下のそれぞれの面において、お互いにどの程度似ていますか。最も当てはまる選択肢を選んでください。

	全く 似ていない 1	似ていない 2	あまり 似ていない 3	どちらともい えない 4	少し 似ている 5	非常に 似ている 7
性格	☐	☐	☐	☐	☐	☐
趣味	☐	☐	☐	☐	☐	☐
価値観	☐	☐	☐	☐	☐	☐
行動	☐	☐	☐	☐	☐	☐
生活スタイル	☐	☐	☐	☐	☐	☐

関係強化・維持動機(友人)

以下のそれぞれの文章は、あなたの考えにどの程度当てはまりますか。最も当てはまる選択肢を選んでください。

誰かと友人関係にある時...

	全く 当てはまらな い 1	当てはまらな い 2	あまり 当てはまらな い 3	どちらともい えない 4	少し 当てはまる 5	非常に 当てはまる 7
	☐	☐	☐	☐	☐	☐

私はその人との関係を一層深めるために、できるだけの努力をたく

私はその人との関係に問題が発生しないように注意深している

私はその人との関係にはあまり時間や努力をつぎ込みたくない

その関係をより一層深められるように、できるだけの努力をすると、結局は自分のためになる

その関係に問題が発生しないように注意深くしていると、結局は自分のためになる

その関係にあまり時間や努力をつぎ込んでも、自分の得にはならない

☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
全く当てはまらない 1	当てはまらない 2	あまりいい 3	どちらともいえない 4	少し当てはまる 5	当てはまる 6	非常に当てはまる 7	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

以上でこのセクションは終了です。
次のページからは新しいセクションが始まります。

孤独感回避傾向

以下のそれぞれの文章は、あなたの考えにどの程度当てはまりますか。最も当てはまる選択肢を選んでください。

☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
ひとりぼっちになってしまうことが不安だ	一人でいるより、誰かという方が好きだ	大勢の人と盛り上がるより、一人で過ごしたい	できることなら、一人で行動することは避けたい				

帰結（友人）

以下の場面を想像してください。

あなたとあなたの最も親しい友人は、最近、互いに心の距離を感じており、あまり親しみを感なくなっています。

このような状況に置かれたとき、以下の出来事が起こる可能性はどのくらいだと思いますか。あなたの考えに最も当てはまる選択肢を選んでください。

	絶対に起きない 1	起きない 2	あまり起きない 3	どちらともいえない 4	やや起きる 5	起きる 6	絶対に起きる 7
あなたの方から、友人との関係を解消する	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
友人の方から、あなたとの関係を解消する	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
お互いが心の距離を感じたまま関係が続いていく	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
お互いに、心の距離を縮めようと努力する	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

帰結（恋人）

以下の場面を想像してください。

しかし最近、二人は互いに心の距離を感じており、あまり親しみを感なくなっています。

このような状況に置かれたとき、以下の出来事が起こる可能性はどのくらいだと思いますか。あなたの考えに最も当てはまる選択肢を選んでください。

	絶対に起きない 1	起きない 2	あまり起きない 3	どちらともいえない 4	やや起きる 5	起きる 6	絶対に起きる 7
あなたの方から、恋人との関係を解消する	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
恋人の方から、あなたとの関係を解消する	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
お互いが心の距離を感じたまま関係が続いていく	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
お互いに、心の距離を縮めようと努力する	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

以上でこのセクションは終了です。
次のページからは新しいセクションが始まります。

自己開示

このセクションでは、あなたの行動や信念についてお尋ねします。
以下に続く質問に回答してください。

普段のあなたが**自身**について質問します。

あなたは、「既に交友関係のある友人(友人)」と「これから仲良くなる可能性のある人(知り合い)」に対して、以下のそれぞれの事柄を**どのくらい打ち明けてきた**でしょうか。最も当てはまる選択肢を選んでください。

1. あなたが秘密にしていること

	全く 打ち明けて こなかった	軽微な 内容に限って 打ち明けてきた	少し深刻な 内容を 打ち明けてきた	深刻な内容を 打ち明けてきた	最も深刻な 内容でも 打ち明けてきた
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

2. あなた自身の恥ずかしい経験

	全く 打ち明けて こなかった	軽微な 内容に限って 打ち明けてきた	少し深刻な 内容を 打ち明けてきた	深刻な内容を 打ち明けてきた	最も深刻な 内容でも 打ち明けてきた
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

3. あなたが失敗した経験

	全く 打ち明けて こなかった	軽微な 内容に限って 打ち明けてきた	少し深刻な 内容を 打ち明けてきた	深刻な内容を 打ち明けてきた	最も深刻な 内容でも 打ち明けてきた
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

4. あなたが心配していること

	全く 打ち明けて こなかった	軽微な 内容に限って 打ち明けてきた	少し深刻な 内容を 打ち明けてきた	深刻な内容を 打ち明けてきた	最も深刻な 内容でも 打ち明けてきた
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

5. あなたがひどい目に遭った経験

	全く 打ち明けて こなかった	軽微な 内容に限って 打ち明けてきた	少し深刻な 内容を 打ち明けてきた	深刻な内容を 打ち明けてきた	最も深刻な 内容でも 打ち明けてきた
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

あなたが**理想**として**いる自分自身の姿**について質問します。

「既に交友関係のある友人(友人)」と「これから仲良くなる可能性のある人(知り合い)」に対して、以下のそれぞれの事柄を**どれだけ打ち明けるのがあなたの理想**ですか。最も当てはまる選択肢を選んでください。

1. あなたが秘密にしていること

	全く打ち明けない	軽微な内容に限って 打ち明ける	少し深刻な内容でも 打ち明ける	深刻な内容でも 打ち明ける	最も深刻な内容でも 打ち明ける
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

2. あなた自身の恥ずかしい経験

	全く打ち明けない	軽微な内容に限って 打ち明ける	少し深刻な内容でも 打ち明ける	深刻な内容でも 打ち明ける	最も深刻な内容でも 打ち明ける
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

3. あなたが失敗した経験

	全く打ち明けない	軽微な内容に限って打ち明ける	少し深刻な内容でも打ち明ける	深刻な内容でも打ち明ける	最も深刻な内容でも打ち明ける
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

4. あなたが心配していること

	全く打ち明けない	軽微な内容に限って打ち明ける	少し深刻な内容でも打ち明ける	深刻な内容でも打ち明ける	最も深刻な内容でも打ち明ける
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

5. あなたがひどい目に遭った経験

	全く打ち明けない	軽微な内容に限って打ち明ける	少し深刻な内容でも打ち明ける	深刻な内容でも打ち明ける	最も深刻な内容でも打ち明ける
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

「既に交友関係のある友人(友人)」また「これから仲良くなる可能性のある人(知り合い)」から**心配事や悩み事についての相談を打ち明けた**場合、あなたはどのよう
に感じたり、思ったりしますか。

最も当てはまる選択肢を選んでください。

あなたは...

相手を好ましく思う。

	全くそう 思わない	あまりそう 思わない	少しそう 思う	そう思う	とてもそう 思う
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

単純に嬉しい。

	全くそう 感じない	あまりそう 感じない	少しそう 感じる	そう 感じる	とてもそう 感じる
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

面倒に感じる。

	全くそう 感じない	あまりそう 感じない	少しそう 感じる	そう 感じる	とてもそう 感じる
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

困ってしまう。

	全くそう 感じない	あまりそう 感じない	少しそう 感じる	そう 感じる	とてもそう 感じる
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

その人に対して、自分で問題解決ができない能力が低い人だと思ってしまう。

	全くそう 感わない	あまりそう 思わない	少しそう 思う	そう思う	とてもそう 思う
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

その人ともっと深い付き合いをいたくなる。

	全くそう 思わない	あまりそう 思わない	少しそう 思う	そう思う	とてもそう 思う
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

その人より付き合いやすいようになる。

	思わない	思わない	思う	そう思う	思う
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

その人より付き合いやすいくなる。

	全くそう 思わない	あまりそう 思わない	少しそう 思う	そう思う	とてもそう 思う
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

その人が悩んでいることに関して積極的に助けようと思う。

	全くそう 思わない	あまりそう 思わない	少しそう 思う	そう思う	とてもそう 思う
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

その人となるべく付き合いたくないと思う。

	全くそう 思わない	あまりそう 思わない	少しそう 思う	そう思う	とてもそう 思う
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

もうその話には触れたくないと思う。

	全くそう 思わない	あまりそう 思わない	少しそう 思う	そう思う	とてもそう 思う
友人	☐	☐	☐	☐	☐
知り合い	☐	☐	☐	☐	☐

次の1から10までのことばが**あなた自身にどれくらい当てはまるか**について、以下の選択肢のうちもっとも適切なものを選択してください。文章全体を総合的に見て、自分にどれだけ当てはまるかを評価してください。

	全く 違うと思う	おおよそ違 うと思う	少し 違うと思う	どちら でもない	少し そう思う	まあまあそ う思う	強く そう思う

	全く 違うと思う	おおよそ 違うと思う	少し 違うと思う	どちら でもない	少し そう思う	まあまあ そう思う	強く そう思う
1. 活発で、外向的だと思う	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. 他人に不満をもち、もめごとを起こしやすいと思う	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3. しっかきして、自分に厳しいと思う	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4. 心配性で、うろたえやすいと思う	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5. 新しい事が好きで、変わった考えをもつと思う	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6. ひかえめで、おとなしいと思う	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
7. 人に気をつかう、やさしい人間だと思う	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
8. だらしく、うっかりしていると思う	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
9. 冷静で、気分が安定していると思う	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
10. 発想力に欠けた、平凡な人間だと思う	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

以上でこのセクションは終了です。

次のページからは新しいセクションが始まります。

Strategy free

このセクションでは、あなたが、付き合いたいと思っている異性に対して、どのような行動をとるのかをお尋ねします。

それぞれの状況に置かれたとき、あなたならどう行動するでしょうか。想像してお答えください。

あなたには、最近一緒に出かけたリ、遊びに出かけたリする、Xさんという異性がいます。Xさんはあなたと同じ大学の学生で、あなたはXさんと付き合いたいと思っています。

このような状況に置かれたとしたら、あなたには、Xさんに告白するまでの間に、どのような行動をとると思いますか、あなた自身の過去の行動などを参考にしながら、あなたが実際どのような行動を取りそうであるかを、できるだけ詳しく下の空欄に書いてください。

Strategy_items

あなたには、最近一緒に出かけたたり、遊びに出かけたりする、Xさんという異性がいます。
Xさんはあなたと同じ大学の学生で、あなたはXさんと付き合いたいと思っています。

このような状況に置かれたとしたら、あなたはXさんに告白するまでの間に、どのような行動をとると思いますか。以下のそれぞれの行動を、あなたがどのくらい取りそうであるかを答えて下さい。あなたが理想的だ
と思う行動ではなく、あくまでも実際に取りそうな行動を答えてください。

Xさんに対して私は...

	絶対に 取らない 1	取らない 2	あまり 取らない 3	どちらとも いえない 4	どちらかと いえる 5	取る 6	必ず取る 7
能力や特技など自分の長所をアピールする	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
自分の運動能力が高いことをアピールする	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
自分が裕福であることをアピールする	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
自分が経済的に安定していることをアピールする	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
自分の身体的魅力アピールする	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
自分の性格の良さ(親切さ、誠実さ、など)をアピールする	絶対に 取らない 1	取らない 2	あまり 取らない 3	どちらとも いえない 4	どちらかと いえる 5	取る 6	必ず取る 7
ユーモアのセンスがあることをアピールする	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
自分とXさんの共通点をアピールする	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
自分とXさんの価値観が似ていることをアピールする	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Xさんに自分の秘密を打ち明ける	絶対に 取らない 1	取らない 2	あまり 取らない 3	どちらとも いえない 4	どちらかと いえる 5	取る 6	必ず取る 7

- Xさんに自分がこれまでにした最大の失敗を打ち明ける
- 他の異性には贈り物をせず、Xさんにだけ贈り物をする
- 他の人が困っているても、Xさんを優先的に援助する
- Xさんと出かけるために、他の人との先約を断る
- Xさんを含む何人かの知人が集まっている時、Xさんだけに話しかける

PLS (Hatfield & Sprecher, 1986)

ここでは、あなたが先ほど恋人としてあげた「\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)」さんとの異性関係について再びお尋ねします。

以下のそれぞれの文章があなたの恋愛関係にどの程度当てはまるか回答してください。

※既婚の方は、夫婦関係についてお答えください。

	全く当ては まらない 1	当てはま らない 2	あまり 当てはま らない 3	どちらとも いえない 4	すこし当て はまる 5	当て はまる 6	非常に当て はまる 7
もし「\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)」が私のもとから去ったら、深く落ち込むだろう。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
時々私は「\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)」について妄想してしまい、自分の考えをコメントールでできなくなる。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
「\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)」を驚ばせることに幸せを感じる。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
他の誰よりも「\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)」と一緒にいたい。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
「\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)」が他の誰かと恋に落ちたらと思うと、嫉妬を覚えるだろう。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は「\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)」の全てを知りたいが仕方がない。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私はいつでも「\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)」からの愛情が欲しくて仕方がない。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
「\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)」は私にとっての理想の恋人だ。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
「\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)」に接られると身体が反応してしまう。	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
「\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)」	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

はいつでも私の心の中にあるようだ。

☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
全く当てはまらない	当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらともいえない	すこし当てはまる	当てはまる	非常に当てはまる
1	2	3	4	5	6	7
私は 「\$({q//QID197ChoiceTextEntryValue})」 に、私のこと(私の考え、不安、希望など) を知ってほしい。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は 「\$({q//QID197ChoiceTextEntryValue})」 から私への欲望のサインを熱心に探して いる。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は 「\$({q//QID197ChoiceTextEntryValue})」 に強く惹かれている。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
「\$({q//QID197ChoiceTextEntryValue})」 との関係がうまくいかないときは、とても 落ち込む。	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Mate Value Inventory (Krisner et al., 2003)

以下のそれぞれの文章は、あなた自身にどの程度当てはまりますか。

意欲的である	☐	☐	☐	☐	☐	☐
魅力的な顔立ちを持つ	☐	☐	☐	☐	☐	☐
魅力的な体型を持つ	☐	☐	☐	☐	☐	☐
子どもを持ちたい	☐	☐	☐	☐	☐	☐
セックスに熱心である	☐	☐	☐	☐	☐	☐
恋人(配偶者)以外との浮気はし ない	☐	☐	☐	☐	☐	☐
経済的に安定している	☐	☐	☐	☐	☐	☐
気前がいい	☐	☐	☐	☐	☐	☐
ユーモアのセンスがある	☐	☐	☐	☐	☐	☐
健康的である	☐	☐	☐	☐	☐	☐
自立している	☐	☐	☐	☐	☐	☐
知的である	☐	☐	☐	☐	☐	☐
親切で思いやりがある	☐	☐	☐	☐	☐	☐
開明である	☐	☐	☐	☐	☐	☐
責任感がある	☐	☐	☐	☐	☐	☐
社交的である	☐	☐	☐	☐	☐	☐
情緒が安定している	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Mate Value (Brase & Guy, 2003)

恋人を選ぶときに、多くの人は、相手が様々な望ましい特徴を持っているかどうかを知りたいがります。
特に注目が集まりやすい特徴には、社交的で面白い人か、年齢、身体的な魅力、ユーモアのセンス、経済
力、職業的地位の高さ、健康、また子供好きか、などがあります。

ではこうした様々な特徴について考えたとき、あなた自身は、異性のの人たちにとって魅力的な恋愛対象だと
思いますか？

非常に魅力的 でない	魅力的でない	どちらかといえば魅 力的でない	どちらともいえない	どちらかといえば魅 力的である	非常に魅力的 である
1	2	3	4	5	6
☐	☐	☐	☐	☐	☐

自分自身が恋愛対象としてのどのくらい魅力的かを考えたとき、あなたがその魅力度を高めるためには、
どの程度努力しなければならぬと思いますか？

ほんの少し	2	3	4	5	6	非常にたくさん
1	☐	☐	☐	☐	☐	☐

以上で4つ目の実験は終了です。

壁のボタンを押して、実験者と呼んでください。
実験者が来るまで、PCやキーボードに触らないでください。

このページのタイマーは、回答者には表示されません。
First Click: 0 seconds.
Last Click: 0 seconds.
Page Submit: 0 seconds.
Click Count: 0 clicks.

セクションつなぎ (DeScioliへ)

このセクションでは、あなたの友人関係についてお尋ねします。
あなたと普段付き合っている友人や、あなた自身についてお答えください。

以下の質問に回答してください。

あなたが現在最も親しいと考える友人を10人思い浮かべてください。
その際、現在交際している恋人や、性的関係のある相手、また家族などは含めないでください。

それではまず、これから10人のインシヤルを、親しい順に、以下の枠に記入してください。1番親しい友人は1番目の枠に、次に親しい友人は2番目に、というように、親しい順に挙げてください。

例：北大 太郎 ⇒ HT (姓・名の順で)

1 (最も親しい友人)

2

3

4

5

6

7

8

9

10 (10番目に親しい友人)

Pt Allocation, Benefits, & Similarity

あなたは今、100ポイントを持っています。
このポイントは、先ほどあなたが挙げた10人の友人に配ることができます。
ポイントは、それぞれの友人とあなたの関係の親しさを示すものです。例えば、もしあなたがAさんに対してBさんよりも2倍多くポイントを配ったとしたら、あなたとAさんの親しさは、Bさんとの親しさよりも2倍強いことを意味します。

10人分のポイントの合計が100になるように、以下の右側の枠に入力してください。
※半角数字で入力してください。

1. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/1) さん

0

2. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/2) さん

0

3. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/3) さん

0

4. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/4) さん

0

5. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/5) さん

0

6. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/6) さん

0

7. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/7) さん

0

8. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/8) さん

0

9. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/9) さん

0

10. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/10) さん

0

合計

0

先ほどあなたが挙げた10名の友人との関係から、あなたはどのくらい大きな利益を受け取っているでしょうか。

ちなみに、ここでいう「利益」とは、贈り物やプレゼントのような物質的な利益や、その人が持つ別の対人関係から得られる利益といった、あなたとその人との関係から得られる直接的な利益を指します(心理的な利益や、情緒的な利益は含まれません)。それぞれの友人との関係から全体としてどのくらいの利益を受け取っているかを答えてください。

	少し 受け取って いる 1	2	3	中程度 受け取って いる 4	5	6	とても 受け取って いる 7
1. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/1) さん	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/2) さん	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/3) さん	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/4) さん	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/5) さん	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/6) さん	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
7.							

さん

7.

8.

9.

10.

あなたが挙げた10人の友人に対して、あなたはどのくらい自分の個人的な秘密を打ち明けていますか。最も当てはまる数字を選んでください。

	少し 打ち明けて いる 1	2	3	4	5	6	7
1. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/1}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/2}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/3}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/4}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/5}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/6}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
7. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/7}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
8. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/8}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
9. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/9}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
10. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/10}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Character traits

以下のそれぞれの性格や特徴は、あなたが挙げた10人の友人、およびあなた自身について、どの程度当てはまりますか。もっとも当てはまる数字を選んでください。

優しい

	あまり 当てはまら ない 1	2	3	4	5	6	7
1. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/1}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/2}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/3}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/4}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/5}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/6}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
7. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/7}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
8. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/8}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
9. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/9}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
10. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/10}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
あなた自身	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

知的

	あまり 当てはまら ない 1	2	3	4	5	6	7
1. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/1}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. \$ {q://QID21/ChoiceTextEntryValue/2}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

1.

times per week

さん

2.

times per week

さん

3.

times per week

さん

4.

times per week

さん

5.

times per week

さん

6.

times per week

さん

7.

times per week

さん

8.

times per week

さん

9.

times per week

さん

10.

times per week

さん

PtAllocation_public

このセクションでは、この実験におけるあなたの回答内容が、あなたの友人達から見られてしまう、という場
面を想像してお答えください。

例えば、**あなたの回答が、インターネットのような公の場で公開されるとします**。このような状況で、先
ほど頂いたのと全く同様に、100ポイントを10人の友人に配ってください。

ポイントの合計が100になるように入力してください。

※半角数字で入力してください。

1.

さん

2.

さん

3.

さん

4.

さん

5.

さん

6.

さん

7.

さん

8.

さん

9.

さん

10.

さん

合計

0

0

0

差別喜び度

ここでは、先ほどとは別の場面を想像してください。

あなたが最も親しい友人だと考えているAさんが、先ほどあなたにしていたのと同じく、友人を10
名挙げる課題に回答したとします。

そのときAさんは、1番目に親しい友人としてあなたの名前を挙げました。さらにAさんは、回答がインタ
ーネットなどで公開され、多くの人から閲覧可能となる課題において、2位以下の順位を付けた他の9人
の友人たちに比べ、あなたに対して圧倒的に多くのポイントを配りました。

さて、あなたはこのことについて、嬉しいと感じるでしょうか、それとも嫌だと感じるでしょうか？

非常に嫌だ

嫌だ

少し嫌だ

どちらとも
いえない

少し嬉しい

嬉しい

非常に嬉しい

1

2

3

4

5

6

7

なぜそのように感じますか？理由を簡単に説明してください。（自由記述）

デモグラフィック1/3

あなた自身について、以下の質問に回答してください。

性別

☐ 男性

☐ 女性

学年

☐ 1年生

☐ 2年生

☐ 3年生

☐ 4年生

☐ 研究生

☐ 大学院生

年齢 (半角数字で入力してください。)

years old

国籍

☐ 日本

☐ カナダ

☐ その他

Native language

☐ English

☐ French

☐ Other

Race/Ethnicity (Check all general categories that apply.)

☐ African

☐ Asian

☐ Caucasian

☐ Hispanic/Latino

☐ Indian (India)

☐ Middle Eastern

☐ Native American

☐ South American

☐ Other

学部

デモグラフィック 2/3

あなたはどこで生まれましたか？

国

都道府県

市町村

生まれた場所に、何年住んでいましたか？ (半角数字で入力してください。)

これまで最も長く住んだ場所はどこですか？

国

都道府県

市町村

最も長く住んでいた場所には、何年住んでいましたか？ (半角数字で入力してください。)

23

デモグラフィック3/3

最も長く住んだ場所の市町村の人口を以下の選択肢から選び、クリックしてください。
※[参考]札幌市の人口は約193万人

- ☐ 1万人以下
- ☐ 1～5万人
- ☐ 5万人～10万人
- ☐ 10～50万人
- ☐ 50万人～100万人
- ☐ 100万人以上

現在の居住地はどこですか？

市町村

現在、大学入学以前と同じ市町村に住んでいますか？

- ☐ はい
- ☐ いいえ

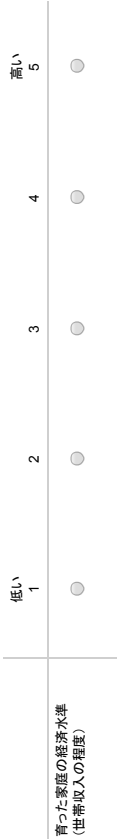
家族も札幌市周辺に在住していますか？

- ☐ はい
- ☐ いいえ

現在の居住形態／誰と住んでいますか？（「その他」を選んだ場合は、その居住形態を記入してください。）

- ☐ 家族と
- ☐ ルームメイトと
- ☐ 一人暮らし
- ☐ 寮・下宿で共同生活
- ☐ その他

育った家庭の経済水準（世帯収入の程度）はどの程度ですか？



大学に入学する際に引っ越しを経験しましたか？

- ☐ はい
- ☐ いいえ

あなたは大学に入学するまで、引っ越しを何回経験したことがありますか？その回数を半角数字で記入してください。
(大学入学に伴う引っ越しは含めないでください。また、同一市町村内の引っ越しは含めず、違う市町村、違う都道府県、違う国への引っ越し回数のみを答えてください。)

times

上記の引っ越し回数のうち、5歳以降に引っ越しした回数を半角数字で記入してください。
(大学入学に伴う引っ越しは含めないでください。また、同一市町村内の引っ越しは含めず、違う市町村、違う都道府県、違う国への引っ越し回数のみを答えてください。)

times

これまでに海外に住んだことはありますか？

- ☐ はい
- ☐ いいえ

上記の質問で「はい」と答えた方は、国名（複数回答可）とその居住総年数をお書きください。

国名・年数(例、アメリカ2年)	
国名・年数	
国名・年数	
国名・年数	

これまでに文学部で開講されている「文化心理学」という授業を受けたことがありますか？

☐ はい

☐ いいえ

コメント

本日参加していただいた全ての実験について、お気づきの点や感想などがあれば、下の枠の中に自由に入力してください。

Finish page

以上で質問紙は終了となります。
ご回答ありがとうございました。

壁のボタンを押して、実験者を呼んでください。

At this time, there are a few additional things we would like to explain to you. At the beginning of this study, we indicated that this study is about interpersonal perceptions and behaviors in close relationships. There are a few purposes in this study. The first is to examine how relational mobility is related to intimacy. Our previous research has shown that people in high relational mobility societies (e.g., Canada, the United States), where people have many opportunities to select whom to form relationships with, feel higher intimacy toward their friend and their romantic partner than those in low relational mobility societies (e.g., Japan; Kito et al., 2013). There are three potential processes underlying how high relational mobility is related to high intimacy. In the current study, we will examine whether each of the three potential processes is valid or not.

The purpose of the second part is to examine how people evaluate active self-disclosure they receive from their friend or acquaintance. Previous research has shown that the level of self-disclosure differs across cultures (e.g., Kito, 2005) and that this cultural difference is explained by relational mobility (Schug et al., 2010). However, it is not known how people evaluate active self-disclosure they receive from their friend or acquaintance. Similar to self-fulfilling prophecy on independent/interdependent self-construal (Hashimoto, 2012), it might be the case that people perceive others provide more negative evaluation when receiving self-disclosure than they actually do. This perceived negative evaluation of others might result in the low level of own self-disclosure. To test this hypothesis, we are conducting a close-national study between Canada and Japan on the actual level of self-disclosure, the own evaluation of being disclosed, and perceptions of others' evaluation of being disclosed.

The purposes of the third part are to examine 1) what strategies people take to acquire a romantic partner and 2) how relational mobility affects such partner acquisition strategies. In order to test these research questions, we are conducting a cross-national study between Canada (high relational mobility) and Japan (low relational mobility).

Finally, the last part of this study aims to replicate the study by DeScioli and Kurzban (2009). DeScioli and Kurzban (2009) argued that friendships are alliance for conflicts with a third party, and it is important to know whom their friends are committed to. To estimate such commitment, their participants ranked their friend in the order of closeness and distributed points to these friends. In this study, we will examine whether 1) people will rank their best friends in the order of closeness, 2) people who live in high mobility societies such as Canada will make clearer distinction in point distribution according to friend-ranking than those in low relational mobility societies such as Japan, and 3) Canadians will evaluate more positively when their friends rank them as the closest friend than Japanese.

Please do not discuss this experiment with other students who might yet participate on-line. If you supplied your email address on the consent form at the beginning of the survey, the results of the study will be sent to you in May 2014. If you did not supply your email address earlier but would now like to find out the results, please email Dr. Morry at Marian_Morry@umanitoba.ca, and we will add you to our email list. Questions about this study can be directed to Dr. Morry at 204-474-7840 or in room P508 Duff Roblin. Complaints regarding a procedure may be reported to the Human Ethics Secretariat at 204-474-7122 or margaret_bowman@umanitoba.ca.

Thank you for participating in this study. You may now download or print off this feedback sheet for your records.

Copy of Manitoba Consent

INFORMED CONSENT (COPY)

Study Name: Interpersonal Perceptions and Behaviors in Close Relationships

Researchers: Dr. Marian Morry, Professor, mormym@cc.umanitoba.ca, Department of Psychology, P508 Duff Roblin, 204-474-7840
Dr. Mie Kito, JSPS Research Fellow, mkito@lynx.let.hokudai.ac.jp, Department of Behavioral Sciences, Hokkaido University, JAPAN

This consent form is only part of the process of informed consent. It should give you the basic idea of what the research is about and what your participation will involve. If you would like more detail about something mentioned here, or information not included here, you should feel free to ask before beginning the survey by contacting Dr. Morry at mormym@cc.umanitoba.ca. Please take the time to read this carefully and to understand any accompanying information.

This study involves completing scales about yourself and your close relationships. You will also be asked socio-demographic questions such as your age, gender, ethnicity, relationship status, place of birth, nationality, and the number of times you have moved.

Your responses to the questionnaire will be kept anonymous. Your name will not be associated with the data file. Only Dr. Morry, Dr. Kito, and their research assistants will have access to this data. Anonymous data such as responses on the questionnaire will be kept indefinitely on password-protected computers which only Dr. Morry, Dr. Kito, and their research assistants will have access to. It will take approximately 50 minutes to complete this survey, and you will receive 2 experimental credits toward your research participation requirement. Participation in this study is voluntary, and you can refuse to answer any question or withdraw your consent at any time without penalty or loss of your experimental credit. At the end of the session today, you will be provided with feedback about our specific hypotheses. In addition, if you provide your email address below, you will be emailed the results of the study in around May 2014. The findings of this study will be presented at international psychology conferences and will be published in a psychology journal.

Your consent on this form indicates that you have understood to your satisfaction the information regarding participation in the research project and agree to participate as a subject. In no way does this waive your legal rights nor release the researchers, sponsors, or involved institutions from their legal and professional responsibilities. You are free to withdraw from the study at any time by closing your browser, and/or refrain from answering any questions you prefer to omit, without prejudice or consequence.

The University of Manitoba Research Ethics Board(s) and a representative(s) of the University of Manitoba Research Quality Management / Assurance office may also require access to your research records for safety and quality assurance purposes.

This research has been approved by the Psychology/Sociology Research Ethics Board at the University of Manitoba. If you have any concerns or complaints about this project you may contact any of the above-named persons or the Human Ethics Coordinator (HEC) at 204-474-7122. For your records and reference, you are strongly encouraged to print it off before you move onto the next page.

Error
Bad Request
OK

付録 2：研究 1-1. 質問紙 (英語)



English ▼

Manitoba Consent

INFORMED CONSENT

Study Name: Interpersonal Perceptions and Behaviors in Close Relationships

Researchers: Dr. Marian Morry, Professor, mormy@cc.umanitoba.ca, Department of Psychology, P508 Duff Roblin, 204-474-7840
Dr. Mie Kito, JSPS Research Fellow, mkit@lynx.let.hokudai.ac.jp, Department of Behavioral Sciences, Hokkaido University, JAPAN

This consent form is only part of the process of informed consent. It should give you the basic idea of what the research is about and what your participation will involve. If you would like more detail about something mentioned here, or information not included here, you should feel free to ask before beginning the survey by contacting Dr. Morry at mormy@cc.umanitoba.ca. Please take the time to read this carefully and to understand any accompanying information.

This study involves completing scales about yourself and your close relationships. You will also be asked socio-demographic questions such as your age, gender, ethnicity, relationship status, place of birth, nationality, and the number of times you have moved.

Your responses to the questionnaire will be kept anonymous. Your name will not be associated with the data file. Only Dr. Morry, Dr. Kito, and their research assistants will have access to this data. Anonymous data such as responses on the questionnaire will be kept indefinitely on password-protected computers which only Dr. Morry, Dr. Kito, and their research assistants will have access to. It will take approximately 50 minutes to complete this survey, and you will receive 2 experimental credits toward your research participation requirement. Participation in this study is voluntary, and you can refuse to answer any question or withdraw your consent at any time without penalty or loss of your experimental credit. At the end of the session today, you will be provided with feedback about our specific hypotheses. In addition, if you provide your email address below, you will be emailed the results of the study in around May 2014. The findings of this study will be presented at international psychology conferences and will be published in a psychology journal.

Your consent on this form indicates that you have understood to your satisfaction the information regarding participation in the research project and agree to participate as a subject. In no way does this

waive your legal rights nor release the researchers, sponsors, or involved institutions from their legal and professional responsibilities. You are free to withdraw from the study at any time by closing your browser, and/or refrain from answering any questions you prefer to omit, without prejudice or consequence.

The University of Manitoba Research Ethics Board(s) and a representative(s) of the University of Manitoba Research Quality Management / Assurance office may also require access to your research records for safety and quality assurance purposes.

This research has been approved by the Psychology/Sociology Research Ethics Board at the University of Manitoba. If you have any concerns or complaints about this project you may contact any of the above-named persons or the Human Ethics Coordinator (HEC) at 204-474-7122. For your records and reference, you are strongly encouraged to print it off before you move onto the next page.

If you would like to **receive the results of this study**, please include your email address here:

I have read the above information and hereby (click on the appropriate box below):

- ☐ PROVIDE my consent (access questionnaire)
☐ DO NOT PROVIDE my consent (exit program)

Instructions

Thank you for agreeing to participate in this study.

This study is about interpersonal perceptions and behaviors in close relationships such as romantic relationships and friendships. The specific content of the questions and instructions on how to answer will be explained at the beginning of each section. Please read the instructions carefully, and answer the questions which follow.

There are no right or wrong answers to the questions. Please answer them as honestly as possible.

Although you might feel that similar questions are repeated, all questions are necessary and important. Please answer the questions in the order that they appear, and do not change your responses once you have provided them.

PLEASE DO NOT use the "Back" button on the browser nor the "Backspace" key on your keyboard (except when you mistype your response). These could cause an error.

In order to receive your experimental credits, please enter your U of M email address here.

Rmob_romantic

Regardless of your own sexual orientation, we would first like to ask about heterosexual relationships. How much do you feel the following statements accurately describe **heterosexual romantic relationships among people around you (such as romantic partners and potential romantic partners)**? Regarding those people around you, please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements.

	Strongly disagree 1	Disagree 2	Slightly disagree 3	Slightly agree 4	Agree 5	Strongly agree 6
They (the people around you) have many chances to get to know an opposite-sex person.	☐	☐	☐	☐	☐	☐
They tend not to open up when interacting with someone of the opposite-sex they've just met.	☐	☐	☐	☐	☐	☐
They are able to choose, according to their own preference, those of the opposite-sex with whom they date in their daily life.	☐	☐	☐	☐	☐	☐
There are few opportunities for these people to find new romantic partners.	☐	☐	☐	☐	☐	☐
If they were not satisfied with a current romantic relationship, they could move on to a new relationship with someone else.	☐	☐	☐	☐	☐	☐
It is often the case that they cannot freely choose who they date with.	☐	☐	☐	☐	☐	☐
If they were approached by someone of the opposite-sex they had never met before, they would happily have a conversation with them.	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Even if these people were not satisfied with their current romantic relationship, they would often have no choice but to stay with them.	☐	☐	☐	☐	☐	☐

How many new people of the opposite-sex have you met **in the past week** (7 days)?

persons

How many new people of the opposite-sex have you met **in the past month** (30 days)?

persons

How many new people of the opposite-sex have you met **in the past 3 months** (90 days)?

persons

Rmob_friendship

How much do you feel the following statements accurately describe **friendships among people around you**? Regarding those people around you, please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements.

	Strongly disagree 1	Disagree 2	Slightly disagree 3	Slightly agree 4	Agree 5	Strongly agree 6
They (the people around you) have many chances to become new friends with other people.	☐	☐	☐	☐	☐	☐
They tend not to open up when interacting with someone they've just met.	☐	☐	☐	☐	☐	☐
They are able to choose, according to their own preference, the friends whom they interact with in their daily life.	☐	☐	☐	☐	☐	☐
There are few opportunities for these people to find new friends.	☐	☐	☐	☐	☐	☐
If they were not satisfied with a current friendship, they could move on to a new friendship with someone else.	☐	☐	☐	☐	☐	☐

It is often the case that they cannot freely choose friends who they associate with.

If they were approached by someone they had never met before, they would happily have a conversation with them.

Even if these people were not satisfied with a current friendship, they would often have no choice but to stay with it.

☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐

How many new acquaintances and/or friends have you made in the past week (7 days)?

persons

How many new acquaintances and/or friends have you made in the past month (30 days)?

persons

How many new acquaintances and/or friends have you made in the past 3 months (90 days)?

persons

This completes this section.
The next section continues on the next page.

Demographic 1

In this section, we will ask you about any previous romantic relationships you have had. Your responses will be analyzed statistically, and all responses are anonymous.

We would appreciate it if you could report your thoughts and experiences as honestly as possible.

In terms of whom you usually fall in love with and feel sexually attracted to, please choose one of the following.

- ☐ Individuals who are opposite-sex from you
- ☐ Individuals who are same-sex as you
- ☐ It depends; gender doesn't matter

What is your current relationship status?

- ☐ Not currently in a relationship
- ☐ Casually dating with a single partner
- ☐ Casually dating with multiple partners
- ☐ Exclusively dating
- ☐ Engaged
- ☐ Married

How many opposite-sex partners have you dated with throughout your life? Please enter your response using numerals. If you're currently in a relationship, please include your current romantic partner.

partners

現在の恋愛関係

In this section, we will ask you about your current romantic relationship.

Please enter initials of your current romantic partner.

e.g., John Smith = JS

When did you start dating with your current romantic partner?
If you're engaged or married, please report **when you started dating**, not when you got engaged or married.
If you don't remember when you started dating clearly, please estimate it.

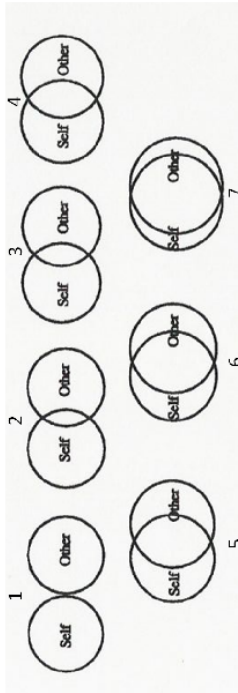
Year

Month (Numerals)

Where did you meet your current partner? (e.g., online, at a job, through friends)

IOS_romantic

In the pictures below, "Self" represents yourself, and "Other" represents **your romantic partner** (**$\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)$**). Please choose one of the pictures which best describes **your relationship with $\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)$** .



Please select the corresponding number.

1

2

3

4

5

6

7

Sternberg (1997)_intimacy

Please rate the extent to which you either agree or disagree with the following statements in regards to your own romantic relationship.

	Strongly disagree 1	Disagree 2	Somewhat disagree 3	Neither agree nor disagree 4	Somewhat agree 5	Agree 6	Strongly agree 7
I feel that $\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)$ really understands me.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
There is nothing more important to me than my relationship with $\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)$.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I feel that I really can trust $\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)$.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
$\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)$ is able to count on me in times of need.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I feel emotionally close to $\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)$.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I especially like physical contact with $\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)$.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I receive considerable emotional support from $\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)$.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I have a warm relationship with $\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)$.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I adore $\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)$.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I value $\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)$ greatly in my life.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I idealize $\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)$.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Just seeing $\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)$ is exciting for me.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I communicate well with $\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)$.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I experience great happiness with $\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)$.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I have a comfortable relationship with $\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)$.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would rather be with $\$(q://QID197/ChoiceTextEntryValue)$ than with anyone else.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

I feel that I really understand \$(q://QID:197/ChoiceTextEntryValue).	Strongly disagree 1	Disagree 2	Somewhat disagree 3	agree nor disagree 4	Somewhat agree 5	Agree 6	Strongly agree 7
I am able to count on \$(q://QID:197/ChoiceTextEntryValue) in times of need.							
I am willing to share myself and my possessions with \$(q://QID:197/ChoiceTextEntryValue).							
My relationship with \$(q://QID:197/ChoiceTextEntryValue) is passionate.							
I cannot imagine another person making me as happy as \$(q://QID:197/ChoiceTextEntryValue) does.							
When I see romantic movies or read romantic books I think of \$(q://QID:197/ChoiceTextEntryValue).							
There is something almost 'magical' about my relationship with \$(q://QID:197/ChoiceTextEntryValue).							
I cannot imagine life without \$(q://QID:197/ChoiceTextEntryValue).							
My relationship with \$(q://QID:197/ChoiceTextEntryValue) is very romantic.	Strongly disagree 1	Disagree 2	Somewhat disagree 3	Neither agree nor disagree 4	Somewhat agree 5	Agree 6	Strongly agree 7
I fantasize about \$(q://QID:197/ChoiceTextEntryValue).							
I find \$(q://QID:197/ChoiceTextEntryValue) to be very personally attractive.							
I share deeply personal information about myself with \$(q://QID:197/ChoiceTextEntryValue).							
I find myself thinking about \$(q://QID:197/ChoiceTextEntryValue) frequently during the day.							
I give considerable emotional support to \$(q://QID:197/ChoiceTextEntryValue).							

Social support for Romantic partner

Please select the option that best describes your behaviors **toward your current romantic partner** **\$(q://QID:197/ChoiceTextEntryValue)**.

How much do you...?

provide your partner with encouragement	1	2	3	4	5
provide your partner with useful information					
say things that raise your partner's self-confidence					
listen to your partner when he/she needs to talk					
show that you care about your partner as a person					
try to understand the way your partner thinks and feels about things	Not at all 1	Little 2	Somewhat 3	Quite a lot 4	Agreat deal 5
help your partner understand and sort things out when he/she is troubled by something					
provide your partner with direct help (i.e., do things for him/her, or give him/her things he/she needs)					
make your partner feel he/she can rely on you when he/she needs to					

積極的な関係形成動機 (恋人)

How much do you think each of the following statements apply to your behaviors and thoughts **before you started dating** **\$(q://QID:197/ChoiceTextEntryValue)**? Please select the option which best describes your thoughts.

I was actively looking for a romantic partner.	Strongly disagree 1	Disagree 2	Slightly disagree 3	Neither agree nor disagree 4	Slightly agree 5	Agree 6	Strongly agree 7
I wanted to have a romantic relationship.							
When I felt attracted to someone, I wanted to be his/her romantic partner.							
I felt no need for a romantic partner.							

過去の自己開示量 (恋人)

Regarding each of the items below, to what degree have you revealed about yourself to **\$(q://QID:197/ChoiceTextEntryValue)**? Please select the option that best describes how much you

have actually told \$(q:/QID197/ChoiceTextEntryValue).

	I have not revealed any information at all 1	I have revealed only non-serious information 2	I have revealed slightly serious information 3	I have revealed serious information 4	I have revealed even the most serious information 5
Your secrets	☐	☐	☐	☐	☐
Your embarrassing experiences	☐	☐	☐	☐	☐
Your failures	☐	☐	☐	☐	☐
Your worries	☐	☐	☐	☐	☐
Bad things that have happened to you	☐	☐	☐	☐	☐

Perceived similarity_romantic

How similar are you and \$(q:/QID197/ChoiceTextEntryValue) on each of the following aspects? Please choose the option that best describes your thoughts.

	Not similar at all 1	Not similar 2	Not very similar 3	Not sure 4	A little similar 5	Similar 6	Very similar 7
Personalities	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Hobbies	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Values	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Behaviors	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Lifestyles	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

關係強化・維持動機 (恋愛)

How much do you agree or disagree with each of the following statements? Please choose the option that best describes your thoughts.

When I am in a romantic relationship with someone ...

	Strongly disagree 1	Disagree 2	Slightly disagree 3	Neither agree nor disagree 4	Slightly agree 5	Agree 6	Strongly agree 7
I am eager to put as much effort as possible to deepen the relationship further.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I take care to prevent problems from arising in the relationship.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I am reluctant to put much of my time and effort into the relationship.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

	Strongly disagree 1	Disagree 2	Slightly disagree 3	Neither agree nor disagree 4	Slightly agree 5	Agree 6	Strongly agree 7
It will eventually pay off if I put as much effort as possible to deepen the relationship.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
It will eventually pay off if I take care to prevent problems from arising in the relationship.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
It won't benefit me even if I put much of my time and effort into the relationship.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Closest Friend

This completes this section.
The next section continues on the next page.

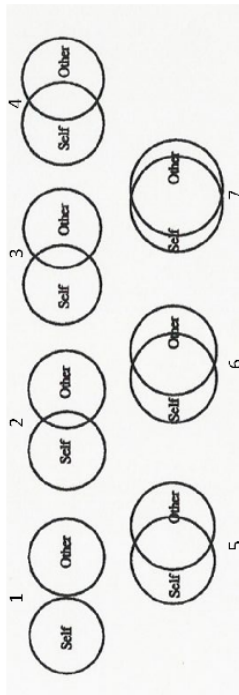
In the following section, please think about your closest friend. From the next page, please respond about this friend in the questions about “a closest friend”.

How long has it been since you first met your closest friend? Please answer in years (numerals).

years

IOS_friend

In the pictures below, “Self” represents yourself, and “Other” represents your closest friend. Please choose one of the pictures which best describes your relationship with your closest friend.



Please select the corresponding number.

1	2	3	4	5	6	7
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Social support for friend

Please select the option that best describes your behaviors toward your closest friend.

How much do you...?

	Not at all 1	Little 2	Somewhat 3	Quite a lot 4	Agreat deal 5
provide your friend with encouragement	☐	☐	☐	☐	☐
provide your friend with useful information	☐	☐	☐	☐	☐
say things that raise your friend's self-confidence	☐	☐	☐	☐	☐
listen to your friend when he/she needs to talk	☐	☐	☐	☐	☐
show that you care about your friend as a person	☐	☐	☐	☐	☐
try to understand the way your friend thinks and feels about things	☐	☐	☐	☐	☐
help your friend understand and sort things out when he/she is troubled by something	☐	☐	☐	☐	☐
provide your friend with direct help (i.e., do things for him/her, or give him/her things he/she needs)	☐	☐	☐	☐	☐
make your friend feel he/she can rely on you when he/she needs to	☐	☐	☐	☐	☐

積極的な関係形成動機 (友人)

How much do you think each of the following statements apply to your behaviors and thoughts **before the friendship started with your closest friend**? Please select the option which best describes your thoughts.

	Strongly disagree 1	Disagree 2	Slightly disagree 3	Neither agree nor disagree 4	Slightly agree 5	Agree 6	Strongly agree 7
I was actively looking for friends.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I wanted to have friends.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
When I came to like someone, I wanted to be his/her friend.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I felt no need for friends.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

過去の自己開示量 (友人)

Regarding each of the items below, to what degree have you revealed about yourself **to your closest friend**? Please select the option that best describes how much you have actually told your closest friend.

	I have not revealed any information at all 1	I have revealed only non-serious information 2	I have revealed slightly serious information 3	I have revealed serious information 4	I have revealed even the most serious information 5
Your secrets	☐	☐	☐	☐	☐
Your embarrassing experiences	☐	☐	☐	☐	☐
Your failures	☐	☐	☐	☐	☐
Your worries	☐	☐	☐	☐	☐
Bad things that have happened to you	☐	☐	☐	☐	☐

Perceived similarity_friendship

How similar are **you and your closest friend** on each of the following aspects? Please choose the option that best describes your thoughts.

	Not similar	Not very	A little
	☐	☐	☐

	at all 1	Not similar 2	similar 3	Not sure 4	similar 5	Similar 6	Very similar 7
Personalities	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Hobbies	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Values	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Behaviors	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Lifestyles	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

關係強化-維持動機 (友人)

How much do you agree or disagree with each of the following statements? Please choose the option that best describes your thoughts.

When I am in a friendship with someone ...

	Strongly disagree 1	Disagree 2	Slightly disagree 3	Neither agree nor disagree 4	Slightly agree 5	Agree 6	Strongly agree 7
I am eager to put as much effort as possible to deepen the relationship further.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I take care to prevent problems from arising in the relationship.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I am reluctant to put much of my time and effort into the relationship.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
It will eventually pay off if I put as much effort as possible to deepen the relationship.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
It will eventually pay off if I take care to prevent problems from arising in the relationship.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
It won't benefit me even if I put much of my time and effort into the relationship.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

This section continues on the next page.

孤独感回避傾向

How much does each of the following statements apply to your thoughts? Please choose the option that best describes your thoughts.

	Strongly disagree 1	Disagree 2	Slightly disagree 3	Neither agree nor disagree 4	Slightly agree 5	Agree 6	Strongly agree 7
I worry about being alone.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I prefer being with others to being by myself.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would like to spend time by myself rather than partying with many others.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I want to avoid doing something alone if possible.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

歸結 (友人)

Please imagine the following situation.

You and your closest friend have been feeling emotionally distant, and have not been feeling very close to each other.

If you were in the situation described above, how likely do you think each of the following would happen? Please select the option that best describes your thoughts.

	Not at all likely 1	Unlikely 2	Not very likely 3	Neutral 4	Slightly/likely 5	Likely 6	Completely likely 7
You would end the relationship with your friend.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Your friend would end the relationship with you.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
The relationship would continue in a state where both of you feel emotionally distant from each other.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
You and your friend would try hard to reduce the emotional distance from each other.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

歸結 (恋人)

Please imagine the following situation.

You currently have a romantic partner.
Lately, however, you and the partner have been feeling emotionally distant,
and have not been feeling very close to each other.

If you were in the situation described above, how likely do you think each of the following would happen?
Please select the option that best describes your thoughts.

	Not at all likely 1	Unlikely 2	Not very likely 3	Neutral 4	Slightly likely 5	Likely 6	Completely likely 7
You would end the relationship with your partner.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Your partner would end the relationship with you.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
The relationship would continue in a state where both of you feel emotionally distant from each other.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
You and your partner would try hard to reduce the emotional distance from each other.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

This completes this section.

The next section continues on the next page.

自己開示

In this section, we will ask you about your behaviors and beliefs. Please answer the following questions.

We will now ask you about **yourself in daily life**.

Regarding each of the items below, to what degree **have you revealed** about yourself to a current friend (Friend) or to an acquaintance you want to become friends with in the future (Acquaintance)? Please select the option that best describes how much you have actually told that Friend or Acquaintance.

1. Your secrets

	I have not revealed any information at all	I have revealed only non-serious information	I have revealed slightly serious information	I have revealed serious information	I have revealed even the most serious information
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

2. Your embarrassing experiences

	I have not revealed any information at all	I have revealed only non-serious information	I have revealed slightly serious information	I have revealed serious information	I have revealed even the most serious information
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

3. Your failures

	I have not revealed any information at all	I have revealed only non-serious information	I have revealed slightly serious information	I have revealed serious information	I have revealed even the most serious information
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

4. Your worries

	I have not revealed any information at all	I have revealed only non-serious information	I have revealed slightly serious information	I have revealed serious information	I have revealed even the most serious information
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

5. Bad things that have happened to you

	I have not revealed any information at all	I have revealed only non-serious information	I have revealed slightly serious information	I have revealed serious information	I have revealed even the most serious information
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

In this section, we will ask you about what kind of person **you would ideally like to be**.

Regarding each of the items below, to what degree would **you ideally like to reveal about yourself** to your current friend (Friend) or an acquaintance you are likely to become friends with in the future (Acquaintance)? Please select the option that best describes how much you would ideally like to tell that Friend or Acquaintance about yourself.

1. Your secrets

	I wouldn't reveal any information at all	I would reveal only non-serious information	I would reveal slightly serious information	I would reveal serious information	I would reveal even the most serious information
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

2. Your embarrassing experiences

	I wouldn't reveal any information at all	I would reveal only non-serious information	I would reveal slightly serious information	I would reveal serious information	I would reveal even the most serious information
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

3. Your failures

	I wouldn't reveal any information at all	I would reveal only non-serious information	I would reveal slightly serious information	I would reveal serious information	I would reveal even the most serious information
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

4. Your worries

	I wouldn't reveal any information at all	I would reveal only non-serious information	I would reveal slightly serious information	I would reveal serious information	I would reveal even the most serious information
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

	any information at all	non-serious information	slightly serious information	serious information	serious information
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

5. Bad things that have happened to you

	I wouldn't reveal any information at all	I would reveal only non-serious information	I would reveal slightly serious information	I would reveal serious information	I would reveal even the most serious information
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

If one of your current friends (Friend), or an acquaintance you are likely to become friends with in the future (Acquaintance), **approached you with some worries or personal problems**, how likely would you feel or think in the following way?

Please select the option that is closest to your thoughts.

You would like the person.

	Extremely unlikely	Unlikely	Slightly likely	Likely	Extremely likely
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

You would simply feel glad.

	Extremely unlikely	Unlikely	Slightly likely	Likely	Extremely likely
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

You would feel annoyed.

	Extremely unlikely	Unlikely	Slightly likely	Likely	Extremely likely
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

Friend
Acquaintance

☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐

You would be unsure what to do.

Friend
Acquaintance

☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐

You would think the person lacks the ability to solve problems by themselves.

Friend
Acquaintance

☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐

You would want to deepen your friendship with the person.

Friend
Acquaintance

☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐

You would feel more comfortable interacting with the person.

Friend
Acquaintance

☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐

You would feel a desire to try to actively help the person with their troubles.

Friend
Acquaintance

☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐

You would avoid getting involved with the person.

	Extremely unlikely	Unlikely	Slightly likely	Likely	Extremely likely
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

You would avoid talking about their problems.

	Extremely unlikely	Unlikely	Slightly likely	Likely	Extremely likely
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

Please think about how **people around you** would feel if one of their current friends (Friend), or an acquaintance they are likely to become friends with in the future (Acquaintance), **approached them with some worries or personal problems**. How likely would they feel or think in the following way?

Please select the option that you think would be closest to their thoughts.

*Please respond about how **people around you** would feel, not how you yourself would feel.

They would like the person.

	Extremely unlikely	Unlikely	Slightly likely	Likely	Extremely likely
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

They would simply feel glad.

	Extremely unlikely	Unlikely	Slightly likely	Likely	Extremely likely
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

They would feel annoyed.

	Extremely unlikely	Unlikely	Slightly likely	Likely	Extremely likely
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

They would be unsure what to do.

	Extremely unlikely	Unlikely	Slightly likely	Likely	Extremely likely
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

They would think the person lacks the ability to solve problems by themselves.

	Extremely unlikely	Unlikely	Slightly likely	Likely	Extremely likely
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

They would want to deepen their friendship with the person.

	Extremely unlikely	Unlikely	Slightly likely	Likely	Extremely likely
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

They would feel more comfortable interacting with the person.

	Extremely unlikely	Unlikely	Slightly likely	Likely	Extremely likely
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

They would feel a desire to try to actively help the person with their troubles.

	Extremely	Slightly	Extremely
	☐	☐	☐

	unlikely	Unlikely	likely	Likely	likely
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

They would avoid getting involved with the person.

	Extremely unlikely	Unlikely	Slightly likely	Likely	Extremely likely
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

They would avoid talking about their problems.

	Extremely unlikely	Unlikely	Slightly likely	Likely	Extremely likely
Friend	☐	☐	☐	☐	☐
Acquaintance	☐	☐	☐	☐	☐

Here are a number of personality traits that may or may not apply to you. Please choose an option to indicate the extent to which you agree or disagree with that statement. You should rate the extent to which the pair of traits applies to you, even if one characteristic applies more strongly than the other.

I see myself as....

	Disagree strongly	Disagree moderately	Disagree a little	Neither agree nor disagree	Agree a little	Agree moderately	Agree strongly
1. Extraverted, enthusiastic.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. Critical, quarrelsome.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3. Dependable, self-disciplined.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4. Anxious, easily upset.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5. Open to new experiences, complex	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6. Reserved, quiet.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
7. Sympathetic, warm.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
8. Disorganized, careless.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
9. Calm, emotionally stable.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
10. Conventional, uncreative.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

This completes this section.
The next section continues on the next page.

Strategy free

In this section, we will ask how you would behave toward a person whom you want to start dating. Please answer the following questions while imagining you were in such a situation.

You have recently been going out and spending time together with a person of the opposite-sex, named X. X is a student at your university, and you want to start dating X.

In such a situation, how would you behave toward Person X in order to start dating him/her? Please describe your likely behaviors in the box below by providing as much detail as possible and thinking about the behaviors you have taken in the past.

Strategy_items

You have recently been going out and spending time together with a person of the opposite-sex, named X. X is a student at your university, and you want to start dating X.

In such a situation, how would you behave toward Person X in order to start dating him/her? Please think about how likely you would **actually** behave in each of the following ways.

To Person X, I would...

	Not at all likely 1	Unlikely 2	Not very likely 3	Neutral 4	Slightly/likely 5	Likely 6	Completely likely 7
Display my abilities and/or skills.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Display my high athletic abilities.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Display my wealth.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Display that I am financially secure.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Display my physical attractiveness.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Not at all likely 1	Unlikely 2	Not very likely 3	Neutral 4	Slightly/likely 5	Likely 6	Completely likely 7
Display my good personal traits (e.g., kindness, loyalty).	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Display my good sense of humor.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Emphasize what is common between Person X and me.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Emphasize that I have similar values with Person X.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Disclose my secrets to Person X.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Not at all likely 1	Unlikely 2	Not very likely 3	Neutral 4	Slightly/likely 5	Likely 6	Completely likely 7
Disclose my greatest failure to Person X.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Give some gifts to Person X but not to others.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Give greater help to Person X even if others also need help.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Cancel going out with someone in order to hang out with Person X.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
In a situation where several acquaintances have gathered (including Person X), only talk to Person X.	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

PLS (Hatfield & Sprecher, 1986)

In this section, we will ask you again about your romantic relationship with \$(q:/QID197/ChoiceTextEntryValue). Please rate the extent to which you either agree or disagree with the following statements in regards to your own romantic relationship.

Neither agree



This completes this section.
The next section continues on the next page.

These page timer metrics will not be displayed to the recipient.
First Click: 0 seconds.
Last Click: 0 seconds.
Page Submit: 0 seconds.
Click Count: 0 clicks.

セッションつなぎ (DeScioliへ)

In this section, we will ask you some more questions about your friendships.
Please answer the questions about your friends and yourself.

DeScioli & Kurzban (2009)

Please answer the following questions.

Think of your 10 best friends. *Do not include current romantic/sexual partners or family members.*

Please list your friends' initials in order of closeness, with your best friend listed first, your second best friend listed second, and so on.

E.g.) John Smith → JS

Closest

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

Least close

Pt Allocation, Benefits, & Similarity

You have a budget of 100 points to distribute across your friends. Points indicate the closeness of your relationship with each friend. For example, if friend A has twice as many points as friend B, this indicates that you are twice as close to A as you are to B.

Please ensure that the points in this column sum to 100.

1. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/1)

0

2. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/2)

0

3. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/3)

0

4. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/4)

0

5. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/5)

0

6. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/6)

0

7. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/7)

0

8. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/8)

0

9. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/9)

0

10. \$(q//QID21/ChoiceTextEntryValue/10)

0

Total

0

Consider the direct benefits that you receive as a result of this friendship. This includes material benefits such as favors or gifts, as well as social networking benefits. (This *does not* include psychological or emotional benefits.)

Rate the total benefits on the following scale:

Low

Medium

High

	1	2	3	4	5	6	7
1. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/1}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/2}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/3}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/4}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/5}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/6}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
7. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/7}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
8. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/8}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
9. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/9}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
10. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/10}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Consider your overall similarity to this friend.

Rate your overall similarity to this friend using the following scale:

	Low	2	3	Medium	5	6	High
1. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/1}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/2}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/3}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/4}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/5}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/6}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
7. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/7}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
8. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/8}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
9. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/9}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
10. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/10}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Friend information

Indicate how many years you have known this friend.

1. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/1}		years
2. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/2}		years
3. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/3}		years
4. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/4}		years
5. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/5}		years
6. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/6}		years
7. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/7}		years
8. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/8}		years
9. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/9}		years
10. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/10}		years

Imagine that this friend listed their best friends in the order of closeness. Estimate what number you would be on their list of friends.

For example, "1" indicates that they would list you as their best friend, while "15" indicates that you are their 15th best friend.

1. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/1}	
2. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/2}	
3. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/3}	
4. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/4}	
5. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/5}	
6. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/6}	
7. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/7}	
8. \$ {q}/{QID21/ChoiceTextEntryValue/8}	

9. \${{ChoiceTextEntryValue9}}
10. \${{ChoiceTextEntryValue10}}

Please rate the extent to which you tell this friend your secrets. Use the following scale:

	Low 1	2	3	Medium 4	5	6	High 7
1. \${{ChoiceTextEntryValue1}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. \${{ChoiceTextEntryValue2}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3. \${{ChoiceTextEntryValue3}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4. \${{ChoiceTextEntryValue4}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5. \${{ChoiceTextEntryValue5}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6. \${{ChoiceTextEntryValue6}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
7. \${{ChoiceTextEntryValue7}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
8. \${{ChoiceTextEntryValue8}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
9. \${{ChoiceTextEntryValue9}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
10. \${{ChoiceTextEntryValue10}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Character traits

Please rate the following character traits in your friends and yourself. Use the following seven point scale.

Caring

	Low 1	2	3	Medium 4	5	6	High 7
1. \${{ChoiceTextEntryValue1}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. \${{ChoiceTextEntryValue2}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3. \${{ChoiceTextEntryValue3}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4. \${{ChoiceTextEntryValue4}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

5. \${{ChoiceTextEntryValue5}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6. \${{ChoiceTextEntryValue6}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
7. \${{ChoiceTextEntryValue7}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
8. \${{ChoiceTextEntryValue8}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
9. \${{ChoiceTextEntryValue9}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
10. \${{ChoiceTextEntryValue10}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Yourself	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Intelligence

	Low 1	2	3	Medium 4	5	6	High 7
1. \${{ChoiceTextEntryValue1}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. \${{ChoiceTextEntryValue2}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3. \${{ChoiceTextEntryValue3}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4. \${{ChoiceTextEntryValue4}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5. \${{ChoiceTextEntryValue5}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6. \${{ChoiceTextEntryValue6}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
7. \${{ChoiceTextEntryValue7}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
8. \${{ChoiceTextEntryValue8}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
9. \${{ChoiceTextEntryValue9}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
10. \${{ChoiceTextEntryValue10}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Yourself	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Attractive

	Low 1	2	3	Medium 4	5	6	High 7
1. \${{ChoiceTextEntryValue1}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2. \${{ChoiceTextEntryValue2}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3. \${{ChoiceTextEntryValue3}}	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4.							

差別喜び度

Next, please imagine the following situation.

Please imagine, in exactly the same initial listing task on the previous page, Person A, whom you feel to be your closest friend, listed you as their best (i.e., first-ranked) friend. Moreover, Person A distributed a far greater amount of points to you than to the other nine “lower-ranked” friends. They even did this in the task where participants’ responses were made public (such as on the Internet) where everyone can see them.

Now, how happy or annoyed would you feel about this situation?

Extremely annoyed 1	Annoyed 2	Somewhat annoyed 3	Neutral 4	Somewhat happy 5	Happy 6	Extremely happy 7
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Why would you feel in such a way? Please enter your response in the box below.

デモグラフィック1/3

Please provide the following information about yourself.

Gender

☐ Male

☐ Female

Year at university

☐ 1st year

☐ 2nd year

☐ 3rd year

☐ 4th year

☐ Occasional

☐ Graduate

Age

years old

Nationality

☐ Japan

☐ Canada

☐ Other

Native language

☐ English

☐ French

☐ Other

Race/Ethnicity (Check all general categories that apply.)

☐ African

☐ Asian

☐ Caucasian

☐ Hispanic/Latino

☐ Indian (India)

☐ Middle Eastern

☐ Native American

☐ South American

☐ Other

Major

デモグラフィック 2/3

Where were you born?

Country

Province/Territory/State

City/Town

How many years have you lived at your place of birth (Numerals)?

Where have you lived the longest?

Country

Province/Territory/State

City/Town

How many years have you lived at the place where you have lived the longest (Numerals)?

What is the population of the town/city you grew up in? * (Please select one)

*The population of Winnipeg is about 700,000

☐ Less than 10,000

- ☐ 10,001 – 50,000
- ☐ 50,001 – 100,000
- ☐ 100,001 – 500,000
- ☐ 500,001 – 1 million
- ☐ More than 1 million

Where do you live currently?

City/Town

Do you live in the same city/town you did before you entered the university?

☐ Yes

☐ No

Does your family live in the same city you are living now?

☐ Yes

☐ No

Who are you living with currently?

☐ Family

☐ Roommate

☐ Alone

☐ Dorm

☐ Other (please specify)

デモグラフィック 3/3

How would you characterize the economic level of the household you grew up in?

☐ Low Income

☐ High Income



Did you move when you entered the university?

- ☒ Yes
☒ No

How many times have you moved before you entered the university? Please answer in numerals.
We are only interested in the big moves. Please count only the moves to a different town/city, province/territory/state, or country. (i.e., Please do not count the time you moved within the same general town/city, and also do not include any times you moved to attend your current university.)

times

Out of the moves you reported in the previous question, how many times have you moved residence after the age of 5? We are only interested in the big moves. Please count only the moves to a different town/city, province/territory/state, or country. (i.e., Please do not count the time you moved within the same general town/city, and also do not include any times you moved to attend your current university.)

times

Have you ever lived overseas (outside Canada)?

- ☒ Yes
☒ No

If you have lived overseas, please specify the countries and the number of years you have lived in each country.

Country/ the number of years

Country/ the number of years

Country/ the number of years

Country/ the number of years

これまでに文学部で開講されている「文化心理学」という授業を受けたことがありますか？

- ☒ はい
☒ いいえ

コメント

This is the end of the study. Thank you very much for your participation.

Please write down any comments and feedback about the study you just participated in.

Finish page

WE STRONGLY ENCOURAGE YOU TO DOWNLOAD AND PRINT OFF THE FOLLOWING
FEEDBACK AND COPY OF THE INFORMED CONSENT.

Feedback: Interpersonal Perceptions and Behaviors in Close Relationships

At this time, there are a few additional things we would like to explain to you. At the beginning of this study, we indicated that this study is about interpersonal perceptions and behaviors in close relationships. There are a few different purposes to this study. The first is to examine how relational mobility is related to intimacy. Our previous research has shown that people in high relational mobility societies (e.g., Canada, the United States), where people have many opportunities to select whom to form relationships with, feel greater intimacy towards their friend and their romantic partner than those in low relational mobility societies (e.g., Japan; Kito et al., 2013). There are three potential processes

underlying how high relational mobility may be related to high intimacy. In the current study, we will examine how valid each of the three potential processes are.

The purpose of the second part of the study is to examine how people evaluate active self-disclosure they receive from their friend or acquaintance. Previous research has shown that the level of self-disclosure differs across cultures (e.g., Kito, 2005) and that this cultural difference is explained by relational mobility (Schug et al., 2010). However, it is not known how people evaluate the active self-disclosure they receive from their friend or acquaintance. Similar to the self-fulfilling prophecy on independent/interdependent self-construal (Hashimoto, 2012), it might be the case that people perceive others as providing a more negative evaluation when receiving self-disclosure than they actually do. This perceived negative evaluation of others might result in a low level of own self-disclosure. To test this hypothesis, we are conducting a cross-national study between Canada and Japan on the actual level of self-disclosure, own evaluation of being disclosed, and perceptions of others' evaluation of being disclosed.

The purposes of the third part are to examine 1) what strategies people take to acquire a romantic partner and 2) how relational mobility affects such partner acquisition strategies. In order to test these research questions, we are conducting a cross-national study between Canada (high relational mobility) and Japan (low relational mobility).

Finally, the last part of this study aims to replicate the study by DeScioli and Kurzban (2009). DeScioli and Kurzban (2009) argued that friendships are alliances for addressing conflicts with a third party, and as such it is important for someone to know whom their friends are committed to. To estimate such commitment, their participants ranked their friend in the order of closeness and distributed points to these friends. From the results we obtain, we will examine whether 1) people will rank their best friends in the order of closeness, 2) people who live in high mobility societies such as Canada will make clearer distinction in point distribution according to friend-ranking than those in low relational mobility societies such as Japan, and 3) Canadians will evaluate more positively when their friends rank them as the closest friend than Japanese.

Please do not discuss this experiment with other students who might yet participate on-line. If you supplied your email address on the consent form at the beginning of the survey, the results of the study will be sent to you in May 2014. If you did not supply your email address earlier but would now like to find out the results, please email Dr. Morry at Marian_Morry@UManitoba.ca, and we will add you to our email list. Questions about this study can be directed to Dr. Morry at 204-474-7840 or in room P508 Duff Roblin. Complaints regarding a procedure may be reported to the Human Ethics Secretariat at 204-474-7122 or margaret_bowman@umanitoba.ca.

Thank you for participating in this study. You may now download or print off this feedback sheet for your records.

Copy of Manitoba Consent

INFORMED CONSENT (COPY)

Study Name: Interpersonal Perceptions and Behaviors in Close Relationships

Researchers: Dr. Marian Morry, Professor, morrym@cc.umanitoba.ca, Department of Psychology, P508 Duff Roblin, 204-474-7840
Dr. Mie Kito, JSPS Research Fellow, mkitob@lynx.tet.hokudai.ac.jp, Department of Behavioral Sciences, Hokkaido University, JAPAN

This consent form is only part of the process of informed consent. It should give you the basic idea of what the research is about and what your participation will involve. If you would like more detail about something mentioned here, or information not included here, you should feel free to ask before beginning the survey by contacting Dr. Morry at morrym@cc.umanitoba.ca. Please take the time to read this carefully and to understand any accompanying information.

This study involves completing scales about yourself and your close relationships. You will also be asked socio-demographic questions such as your age, gender, ethnicity, relationship status, place of birth, nationality, and the number of times you have moved.

Your responses to the questionnaire will be kept anonymous. Your name will not be associated with the data file. Only Dr. Morry, Dr. Kito, and their research assistants will have access to this data. Anonymous data such as responses on the questionnaire will be kept indefinitely on password-protected computers which only Dr. Morry, Dr. Kito, and their research assistants will have access to. It will take approximately 50 minutes to complete this survey, and you will receive 2 experimental credits toward your research participation requirement. Participation in this study is voluntary, and you can refuse to answer any question or withdraw your consent at any time without penalty or loss of your experimental credit. At the end of the session today, you will be provided with feedback about our specific hypotheses. In addition, if you provide your email address below, you will be emailed the results of the study in around May 2014. The findings of this study will be presented at international psychology conferences and will be published in a psychology journal.

Your consent on this form indicates that you have understood to your satisfaction the information regarding participation in the research project and agree to participate as a subject. In no way does this waive your legal rights nor release the researchers, sponsors, or involved institutions from their legal and professional responsibilities. You are free to withdraw from the study at any time by closing your browser, and/or refrain from answering any questions you prefer to omit, without prejudice or consequence.

The University of Manitoba Research Ethics Board(s) and a representative(s) of the University of Manitoba Research Quality Management / Assurance office may also require access to your research records for safety and quality assurance purposes.

This research has been approved by the Psychology/Sociology Research Ethics Board at the University of Manitoba. If you have any concerns or complaints about this project you may contact any of the above-named persons or the Human Ethics Coordinator (HEC) at 204-474-7122. For your records and reference, you are strongly encouraged to print it off before you move onto the next page.

Error
Bad Request
OK

付録 3：研究 1-2a. 質問紙 (日本語)

Q8 この度は調査にご協力いただきありがとうございます。この調査は、恋愛関係におけるあなたの考えや行動に関するものです。調査項目の中には、あなたの過去の交際経験に関する質問も含まれます。全ての回答は匿名の情報としてコンピュータで統計的に処理され、研究目的以外で使用されることはありません。どうぞご安心のうえ、正直なご回答をお願いします。

※回答の際には、ブラウザを全画面表示してご回答ください。

－回答上の注意－

- あなたの意見や考えを尋ねる質問には、特定の正解はありません。あまり深く考えずに、頭に浮かんだことを率直にお答えください。
- 同じような質問が繰り返されていると感ずることがあるかもしれませんが、どの質問も必要かつ重要です。全ての質問には順番通りに答え、一度答えた質問をあとかから直さないでください。
- ブラウザの「戻る」ボタンは押さないでください。ブラウザの「戻る」ボタンを押すと、回答が正しく保存されません。また、キーボードの「Backspace」キーも、テキストボックスに入力した文章を修正するとき以外は押さないでください。エラーが発生することがあります。

以上の注意を確認したら、下のボタンを押して回答を始めてください。

Q142 まず、あなた自身について、いくつかおたずねします。

Q11 性別

- ☐ 男性 (1)
- ☐ 女性 (2)

Q13 あなたが普段好きになったり、性的魅力を感じたりする相手を次の選択肢から選んでください。

- ☐ 異性の人 (1)
- ☐ 同性の人 (2)
- ☐ その時々で、性別は関係ない (3)

Q56 結婚している人の中には、普段から結婚指輪をはめている人と、はめていない人がいます。さてここで、現在あなたは結婚しています。もしもあなたの結婚相手が次のように振る舞った場合、あなたはどのように感じるでしょうか。それぞれの場面の後に続く質問に答えてください。

Q64 あなたの配偶者は、普段から結婚指輪をはめています。

Q57 あなたはどの程度嬉しいと感じますか？

	☐ 全く嬉しくない (1)	☐ 嬉しくない (2)	☐ あまり嬉しくない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ 少し嬉しい (5)	☐ 嬉しい (6)	☐ 非常に嬉しい (7)
.(1)							

Q58 あなたの配偶者は、結婚相手としてどの程度魅力的だと思いますか？

	☐ 全く魅力的でない (1)	☐ 魅力的でない (2)	☐ どちらかといえ魅力的でない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえ魅力的 (5)	☐ 魅力的 (6)	☐ 非常に魅力的 (7)
.(1)							

Q59 あなたの配偶者は、結婚相手としてどの程度信頼できると思いますか？

	☐ 全く信頼できない (1)	☐ 信頼できない (2)	☐ どちらかといえば信頼できない (3)	☐ どちらかといえば信頼できる (5)	☐ 信頼できる (6)	☐ 非常に信頼できる (7)
. (1)						

Q60 あなたの配偶者は、どの程度浮気しそうだと思いますか？

	☐ 全く浮気しそうにない (1)	☐ 浮気しそうにない (2)	☐ どちらかといえば浮気しそうにない (3)	☐ どちらかといえば浮気しそう (5)	☐ 浮気しそう (6)	☐ 非常に浮気しそう (7)
. (1)						

Q61 あなたは、今後も配偶関係（夫婦関係）を続けていきたいと思いますか？

	☐ 絶対に関係を続けたくない (1)	☐ 関係を続けたくない (2)	☐ どちらかといえば関係を続けたくない (3)	☐ どちらかといえば関係を続けていきたい (5)	☐ 関係を続けていきたい (6)	☐ 絶対に関係を続けたい (7)
. (1)						

Q62 あなたの配偶者がこのような行動をとった場合、あなたの周囲にいるその他の人々はどのように感じますか？

	☐ 非常に不快に思う (1)	☐ 不快に思う (2)	☐ どちらかといえば不快に思う (3)	☐ どちらかともいえない (4)	☐ どちらかといえば快く思う (5)	☐ 非常に快く思う (7)
. (1)						

Q63 あなたの配偶者は、普段は結婚指輪をはめていますか？

Q65 あなたはどの程度嬉しいと感じますか？

	☐ 全く嬉しくない (1)	☐ 嬉しくない (2)	☐ あまり嬉しくない (3)	☐ どちらかともいえない (4)	☐ 少し嬉しい (5)	☐ 非常に嬉しい (7)
. (1)						

Q66 あなたの配偶者は、結婚相手としてどの程度魅力的だと思いますか？

	☐ 全く魅力的でない (1)	☐ 魅力的でない (2)	☐ どちらかといえば魅力的でない (3)	☐ どちらかともいえない (4)	☐ どちらかといえば魅力的 (5)	☐ 非常に魅力的 (7)
. (1)						

Q67 あなたの配偶者は、結婚相手としてどの程度信頼できると思いますか？

	☐ 全く信頼できない (1)	☐ 信頼できない (2)	☐ どちらかといえば信頼できない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば信頼できる (5)
		☐ 信頼できる (6)			
					☐ 非常に信頼できる (7)

Q68 あなたの配偶者は、どの程度浮気しそうだと思いますか？

	☐ 全く浮気しそうにない (1)	☐ 浮気しそうにない (2)	☐ どちらかといえば浮気しそうにない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば浮気しそう (5)
					☐ 浮気しそう (6)
					☐ 非常に浮気しそう (7)

Q69 あなたは、今後も配偶関係（夫婦関係）を続けていきたいと思いますか？

	☐ 絶対に関係を続けたい (1)	☐ 関係を続けたくない (2)	☐ どちらかといえば関係を続けたい (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば関係を続けたい (5)
					☐ 関係を続けたい (6)
					☐ 絶対に関係を続けたい (7)

Q70 あなたの配偶者がこのような行動をとった場合、あなたの周囲にいる他の人々はどのように感じると思いますか？

	☐ 非常に不快に思う (1)	☐ 不快に思う (2)	☐ どちらかといえば不快に思う (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば不快に思う (5)
					☐ 不快に思う (6)
					☐ 非常に不快に思う (7)

Q71 もしあなた自身が結婚したとしたら、ふだんから結婚指輪をはめますか？（既婚者の方は、実際にどうしているかをお答えください。） 当てはまるものを一つ選んでください。

- ☐ ふだんから結婚指輪をはめる。(1)
- ☐ ふだんは結婚指輪をはめない。(2)

Q72 同じ会社の部署で働くあなたの恋人が、家族旅行で買ってきたお土産を渡そうとしている場面を想像してください。このとき、職場の同僚たちは、あなたがその人と付き合っていることを知らなかったとします。このような状況でああなたの恋人が次のように振る舞った場合、あなたはどのように感じるでしょうか。それぞれの場面の後に続く質問に答えてください。

Q73 あなたの恋人は、職場の休憩時間に同僚全員が見ている状態で、あなたにだけお土産を渡し、他の人には何も渡ませんでした。

Q77 あなたはどの程度嬉しいと感じますか？

☐ 全く嬉しくない (1)	☐ 嬉しくない (2)	☐ あまり嬉しくない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ 少し嬉しい (5)	☐ 嬉しい (6)	☐ 非常に嬉しい (7)

Q78 あなたは、交際相手としてどの程度魅力的だと思いますか？

☐ 全く魅力的でない (1)	☐ 魅力的でない (2)	☐ どちらかといえば魅力的でない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば魅力的 (5)	☐ 魅力的 (6)	☐ 非常に魅力的 (7)

Q79 あなたは、交際相手としてどの程度信頼できると思いますか？

☐ 全く信頼できない (1)	☐ 信頼できない (2)	☐ どちらかといえば信頼できない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば信頼できる (5)	☐ 信頼できる (6)	☐ 非常に信頼できる (7)

Q80 あなたの恋人は、どの程度浮気しそうだと思いますか？

☐ 全く浮気しない (1)	☐ 浮気しない (2)	☐ どちらかといえば浮気しない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば浮気しそう (5)	☐ 浮気しそう (6)	☐ 非常に浮気しそう (7)

Q81 あなたは、今後も恋人関係を続けていきたいと思いますか？

☐ 絶対に関係を続けたくない (1)	☐ 関係を続けない (2)	☐ どちらかといえば関係を続けない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば関係を続けたい (5)	☐ 関係を続けたい (6)	☐ 絶対に関係を続けていきたい (7)

Q82 あなたの恋人がこのような行動をとった場合、あなたの周囲にいるその他の人々
はどのように感じますか？

☐ 非常に不快に思う (1)	☐ 不快に思う (2)	☐ どちらかといえば不快に思う (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば快く思う (5)	☐ 快く思う (6)	☐ 非常に快く思う (7)

Q74 あなたの恋人は、職場の休憩時間に同じ部署の同僚向けにチョココレートのお土産を配りました。そして、皆が見ている前であなたにだけ特別なお土産を渡しました。

Q83 あなたはどの程度嬉しいと感じますか？

☐ 全く嬉しくない (1)	☐ 嬉しくない (2)	☐ あまり嬉しくない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ 少し嬉しい (5)	☐ 嬉しい (6)	☐ 非常に嬉しい (7)

Q84 あなたの恋人は、交際相手としてどの程度魅力的だと思いますか？

☐ 全く魅力的でない (1)	☐ 魅力的でない (2)	☐ どちらかといえば魅力的でない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば魅力的 (5)	☐ 魅力的 (6)	☐ 非常に魅力的 (7)

Q85 あなたの恋人は、交際相手としてどの程度信頼できると思いますか？

☐ 全く信頼できない (1)	☐ 信頼できない (2)	☐ どちらかといえば信頼できない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば信頼できる (5)	☐ 信頼できる (6)	☐ 非常に信頼できる (7)

Q86 あなたの恋人は、どの程度浮気しそうだと思いますか？

☐ 全く浮気しない (1)	☐ 浮気しない (2)	☐ どちらかといえば浮気しない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば浮気しそうである (5)	☐ 浮気しそうである (6)	☐ 非常に浮気しそう (7)

Q88 あなたは、今後も恋人関係を続けていきたいと思いますか？

☐ 絶対に関係を続けたくない (1)	☐ 関係を続けたくない (2)	☐ どちらかといえば関係を続けたくない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば関係を続けていきたい (5)	☐ 関係を続けていきたい (6)	☐ 絶対に関係を続けていきたい (7)

Q89 あなたの恋人がこのような行動をとった場合、あなたの周囲にいるその他の人々はどのように感じますか？

☐ 非常に不快に思う (1)	☐ 不快に思う (2)	☐ どちらかといえば不快に思う (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば快く思う (5)	☐ 快く思う (6)	☐ 非常に快く思う (7)

Q75 あなたの恋人は、職場の休憩時間に同じ部署の同僚向けにチョココレートのお土産を配りました。その後、皆からは隠れた場所で、あなたにだけ特別なお土産を渡しました。

Q90 あなたはどの程度嬉しいと感じますか？

	☐ 全く嬉しくない	☐ 嬉しくない	☐ あまり嬉しくない	☐ どちらともいえない	☐ 少し嬉しい	☐ 非常に嬉しい
. (1)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(7)

Q91 あなたの恋人は、交際相手としてどの程度魅力的だと思いますか？

	☐ 全く魅力的でない	☐ 魅力的でない	☐ どちらかといえば魅力的でない	☐ どちらともいえない	☐ どちらかといえば魅力的	☐ 非常に魅力的
. (1)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(7)

Q92 あなたの恋人は、交際相手としてどの程度信頼できると思いますか？

	☐ 全く信頼できない	☐ 信頼できない	☐ どちらかといえば信頼できない	☐ どちらともいえない	☐ どちらかといえば信頼できる	☐ 非常に信頼できる
. (1)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(7)

Q93 あなたの恋人は、どの程度浮気しそうだと思いますか？

	☐ 全く浮気しない	☐ 浮気しない	☐ どちらかといえば浮気しない	☐ どちらともいえない	☐ どちらかといえば浮気する	☐ 非常に浮気する
. (1)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(7)

Q94 あなたは、今後も恋人関係を続けていきたいと思いますか？

	☐ 絶対に関係を続けたくない	☐ 関係を続けない	☐ どちらかといえば関係を続けない	☐ どちらともいえない	☐ どちらかといえば関係を続ける	☐ 絶対に関係を続けていきたい
. (1)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(7)

Q95 あなたの恋人がこのような行動をとったことに同僚たちが気づいた場合、あなたの周囲にいるその他の人々はどのように感じますか？

	☐ 非常に不快に思う	☐ 不快に思う	☐ どちらかといえば不快に思う	☐ どちらともいえない	☐ どちらかといえば快く思う	☐ 非常に快く思う
. (1)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(7)

Q76 もしここであなたがとお土産を渡す側の立場だったとしたら、どのように行動しますか？当てはまるもの一つを選んでください。 ※ただし、あなたが職場の同僚と付き合っているというのを、他の同僚たちは知らないとしています。

- ☐ 同僚の皆が見ている前で、他の同僚たちは知らないとしています。(1)
- ☐ 同僚全員向けのお土産を配った後、皆が見ている前で恋人にだけ特別なお土産を渡す。(2)
- ☐ 同僚全員向けのお土産を配った後、皆から隠れた場所で恋人にだけ特別なお土産を渡す。(3)

Q114 あなたは、恋人をデートに誘いました。しかし、恋人はすでに別の友達と出かける約束をしていました。このような状況であなたの恋人が次のように振る舞った場合、あなたはどのように感じるでしょうか。それぞれの場面の後に続く質問に答えてください。

Q115 あなたの恋人は、友達との先約を断り、あなたとのデートを優先しました。

Q118 あなたはどの程度嬉しいと感じますか？

	☐ 全く嬉しくない (1)	☐ 嬉しくない (2)	☐ あまり嬉しくない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ 少し嬉しい (5)	☐ 嬉しい (6)
. (1)						☐ 非常に嬉しい (7)

Q119 あなたの恋人は、交際相手としてどの程度魅力的だと思いますか？

	☐ 全く魅力的でない (1)	☐ 魅力的でない (2)	☐ どちらかといえば魅力的でない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば魅力的 (5)	☐ 魅力的 (6)
. (1)						☐ 非常に魅力的 (7)

Q120 あなたの恋人は、交際相手としてどの程度信頼できると思いますか？

	☐ 全く信頼できない (1)	☐ 信頼できない (2)	☐ どちらかといえば信頼できない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば信頼できる (5)	☐ 信頼できる (6)
. (1)						☐ 非常に信頼できる (7)

Q121 あなたの恋人は、どの程度浮気しそうだと思いますか？

	☐ 全く浮気しそうにない (1)	☐ 浮気しそうにない (2)	☐ どちらかといえば浮気しそうにない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば浮気しそう (5)	☐ 浮気しそう (6)
. (1)						☐ 非常に浮気しそう (7)

Q122 あなたは、今後も恋人関係を続けていきたいと思いますか？

	☐ 絶対に関係を続けたくない (1)	☐ 関係を続けたくない (2)	☐ どちらかといえば関係を続けたい (3)	☐ どちらかといえば関係を続けたい (5)	☐ 絶対に関係を続けたい (7)
. (1)			☐ どちらかといえば関係ない (4)		☐ 関係を続けたい (6)

Q123 あなたの恋人がこのような行動をとった場合、あなたの周囲にいるその他の人々はどのように感じると思いますか？

	☐ 非常に不快に思う (1)	☐ 不快に思う (2)	☐ どちらかといえば不快に思う (3)	☐ どちらかといえば快く思う (5)	☐ 非常に快く思う (7)
. (1)		☐ 不快に思う (2)	☐ どちらかといえば関係ない (4)		☐ 快く思う (6)

Q116 あなたの恋人は、友達との先約があったため、あなたの誘いを断りました。

Q123 あなたはどの程度嬉しいと感じますか？

	☐ 全く嬉しくない (1)	☐ 嬉しくない (2)	☐ あまり嬉しくない (3)	☐ どちらかともいえない (4)	☐ 少し嬉しい (5)	☐ 非常に嬉しい (7)
. (1)		☐ 嬉しくない (2)	☐ どちらかともいえない (4)		☐ 嬉し (6)	

Q124 あなたの恋人は、実際相手としてどの程度魅力的だと思いますか？

	☐ 全く魅力的でない (1)	☐ 魅力的でない (2)	☐ どちらかといえば魅力的でない (3)	☐ どちらかともいえない (4)	☐ どちらかといえば魅力的 (5)	☐ 魅力的 (6)	☐ 非常に魅力的 (7)
. (1)						☐ 魅力的 (6)	

Q125 あなたの恋人は、実際相手としてどの程度信頼できると思いますか？

	☐ 全く信頼できない (1)	☐ 信頼できない (2)	☐ どちらかといえば信頼できない (3)	☐ どちらかともいえない (4)	☐ どちらかといえば信頼できる (5)	☐ 信頼できる (6)	☐ 非常に信頼できる (7)
. (1)						☐ 信頼できる (6)	

Q126 あなたの恋人は、どの程度浮気しそうだと思いますか？

	☐ 全く浮気しそうにない (1)	☐ 浮気しそうにない (2)	☐ どちらかといえば浮気しそうにない (3)	☐ どちらかともいえない (4)	☐ どちらかといえば浮気しそう (5)	☐ 浮気しそう (6)	☐ 非常に浮気しそう (7)
. (1)						☐ 浮気しそう (6)	

Q127 あなたは、今後も恋人関係を続けていききたいと思いますか？

	☐ 絶対に関係を続けたくない (1)	☐ 関係を続けたくない (2)	☐ どちらかといえば関係を続けたい (3)	☐ どちらかといえば関係を続けたい (4)	☐ どちらかといえば関係を続けたい (5)	☐ 絶対に関係を続けたい (7)

Q128 あなたの恋人がこのような行動をとった場合、あなたの周囲にいるその他の人々はどのように感じると思いますか？

	☐ 非常に不快に思う (1)	☐ 不快に思う (2)	☐ どちらかといえば不快に思う (3)	☐ どちらかといえば不快に思う (4)	☐ どちらかといえば不快に思う (5)	☐ 非常に不快に思う (7)

Q117 もしあなた自身が、すでに友達との先約がある状況で恋人からデートに誘われたとしたら、どのように行動しますか？当てはまるものを一つ選んでください。

- ☐ 友人との先約を断り、恋人とのデートを優先する。(1)
- ☐ 友達との先約があるため、恋人からの誘いを断る。(2)

Q15 あなたが普段好きになったり性的に魅力的だと感じたりする対象（相手）に関わらず、あなたの周囲にいる人々の異性関係（恋人や恋愛対象の異性など）についてお答えください。次のそれぞれの文が、それらの人々に全体としてどれくらい当てはまるかを、想像してお答えください。

	全く当てはまらない (1)	当てはまらない (2)	あまり当てはまらない (3)	少し当てはまる (4)	当てはまる (5)	非常に当てはまる (6)
彼ら（あなたの周囲にいる人々）には、将来恋人になるかもしれない異性と新しく知り合いになる機会がたくさんある。(1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らは、自分の好みに基づいたり相手と、異性として付き合うことができる。(2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らには、新しい恋人を見つける機会がありません。(3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
もし現在の恋愛関係に満足していなければ、彼らはその関係を簡単に解消することができる。(4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らには、恋人として付き合う異性を自由に選べないことがある。(5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
たとえ現在の恋愛関係に満足していても、彼らはそこに留まり続けるしかないことがよくある。(6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q17 以下の期間中に、あなたが新しく知り合った異性は何人いますか？おおよその人数を、半角数字でご入力ください。（誰もいない場合は"0"と入力してください。）

- 過去 1 週間 (7 日間) (1)
- 過去 1 か月間 (30 日間) (2)
- 過去 3 か月間 (90 日間) (3)

Q143 次の文章は、あなたと同じ社会に暮らしている人々の恋人関係にどの程度当てはまりますか？それぞれの文章がそれらの関係にどのくらい当てはまるかについて、もっとも適当な選択肢を選んでください。 注：「魅力的」という語が出てくこと

がありますが、ここでの「魅力的」という語は、外見のな魅力だけでなく、性格や経済力、あるいは社会的な地位など、様々な側面の魅力を含んでいます。

	全く当てはまらない1 (1)	当てはまらない2 (2)	あまり当てはまらない3 (3)	少し当てはまる4 (4)	当てはまる5 (5)	非常に当てはまる6 (6)
恋人への配慮を怠っていると、恋人は、より魅力的な相手と付き合うために、彼らとは別れてしまうだろう。(1)	○	○	○	○	○	○
彼らは、好きになった相手が他の相手と交際していても、構わずアプローチする。(2)	○	○	○	○	○	○
彼らは、もし現在の恋人よりも魅力的な相手が現れたら、恋人とは別れて、その相手と付き合いおとす。(3)	○	○	○	○	○	○
魅力的な相手と付き合うためには、彼ら自身も魅力的な人物でなければならぬ。(4)	○	○	○	○	○	○
魅力的な相手と付き合うためには、多大な努力が必要だ。(5)	○	○	○	○	○	○
一度恋人関係になったら、よほどの酷いことをしない限り相手に捨てられることはない。(6)	○	○	○	○	○	○

Q129 次に、配偶関係（夫婦関係）についておたずねします。 次の文章は、あなたと同じ社会に暮らしている人々の配偶関係（夫婦関係）にどの程度当てはまりますか？それぞれの文章がそれらの関係にどのくらい当てはまるかについて、もっとも適当な選択肢を選んでください。 注：「魅力的」という語が出てくることがあります。が、ここでの「魅力的」という語は、外見のな魅力だけでなく、性格や経済力、あるいは社会的な地位など、様々な側面の魅力を含んでいます。

	全く当てはまらない1 (1)	当てはまらない2 (2)	あまり当てはまらない3 (3)	少し当てはまる4 (4)	当てはまる5 (5)	非常に当てはまる6 (6)
配偶者への配慮を怠っていると、配偶者は、より魅力的な相手と付き合うために、彼らとは別れてしまうだろう。(1)	○	○	○	○	○	○
彼らは、好きになった相手が他の相手と結婚していても、構わずアプローチする。(2)	○	○	○	○	○	○
彼らは、もし現在の配偶者よりも魅力的な相手が現れたら、配偶者とは別れて、その相手と付き合いおとす。(3)	○	○	○	○	○	○
魅力的な相手と結婚するためには、彼ら自身も魅力的な人物でなければならぬ。(4)	○	○	○	○	○	○
魅力的な相手と結婚するためには、多大な努力が必要だ。(5)	○	○	○	○	○	○
一度結婚したら、よほどの酷いことをしない限り相手に離婚されることはない。(6)	○	○	○	○	○	○

Q133 人々の多くは、将来結婚するかもしれない相手を探すときに、特定のある性質に注目します。いくつかの望ましい特性の中には次のようなものがあります：楽しい人物かどうかや、年齢、身体的な魅力、ユーモアのセンスがあるかどうか、親切で理解のある人か、経済的または社会的に地位のある人か、知的か、健康か、子供が好きな、などです。

Q132 全体的にみて、あなたは自分自身が恋人としてどの程度魅力的だと思いますか？

- ☐ 非常に魅力的でない 1 (1)
- ☐ 2 (2)
- ☐ 3 (3)
- ☐ 4 (4)
- ☐ 5 (5)
- ☐ 6 (6)
- ☐ 非常に魅力的 7 (7)

Q134 全体的にみて、異性はあなたのことをどの程度恋人として魅力的だと評価すると思いますか？

- ☐ 非常に魅力的でない 1 (1)
- ☐ 2 (2)
- ☐ 3 (3)
- ☐ 4 (4)
- ☐ 5 (5)
- ☐ 6 (6)
- ☐ 非常に魅力的 7 (7)

Q135 全体的にみて、同性の他の人たちと比べた時に、あなたは自分自身が恋人としてどの程度魅力的だと思いますか？

- ☐ 平均より非常に低い 1 (1)
- ☐ 平均より低い 2 (2)
- ☐ 平均より少し低い 3 (3)
- ☐ 平均的 4 (4)
- ☐ 平均より少し高い 5 (5)
- ☐ 平均より高い 6 (6)
- ☐ 平均より非常に高い 7 (7)

Q136 全体的にみて、あなたはどの程度異性の目に留まると思いますか？

- ☐ 全く目に留まらない 1 (1)
- ☐ 目に留まらない 2 (2)
- ☐ あまり目に留まらない 3 (3)
- ☐ 平均的 4 (4)
- ☐ 少し目に留まる 5 (5)
- ☐ 目に留まる 6 (6)
- ☐ 非常に目に留まる 7 (7)

Q20 現在のあなた自身についておたずねします。

Q21 現在ご結婚されていますか？

- ☐ 独身 (1)
- ☐ 既婚 (2)

Q22 先ほど、「独身」を選んだ方におたずねします。 あなたの現在の交際状況をお答えください。

- ☐ 誰とも交際していない (1)
- ☐ 婚約している (2)
- ☐ 特定の相手 (1人) と交際している (3)
- ☐ 特定の相手 (1人) と二人きりで出かけたり食事に行ったりしている (4)
- ☐ 複数の相手と、それぞれ二人きりで出かけたり食事に行ったりしている (5)

Q23 あなたは、これまでに何人の異性と付き合った（告白などを通して恋人関係になった）ことがありますか？ 現在恋人がいる方や、すでにご結婚されている方は、現在の恋人や夫／妻を含めた人数を半角数字で入力してください。

Q24 現在交際している相手のイニシャルを入力してください。現在ご結婚されている方は、配偶者（夫／妻）のイニシャルを入力してください。※複数の相手と、それぞれ二人きりで出かけたり食事に行ったりしている、と回答した方は、そのなかでもっ

とも親しい人（1名のみ）についてお答えください。 ※ご回答いただいたイニシャルは、後の質問で用いるためのものであり、個人を特定するものではありません。
注）アンケートの仕様に、この質問に回答しないと次の質問に進むことができません。必ず何かしらの回答を記入していただくようお願いいたします。どうしてもイニシャルを回答したくない場合は、「恋人」と入力してください。

例：山田太郎さん → TY, 太郎

Q29 あなたが現在、「\${q://QID24/ChoiceTextEntryValue}」さんに対してどのくらい情熱的な愛を感じているかについておたずねします。ここでいう「情熱的な愛」とは、いわゆる「ロマンチック」な気持ちや、相手に夢中になってしまっている状態を指します。

Q31 以下のそれぞれの文章について、もっとも適切な選択肢を選んでください。

	全く当てはまらない1 (1)	当てはまらない2 (2)	あまり当てはまらない3 (3)	少し当てはまる4 (4)	当てはまる5 (5)	非常に当てはまる6 (6)
もし\${q://QID24/ChoiceTextEntryValue}が私から離れていったら、私は深く絶望するだろう。(1)	○	○	○	○	○	○
私は時々、 \${q://QID24/ChoiceTextEntryValue}のこ とばかり考えてしまい、自分の考えを コントロールできなくなってしまうよ うに感じる。(2)	○	○	○	○	○	○
\${q://QID24/ChoiceTextEntryValue}が幸 せな気持ちになるようなことをしてあ げているときに、自分自身も幸せだと 感じる。(3)	○	○	○	○	○	○
私は他の誰かと一緒にいるよりも、 \${q://QID24/ChoiceTextEntryValue}と一 緒にいたい。(4)	○	○	○	○	○	○
\${q://QID24/ChoiceTextEntryValue}が自 分以外の誰かと恋に落ちたことを想像 するだけで、私はきつと嫉妬してしま うだろう。(5)	○	○	○	○	○	○
\${q://QID24/ChoiceTextEntryValue}のす べてを知りたいと思う。(6)	○	○	○	○	○	○
私は、身も心も \${q://QID24/ChoiceTextEntryValue}を求 めている。(7)	○	○	○	○	○	○
私はいつも、 \${q://QID24/ChoiceTextEntryValue}から の愛を際限（さいげん）なく求めてし まう。(8)	○	○	○	○	○	○
私にとって、 \${q://QID24/ChoiceTextEntryValue}は完 璧な恋人だ。(9)	○	○	○	○	○	○
\${q://QID24/ChoiceTextEntryValue}に触 れられると、身体が反応するのを感じ る。(10)	○	○	○	○	○	○

\$(q:/QID24/ChoiceTextEntryValue) のことがいつも頭から離れないようだ。 (11)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
\$(q:/QID24/ChoiceTextEntryValue) に、私の考えていることや思っていることと、望んでいることなど、私のすべてを知って欲しい。 (12)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は普段から、 \$(q:/QID24/ChoiceTextEntryValue) が私を熱く求めているサインを見逃さないよう重々気をつけている。 (13)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は \$(q:/QID24/ChoiceTextEntryValue) の魅力に強く惹 (ひ) かれている。 (14)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
\$(q:/QID24/ChoiceTextEntryValue) との関係がうまくいかないといと、私はひどく落ち込んでしまう。 (15)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q131 次のそれぞれの文が、あなた自身にどの程度当てはまるかお答えください。

	全く当てはまらない (1)	当てはまらない (2)	あまり当てはまらない (3)	少し当てはまる (4)	当てはまる (5)	非常に当てはまる (6)
物事を他人に頼るくらいなら、いっそ自分でやる方がましだ。 (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私はほとんどいつも自分自身をあてにしており、他人にはめったに頼らない。 (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私はよく自分の好きなように行動する。 (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私にとって、他者から独立した自分らしさをもっていることは非常に大切な。 (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
他の人よりうまく仕事をこなすことは、私にとって重要だ。 (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
勝つことがすべてだ。 (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
競争は自然の摂理だ。 (7)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
他の人が自分よりも物事をうまくやれたとき、私は緊張してイライラする。 (8)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
もしいっしょに働いている仲間が賞を獲ったら、私はそれを誇りに思うだろう。 (9)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
いっしょに働く仲間の幸福は、私にとって重要だ。 (10)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私にとつての喜びとは、他の人々と時間を過ごすことだ。 (11)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
誰かと協力しているとき、私は心地よく感じる。 (12)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
親と子供は出来る限り一緒にいなければならない。 (13)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
たとえやりたいことを犠牲にしても家族を養っていくのが私の義務だ。 (14)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
たとえどんな犠牲が必要でも、家族と一緒にいるべきだ。 (15)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
集団が下した決定を尊重することは、私にとって重要だ。 (16)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q22 最後に、あなた自身についておたずねします。

Q24 あなたの年齢は？（半角数字で入力してください）

Q26 あなたの国籍は？

- ☐ 日本 (1)
- ☐ アメリカ (2)
- ☐ それ以外の国（下の空欄に国名を記入してください） (3) _____

Q28 あなたの最終学歴は？

- ☐ 中学、もしくはそれ以前 (1)
- ☐ 高校／高卒認定 (2)
- ☐ 短大・高専 (3)
- ☐ 4 年制大学 (4)
- ☐ 大学院修士課程 (5)
- ☐ 大学院博士課程 (6)

Q30 あなたの母語（もっともうまく話すことができる言語）は日本語ですか？

- ☐ はい (1)
- ☐ いいえ (2)

Q32 Which of the following best represents your racial or ethnic heritage? Choose all that apply:

- ☐ Non-Hispanic White or Euro-American (1)
- ☐ Black, Afro-Caribbean, or African American (2)
- ☐ Latino or Hispanic American (3)
- ☐ East Asian or Asian American (4)
- ☐ South Asian or Indian American (5)
- ☐ Middle Eastern or Arab American (6)
- ☐ Native American or Alaskan Native (7)
- ☐ Hawaiian or Other Pacific Islander (8)
- ☐ Other: please specify (9) _____

Q34 あなたの出身地をもっともよく表しているものの一つを選んでください。 ※大都市

= 東京や政令指定都市、中都市= 15 万人以上の市、小都市= 15 万人以下の市

- ☐ 大都市 (1)
- ☐ 中都市 (2)
- ☐ 小都市 (3)

Q36 5 歳以降で、新しい地域や別の市町村に引っ越したことは合計何回ありますか？
（半角数字で入力してください）

Q38 あなたの雇用状況について、もっともよく当てはまるものを選んでください。

- ☐ 正規雇用 (1)
- ☐ アルバイト・派遣社員 (2)
- ☐ 自営業 (3)
- ☐ 失業して1年以上 (4)
- ☐ 失業して1年以内 (5)
- ☐ 主婦／主夫 (6)
- ☐ 学生 (7)
- ☐ 退職 (8)
- ☐ 労働が困難な状況にある (9)

Q40 あなたの世帯年収について、もっともよく当てはまるものを選んでください。

- ☐ 低い 1 (1)
- ☐ 2 (2)
- ☐ 中程度 3 (3)
- ☐ 4 (4)
- ☐ 高い 5 (5)

Q42 これまでに海外に住んだことはありますか？

- ☐ はい (1)
- ☐ いいえ (2)

Q144 上記の質問で「はい」と答えた方は、国名（複数回答可）とその居住総年数をお書きください。

国名 (1)		年数 (2)
国名・年数 (例：アメリカ 2年) (1)		
国名・年数 (2)		
国名・年数 (3)		
国名・年数 (4)		

付録 4：研究 1-2a. 質問紙 (英語)

Q8 Thank you for agreeing to participate in this study. This study is about your thoughts and behaviors in your romantic relationships. Please be aware that this study involves questions about your current/past romantic relationships. All the responses to the questionnaire will be kept anonymously and handled statistically. Your responses will be only used for research purposes. Therefore, please answer all of the questions as honestly as possible.

* Please use the full-screen mode when you answer the questionnaire.

INSTRUCTIONS

- There are no right or wrong answers. Please answer the questions as frankly as possible, without thinking too deeply.
- Although you might feel that similar questions are repeated, all questions are necessary and important. Please answer the questions in the order that they appear, and do not change your responses once you have provided them.
- Please DO NOT use the "Back" button on the browser nor the "Backspace" key on your keyboard (except when you have mistyped your text responses). These could cause an error.

Please start answering the questions when you have finished reading the above instructions.

Q142 Please provide the following information about yourself.

Q11 Gender

- ☐ male (1)
- ☐ female (2)

Q13 In terms of whom you usually fall in love with and feel sexually attracted to, please choose one of the following.

- ☐ Individuals who are the opposite-sex from you (1)
- ☐ Individuals who are the same-sex as you (2)
- ☐ It depends; the gender/sex doesn't matter (3)

Q56 Some married people regularly wear their wedding ring every day, whereas some do not. Now, suppose for a moment that you are currently married. How would you feel if your spouse behaved in the following ways? Please read the situations and answer the questions which follow.

Q64 Your spouse wears their wedding ring every day.

Q57 How happy would you feel?

- (1)	☐ Extremely unhappy (1)	☐ Unhappy (2)	☐ Somewhat unhappy (3)	☐ Neither happy nor unhappy (4)	☐ Somewhat happy (5)	☐ Happy (6)	☐ Extremely happy (7)

Q58 How attractive would you consider them as a spouse?

- (1)	☐ Extremely unattractive (1)	☐ Unattractive (2)	☐ Somewhat unattractive (3)	☐ Neither attractive nor unattractive (4)	☐ Somewhat attractive (5)	☐ Attractive (6)	☐ Extremely attractive (7)

Q59 How trustworthy would you consider them as a spouse?

☐ Extremely unlikely (1)	☐ Untrustworthy (2)	☐ Somewhat untrustworthy (3)	☐ Neither trustworthy nor untrustworthy (4)	☐ Somewhat trustworthy (5)	☐ Trustworthy (6)	☐ Extremely trustworthy (7)

Q60 How likely do you think they are to cheat on you?

☐ Extremely likely (1)	☐ Not likely (2)	☐ Somewhat not likely (3)	☐ Neither likely nor not likely (4)	☐ Somewhat likely (5)	☐ Likely (6)	☐ Extremely likely (7)

Q61 Would you want to continue your relationship with them in the future?

☐ Definitely no (1)	☐ No (2)	☐ Probably no (3)	☐ Neutral (4)	☐ Probably yes (5)	☐ Yes (6)	☐ Definitely yes (7)

Q62 If your partner acted in this way, how would other people around you feel?

☐ Extremely uncomfortable (1)	☐ Uncomfortable (2)	☐ Somewhat uncomfortable (3)	☐ Neither comfortable nor uncomfortable (4)	☐ Somewhat comfortable (5)	☐ Comfortable (6)	☐ Extremely comfortable (7)

Q63 Your spouse does not usually wear their wedding ring.

Q65 How happy would you feel?

☐ Extremely unhappy (1)	☐ Unhappy (2)	☐ Somewhat unhappy (3)	☐ Neither happy nor unhappy (4)	☐ Somewhat happy (5)	☐ Happy (6)	☐ Extremely happy (7)

Q66 How attractive would you consider them as a spouse?

☐ Extremely attractive (1)	☐ Unattractive (2)	☐ Somewhat unattractive (3)	☐ Neither attractive nor unattractive (4)	☐ Somewhat attractive (5)	☐ Attractive (6)	☐ Extremely attractive (7)

Q67 How trustworthy would you consider them as a spouse?

☐ Extremely untrustworthy (1)	☐ Untrustworthy (2)	☐ Somewhat untrustworthy (3)	☐ Neither trustworthy nor untrustworthy (4)	☐ Somewhat trustworthy (5)	☐ Trustworthy (6)	☐ Extremely trustworthy (7)

Q68 How likely do you think they are to cheat on you?

☐ Extremely likely (1)	☐ Not likely (2)	☐ Somewhat not likely (3)	☐ Neither likely nor not likely (4)	☐ Somewhat likely (5)	☐ Likely (6)	☐ Extremely likely (7)

Q69 Would you want to continue your relationship with them in the future?

☐ Definitely no (1)	☐ No (2)	☐ Probably no (3)	☐ Neither yes nor no (4)	☐ Probably yes (5)
				☐ Yes (6)
				☐ Definitely yes (7)

Q70 If your partner acted in this way, how would other people around you feel?

☐ Extremely uncomfortable (1)	☐ Uncomfortable (2)	☐ Somewhat uncomfortable (3)	☐ Neither comfortable nor uncomfortable (4)	☐ Somewhat comfortable (5)
				☐ Comfortable (6)
				☐ Extremely comfortable (7)

Q71 If you were married, would you wear a wedding ring on a daily basis? (If you are currently married, please indicate what you currently do with your wedding ring).

Please choose the option below that applies best to how you would act.

- ☐ I would regularly wear a wedding ring. (1)
- ☐ I would not usually wear a wedding ring. (2)

Q72 Please imagine a situation where your romantic partner works at the same company as you, in the same department. Your colleagues do not know that you are in a relationship. One day, your romantic partner has brought some souvenirs to work, which they bought on a recent family vacation. How would you feel if your romantic partner behaved in the ways described in each situation below? Please read the scenarios and answer the questions that follow.

Q73 During a coffee break, in the presence of all your colleagues, your romantic partner gives you a souvenir from their family vacation. They doesn't give any souvenirs to anyone else in the office.

Q77 How happy would you feel?

☐ Extremely unhappy (1)	☐ Unhappy (2)	☐ Somewhat unhappy (3)	☐ Neither happy nor unhappy (4)	☐ Somewhat happy (5)
				☐ Happy (6)
				☐ Extremely happy (7)

Q78 How attractive would you consider them as a romantic partner?

☐ Extremely attractive (1)	☐ Unattractive (2)	☐ Somewhat attractive (3)	☐ Neither attractive nor unattractive (4)	☐ Somewhat attractive (5)
				☐ Attractive (6)
				☐ Extremely attractive (7)

Q79 How trustworthy would you consider them as a romantic partner?

☐ Extremely untrustworthy (1)	☐ Untrustworthy (2)	☐ Somewhat untrustworthy (3)	☐ Neither trustworthy nor untrustworthy (4)	☐ Somewhat trustworthy (5)
				☐ Trustworthy (6)
				☐ Extremely trustworthy (7)

Q80 How likely do you think they are to cheat on you?

☐ Extremely not likely (1)	☐ Not likely (2)	☐ Somewhat not likely (3)	☐ Neither likely nor not likely (4)	☐ Somewhat likely (5)
				☐ Likely (6)
				☐ Extremely likely (7)

Q81 Would you want to continue your relationship with them in the future?

- (1)	☐ Definitely no (1)	☐ No (2)	☐ Probably no (3)	☐ Neutral (4)	☐ Probably yes (5)	☐ Yes (6)	☐ Definitely yes (7)

Q82 If your partner acted in this way, how would other people around you feel?

- (1)	☐ Extremely uncomfortable (1)	☐ Uncomfortable (2)	☐ Somewhat uncomfortable (3)	☐ Neither comfortable nor uncomfortable (4)	☐ Somewhat comfortable (5)	☐ Comfortable (6)	☐ Extremely comfortable (7)

Q74 During a coffee break, your romantic partner passes around chocolates from a box for the department members to share. Afterwards, in the presence of all your colleagues, they give a special souvenir just to you.

Q83 How happy would you feel?

- (1)	☐ Extremely unhappy (1)	☐ Unhappy (2)	☐ Somewhat unhappy (3)	☐ Neither happy nor unhappy (4)	☐ Somewhat happy (5)	☐ Happy (6)	☐ Extremely happy (7)

Q84 How attractive would you consider them as a romantic partner?

- (1)	☐ Extremely unattractive (1)	☐ Unattractive (2)	☐ Somewhat unattractive (3)	☐ Neither attractive nor unattractive (4)	☐ Somewhat attractive (5)	☐ Attractive (6)	☐ Extremely attractive (7)

Q85 How trustworthy would you consider them as a romantic partner?

- (1)	☐ Extremely untrustworthy (1)	☐ Untrustworthy (2)	☐ Somewhat untrustworthy (3)	☐ Neither trustworthy nor untrustworthy (4)	☐ Somewhat trustworthy (5)	☐ Trustworthy (6)	☐ Extremely trustworthy (7)

Q86 How likely do you think they are to cheat on you?

- (1)	☐ Extremely unlikely (1)	☐ Not likely (2)	☐ Somewhat not likely (3)	☐ Neither likely nor not likely (4)	☐ Somewhat likely (5)	☐ Likely (6)	☐ Extremely likely (7)

Q88 Would you want to continue your relationship with them in the future?

- (1)	☐ Definitely no (1)	☐ No (2)	☐ Probably no (3)	☐ Neutral (4)	☐ Probably yes (5)	☐ Yes (6)	☐ Definitely yes (7)

Q89 If your partner acted in this way, how would other people around you feel?

- (1)	☐ Extremely uncomfortable (1)	☐ Uncomfortable (2)	☐ Somewhat uncomfortable (3)	☐ Neither comfortable nor uncomfortable (4)	☐ Somewhat comfortable (5)	☐ Comfortable (6)	☐ Extremely comfortable (7)

Q75 During a coffee break, your romantic partner passes around chocolates from a box for the department members to share. Afterwards, away from anyone else, they gives a special souvenir just to you.

Q90 How happy would you feel?

☐ Extremely unhappy (1)	☐ Unhappy (2)	☐ Somewhat unhappy (3)	☐ Neither happy nor unhappy (4)	☐ Somewhat happy (5)	☐ Extremely happy (7)

Q91 How attractive would you consider them as a romantic partner?

☐ Extremely unattractive (1)	☐ Unattractive (2)	☐ Somewhat unattractive (3)	☐ Neither attractive nor unattractive (4)	☐ Somewhat attractive (5)
				☐ Extremely attractive (7)

Q92 How trustworthy would you consider them as a romantic partner?

☐ Extremely untrustworthy (1)	☐ Untrustworthy (2)	☐ Somewhat untrustworthy (3)	☐ Neither trustworthy nor untrustworthy (4)	☐ Somewhat trustworthy (5)
				☐ Extremely trustworthy (7)

Q93 How likely do you think they are to cheat on you?

☐ Extremely not likely (1)	☐ Not likely (2)	☐ Somewhat not likely (3)	☐ Neither likely nor not likely (4)	☐ Somewhat likely (5)	☐ Extremely likely (7)

Q94 Would you want to continue your relationship with them in the future?

☐ Definitely no (1)	☐ No (2)	☐ Probably no (3)	☐ Neutral (4)	☐ Probably yes (5)	☐ Definitely yes (7)

Q95 If your colleagues notice that your partner acted in this way, how would other people around you feel?

☐ Extremely uncomfortable (1)	☐ Uncomfortable (2)	☐ Somewhat uncomfortable (3)	☐ Neither comfortable nor uncomfortable (4)	☐ Somewhat comfortable (5)	☐ Extremely comfortable (7)

Q76 If, in the situation above, you were the one who was handing out souvenirs, how would you behave? Please choose the option that most applies to how you would behave. Remember, up to this point, your colleagues do not know that you are in a relationship with your romantic partner (who is also a colleague in the same department).

- ☐ In the presence of all my colleagues, I would give a souvenir only to my romantic partner. (1)
- ☐ I would pass around a souvenir for my colleagues to share, and then in the presence of all my colleagues, I would give a special souvenir to my romantic partner. (2)
- ☐ I would pass around a souvenir for my colleagues to share, and then in secret, I would give a special souvenir to my romantic partner. (3)

Q114 Imagine that you asked your romantic partner out on a date. However, your romantic partner had already promised to go out with their friends on that day. In this situation, how would you feel if your partner behaved in the following ways?

Q115 Your romantic partner cancelled their previous arrangements with their friends to give priority to go on a date with you.

Q118 How happy would you feel?

- (1)	☐ Extremely unhappy (1)	☐ Unhappy (2)	☐ Somewhat unhappy (3)	☐ Neither happy nor unhappy (4)	☐ Somewhat happy (5)
					☐ Happy (6)
					☐ Extremely happy (7)

Q119 How attractive would you consider them as a romantic partner?

- (1)	☐ Extremely unattractive (1)	☐ Unattractive (2)	☐ Somewhat unattractive (3)	☐ Neither attractive nor unattractive (4)	☐ Somewhat attractive (5)
					☐ Attractive (6)
					☐ Extremely attractive (7)

Q120 How trustworthy would you consider them as a romantic partner?

- (1)	☐ Extremely untrustworthy (1)	☐ Untrustworthy (2)	☐ Somewhat untrustworthy (3)	☐ Neither trustworthy nor untrustworthy (4)	☐ Somewhat trustworthy (5)
					☐ Trustworthy (6)
					☐ Extremely trustworthy (7)

Q121 How likely do you think they are to cheat on you?

- (1)	☐ Extremely not likely (1)	☐ Not likely (2)	☐ Somewhat not likely (3)	☐ Neither likely nor not likely (4)	☐ Somewhat likely (5)
					☐ Likely (6)
					☐ Extremely likely (7)

Q122 Would you want to continue your relationship with them in the future?

- (1)	☐ Definitely no (1)	☐ No (2)	☐ Probably no (3)	☐ Neutral (4)	☐ Probably yes (5)
					☐ Yes (6)
					☐ Definitely yes (7)

Q123 If your partner acted in this way, how would other people around you feel?

☐ Extremely uncomfortable (1)	☐ Uncomfortable (2)	☐ Somewhat uncomfortable (3)	☐ Neither comfortable nor uncomfortable (4)	☐ Somewhat comfortable (5)	☐ Comfortable (6)	☐ Extremely comfortable (7)

Q116 Your romantic partner declined your request because they had already made arrangements with their friends.

Q123 How happy would you feel?

☐ Extremely unhappy (1)	☐ Unhappy (2)	☐ Somewhat unhappy (3)	☐ Neither happy nor unhappy (4)	☐ Somewhat happy (5)	☐ Happy (6)	☐ Extremely happy (7)

Q124 How attractive would you consider them as a romantic partner?

☐ Extremely unattractive (1)	☐ Unattractive (2)	☐ Somewhat unattractive (3)	☐ Neither attractive nor unattractive (4)	☐ Somewhat attractive (5)	☐ Attractive (6)	☐ Extremely attractive (7)

Q125 How trustworthy would you consider them as a romantic partner?

☐ Extremely untrustworthy (1)	☐ Untrustworthy (2)	☐ Somewhat untrustworthy (3)	☐ Neither trustworthy nor untrustworthy (4)	☐ Somewhat trustworthy (5)	☐ Trustworthy (6)	☐ Extremely trustworthy (7)

Q126 How likely do you think they are to cheat on you?

☐ Extremely unlikely (1)	☐ Not likely (2)	☐ Somewhat not likely (3)	☐ Neither likely nor not likely (4)	☐ Somewhat likely (5)	☐ Likely (6)	☐ Extremely likely (7)

Q127 Would you want to continue your relationship with them in the future?

☐ Definitely no (1)	☐ No (2)	☐ Probably no (3)	☐ Neutral (4)	☐ Probably yes (5)	☐ Yes (6)	☐ Definitely yes (7)

Q128 If your partner acted in this way, how would other people around you feel?

☐ Extremely uncomfortable (1)	☐ Uncomfortable (2)	☐ Somewhat uncomfortable (3)	☐ Neither comfortable nor uncomfortable (4)	☐ Somewhat comfortable (5)	☐ Comfortable (6)	☐ Extremely comfortable (7)

- Q117 In a situation where you had already made arrangements with your friends, but you were asked on a date on the same day by your romantic partner, what would you do? Please choose the option below that most applies to how you would act.
- ☐ Cancel my previous arrangements with my friends to give priority to go on a date with my romantic partner. (1)
 - ☐ Decline my romantic partner's request because I already have arrangements with my friends. (2)

Q15 Regardless of your own sexual orientation, we would like to ask you about heterosexual relationships in general. How much do you feel the following statements accurately describe heterosexual romantic relationships among people around you (i.e., their romantic partners and potential romantic partners)? Regarding those people around you, please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree 2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree 4 (4)	Agree 5 (5)	Strongly agree 6 (6)
They (the people around you) have many chances to get to know someone who might become a future romantic partner. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Their current or potential romantic partners match their own preferences. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
There are few opportunities for them to find new romantic partners. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
If they were not satisfied with their current romantic relationship, they could easily end it. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
It is often the case that they cannot freely choose their romantic partners. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Even if they were not satisfied with their current romantic relationship, they would often have no choice but to stay in it. (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q.17 How many new people of the opposite-sex have you met during the following periods? *Please enter 0 if you met no one.

In the past week (7 days) (1)

In the past month (30 days) (2)

In the past three months (90 days) (3)

Q.143 How much do the following statements accurately describe romantic relationships of people in the society in which you live? Please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements regarding those relationships.

Note: In the following statements, the word 'attractive' appears. By attractive, we not only mean physical attractiveness, but also attractiveness in a holistic sense that includes the person's personality, finances, social power, etc.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree e2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree 4 (4)	Agree 5 (5)	Strongly agree 6 (6)
If they didn't show their romantic partner enough attention, their romantic partner would break up with them in order to start dating someone more attractive. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Even if the person they liked had a romantic partner, they would approach that person they liked. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
If they met someone more attractive than their current romantic partner, they would break off their existing relationship, and attempt to get into a relationship with that alternative person. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
In order to date an attractive person, they themselves must also be an attractive person. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
In order to date an attractive person, they need to put in a great deal of effort. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Once in a relationship, unless they do something overly terrible to their partner, their relationships rarely break up. (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q129 Next we will ask you about marital relationships. How much do the following statements accurately describe romantic relationships of people in the society in which you live? Please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements regarding those relationships. Note: In the following statements, the word 'attractive' appears. By attractive, we not only mean physical attractiveness, but also attractiveness in a holistic sense that includes the person's personality, finances, social power, etc.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree 2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree 4 (4)	Agree 5 (5)	Strongly agree 6 (6)
If they didn't show their spouse enough attention, their spouse would break up with them in order to start dating someone more attractive. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Even if the person they liked was married, they would approach that person they liked. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
If they met someone more attractive than their current spouse, they would split up with their spouse, and attempt to get into a relationship with that alternative person. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
In order to marry an attractive person, they themselves must also be an attractive person. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
In order to marry an attractive person, they need to put in a great deal of effort. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Once married, unless they do something overly terrible to their partner, their relationships rarely break up. (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q133 Many people look at specific characteristics in choosing their potential marriage partners. Some common desirable traits include: being socially exciting, age, being physically attractive, having a good sense of humor, being kind and understanding, having good financial/professional status, being of high intelligence, being in good health, and liking children.

Q134 Overall, how would you rate your level of desirability as a partner on the following scale?

- ☐ Extremely undesirable 1 (1)
- ☐ 2 (2)
- ☐ 3 (3)
- ☐ 4 (4)
- ☐ 5 (5)
- ☐ 6 (6)
- ☐ Extremely desirable 7 (7)

Q134 Overall, how would members of the opposite sex rate your level of desirability as a partner on the following scale?

- ☐ Extremely undesirable 1 (1)
- ☐ 2 (2)
- ☐ 3 (3)
- ☐ 4 (4)
- ☐ 5 (5)
- ☐ 6 (6)
- ☐ Extremely desirable 7 (7)

Q135 Overall, how do you believe you compare to other people in desirability as a partner on the following scale?

- ☐ Very much lower than average1 (1)
- ☐ Lower than average2 (2)
- ☐ Slightly lower than average3 (3)
- ☐ Average4 (4)
- ☐ Slightly higher than average5 (5)
- ☐ Higher than average6 (6)
- ☐ Very much higher than average7 (7)

Q136 Overall, how good of a catch are you?

- ☐ Very bad catch1 (1)
- ☐ Bad catch2 (2)
- ☐ Somewhat bad catch3 (3)
- ☐ Average catch4 (4)
- ☐ Somewhat good catch5 (5)
- ☐ Good catch6 (6)
- ☐ Very good catch7 (7)

Q20 We will now ask you about your current self.

Q21 Are you currently married?

- ☐ Not married (1)
- ☐ Married (2)

Q22 What is your current relationship status?

- ☐ Not currently in a relationship (1)
- ☐ Engaged (2)
- ☐ Exclusively dating (3)
- ☐ Casually dating with a single partner (4)
- ☐ Casually dating with multiple partners (5)

Q23 How many opposite-sex partners have you dated with throughout your life?

Please enter your response using numerals. *If you're currently in a relationship, please include your current romantic partner or husband/wife.

Q24 Please enter the initial of your current romantic partner. If you are married, please enter the initial of your spouse. * If you are casually dating with multiple partners, please imagine the closest person. * The initial of your romantic partner will only be used in the questions which follow; it will not be used to identify him/her. NOTE: * A response is required here in order to proceed. *If you absolutely do not want to enter the initial of your romantic partner, please enter "my romantic partner" in the box. e.g., John Smith → JS, John

Q29 We would like to know how passionate you feel toward

"\$(q:/QID24/ChoiceTextEntryValue)". Some common terms for passionate love are romantic love, infatuation, love sickness, or obsessive love.

Q31 Please choose the option that best describes your thoughts.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree 2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree 4 (4)	Agree 5 (5)	Strongly agree 6 (6)
I would feel deep despair if \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue} left me. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Sometimes I feel I can't control my thoughts, they are obsessively on \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I feel happy when I am doing something to make \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue} happy. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would rather be with \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue} than anyone else. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I'd get jealous if I thought \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue} were falling in love with someone else. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I yearn to know all about \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}. (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I want \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue} physically, emotionally, mentally. (7)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I have an endless appetite for affection from \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}. (8)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
For me, \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue} is the perfect romantic partner. (9)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I sense my body responding when \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue} touches me. (10)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

\${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue} always seems to be on my mind. (11)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I want \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue} to know me- my thoughts, my fears, and my hopes. (12)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I eagerly look for signs indicating \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}'s desire for me. (13)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I possess a powerful attraction for \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}. (14)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I get extremely depressed when things don't go right in my relationship with \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}. (15)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q131 Please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree 2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree 4 (4)	Agree 5 (5)	Strongly agree 6 (6)
I'd rather depend on myself than others. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I rely on myself most of the time; I rarely rely on others. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I often do "my own thing". (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
My personal identity, independent of others, is very important to me. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
It is important that I do my job better than others. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Winning is everything. (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Competition is the law of nature. (7)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
When another person does better than I do, I get tense and aroused. (8)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
If a coworker gets a prize, I would feel proud. (9)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
The well-being of my coworkers is important to me. (10)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
To me, pleasure is spending time with others. (11)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I feel good when I cooperate with others. (12)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Parents and children must stay together as much as possible. (13)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
It is my duty to take care of my family, even when I have to sacrifice what I want. (14)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Family members should stick together, no matter what sacrifices are required. (15)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
It is important to me that I respect the decisions made by my groups. (16)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q22 To end the questionnaire, we will now ask you some questions about yourself.

Q24 How old are you? (Please answer in numerals)

Q26 What is your nationality?

- ☐ Japan (1)
☐ US (2)
☐ Other (3) _____

Q28 What is your highest level of education?

- ☐ Middle school or earlier (1)
☐ High school or equivalency (2)
☐ Junior college/trade school (3)
☐ 4 year College/ University (4)
☐ Graduate degree- Masters (5)
☐ Graduate degree – Doctoral (6)

Q30 Was English the first language you learned?

- ☐ Yes (1)
☐ No (2)

Q32 Which of the following best represents your racial or ethnic heritage? Choose all that apply:

- ☐ Non-Hispanic White or Euro-American (1)
- ☐ Black, Afro-Caribbean, or African American (2)
- ☐ Latino or Hispanic American (3)
- ☐ East Asian or Asian American (4)
- ☐ South Asian or Indian American (5)
- ☐ Middle Eastern or Arab American (6)
- ☐ Native American or Alaskan Native (7)
- ☐ Hawaiian or Other Pacific Islander (8)
- ☐ Other: please specify (9) _____

Q34 What sort of area did you grow up in? Please select the choice that best describes the place where you grew up:

- ☐ Urban area (1)
- ☐ Suburban area (2)
- ☐ Rural area (3)

Q36 How many times after the age of 5 have you moved to a totally new neighborhood or town?

Q38 Please select the choice that best represents your employment status:

- ☐ Employed full time (1)
- ☐ Part-time job (2)
- ☐ Self-employed (3)
- ☐ Out of work for more than 1 year (4)
- ☐ Out of work for less than 1 year (5)
- ☐ A homemaker (6)
- ☐ A student (7)
- ☐ Retired (8)
- ☐ Unable to work (9)

Q40 How would you rate your annual household income?

- ☐ Low1 (1)
- ☐ 2 (2)
- ☐ Middle3 (3)
- ☐ 4 (4)
- ☐ High5 (5)

Q42 Have you ever lived overseas (outside the United States)?

- ☐ Yes (1)
- ☐ No (2)

Q144 If you have lived overseas, please specify the countries and the number of years have lived in each country.

	Country (1)	Year (2)
country, year (1)		
country, year (2)		
country, year (3)		
country, year (4)		

付録 5：研究 1-2b. 質問紙 (日本語)

Q8 この度は調査にご協力いただきありがとうございます。この調査は、恋愛関係におけるあなたの考えや行動に関するものです。調査項目の中には、あなたの現在の交際状況や、過去の交際経験に関する質問も含まれます。全ての回答は匿名の情報としてコンピュータで統計的に処理され、研究目的の以外で使用されることはありません。どうぞご安心のうえ、正直なご回答をお願いします。

※回答の際には、ブラウザを全画面表示にしてご回答ください。

－回答上の注意－

- あなたの意見や考えを尋ねる質問には、特定の正解はありません。あまり深く考えずに、頭に浮かんだことを率直にお答えください。
 - 同じような質問が繰り返されていると感ずることがあるかもしれませんが、どの質問も必要かつ重要です。全ての質問には順番通りに答え、一度答えた質問をあとから直さないでください。
 - ブラウザの「戻る」ボタンは押さないでください。ブラウザの「戻る」ボタンを押すと、回答が正しく保存されません。また、キーボードの「Backspace」キーも、テキストボックスに入力した文章を修正するとき以外は押さないでください。エラーが発生することがあります
- 以上の注意を確認したら、下のボタンを押して回答を始めてください。

Q142 まず、あなた自身について、いくつかおたずねします。

Q11 性別

- ☐ 男性 (1)
- ☐ 女性 (2)

Q13 あなたが普段好きになったり、性的魅力を感じたりする相手を次の選択肢から選んでください。

- ☐ 異性の人 (1)
- ☐ 同性の人 (2)
- ☐ その時々で、性別は関係ない (3)

Q26 ソーシャルネットワーキングサービス **Facebook** のユーザーの中には、現在の自分の交際ステータス（※現在誰かと交際または結婚しているか、また、している場合は相手は誰かなど）を公表している人と、公表していない人がいます。なお、この交際ステータスは、初期設定では表示されません。交際状況を表示するには、ユーザー自身が設定を変更する必要があります。 さてここで、あなたに恋人ができたとしてもいあなたの恋人が、次のように振る舞った場合、あなたはどのように感じるでしょうか。それぞれの場面の後に続く質問に答えてください。

Q27 あなたの恋人は、あなたと交際を始めた後、交際ステータスを、何も表示しない状態から「交際中」に変え、交際相手としてあなたを指定しました。この結果、あなたの名前と写真が恋人のプロフィール内に表示されることになり、その人の **Facebook** 上の「友達」に、あなたが交際相手であることがわかるようになりました。

Q29 あなたはどの程度嬉しいと感じますか？

(1)	☐ 全く嬉しくない (1)	☐ 嬉しくない (2)	☐ あまり嬉しくない (3)	☐ どちらでもない (4)	☐ 少し嬉しい (5)	☐ 非常に嬉しい (7)

Q32 あなたの恋人は、交際相手としてどの程度魅力的だと思いますか？

(1)	☐ 全く魅力的でない (1)	☐ 魅力的でない (2)	☐ どちらかといえば魅力的でない (3)	☐ どちらかといえば魅力的 (4)	☐ 魅力的 (6)	☐ 非常に魅力的 (7)

Q34 あなたの恋人は、交際相手としてどの程度信頼できていると思いますか？

	☐ 全く信頼できない (1)	☐ 信頼できない (2)	☐ どちらかといえば信頼できない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば信頼できる (5)	☐ 非常に信頼できる (7)
. (1)						

Q35 あなたの恋人は、どの程度浮気しそうだと思いますか？

	☐ 全く浮気しそうにない (1)	☐ 浮気しそうにない (2)	☐ どちらかといえば浮気しそうにない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば浮気しそう (5)	☐ 非常に浮気しそう (7)
. (1)						

Q36 あなたは、今後も恋人関係を続けていきたいと思いますか？

	☐ 絶対に関係を続けたくない (1)	☐ 関係を続けたくない (2)	☐ どちらかといえば関係を続けたくない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば関係を続けたい (5)	☐ 絶対に関係を続けたい (7)
. (1)						

Q38 あなたの恋人がこのような行動をとった場合、あなたの周囲にいるその他の人々はどう感じていると思いますか？

	☐ 非常に不快に思う (1)	☐ 不快に思う (2)	☐ どちらかといえば不快に思う (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば快く思う (5)	☐ 非常に快く思う (7)
. (1)						

Q40 あなたの恋人は、あなたと交際を始めた後、交際ステータスを、何も表示しない状態から「交際中」に変えました。しかし、交際相手が誰であるかは指定しませんでした。

Q41 あなたはどの程度嬉しいと感じますか？

	☐ 全く嬉しくない (1)	☐ 嬉しくない (2)	☐ あまり嬉しくない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ 少し嬉しい (5)	☐ 非常に嬉しい (7)
. (1)						

Q42 あなたの恋人は、交際相手としてどの程度魅力的だと思いますか？

	☐ 全く魅力的でない (1)	☐ 魅力的でない (2)	☐ どちらかといえば魅力的でない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば魅力的 (5)	☐ 非常に魅力的 (7)
. (1)						

Q43 あなたの恋人は、交際相手としてどの程度信頼できると思いますか？

☐ 全く信頼できない (1)	☐ 信頼できない (2)	☐ どちらかといえば信頼できない (3)	☐ どちらかともいえない (4)	☐ どちらかといえば信頼できる (5)	☐ 非常に信頼できる (7)
. (1)					

Q44 あなたの恋人は、どの程度浮気しそうだと思いますか？

☐ 全く浮気しそうにない (1)	☐ 浮気しそうにない (2)	☐ どちらかといえば浮気しそうにない (3)	☐ どちらかともいえない (4)	☐ どちらかといえば浮気しそう (5)	☐ 非常に浮気しそう (7)
. (1)					

Q45 あなたは、今後も恋人関係を続けていきたいと思いますか？

☐ 絶対に関係を続けたくない (1)	☐ 関係を続けたくない (2)	☐ どちらかといえば関係を続けたくない (3)	☐ どちらかともいえない (4)	☐ どちらかといえば関係を続けたい (5)	☐ 絶対に関係を続けたい (7)
. (1)					

Q49 あなたの恋人がこのような行動をとった場合、あなたの周囲にいるその他の人々はどう感じると思いますか？

☐ 非常に不快に思う (1)	☐ 不快に思う (2)	☐ どちらかといえば不快に思う (3)	☐ どちらかともいえない (4)	☐ どちらかといえば快く思う (5)	☐ 非常に快く思う (7)
. (1)					

Q46 あなたの恋人は、あなたと交際を始めた後も、交際ステータスは何も表示しない初期設定のままにしています。

Q50 あなたはどの程度嬉しいと感じますか？

☐ 全く嬉しくない (1)	☐ 嬉しくない (2)	☐ あまり嬉しくない (3)	☐ どちらかともいえない (4)	☐ 少し嬉しい (5)	☐ 非常に嬉しい (7)
. (1)					

Q51 あなたの恋人は、交際相手としてどの程度魅力的だと思いますか？

☐ 全く魅力的でない (1)	☐ 魅力的でない (2)	☐ どちらかといえば魅力的でない (3)	☐ どちらかともいえない (4)	☐ どちらかといえば魅力的 (5)	☐ 非常に魅力的 (7)
. (1)					

Q52 あなたの恋人は、交際相手としてどの程度信頼できると思いますか？

	☐ 全く信頼できない (1)	☐ 信頼できない (2)	☐ どちらかといえば信頼できない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば信頼できる (5)	☐ 非常に信頼できる (7)
. (1)						

Q53 あなたの恋人は、どの程度浮気しそうだと思いますか？

	☐ 全く浮気しそうにない (1)	☐ 浮気しそうにない (2)	☐ どちらかといえば浮気しない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば浮気しそう (5)	☐ 非常に浮気しそう (7)
. (1)						

Q54 あなたは、今後も恋人関係を続けていきたいと思いますか？

	☐ 絶対に関係を続けたくない (1)	☐ 関係を続けたくない (2)	☐ どちらかといえば関係を続けたくない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば関係を続けたい (5)	☐ 絶対に関係を続けたい (7)
. (1)						

Q55 あなたの恋人がこのような行動をとった場合、あなたの周囲にいるその他の人々はどうに感じると思いますか？

	☐ 非常に不快に思う (1)	☐ 不快に思う (2)	☐ どちらかといえば不快に思う (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば快く思う (5)	☐ 非常に快く思う (7)
. (1)						

Q48 もしあなた自身だったら、恋人と交際を始めた後に、どのように行動しますか？
当てはまるものを一つ選んでください。

- ☐ 交際ステータスを、何も表示しない初期設定から「交際中」に変え、自分のプロフィールに、恋人の名前とプロフィール写真が表示されるように設定を変更する。(1)
- ☐ 交際ステータスを、何も表示しない初期設定から「交際中」に変えるが、恋人の名前やプロフィール写真は指定しない。(2)
- ☐ 交際ステータスを、何も表示しない初期設定のまま変更しない。(3)

Q96 LINE、Facebook、Twitterなどのソーシャルネットワーキングサービス (SNS) では、ユーザーは、自身のプロフィールとして表示される写真やイラストを選択することができます。どのような写真やイラストを表示するかは、ユーザー自身の選択に任されています。さてここで、あなたに恋人ができたとして、あなたの恋人は、あなたと付き合い以前は、自分の顔写真をプロフィールアイコンにしていました。もしもあなたの恋人が、あなたとつきあい始めた後に次のように振る舞った場合、あなたはどのように感じるでしょうか。それぞれの場面の後に続く質問に答えてください。

Q104 あなたの恋人は、あなたとのツーショット写真を自分のアイコンに設定しました。

Q97 あなたはどの程度嬉しいと感じますか？

☐ 全く嬉しくない (1)	☐ 嬉しくない (2)	☐ あまり嬉しくない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ 少し嬉しい (5)	☐ 嬉しい (6)	☐ 非常に嬉しい (7)

Q98 あなたは、交際相手としてどの程度魅力的だと思いますか？

☐ 全く魅力的でない (1)	☐ 魅力的でない (2)	☐ どちらかといえば魅力的でない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば魅力的 (5)	☐ 魅力的 (6)	☐ 非常に魅力的 (7)

Q99 あなたは、交際相手としてどの程度信頼できると思いますか？

☐ 全く信頼できない (1)	☐ 信頼できない (2)	☐ どちらかといえば信頼できない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば信頼できる (5)	☐ 信頼できる (6)	☐ 非常に信頼できる (7)

Q100 あなたの恋人は、どの程度浮気しそうだと思いますか？

☐ 全く浮気しない (1)	☐ 浮気しない (2)	☐ どちらかといえば浮気しない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば浮気しそう (5)	☐ 浮気しそう (6)	☐ 非常に浮気しそう (7)

Q101 あなたは、今後も恋人関係を続けていきたいと思いますか？

☐ 絶対に関係を続けたくない (1)	☐ 関係を続けない (2)	☐ どちらかといえば関係を続けない (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば関係を続けたい (5)	☐ 関係を続けていきたい (6)	☐ 絶対に関係を続けていきたい (7)

Q102 あなたの恋人がこのような行動をとった場合、あなたの周囲にいる他の人々はどのように感じると思いますか？

☐ 非常に不快に思う (1)	☐ 不快に思う (2)	☐ どちらかといえば不快に思う (3)	☐ どちらともいえない (4)	☐ どちらかといえば快く思う (5)	☐ 快く思う (6)	☐ 非常に快く思う (7)

Q105 あなたの恋人は、アイコンを、以前設定した自分の写真のままにしています。

Q106 あなたはどの程度嬉しいと感じますか？

	☐ 全く嬉しくない	☐ 嬉しくない	☐ あまり嬉しくない	☐ どちらともいえない	☐ 少し嬉しい	☐ 非常に嬉しい
.(1)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(7)

Q108 あなたの恋人は、交際相手としてどの程度魅力的だと思いますか？

	☐ 全く魅力的でない	☐ 魅力的でない	☐ どちらかといえば魅力的でない	☐ どちらともいえない	☐ どちらかといえば魅力的	☐ 非常に魅力的
.(1)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(7)

Q109 あなたの恋人は、交際相手としてどの程度信頼できると思いますか？

	☐ 全く信頼できない	☐ 信頼できない	☐ どちらかといえば信頼できない	☐ どちらともいえない	☐ どちらかといえば信頼できる	☐ 非常に信頼できる
.(1)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(7)

Q110 あなたの恋人は、どの程度浮気しそうだと思いますか？

	☐ 全く浮気しない	☐ 浮気しない	☐ どちらかといえば浮気しない	☐ どちらともいえない	☐ どちらかといえば浮気する	☐ 絶対に浮気する
.(1)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(7)

Q111 あなたは、今後も恋人関係を続けていきたいと思いますか？

	☐ 絶対に関係を続けたくない	☐ 関係を続けない	☐ どちらかとう関係を続けない	☐ どちらともいえない	☐ どちらかといえば関係を続けていきたい	☐ 絶対に関係を続けていきたい
.(1)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(7)

Q112 あなたの恋人がこのような行動をとった場合、あなたの周囲にいるその他の人々はどのように感じると思いますか？

	☐ 非常に不快に思う	☐ 不快に思う	☐ どちらかといえば不快に思う	☐ どちらともいえない	☐ どちらかといえば快く思う	☐ 非常に快く思う
.(1)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(7)

Q113 あなた自身がこのような状況におかれたとしたら、SNSのアイコンをどのよう
に設定しますか？当てはまるものを一つ選んでください。

- ☐ 恋人とのツーショット写真に変更する。(1)
☐ 自分の写真のまま。(2)

Q15 あなたが普段好きになったり性的に魅力的だと感じたりする対象（相手）に関わ
らず、あなたの周囲にいる人々の異性関係（恋人や恋愛対象の異性など）についてお
たずねします。次のそれぞれの文が、それらの人々に全体としてどれくらい当てはま
るかを、想像してお答えください。

	全く 当ては まらな い (1)	当ては まらな い 2 (2)	あま り当 てはま らな い 3 (3)	少し 当て はま る 4 (4)	当て はま る 5 (5)	非常 に当 ては まる 6 (6)
彼ら（あなたの周囲にいる人々）に は、将来恋人になるかもしれない異性 と新しく知り合いになる機会がたくさ んある。(1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らは、自分の好みにぴったりの相手 と、異性として付き合うことができる いる。(2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らには、新しい恋人を見つける機会 がありません。(3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
もし現在の恋愛関係に満足していな ければ、彼らはその関係を簡単に解消す ることができる。(4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らには、恋人として付き合う異性を 自由に選べないことがよくある。(5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
たとえ現在の恋愛関係に満足していな くても、彼らはそこに留まり続けるし かないことがよくある。(6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q17 以下の期間中に、あなたが新しく知り合った異性は何人いますか？おおよその人
数を半角数字でご入力ください。（誰もいない場合は“0”と入力してください。）

- 過去 1 週間 (7 日間) (1)
過去 1 か月間 (30 日間) (2)
過去 3 か月間 (90 日間) (3)

Q143 次の文章は、あなたと同じ社会に暮らしている人々の恋人関係にどの程度当て
はまりますか？それぞれの文章がそれらの関係にどのくらい当てはまるかについて、
もっとも適当な選択肢を選んでください。注：「魅力的」という語が出てくることが
ありますが、ここでの「魅力的」という語は、外見的魅力だけでなく、性格や経済
力、あるいは社会的地位など、様々な側面の魅力を含んでいます。

	全く 当て はま らな い 1 (1)	当て はま らな い 2 (2)	あま り当 てはま らな い 3 (3)	少し 当て はま る 4 (4)	当て はま る 5 (5)	非常 に当 ては まる 6 (6)
恋人への配慮を怠っていると、恋人は、 より魅力的な相手と付き合うために、彼 らとは別れてしまうだろう。(1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らは、好きになった相手が他の相手と 交際していても、構わずアプローチす る。(2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らは、もし現在の恋人よりも魅力的な 相手が現れたら、恋人とは別れて、その 相手と付き合おうとする。(3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
魅力的な相手と付き合うためには、彼ら 自身も魅力的な人物でなければならな い。(4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
魅力的な相手と付き合うためには、多大 な努力が必要だ。(5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
一度恋人関係になったら、よほどの酷い ことをしない限り相手に捨てられること はない。(6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q129 次に、配偶関係（夫婦関係）についておたずねします。次の文章は、あなたと同じ社会に暮らしている人々の配偶関係（夫婦関係）にどの程度当てはまりますか？ それぞれの文章がそれらの関係にどのくらい当てはまるかについて、もっとも適当な選択肢を選んでください。注：「魅力的」という語が出てくるがありますが、ここでの「魅力的」という語は、外見的な魅力だけでなく、性格や経済力、あるいは社会的な地位など、様々な側面の魅力を含んでいます。

	全く当てはまらない1 (1)	当てはまらないう2 (2)	あまり当てはまらない3 (3)	少し当てはまる4 (4)	当てはまる5 (5)	非常に当てはまる6 (6)
配偶者への配慮を怠っていると、配偶者は、より魅力的な相手と付き合うために、彼らとは別れてしまうだろう。(1)	○	○	○	○	○	○
彼らは、好きになった相手が他の相手と結婚していても、構わずアプローチする。(2)	○	○	○	○	○	○
彼らは、もし現在の配偶者よりも魅力的な相手が現れたら、配偶者とは別れて、その相手と付き合い合おうとする。(3)	○	○	○	○	○	○
魅力的な相手と結婚するためには、彼ら自身も魅力的な人物でなければならない。(4)	○	○	○	○	○	○
魅力的な相手と結婚するためには、多大な努力が必要だ。(5)	○	○	○	○	○	○
一度結婚したら、よほどの酷いことをしない限り相手に離婚されることはない。(6)	○	○	○	○	○	○

Q133 人々の多くは、将来結婚するかもしれない相手を探すときに、特定のある性質に注目します。いくつかの望ましい特性の中には次のようなものがあります：楽しい人物かどうかや、年齢、身体的な魅力、ユーモアのセンスがあるかどうか、親切で理解のある人か、経済的または社会的に地位のある人か、知的か、健康か、そして子供が好きか、などです。

Q132 全体的にみて、あなたは自分自身が恋人としてどの程度魅力的だと思いますか？

- 非常に魅力的でない1 (1)
○ 2 (2)
○ 3 (3)
○ 4 (4)
○ 5 (5)
○ 6 (6)
○ 非常に魅力的7 (7)

Q134 全体的にみて、異性はあなたのことをどの程度恋人として魅力的だと評価すると思いますか？

- 非常に魅力的でない1 (1)
○ 2 (2)
○ 3 (3)
○ 4 (4)
○ 5 (5)
○ 6 (6)
○ 非常に魅力的7 (7)

Q135 全体的にみて、同性の他の人たちと比べた時に、あなたは自分自身が恋人としてどの程度魅力的だと思いますか？

- 平均より非常に低い1 (1)
○ 平均より低い2 (2)
○ 平均より少し低い3 (3)
○ 平均的4 (4)
○ 平均より少し高い5 (5)
○ 平均より高い6 (6)
○ 平均より非常に高い7 (7)

Q136 全体的にみて、あなたはどの程度異性の目に留まると思いますか？

- ☐ 全く目に留まらない **1 (1)**
- ☐ 目に留まらない **2 (2)**
- ☐ あまり目に留まらない **3 (3)**
- ☐ 平均的 **4 (4)**
- ☐ 少し目に留まる **5 (5)**
- ☐ 目に留まる **6 (6)**
- ☐ 非常に目に留まる **7 (7)**

Q20 現在のあなた自身についておたずねします。

Q21 現在ご結婚されていますか？

- ☐ 独身 **(1)**
- ☐ 既婚 **(2)**

Q22 先ほど、「独身」を選んだ方におたずねします。 あなたの現在の交際状況をお答えください。

- ☐ 誰とも交際していない **(1)**
- ☐ 婚約している **(2)**
- ☐ 特定の相手 (1人) と交際している **(3)**
- ☐ 特定の相手 (1人) と二人きりで出かけたり食事に行ったりしている **(4)**
- ☐ 複数の相手と、それぞれ二人きりで出かけたり食事に行ったりしている **(5)**

Q23 あなたは、これまでに何人の異性と付き合った (告白などを通して恋人関係になった) ことがありますか？ 現在恋人がいる方や、すでにご結婚されている方は、現在の恋人や夫／妻を含めた人数を半角数字で入力してください。

Q24 現在交際している相手のイニシャルを入力してください。現在ご結婚されている方は、配偶者 (夫／妻) のイニシャルを入力してください。 ※複数の相手と、それぞれ二人きりで出かけたり食事に行ったりしている、と回答した方は、そのなかでもっとも親しい人 (1名のみ) についてお答えください。 ※ご回答いただいたイニシャル

は、後の質問で用いるためのものであり、個人を特定するものではありません。 (注) アンケートの仕様上、この質問に回答しないと次の質問に進むことができません。必ず何かしらの回答を記入してくださいようお願いします。どうしてもイニシャルを回答したくない場合は、「恋人」と入力してください。 例：山田太郎さん → **TY**, 太郎

Q29 あなたが現在、「\${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}」さんに対してどのくらい情熱的な愛を感じているかについておたずねします。 ここでいう「情熱的な愛」とは、いわゆる「ロマンチック」な気持ちや、相手に夢中になってしまっている状態を指します。

Q31 以下のそれぞれの記事について、もっとも適切な選択肢を選んでください。

	全く当てはまらない(1)	当てはまらない(2)	あまり当てはまらない(3)	少し当てはまる(4)	当てはまる(5)	非常に当てはまる(6)
もし\${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}が私から離れていったら、私は深く絶望するだろう。(1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は時々、 \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}のことをばかり考えてしまい、自分の考えをコントロールできなくなってしまうように感じる。(2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
\${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}が幸せな気持ちになるようなことをしてあげているときに、自分自身も幸せだと感じる。(3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は他の誰かと一緒にいるよりも、 \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}と一緒にいたい。(4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
\${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}が自分以外の誰かと恋に落ちたことを想像するだけで、私はきつと嫉妬してしまうだろう。(5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
\${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}のすべてを知りたいと思う。(6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は、身も心も \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}を求めている。(7)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私はいつも、 \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}からの愛を際限（さいげん）なく求めています。(8)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私にとって、 \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}は完璧な恋人だ。(9)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
\${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}に触れられると、身体が反応するのを感じる。(10)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

\${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}のことがいつも頭から離れないようだ。(11)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
\${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}に、私の考えていることや思っていること、望んでいることなど、私のすべてを知って欲しい。(12)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は普段から、 \${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}が私を熱く求めているサインを見逃さないよう重々気をつけている。(13)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は\${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}の魅力に強く惹（ひ）かれている。(14)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
\${q:/QID24/ChoiceTextEntryValue}との関係がうまくいかないと、私はひどく落ち込んでしまう。(15)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q131 次のそれぞれの文が、あなた自身にどの程度当てはまるかお答えください。

	全く当てはまらない (1)	当てはまらない (2)	あまり当てはまらない (3)	少し当てはまる (4)	当てはまる (5)	非常に当てはまる (6)
物事を他人に頼るくらいなら、いっそ自分でやる方がまだ。(1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私はほとんどいつも自分自身をあてにしており、他人にはめったに頼らない。(2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私はよく自分の好きなように行動する。(3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私にとって、他者から独立した自分らしさをもっていることは非常に大切だ。(4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
他の人よりうまく仕事をこなすことは、私にとって重要だ。(5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
勝つことがすべてだ。(6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
競争は自然の摂理だ。(7)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
他の人が自分よりも物事をうまくやれたとき、私は緊張してイライラする。(8)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
もしいっしょに働いている仲間が賞を獲ったら、私はそれを誇りに思うだろう。(9)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
いっしょに働く仲間の幸福は、私にとって重要だ。(10)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私にとつての喜びとは、他の人々と時間を過ごすことだ。(11)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
誰かと協力しているとき、私は心地よく感じる。(12)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
親と子供は出来る限り一緒にいなければならない。(13)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
たとえやりたいことを犠牲にしても家族を養っていくのが私の義務だ。(14)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
たとえどんな犠牲が必要でも、家族は一緒にいるべきだ。(15)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
集団が下した決定を尊重することは、私にとって重要だ。(16)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q22 最後に、あなた自身についておたずねします。

Q24 あなたの年齢は？（半角数字で入力してください）

Q26 あなたの国籍は？

- ☐ 日本 (1)
- ☐ アメリカ (2)
- ☐ それ以外の国（下の空欄に国名を入力してください） (3) _____

Q28 あなたの最終学歴は？

- ☐ 中学、もしくはそれ以前 (1)
- ☐ 高校／高卒認定 (2)
- ☐ 短大・高専 (3)
- ☐ 4 年制大学 (4)
- ☐ 大学院修士課程 (5)
- ☐ 大学院博士課程 (6)

Q30 あなたの母語（もっともうまく話すことができる言語）は日本語ですか？

- ☐ はい (1)
- ☐ いいえ (2)

- Q32 Which of the following best represents your racial or ethnic heritage? Choose all that apply:
- ☐ Non-Hispanic White or Euro-American (1)
 - ☐ Black, Afro-Caribbean, or African American (2)
 - ☐ Latino or Hispanic American (3)
 - ☐ East Asian or Asian American (4)
 - ☐ South Asian or Indian American (5)
 - ☐ Middle Eastern or Arab American (6)
 - ☐ Native American or Alaskan Native (7)
 - ☐ Hawaiian or Other Pacific Islander (8)
 - ☐ Other: please specify (9) _____
- Q34 あなたの出身地をもっともよく表しているものの一つを選んでください。 ※大都市＝東京や政令指定都市、中都市＝15万人以上の市、小都市＝15万人以下の市
- ☐ 大都市 (1)
 - ☐ 中都市 (2)
 - ☐ 小都市 (3)
- Q36 5歳以降で、新しい地域や別の市町村に引っ越したことは合計何回ありますか？
(半角数字で入力してください)

- Q38 あなたの雇用状況について、もっともよく当てはまるものを選んでください。
- ☐ 正規雇用 (1)
 - ☐ アルバイト・派遣社員 (2)
 - ☐ 自営業 (3)
 - ☐ 失業して1年以上 (4)
 - ☐ 失業して1年以内 (5)
 - ☐ 主婦／主夫 (6)
 - ☐ 学生 (7)
 - ☐ 退職 (8)
 - ☐ 労働が困難な状況にある (9)
- Q40 あなたの世帯年収について、もっともよく当てはまるものを選んでください。
- ☐ 低い 1 (1)
 - ☐ 2 (2)
 - ☐ 中程度 3 (3)
 - ☐ 4 (4)
 - ☐ 高い 5 (5)
- Q42 これまでに海外に住んだことはありますか？
- ☐ はい (1)
 - ☐ いいえ (2)

Q143 上記の質問で「はい」と答えた方は、国名（複数回答可）とその居住総年数をお書きください。

	国名 (1)	年数 (2)
国名・年数 (例：アメリカ 2年) (1)		
国名・年数 (2)		
国名・年数 (3)		
国名・年数 (4)		

付録 6：研究 1-2b. 質問紙 (英語)

Q8 Thank you for agreeing to participate in this study. This study is about your thoughts and behaviors in your romantic relationships. All the responses to the questionnaire will be kept anonymously and handled statistically. Your responses will be only used for research purposes. Therefore, please answer all of the questions as honestly as possible.

* Please use the full-screen mode when you answer the questionnaire.

INSTRUCTIONS

- There are no right or wrong answers. Please answer the questions as frankly as possible, without thinking too deeply.
- Although you might feel that similar questions are repeated, all questions are necessary and important. Please answer the questions in the order that they appear, and do not change your responses once you have provided them.
- Please DO NOT use the "Back" button on the browser nor the "Backspace" key on your keyboard (except when you have mistyped your text responses). These could cause an error.

Please start answering the questions when you have finished reading the above instructions.

Q142 Please provide the following information about yourself.

Q11 Gender

- ☐ male (1)
- ☐ female (2)

Q13 In terms of whom you usually fall in love with and feel sexually attracted to, please choose one of the following.

- ☐ Individuals who are the opposite-sex from you (1)
- ☐ Individuals who are the same-sex as you (2)
- ☐ It depends; the gender/sex doesn't matter (3)

Q26 When setting up or editing one's profile on Facebook, some people choose to display publically their relationship status, while others choose not to display this information. By 'relationship status' we mean whether a person is in a relationship or not, who the partner is, etc. On Facebook, this information is not displayed by default. That is, in order for a person to let others know their relationship status, the user must edit their profile settings to make their relationship status visible. Now, suppose you have started dating someone. How would you feel if your romantic partner behaved in the ways described in following each situation? Please read the scenarios and answer the questions that follow.

Q27 Your romantic partner changed their relationship status on Facebook from the default setting (i.e., nothing displayed) to "in a relationship" after they started dating you. In addition, they indicated you as their romantic partner. This means their Facebook friends can see your name and profile photo, indicating that you are your partner's romantic interest.

Q29 How happy would you feel?

- (1)	☐ Extremely unhappy (1)	☐ Unhappy (2)	☐ Somewhat unhappy (3)	☐ Neither happy nor unhappy (4)	☐ Somewhat happy (5)	☐ Extremely happy (7)

Q32 How attractive would you consider them as a romantic partner?

- (1)	☐ Extremely unattractive (1)	☐ Unattractive (2)	☐ Somewhat unattractive (3)	☐ Neither attractive nor unattractive (4)	☐ Somewhat attractive (5)	☐ Extremely attractive (7)

Q34 How trustworthy would you consider them as a romantic partner?

	☐ Extremely untrustworthy (1)	☐ Untrustworthy (2)	☐ Somewhat untrustworthy (3)	☐ Neither trustworthy nor untrustworthy (4)	☐ Somewhat trustworthy (5)	☐ Trustworthy (6)	☐ Extremely trustworthy (7)
- (1)							

Q35 How likely do you think they are to cheat on you?

	☐ Extremely not likely (1)	☐ Not likely (2)	☐ Somewhat not likely (3)	☐ Neither likely nor not likely (4)	☐ Somewhat likely (5)	☐ Likely (6)	☐ Extremely likely (7)
- (1)							

Q36 Would you want to continue your relationship with them in the future?

	☐ Definitely no (1)	☐ No (2)	☐ Probably no (3)	☐ Neutral (4)	☐ Probably yes (5)	☐ Yes (6)	☐ Definitely yes (7)
- (1)							

Q38 If your partner acted in this way, how would other people around you feel?

	☐ Extremely uncomfortable (1)	☐ Uncomfortable (2)	☐ Somewhat uncomfortable (3)	☐ Neither comfortable nor uncomfortable (4)	☐ Somewhat comfortable (5)	☐ Comfortable (6)	☐ Extremely comfortable (7)
- (1)							

Q40 Your romantic partner changed their relationship status on Facebook from the default setting (i.e., nothing displayed) to "in a relationship" after they started dating you. However, they didn't specifically indicate who they are in a relationship with.

Q41 How happy would you feel?

	☐ Extremely unhappy (1)	☐ Unhappy (2)	☐ Somewhat unhappy (3)	☐ Neither happy nor unhappy (4)	☐ Somewhat happy (5)	☐ Happy (6)	☐ Extremely happy (7)
- (1)							

Q42 How attractive would you consider them as a romantic partner?

	☐ Extremely unattractive (1)	☐ Unattractive (2)	☐ Somewhat unattractive (3)	☐ Neither attractive nor unattractive (4)	☐ Somewhat attractive (5)	☐ Attractive (6)	☐ Extremely attractive (7)
- (1)							

Q43 How trustworthy would you consider them as a romantic partner?

	☐ Extremely untrustworthy (1)	☐ Untrustworthy (2)	☐ Somewhat untrustworthy (3)	☐ Neither trustworthy nor untrustworthy (4)	☐ Somewhat trustworthy (5)	☐ Trustworthy (6)	☐ Extremely trustworthy (7)
- (1)							

Q44 How likely do you think they are to cheat on you?

☐ Extremely likely (1)	☐ Not likely (2)	☐ Some what not likely (3)	☐ Neither likely nor likely (4)	☐ Some what likely (5)	☐ Likely (6)	☐ Extremely likely (7)

Q45 Would you want to continue your relationship with them in the future?

☐ Definitely no (1)	☐ No (2)	☐ Probably no (3)	☐ Neutral (4)	☐ Probably yes (5)	☐ Yes (6)	☐ Definitely yes (7)

Q49 If your partner acted in this way, how would other people around you feel?

☐ Extremely uncomfortable (1)	☐ Uncomfortable (2)	☐ Some what uncomfortable (3)	☐ Neither comfortable nor uncomfortable (4)	☐ Some comfortable (5)	☐ Comfortable (6)	☐ Extremely comfortable (7)

Q46 Your romantic partner has not changed their relationship status on Facebook from the default setting (i.e., nothing displayed) to "in a relationship" after they started dating you.

Q50 How happy would you feel?

☐ Extremely unhappy (1)	☐ Unhappy (2)	☐ Some what unhappy (3)	☐ Neither happy nor unhappy (4)	☐ Some happy (5)	☐ Happy (6)	☐ Extremely happy (7)

Q51 How attractive would you consider them as a romantic partner?

☐ Extremely unattractive (1)	☐ Unattractive (2)	☐ Some what unattractive (3)	☐ Neither attractive nor attractive (4)	☐ Some what attractive (5)	☐ Attractive (6)	☐ Extremely attractive (7)

Q52 How trustworthy would you consider them as a romantic partner?

☐ Extremely untrustworthy (1)	☐ Untrustworthy (2)	☐ Some what untrustworthy (3)	☐ Neither trustworthy nor trustworthy (4)	☐ Some trustworthy (5)	☐ Trustworthy (6)	☐ Extremely trustworthy (7)

Q53 How likely do you think they are to cheat on you?

☐ Extremely likely (1)	☐ Not likely (2)	☐ Some what likely (3)	☐ Neither likely nor likely (4)	☐ Some what likely (5)	☐ Likely (6)	☐ Extremely likely (7)

Q54 Would you want to continue your relationship with them in the future?

☐ Definitely no (1)	☐ No (2)	☐ Probably no (3)	☐ Neutral (4)	☐ Probably yes (5)	☐ Yes (6)	☐ Definitely yes (7)

Q55 If your partner acted in this way, how would other people around you feel?

- (1)	☐ Extremely uncomfortable (1)	☐ Uncomfortable (2)	☐ Somewhat uncomfortable (3)	☐ Neither comfortable nor uncomfortable (4)	☐ Somewhat comfortable (5)	☐ Comfortable (6)
	☐ Extremely comfortable (7)					

Q48 What would you do if you started dating someone? Please choose the option that applies best to what you would do.

- ☐ I would change my relationship status from the default setting (nothing displayed) to "in a relationship," and specify who my romantic partner is (i.e., their name and profile photo would appear on my Facebook profile.) (1)
- ☐ I would change my relationship status from the default setting (nothing displayed) to "in a relationship," but I would not specify who my romantic partner is. (2)
- ☐ I would not change the default setting. That is, I would not display my relationship status. (3)

Q96 On popular social network services such as Facebook and Twitter, a user can display a profile photo and/or avatar. As for what people select as their photo or avatar, this is completely up to users themselves. Now suppose you have started dating someone. Before you started dating that person, your romantic partner's profile image was set as a self-portrait. If, after starting to date you, your romantic partner did the following, how would you feel?

Q104 Your romantic partner changed their profile image to a photo of you and them together.

Q97 How happy would you feel?

- (1)	☐ Extremely unhappy (1)	☐ Unhappy (2)	☐ Some what unhappy (3)	☐ Neither happy nor unhappy (4)	☐ Some what happy (5)	☐ Happy (6)	☐ Extremely happy (7)

Q98 How attractive would you consider them as a romantic partner?

- (1)	☐ Extremely unattractive (1)	☐ Unattractive (2)	☐ Some what unattractive (3)	☐ Neither attractive nor unattractive (4)	☐ Some what attractive (5)	☐ Attractive (6)	☐ Extremely attractive (7)

Q99 How trustworthy would you consider them as a romantic partner?

- (1)	☐ Extremely untrustworthy (1)	☐ Untrustworthy (2)	☐ Some what untrustworthy (3)	☐ Neither trustworthy nor untrustworthy (4)	☐ Some what trustworthy (5)	☐ Trustworthy (6)	☐ Extremely trustworthy (7)

Q100 How likely do you think they are to cheat on you?

(1)	☐ Extremely not likely (1)	☐ Not likely (2)	☐ Some what not likely (3)	☐ Neither likely nor not likely (4)	☐ Some what likely (5)	☐ Likely (6)	☐ Extremely likely (7)

Q101 Would you want to continue your relationship with them in the future?

- (1)	☐ Definitely no (1)	☐ No (2)	☐ Probably no (3)	☐ Neutral (4)	☐ Probably yes (5)	☐ Yes (6)	☐ Definitely yes (7)

Q102 If your partner acted in this way, how would other people around you feel?

- (1)	☐ Extremely uncomfortable (1)	☐ Uncomfortable (2)	☐ Somewhat uncomfortable (3)	☐ Neither comfortable nor uncomfortable (4)	☐ Somewhat comfortable (5)	☐ Comfortable (6)	☐ Extremely comfortable (7)

Q105 Your romantic partner kept their profile image unchanged.

Q106 How happy would you feel?

- (1)	☐ Extremely unhappy (1)	☐ Unhappy (2)	☐ Somewhat unhappy (3)	☐ Neither happy nor unhappy (4)	☐ Somewhat happy (5)	☐ Happy (6)	☐ Extremely happy (7)

Q108 How attractive would you consider them as a romantic partner?

- (1)	☐ Extremely unattractive (1)	☐ Unattractive (2)	☐ Somewhat unattractive (3)	☐ Neither attractive nor unattractive (4)	☐ Somewhat attractive (5)	☐ Attractive (6)	☐ Extremely attractive (7)

Q109 How trustworthy would you consider them as a romantic partner?

- (1)	☐ Extremely untrustworthy (1)	☐ Untrustworthy (2)	☐ Somewhat untrustworthy (3)	☐ Neither trustworthy nor untrustworthy (4)	☐ Somewhat trustworthy (5)	☐ Trustworthy (6)	☐ Extremely trustworthy (7)

Q110 How likely do you think they are to cheat on you?

- (1)	☐ Extremely likely (1)	☐ Not likely (2)	☐ Somewhat not likely (3)	☐ Neither likely nor not likely (4)	☐ Somewhat likely (5)	☐ Likely (6)	☐ Extremely likely (7)

Q111 Would you want to continue your relationship with them in the future?

- (1)	☐ Definitely no (1)	☐ No (2)	☐ Probably no (3)	☐ Neutral (4)	☐ Probably yes (5)	☐ Yes (6)	☐ Definitely yes (7)

Q112 If your partner acted in this way, how would other people around you feel?

- (1)	☐ Extremely uncomfortable (1)	☐ Uncomfortable (2)	☐ Somewhat uncomfortable (3)	☐ Neither comfortable nor uncomfortable (4)	☐ Somewhat comfortable (5)	☐ Comfortable (6)	☐ Extremely comfortable (7)

- Q113 What would you do with your SNS profile image, if you were in this kind of situation? Please choose the option below that most applies to how you would act.
- ☐ I would change my profile image to an image of my romantic partner and I together. (1)
- ☐ I would keep my original profile image (a photo of myself). (2)

Q15 Regardless of your own sexual orientation, we would like to ask you about heterosexual relationships in general. How much do you feel the following statements accurately describe heterosexual romantic relationships among people around you (i.e., their romantic partners and potential romantic partners)? Regarding those people around you, please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree 2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree 4 (4)	Agree 5 (5)	Strongly agree 6 (6)
They (the people around you) have many chances to get to know someone who might become a future romantic partner. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Their current or potential romantic partners match their own preferences. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
There are few opportunities for them to find new romantic partners. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
If they were not satisfied with their current romantic relationship, they could easily end it. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
It is often the case that they cannot freely choose their romantic partners. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Even if they were not satisfied with their current romantic relationship, they would often have no choice but to stay in it. (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q.17 How many new people of the opposite-sex have you met during the following periods? *Please enter 0 if you met no one.

In the past week (7 days) (1)

In the past month (30 days) (2)

In the past three months (90 days) (3)

Q.143 How much do the following statements accurately describe romantic relationships of people in the society in which you live? Please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements regarding those relationships. Note: In the following statements, the word 'attractive' appears. By attractive, we not only mean physical attractiveness, but also attractiveness in a holistic sense that includes the person's personality, finances, social power, etc.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree 2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree 4 (4)	Agree 5 (5)	Strongly agree 6 (6)
If they didn't show their romantic partner enough attention, their romantic partner would break up with them in order to start dating someone more attractive. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Even if the person they liked had a romantic partner, they would approach that person they liked. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
If they met someone more attractive than their current romantic partner, they would break off their existing relationship, and attempt to get into a relationship with that alternative person. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
In order to date an attractive person, they themselves must also be an attractive person. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
In order to date an attractive person, they need to put in a great deal of effort. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Once in a relationship, unless they do something overly terrible to their partner, their relationships rarely break up. (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q.129 Next, we will ask you about marital relationships. How much do the following statements accurately describe romantic relationships of people in the society in which

you live? Please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements regarding those relationships. Note: In the following statements, the word 'attractive' appears. By attractive, we not only mean physical attractiveness, but also attractiveness in a holistic sense that includes the person's personality, finances, social power, etc.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree 2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree 4 (4)	Agree 5 (5)	Strongly agree 6 (6)
If they didn't show their spouse enough attention, their spouse would break up with them in order to start dating someone more attractive. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Even if the person they liked was married, they would approach that person they liked. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
If they met someone more attractive than their current spouse, they would split up with their spouse, and attempt to get into a relationship with that alternative person. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
In order to marry an attractive person, they themselves must also be an attractive person. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
In order to marry an attractive person, they need to put in a great deal of effort. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Once married, unless they do something overly terrible to their partner, their relationships rarely break up. (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q133 Many people look at specific characteristics in choosing their potential marriage partners. Some common desirable traits include: being socially exciting, age, being physically attractive, having a good sense of humor, being kind and understanding,

having good financial/professional status, being of high intelligence, being in good health, and liking children.

Q132 Overall, how would you rate your level of desirability as a partner on the following scale?

- ☐ Extremely undesirable 1 (1)
☐ 2 (2)
☐ 3 (3)
☐ 4 (4)
☐ 5 (5)
☐ 6 (6)
☐ Extremely desirable 7 (7)

Q134 Overall, how would members of the opposite sex rate your level of desirability as a partner on the following scale?

- ☐ Extremely undesirable 1 (1)
☐ 2 (2)
☐ 3 (3)
☐ 4 (4)
☐ 5 (5)
☐ 6 (6)
☐ Extremely desirable 7 (7)

Q135 Overall, how do you believe you compare to other people in desirability as a partner on the following scale?

- ☐ Very much lower than average1 (1)
- ☐ Lower than average2 (2)
- ☐ Slightly lower than average3 (3)
- ☐ Average4 (4)
- ☐ Slightly higher than average5 (5)
- ☐ Higher than average6 (6)
- ☐ Very much higher than average7 (7)

Q136 Overall, how good of a catch are you?

- ☐ Very bad catch1 (1)
- ☐ Bad catch2 (2)
- ☐ Somewhat bad catch3 (3)
- ☐ Average catch4 (4)
- ☐ Somewhat good catch5 (5)
- ☐ Good catch6 (6)
- ☐ Very good catch7 (7)

Q20 We will now ask you about your current self.

Q21 Are you currently married?

- ☐ Not married (1)
- ☐ Married (2)

Q22 What is your current relationship status?

- ☐ Not currently in a relationship (1)
- ☐ Engaged (2)
- ☐ Exclusively dating (3)
- ☐ Casually dating with a single partner (4)
- ☐ Casually dating with multiple partners (5)

Q23 How many opposite-sex partners have you dated with throughout your life?

Please enter your response using numerals. *If you're currently in a relationship, please include your current romantic partner or husband/wife.

Q24 Please enter the initial of your current romantic partner. If you are married, please enter the initial of your spouse. * If you are casually dating with multiple partners, please imagine the closest person. * The initial of your romantic partner will only be used in the questions which follow; it will not be used to identify him/her. NOTE: * A response is required here in order to proceed. *If you absolutely do not want to enter the initial of your romantic partner, please enter "my romantic partner" in the box. e.g., John Smith → JS, John

Q29 We would like to know how passionate you feel toward

"\$(q:/QID24/ChoiceTextEntryValue)". Some common terms for passionate love are romantic love, infatuation, love sickness, or obsessive love.

Q31 Please choose the option that best describes your thoughts.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree 2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree 4 (4)	Agree 5 (5)	Strongly agree 6 (6)
I would feel deep despair if \$(q://QID24/ChoiceTextEntry Value) left me. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Sometimes I feel I can't control my thoughts, they are obsessively on \$(q://QID24/ChoiceTextEntry Value). (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I feel happy when I am doing something to make \$(q://QID24/ChoiceTextEntry Value) happy. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would rather be with \$(q://QID24/ChoiceTextEntry Value) than anyone else. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I'd get jealous if I thought \$(q://QID24/ChoiceTextEntry Value) were falling in love with someone else. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I yearn to know all about \$(q://QID24/ChoiceTextEntry Value). (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I want \$(q://QID24/ChoiceTextEntry Value) physically, emotionally, mentally. (7)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I have an endless appetite for affection from \$(q://QID24/ChoiceTextEntry Value). (8)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
For me, \$(q://QID24/ChoiceTextEntry Value) is the perfect romantic partner. (9)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I sense my body responding when \$(q://QID24/ChoiceTextEntry Value) touches me. (10)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
\$(q://QID24/ChoiceTextEntry Value) always seems to be on my mind. (11)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I want	☐	☐	☐	☐	☐	☐

\$(q://QID24/ChoiceTextEntry Value) to know me- my thoughts, my fears, and my hopes. (12)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I eagerly look for signs indicating \$(q://QID24/ChoiceTextEntry Value)'s desire for me. (13)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I possess a powerful attraction for \$(q://QID24/ChoiceTextEntry Value). (14)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I get extremely depressed when things don't go right in my relationship with \$(q://QID24/ChoiceTextEntry Value). (15)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q131 Please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree 2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree 4 (4)	Agree 5 (5)	Strongly agree 6 (6)
I'd rather depend on myself than others. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I rely on myself most of the time; I rarely rely on others. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I often do "my own thing". (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
My personal identity, independent of others, is very important to me. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
It is important that I do my job better than others. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Winning is everything. (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Competition is the law of nature. (7)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
When another person does better than I do, I get tense and aroused. (8)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
If a coworker gets a prize, I would feel proud. (9)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
The well-being of my coworkers is important to me. (10)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
To me, pleasure is spending time with others. (11)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I feel good when I cooperate with others. (12)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Parents and children must stay together as much as possible. (13)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
It is my duty to take care of my family, even when I have to sacrifice what I want. (14)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Family members should stick together, no matter what sacrifices are required. (15)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
It is important to me that I respect the decisions made by my groups. (16)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q22 To end the questionnaire, we will now ask you some questions about yourself.

Q24 How old are you? (Please answer in numerals)

Q26 What is your nationality?

- ☐ Japan (1)
☐ US (2)
☐ Other (3) _____

Q28 What is your highest level of education?

- ☐ Middle school or earlier (1)
☐ High school or equivalency (2)
☐ Junior college/trade school (3)
☐ 4 year College/ University (4)
☐ Graduate degree- Masters (5)
☐ Graduate degree – Doctoral (6)

Q30 Was English the first language you learned?

- ☐ Yes (1)
☐ No (2)

Q32 Which of the following best represents your racial or ethnic heritage? Choose all that apply:

- ☐ Non-Hispanic White or Euro-American (1)
- ☐ Black, Afro-Caribbean, or African American (2)
- ☐ Latino or Hispanic American (3)
- ☐ East Asian or Asian American (4)
- ☐ South Asian or Indian American (5)
- ☐ Middle Eastern or Arab American (6)
- ☐ Native American or Alaskan Native (7)
- ☐ Hawaiian or Other Pacific Islander (8)
- ☐ Other: please specify (9) _____

Q34 What sort of area did you grow up in? Please select the choice that best describes the place where you grew up:

- ☐ Urban area (1)
- ☐ Suburban area (2)
- ☐ Rural area (3)

Q36 How many times after the age of 5 have you moved to a totally new neighborhood or town?

Q38 Please select the choice that best represents your employment status:

- ☐ Employed full time (1)
- ☐ Part-time job (2)
- ☐ Self-employed (3)
- ☐ Out of work for more than 1 year (4)
- ☐ Out of work for less than 1 year (5)
- ☐ A homemaker (6)
- ☐ A student (7)
- ☐ Retired (8)
- ☐ Unable to work (9)

Q40 How would you rate your annual household income?

- ☐ Low1 (1)
- ☐ 2 (2)
- ☐ Middle3 (3)
- ☐ 4 (4)
- ☐ High5 (5)

Q42 Have you ever lived overseas (outside the United States)?

- ☐ Yes (1)
- ☐ No (2)

Q143 If you have lived overseas, please specify the countries and the number of years have lived in each country.

	Country (1)	Year (2)
Country, year (1)		
Country, year (2)		
Country, year (3)		
Country, year (4)		

付録 7：研究 2-1. 質問紙 (日本語)

このアンケートでは、いわゆる恋愛関係（恋人関係や夫婦関係を含む）についてお尋ねします。

現在、交際している人はいいますか？

誰とも交際していない

複数の相手と二人きりで出かけたり食事に行ったりしている

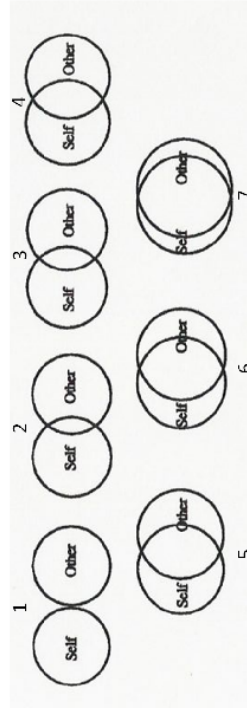
特定の相手と交際している

婚約している

結婚している

「改ページ」

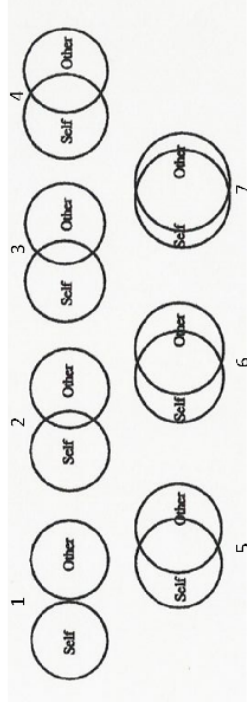
下の図にある「相手」はあなたの親友を表しています。あなたと親友との関係を最もよく表している図を下記より選び、ここに数字を入力してください。



「改ページ」

下の図にある「相手」は家族の中であなたと最も親しい人を表しています。この家族との関係を最もよく表している図を下記より選び、ここに数字を入力してください。

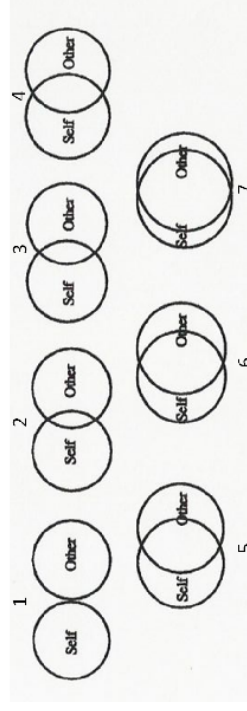
ださい。



「改ページ」

注：このセクション（自分の恋人相手に関するIOS尺度と三角形尺度）は最初の質問で「誰とも交際していない」以外の選択肢を選んだ人のみに表示させていただきます。

下の図にある「相手」はあなたの恋人（または配偶者）を表しています。あなたと恋人（または配偶者）との関係を最もよく表している図を下記より選び、ここに数字を入力してください。



「改ページ」

以下のそれぞれの文章があなたの恋愛関係（または夫婦関係）にどれだけ当てはまるか回答してください。

注：実際の質問紙では、項目の順序をランダム化してください。順序は記録されなくともかまいません。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
全く当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらとも言えない	どちらとも言えない	どちらとも言えない	どちらとも言えない	いくらか当てはまる	いくらか当てはまる	非常に当てはまる

私は恋人（または配偶者）からとても多くの情緒的なサポートを受けている。
私は必要ときに恋人（または配偶者）を頼ることがができる。
恋人（または配偶者）は必要ときに私を頼ることがができる。
私は自分の人生において恋人（または配偶者）をとても大切にしている。
私は自分自身や自分の持っているものをすべて恋人（または配偶者）と共有する。
私は恋人（または配偶者）といっしょにいるととても幸せである。
私は恋人（または配偶者）を心理的に近い存在だと感じている。
私は恋人（または配偶者）にとっても多くの心の支えを与えている。
私と恋人（または配偶者）とは心地よい関係にある。
私と恋人（または配偶者）とはあたたかい関係である。
私は恋人（または配偶者）とうまくコミュニケーションをとっている。
私は自分についてのかかなり個人的な情報を恋人（または配偶者）と共有している。
私は恋人（または配偶者）のことを本当に理解していると感じている。
私は恋人（または配偶者）が私のことを本当に理解していると感じている。
私は恋人（または配偶者）のことを心から信頼できると思う。

恋人（または配偶者）ほど私のことを幸せにしてくれる人は他にいないだろう。
私にとつて恋人（または配偶者）との関係ほど重要なものはない。
私と恋人（または配偶者）との関係はとてもロマンチックな関係である。
恋人（または配偶者）なしの人生なんて考えられない。
私は恋人（または配偶者）を熱愛している。
ふと気がつくと、恋人（または配偶者）のことを一日中何度も考えている。
私は恋人（または配偶者）を見るだけで興奮する。
私は恋人（または配偶者）を理想化している。
私と恋人（または配偶者）との関係はまるで「魔法」のようである。
私は恋人（または配偶者）がとても魅力的な人物であると思う。
私は他の誰よりも恋人（または配偶者）といっしょにいたい。
私は恋人（または配偶者）について想像を巡らして楽しむ。
恋愛映画を見たり、恋愛小説を読むと恋人（または配偶者）のことを考える。
私は恋人（または配偶者）と身体的にふれあう事が特に好きだ。

恋人（または配偶者）と私の関係は情熱的である。

私はこれからずっと恋人（または配偶者）に対して強い責任感を感じていくつもりだ。
恋人（または配偶者）への愛は私の残りの人生もずっと続くだろう。
恋人（または配偶者）との関係が終わるとは思えない。
私は、自分と恋人（または配偶者）との関係は永遠だと考えている。
私は、恋人（または配偶者）への愛を確信している。
恋人（または配偶者）との関係を維持していくつもりだ。
私の恋人（または配偶者）との結びつきは、何にもじゃまさせない。
恋人（または配偶者）との関係がゆりなく続いていく事に自信を持っている。
私は恋人（または配偶者）との関係はよい決断と見ている。
私は恋人（または配偶者）の事を氣にかけている。
私は恋人（または配偶者）に対して責任感を持っている。
私は恋人（または配偶者）との関係を続けようという強い意志があるので、私たちの関係は誰にもじゃまさせない。
恋人（または配偶者）が扱いにくいときでも、私たちの関係を続けていく強い意志がある。
私は恋人（または配偶者）との関係が堅固なものであると見ている。
私は恋人（または配偶者）との関係を続けていくつもりである。

「改ページ」

注：以下の項目は全参加者回答項目です。

以下のそれぞれの文章が恋愛関係一般（または夫婦関係一般）にどの程度重要かお答えください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
全く重要でない	あまり重要でない	どちらとも言えない	どちらとも言えない	どちらとも言えない	どちらとも言えない	いくらか重要である	いくらか重要である	非常に重要である

私は恋人（または配偶者）からとても多くの情緒的なサポートを受けている。
私は必要ときに恋人（または配偶者）を頼ることができる。
恋人（または配偶者）は必要ときに私を頼ることができる。
私は自分の人生において恋人（または配偶者）をとても大切にしている。

私は自分自身や自分の持っているものをすすんで恋人（または配偶者）と共有する。

私は恋人（または配偶者）といっしょにいるととても幸せである。

私は恋人（または配偶者）を心理的に近い存在だと感じている。

私は恋人（または配偶者）にとっても多くの心の支えを与えている。

私と恋人（または配偶者）とは心地よい関係にある。

私と恋人（または配偶者）とはあたったかい関係である。

私は恋人（または配偶者）とうまくコミュニケーションをとっている。

私は自分についてのかなり個人的な情報を恋人（または配偶者）と共有している。

私は恋人（または配偶者）のことを本当に理解していると感じている。

私は恋人（または配偶者）が私のことを本当に理解していると感じている。

私は恋人（または配偶者）のことを心から信頼できると思う。

恋人（または配偶者）ほど私のことを幸せにくれくれる人はいないだろう。

私にとっても恋人（または配偶者）との関係ほど重要なものはない。

私と恋人（または配偶者）との関係はとてもロマンチックな関係である。

恋人（または配偶者）なしの人生なんて考えられない。

私は恋人（または配偶者）を熱愛している。

ふと気がつくと、恋人（または配偶者）のことを一日中何度も考えている。

私は恋人（または配偶者）を見ただけで興奮する。

私は恋人（または配偶者）を理想化している。

私と恋人（または配偶者）との関係はまるで「魔法」のようである。

私は恋人（または配偶者）がとても魅力的な人物であると思う。

私は他の誰よりも恋人（または配偶者）といっしょにいたい。

私は恋人（または配偶者）について想像を巡らして楽しむ。

恋愛映画を見たり、恋愛小説を読むと恋人（または配偶者）のことを考える。

私は恋人（または配偶者）と身体的にふれあう事が特に好きだ。

恋人（または配偶者）と私の関係は情熱的である。

私はこれからずっと恋人（または配偶者）に対して強い責任感を感じていくつもりだ。

恋人（または配偶者）への愛は私の残りの人生もずっと続くだろう。

恋人（または配偶者）との関係が終わるとは思えない。

私は、自分と恋人（または配偶者）との関係は永遠だと考えている。

私は、恋人（または配偶者）への愛を確信している。

恋人（または配偶者）との関係を維持していくつもりだ。

私の恋人（または配偶者）との結びつきは、何にもじゃまさせない。

恋人（または配偶者）との関係がゆるぎなく続いていく事に自信を持っている。

私は恋人（または配偶者）との関係はよい決断と見ている。

私は恋人（または配偶者）の事を氣にかけている。

私は恋人（または配偶者）に対して責任感を持っている。

私は恋人（または配偶者）との関係を続けようという強い意志があるので、私たちの関係は誰にもじゃまさせない。

恋人（または配偶者）が扱いにくいとできでも、私たちの関係を続けていく強い意志がある。

私は恋人（または配偶者）との関係が堅固なものであると見ている。

私は恋人（または配偶者）との関係を続けていくつもりである。

「改ページ」

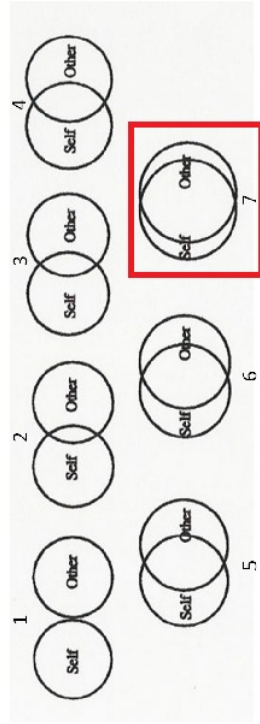
カナダ版質問紙ではここに（1）小松さんのシナリオ（2）関係流動性尺度

（3）TollPoppy と賞賛獲得尺度が入っています。

RISC

「改ページ」

ある人が、自分と親友との関係は下の図における「7」（赤枠に囲まれたもの）で表されると答えたとします。



この図を見て、あなたはどのような関係をイメージしますか？以下に示すそれぞれの表現がそのイメージにどの程度当てはまるかについて、数字を選んで答えてください。

1	2	3	4	5	6	7
全く当てはまらない	あまり当てはまらない	やや当てはまる	やや当てはまる	当てはまる	非常によく当てはまる	

- 一体感を感じる
- 緊密な互恵関係（ギブアンドテイク）
- 無償の愛
- 良好なコミュニケーションのある関係
- 深い親愛
- 密接な協力関係
- 共同作業がうまくいっている関係
- 非常に親密
- うまが合う
- 二人の個人の結合
- 親友を自分の中に含んでいるような感覚
- 自分が親友の中に含まれているような感覚
- 非常に親しい
- 各自のアイデンティティの喪失
- 親友との関係を通じた自己の拡張
- 互いの監視
- 親友からの評価が気になる
- 親友が自分に対して持つ期待が気になる
- 相手が必要としているものへの心配り
- 相手を助けなければならないという義務感
- 進んで相手を助けたいという気持ち

「改ページ」

あなた自身について、以下の質問に回答して下さい：

- 1) 性別: 男性 女性
- 2) 学年: 1年生 2年生 3年生 4年生 その他
- 3) 年齢: _____ 歳
- 4) 学部: _____ 学部
- 5) 国籍: 日本 その他(国名: _____)
- 6) 現在の居住地: _____ / _____ (都道府県 / 市町村名)
- 7a) 生まれた場所: _____ / _____ (都道府県 / 市町村名)
- 7b) 生まれた場所に住んでいた年数: _____ 年間 (数字を記入)
- 8a) これまでに最も長く住んだ場所: _____ / _____ (都道府県 / 市町村名)
- 8b) 8a)の場所に住んでいた年数: _____ 年間 (数字を記入)
- 8c) 8a)のこれまで最も長く住んだ場所(市町村)の人口を以下の選択肢から選び、○をつけて下さい。

- 15) これまでに海外に住んだことはありますか？
- はい → 国名は？：_____ (複数回答可)
- いいえ
- 海外居住総年数は？：計 _____ 年

- ア. 1 万人以下
イ. 1～5 万人
ウ. 5～10 万人
エ. 10～50 万人
オ. 50～100 万人
カ. 100 万人以上

※[参考]札幌市の人口は190万人

- 9) 現在、大学入学以前と同じ市町村に住んでいる：はい いいえ

- 10) 家族も札幌市周辺に在住している: はい いいえ

- 11) 現在の居住形態/誰と住んでいるか: (1つに○、または記入)

- ア.一人暮らし　イ.家族と　ウ.ルームメイと　エ.寮・下宿で共同生活
オ.その他(具体的に記入)

- 12) 育った家庭の経済水準(家計収入の程度:1つに○)

	1	2	3	4	5
低い					
高い					

- 13) あなたは5歳以降で、これまでに引ッ感しを何回経験したことがありますか？その回数を書き込んでください。(大学入学に伴う引ッ感しは含めません)また、同一市町村内の引ッ感しは含めず、違ッ市町村、違ッ都道府県、違ッ国への引ッ感し回数のみを答えてください。)

9

- 14) 小中学校時代、一年間に平均して何人くらい、あなたのクラスに転校生が来ましたか。
- (約) 人 (数字を記入)

付録 8：研究 2-1. 質問紙 (英語)

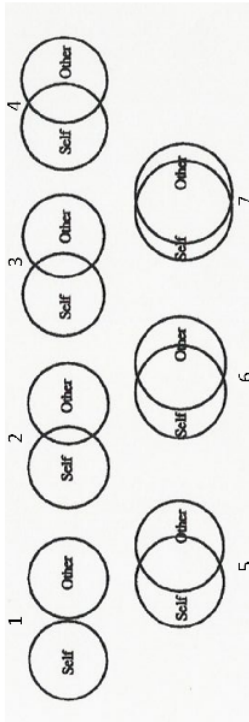
QUESTIONNAIRE PACKAGE (All of the questionnaires will be presented on Qualtrics)

What's your current relationship status?

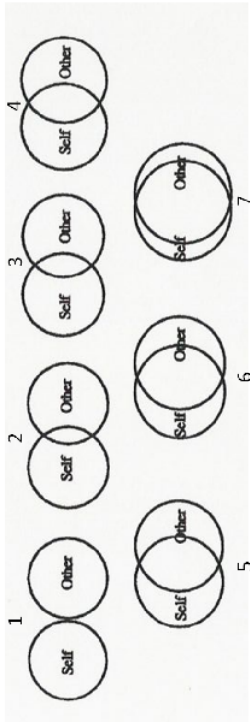
- Not currently in a relationship
- Casually dating
- Exclusively dating
- Engaged
- Married

IOS Scale

In the pictures below, "Self" represents yourself, and "Other" represents your best friend. Please choose one of the pictures which best describes your relationship with your best friend, and enter the corresponding number here.

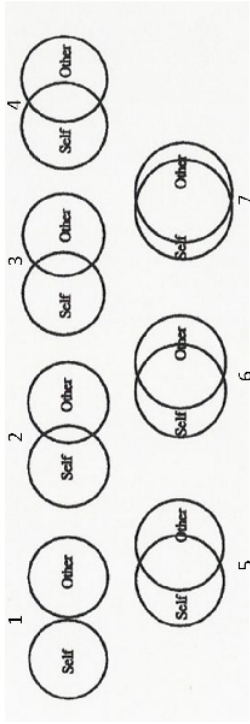


In the pictures below, "Self" represents yourself, and "Other" represents your closest family member. Please choose one of the pictures which best describes your relationship with your closest family member, and enter the corresponding number here.



Note: The following section is only completed by participants who answer their relationship status as "Casually dating," "Exclusively dating," "Engaged," or "Married".

In the pictures below, "Self" represents yourself, and "Other" represents your romantic partner. Please choose one of the pictures which best describes your relationship with your romantic partner, and enter the corresponding number here.



Sternberg's Intimacy, Passion, Commitment

Please rate how characteristic each of the following statements is in your own romantic relationship.

Note: In the actual questionnaire, the items will be randomized and presented without labels (i.e., Intimacy, Passion, Commitment).

1	2	3	4	5	6	7	8	9
Not at all		Somewhat		Moderately		Quite		Extremely

Intimacy

- 1. I receive considerable emotional support from my partner.
- 2. I am able to count on my partner in times of need.
- 3. My partner is able to count on me in times of need.
- 4. I value my partner greatly in my life.
- 5. I am willing to share myself and my possessions with my partner.
- 6. I experience great happiness with my partner.
- 7. I feel emotionally close to my partner.
- 8. I give considerable emotional support to my partner.
- 9. I have a comfortable relationship with my partner.
- 10. I have a warm relationship with my partner.
- 11. I communicate well with my partner.

12. I share deeply personal information about myself with my partner.
13. I feel that I really understand my partner.
14. I feel that my partner really understands me.
15. I feel that I really can trust my partner.

Passion

1. I cannot imagine another person making me as happy as my partner does.
2. There is nothing more important to me than my relationship with my partner.
3. My relationship with my partner is very romantic.
4. I cannot imagine life without my partner.
5. I adore my partner.
6. I find myself thinking about my partner frequently during the day.
7. Just seeing my partner is exciting for me.
8. I idealize my partner.
9. There is something almost 'magical' about my relationship with my partner.
10. I find my partner to be very personally attractive.
11. I would rather be with my partner than with anyone else.
12. I fantasize about my partner.
13. When I see romantic movies or read romantic books I think of my partner.
14. I especially like physical contact with my partner.
15. My relationship with my partner is passionate.

Commitment

1. I will always feel a strong responsibility for my partner.
2. I expect my love for my partner to last for the rest of my life.
3. I can't imagine ending my relationship with my partner.
4. I view my relationship with my partner as permanent.
5. I am certain of my love for my partner.
6. I am committed to maintaining my relationship with my partner.
7. I could not let anything get in the way of my commitment to my partner.
8. I have confidence in the stability of my relationship with my partner.
9. I view my relationship with my partner as a good decision.
10. I know that I care about my partner.
11. I feel a sense of responsibility toward my partner.
12. Because of my commitment to my partner, I would not let other people come between us.
13. Even when my partner is hard to deal with, I remain committed to our relationship.
14. I view my commitment to my partner as a solid one.
15. I plan to continue in my relationship with my partner.

Note: All participants will be asked to complete the rest of the questionnaire.

Please rate how important you think each statement is in romantic relationships in general.

1	2	3	4	5	6	7	8	9
Not at all		Somewhat		Moderately		Quite		Extremely

Intimacy

1. I receive considerable emotional support from my partner.
2. I am able to count on my partner in times of need.
3. My partner is able to count on me in times of need.
4. I value my partner greatly in my life.
5. I am willing to share myself and my possessions with my partner.
6. I experience great happiness with my partner.
7. I feel emotionally close to my partner.
8. I give considerable emotional support to my partner.
9. I have a comfortable relationship with my partner.
10. I have a warm relationship with my partner.
11. I communicate well with my partner.
12. I share deeply personal information about myself with my partner.
13. I feel that I really understand my partner.
14. I feel that my partner really understands me.
15. I feel that I really can trust my partner.

Passion

1. I cannot imagine another person making me as happy as my partner does.
2. There is nothing more important to me than my relationship with my partner.
3. My relationship with my partner is very romantic.
4. I cannot imagine life without my partner.
5. I adore my partner.
6. I find myself thinking about my partner frequently during the day.
7. Just seeing my partner is exciting for me.
8. I idealize my partner.
9. There is something almost 'magical' about my relationship with my partner.
10. I find my partner to be very personally attractive.
11. I would rather be with my partner than with anyone else.
12. I fantasize about my partner.
13. When I see romantic movies or read romantic books I think of my partner.
14. I especially like physical contact with my partner.
15. My relationship with my partner is passionate.

Commitment

1. I will always feel a strong responsibility for my partner.
2. I expect my love for my partner to last for the rest of my life.
3. I can't imagine ending my relationship with my partner.
4. I view my relationship with my partner as permanent.
5. I am certain of my love for my partner.
6. I am committed to maintaining my relationship with my partner.
7. I could not let anything get in the way of my commitment to my partner.
8. I have confidence in the stability of my relationship with my partner.
9. I view my relationship with my partner as a good decision.
10. I know that I care about my partner.
11. I feel a sense of responsibility toward my partner.
12. Because of my commitment to my partner, I would not let other people come between us.
13. Even when my partner is hard to deal with, I remain committed to our relationship.
14. I view my commitment to my partner as a solid one.
15. I plan to continue in my relationship with my partner.

On the following pages, there are several scenarios pertaining to certain people. Please read each scenario carefully and answer the questions following it. Please note that although the questions following each scenario are similar, every question is important.

Scenario 1

The following scenario describes the behavior of a university student, named "J." Please read the scenario carefully and answer the questions below.

J, an acquaintance of yours, is markedly more cooperative than anyone else in most situations where people need to cooperate, such as group activities. For example, J always brings more expensive food and drink to home parties than anybody else. In university classes where students should work together as a group, J takes on many more group tasks than other group members. As a result, groups in which J is a member are often highly evaluated. Also, if issues arise in a group or someone is in need, J will step forward and offer to help, ahead of anyone else.

1. What do you think about people such as J? Please indicate the extent to which you either agree or disagree with the following statements.

1	2	3	4	5	6	7
Strongly Disagree	Disagree	Somewhat Disagree	Neutral	Somewhat Agree	Agree	Strongly Agree

- I like people such as J.
- I personally want to be friends with people such as J.
- I would be happy if people such as J belonged to a group I am in (such as my student groups and research laboratory, etc).
- When people such as J screw up or make mistakes, this makes me feel happy.
- Other members of the group like J.
- Generally, Canadians like people such as J.
- Generally, people such as J do well in society.

2. Why do you think J might be acting the way he/she does in the situations above? Please think of possible reasons for J's behavior and briefly write your thoughts in the space provided below.

3. Next, to what extent do you feel the following sentences accurately describe the reason behind J's behavior? Please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements.

1	2	3	4	5	6	7
Strongly Disagree	Disagree	Somewhat Disagree	Neutral	Somewhat Agree	Agree	Strongly Agree

- Because J is a kind person.
- Because J likes attention.
- Because J has a cooperative personality.
- Because J wants to show off, in front of his/her friends, the fact that he/she has lots of money and talent.

4. If J's friends and group members catch on to the fact that J is acting in the ways described above, what do you think they might start to do or think? Please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements.

1	2	3	4	5	6	7
Strongly Disagree	Disagree	Somewhat Disagree	Neutral	Somewhat Agree	Agree	Strongly Agree

- They would feel pressure that they have to cooperate more because others might see their contribution as insufficient compared to J's.
- They would greatly increase their cooperation so that it even outshines J's contribution.

- They would feel that they can let J do the work and they don't need to cooperate.
- They would think that the group will be better overall, thanks to J's behavior.
- They would be concerned that J's behavior will strain interpersonal relations within the group.
- They would express their gratitude to J, one-on-one.
- They would praise J for his/her contribution in front of everyone.
- They would advise J to scale back his/her cooperation efforts.
- They would distance themselves from, and try not to associate with J.

Scenario 2

The following scenario describes the behavior of a university student, named "M". Please read the scenario carefully and answer the questions below.

M, an acquaintance of yours, is often just as cooperative as anyone else in most situations where people need to cooperate, such as group activities. For example, M always brings food and drink to home parties, the price of which is about the same as what others bring. In university classes where students should work together as a group, M takes on group tasks to a similar extent as other group members. As a result, groups in which M is a member often achieve average results. Also, if issues arise in a group or someone is in need, M offers to help as much as anyone else would.

1. What do you think about people such as M? Please indicate the extent to which you either agree or disagree with the following statements.

1	2	3	4	5	6	7
Strongly Disagree	Disagree	Somewhat Disagree	Neutral	Somewhat Agree	Agree	Strongly Agree

- I like people such as M.
- I personally want to be friends with people such as M.
- I would be happy if people such as M belonged to a group I am in (such as my student groups and research laboratory, etc).
- When people such as M screw up or make mistakes, this makes me feel happy.
- Other members of the group like M.
- Generally, Canadians like people such as M.
- Generally, people such as M do well in society.

2. Why do you think M might be acting the way he/she does in the situations above? Please think of possible reasons for M's behavior and briefly write your thoughts in the space provided below.

3. Next, to what extent do you feel the following sentences accurately describe the reason behind M's behavior? Please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements.

1	2	3	4	5	6	7
Strongly Disagree	Disagree	Somewhat Disagree	Neutral	Somewhat Agree	Agree	Strongly Agree

- Because M is a kind person.
- Because M likes attention.
- Because M has a cooperative personality.
- Because M wants to show off, in front of his/her friends, the fact that he/she has lots of money and talent.

Scenario 3

The following scenario describes the behavior of a university student, named "T". Please read the scenario carefully and answer the questions below.

T, an acquaintance of yours, is often less cooperative than anyone else in most situations where people need to be cooperative, such as group activities. For example, T always brings less expensive food and drink to home parties than anybody else. In university classes where students should work together as a group, T takes on less group tasks than other group members. As a result, groups in which T is a member are often lowly evaluated. Also, if issues arise in a group or someone is in need, T will wait for someone to help and not step forward to helping.

1. What do you think about people such as T? Please indicate the extent to which you either agree or disagree with the following statements.

1	2	3	4	5	6	7
Strongly Disagree	Disagree	Somewhat Disagree	Neutral	Somewhat Agree	Agree	Strongly Agree

- I like people such as T.
- I personally want to be friends with people such as T.
- I would be happy if people such as T belonged to a group I am in (such as my student groups and research laboratory, etc).
- When people such as T screw up or make mistakes, this makes me feel happy.
- Other members of the group like T.
- Generally, Canadians like people such as T.

- Generally, people such as T do well in society.
2. Why do you think T might be acting the way he/she does in the situations above?
Please think of possible reasons for T's behavior and briefly write your thoughts in the space provided below.
3. Next, to what extent do you feel the following sentences accurately describe the reason behind T's behavior? Please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements.
- | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|-------------------|---|----------|-------------------|---------|----------------|-------|----------------|
| Strongly Disagree | | Disagree | Somewhat Disagree | Neutral | Somewhat Agree | Agree | Strongly Agree |
- Because T is a kind person.
 - Because T likes attention.
 - Because T has a cooperative personality.
 - Because T wants to show off, in front of his/her friends, the fact that he/she has lots of money and talent.

If you were in a situation such as the ones described on the previous pages (e.g., bringing food to a home party, participating in group work, or giving a hand to a group member in need), what would you do?

- Similar to J, I would cooperate more than other members in the group.
- Similar to M, I would cooperate to the same extent as other members in the group.
- Similar to T, I would cooperate less than other members in the group.

Relational Mobility Scale

How much do you feel the following statements accurately describe people in the immediate society in which you live (your school, workplace, town, neighborhood, etc.)?
Regarding the people around you, please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements.

	1	2	3	4	5	6
Strongly Disagree		Disagree	Somewhat Disagree	Somewhat Agree	Agree	Strongly Agree

1. They have many chances to get to know other people.
2. It is common for these people to have a conversation with someone they have never met before.
3. They can choose who they interact with.

4. There are few opportunities for these people to form new friendships.
5. It is uncommon for these people to have a conversation with people they have never met before.
6. If they did not like their current groups, they would leave for better ones.
7. It is often the case that they cannot freely choose who they associate with.
8. It is easy for them to meet new people.
9. Even if these people were not completely satisfied with the group they belonged to, they would usually stay with it anyway.
10. These people are able to choose the groups and organizations they belong to.
11. Even if these people were not satisfied with their current relationships, they would often have no choice but to stay with them.
12. Even though they might rather leave, these people often have no choice but to stay in groups they don't like.

- How many new acquaintances and/or friends have you made in the past week (7 days)?
- How many new acquaintances and/or friends have you made in the past month (30 days)?
- How many new acquaintances and/or friends have you made in the past 3 months (90 days)?

Tall poppy scale

Please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements.

	1	2	3	4	5	6	7
Strongly Disagree		Disagree	Somewhat Disagree	Neutral	Somewhat Agree	Agree	Strongly Agree

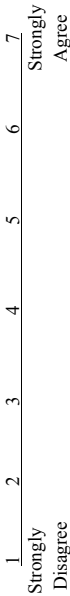
- People who are very successful deserve all the rewards they get for their achievements.
- It's good to see very successful people fail occasionally.
- People who are very successful in what they do are usually friendly and helpful to others.
- The very successful person should receive public recognition for his/her accomplishments.
- Very successful people sometimes need to be brought back down a peg or two, even if they have done nothing wrong.
- People who always do a lot better than others need to learn about what it's like to fail.
- People who are very successful get too full of their own importance.
- Very successful people who are at the top of their field are usually fun to be with.

Praise seeking and rejection avoidance need scales

- When I interact with people, I like to be the center of attention.
- When stating my opinions, I am concerned that others may disagree with me.
- To gain recognition, I like to actively display my talents to others.
- When standing out from the crowd, I am concerned that people may disapprove.

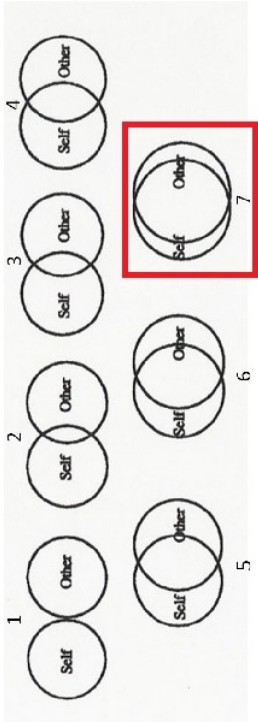
Relational Interdependent Self-Constructal scale

Please indicate the extent to which you agree or disagree with each of these statements.

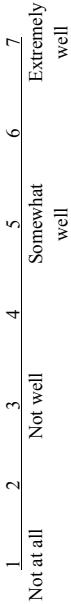


1. My close relationships are an important reflection of who I am.
2. When I feel very close to someone, it often feels to me like that person is an important part of who I am.
3. I usually feel a strong sense of pride when someone close to me has an important accomplishment.
4. I think one of the most important parts of who I am can be captured by looking at my close friends and understanding who they are.
5. When I think of myself, I often think of my close friends or family also.
6. If a person hurts someone close to me, I feel personally hurt as well.
7. In general, my close relationships are an important part of my self-image.
8. Overall, my close relationships have very little to do with how I feel about myself.
9. My close relationships are unimportant to my sense of what kind of person I am.
10. My sense of pride comes from knowing who I have as close friends.
11. When I establish a close friendship with someone, I usually develop a strong sense of identification with that person.

Imagine that someone has chosen “7” on the following scale (i.e., the one in a red box) to indicate his/her relationship with his/her best friend.



What do you think this relationship is like? Please rate to what extent each of the following items describes your thoughts on this relationship.



- a. Feeling like one
- b. High reciprocity (Give and take)
- c. Selfless love
- d. Good communication
- e. Deep affection
- f. Close cooperation
- g. Working well on shared tasks
- h. Very intimate
- i. Functioning well

Demographics

Please provide the following information about yourself.

AgeGender
Male FemaleYear at the university1st year 2nd year 3rd year 4th year OtherNative languageCitizenshipPresent resident (province/territory/state)Place of birth (province/territory/state)Country of birth, if outside of CanadaYears lived at place of birth (Number of years)Place lived the longest (province/territory/state)Country of the place lived the longest, if outside of CanadaYears lived at place you have lived the longestWhat is the population of the town/city you grew up in?* (Please select one)

- 1) Less than 10,000 2) 10,001 – 50,000 3) 50,001 – 100,000
 4) 100,001 – 500,000 5) 500,001 – 1 million 6) more than 1 million

**The population of Winnipeg is about 700,000*Do you live in the same place you did before you entered the university?

YES NO

Does your family live in the same city you are living now?

YES NO

Current household situation (living with)FAMILY ROOMMATE ALONE
DORM OTHER (specify)How would you characterize the economic level of the household you grew up in?

1 2 3 4 5
 LOW INCOME MIDDLE INCOME HIGH INCOME

Race/Ethnicity (Check all general categories that apply and specify all possible details)

____ AFRICAN _____

____ ASIAN _____

____ CAUCASIAN _____

____ HISPANIC/LATINO _____

____ INDIAN (India) _____

____ MIDDLE EASTERN _____

____ NATIVE AMERICAN _____

____ SOUTH AMERICAN _____

____ OTHER _____

How many times have you moved residences after age of 5? We are only interested in the big moves. Please count only the moves to a different town/city, province/territory/state, or country. (i.e. Please do not count the time you moved within the same general town/city, and also do not include any times you moved to attend university.)

On average, how many transfer students (students who transferred from other schools) were there in your immediate class per year when you were in elementary and middle school?
(Please write the number of students that transferred to your class)

Have you ever lived overseas? (outside Canada) If "Yes," please specify the location(s) and years for each.

Yes → _____

No

WE STRONGLY ENCOURAGE YOU TO DOWNLOAD AND PRINT OFF THE FOLLOWING FEEDBACK AND COPY OF THE INFORMED CONSENT

Feedback: Perceptions in Close Relationships and Groups

At this time there are a few additional things we would like to explain to you. At the beginning of this study, we indicated that this study is about your perceptions in close relationships and groups. There were a few purposes in this study. The first purpose of this study is to examine how people in different societies perceive closeness between the self and a close other. Past research indicated that Americans overall report higher closeness than Japanese (Uleman et al., 2000). This is contrary to general findings that Japanese are interdependent and focus on their group membership and close relationships, whereas Americans are independent and focus on their uniqueness (Markus & Kitayama, 1991). If Americans perceive themselves as independent from others, they should report lower closeness than Japanese. In order to further examine this contradiction, we specifically focus on relational mobility, a socio-ecological factor reflecting the degree to which there is an availability of options in a given society regarding interpersonal relationships, such as opportunities to acquire new, maintain current, and sever old relationships (Schug et al., 2010). In societies high in relational mobility, people have more opportunities to end the current relationship and find a new partner if they want. Therefore, if they are no longer close to their relationship partner, it will be easier to find a new partner or new friend than trying to improve their ongoing relationship. As a result, people in a high relationally mobile society should experience greater closeness to their close other. On the other hand, in societies low in relational mobility, there are fewer opportunities for new relationships; thus, it is better for people in such societies to stay in the current relationship. As a result, they should report lower closeness in the current relationship. We will conduct a similar study in Japan to see how social environment is related to people's perceptions of closeness.

The second purpose of the study is to test how much intimacy, passion, and commitment people in different societies think are important and experience in their romantic relationship. Dion and Dion (1993) found that people in individualistic cultures (e.g., Canada, the United States) report greater intimacy and passion and lower commitment than people in collectivistic cultures (e.g., Japan, South Korea). We again focus on relational mobility in our attempt to explain why these cultural differences have emerged. In societies high in relational mobility, there are more opportunities for a new partner. Therefore, if they experience low intimacy and passion, the cost of trying to improve these aspects in the relationship should be greater than the cost of finding a new partner. As a result, they should experience higher intimacy and passion in their ongoing relationship compared to those in societies low in relational mobility. On the other hand, in societies low in relational mobility, there are fewer opportunities for a new partner. Thus, it's more adaptive for them to stay in the relationship even though they feel low intimacy and passion.

The last purpose of this study is to test if the evaluation for an over-cooperator (i.e., someone who cooperates with one's group to a prominently greater degree than others) differs between societies. On the one hand, over-cooperators should be universally attractive, because over-cooperative behavior contributes to gains in group productivity. On the other hand, however, there is one drawback of this behavior: a rise of tension and competition among group members. In societies low in relational mobility, such as East Asia, group memberships tend to be long-standing and maintenance of harmonious relationships within a group is particularly valued. In such societies, we would expect over-cooperators' behavior to make status differences between members more visible, create tension and foster competition within groups. Therefore, we would also expect over-cooperators to be favored less in low relational mobility than high relational mobility societies. To test this hypothesis, you have read three scenarios describing different behavioral patterns of a particular target person. The behavioral patterns consisted of (a) cooperating more than others, (b) cooperating to the same extent as others, or (c) cooperating less than others. After reading each scenario, you evaluated the target person in terms of how much you like that person, how much other members of the group like that person, why he/she behaved in such a way, and so on.

Please do not discuss this experiment with other students who might yet participate on-line. If you supplied your email address on the consent form at the beginning of the survey, the results of the study will be sent to you in November 2012. If you did not supply your email address earlier but would now like to find out the results, please email Dr. Morry at Marian_Morry@UManitoba.ca, and we will add you to our email list. Questions about this study can be directed to Dr. Morry at 474-7840 or in room P508 Duff Roblin. Complaints regarding a procedure may be reported to the Human Ethics Secretariat at 474-7122 or margaret_bowman@umanitoba.ca.

Thank you for participating in this study. You may now download or print off this feedback sheet and the attached informed consent for your records.

NOTE: THIS CONSENT FORM WILL BE PRESENTED ONLINE AND WILL INCLUDE THE UNIVERSITY LOGO

Study Name: Perceptions in Close Relationships and Groups
 Researchers: Dr. Marian Morry, morrym@cc.umanitoba.ca
 Department of Psychology, P508 Duff Roblin, 474-7840
 Dr. Mie Kito, mkito@lynx.let.hokudai.ac.jp,
 Department of Behavioral Sciences, Hokkaido University, JAPAN

INFORMED CONSENT

This consent form, a copy of which will be left with you for your records and reference, is only part of the process of informed consent. It should give you the basic idea of what the research is about and what your participation will involve. If you would like more detail about something mentioned here, or information not included here, you should feel free to ask before beginning the survey by contacting Dr. Morry at morrym@cc.umanitoba.ca. Please take the time to read this carefully and to understand any accompanying information.

This study involves completing scales about yourself and your close relationships, as well as reading scenarios and evaluating the target person in these scenarios. You will also be asked socio-demographic questions such as your age, gender, ethnicity, and relationship status.

All information obtained will be kept anonymous. Your name will not be associated with the data file. Only Dr. Morry and her research assistants will have access to this data. The information from the consent form will be kept confidential and destroyed in November 2012. Anonymous data such as the questionnaire will be kept indefinitely. It will take approximately 40 minutes to complete this survey, and you will receive 2 experimental credits toward your research participation requirement. Participation in this study is voluntary, and you can refuse to answer any question or withdraw your consent at any time without penalty or loss of your experimental credit. At the end of the session today, you will be provided with feedback about our specific hypotheses. In addition, if you provide your email address below, you will be emailed the results of the study in November 2012. The findings of this study will be presented at an international psychology conference and will be published in a psychology journal.

Your consent on this form indicates that you have understood to your satisfaction the information regarding participation in the research project and agree to participate as a subject. In no way does this waive your legal rights nor release the researchers, sponsors, or involved institutions from their legal and professional responsibilities. You are free to withdraw from the study at any time by closing your browser, and/or refrain from answering any questions you prefer to omit, without prejudice or consequence.

The University of Manitoba Research Ethics Board(s) and a representative(s) of the University of Manitoba Research Quality Management / Assurance office may also require access to your research records for safety and quality assurance purposes.

This research has been approved by the Psychology/Sociology Research Ethics Board at the University of Manitoba. If you have any concerns or complaints about this project you may contact any of the above-named persons or the Human Ethics Coordinator (HEC) at 474-7122. A copy of this consent form will be given to you at the end of the study today and you are strongly encouraged to print it off and keep for your records and reference.

To receive the results of this study please include your email address here:

I have read the above information and hereby (click on the appropriate box below):

☐ PROVIDE my consent (accesses questionnaire)

☐ DO NOT PROVIDE my consent (exits program)

付録 9：研究 2-2. 質問紙 (日本語)

- Q2** この度は調査にご協力いただき、ありがとうございます。本調査は、恋愛関係や友人関係などの対人関係における、皆さんの対人行動と感情に関する学術調査です。調査項目の中には、あなたの過去の交際経験や性的関係などに関する質問も含まれます。
- 本調査は匿名で回答していただくもので、あなたの回答は匿名で統計的に処理されます。
 - もしどうしても回答したくない項目がある場合には、その項目には回答せず、次の項目へ進んでいただいて結構です。ただし、どの程度正確な情報が集められるかで本調査の成否が左右されますので、できる限り率直に、あなたの考えや経験をお答えいただきますようお願い申し上げます。
 - 回答終了後に **Lancers** 用の作業終了確認番号が表示されます。

それでは、次のページから、各ページの説明をよく読み、回答を進めてください。

Q3 まず、あなた自身について、いくつかおたずねします。

Q4 性別

- ☐ 男性 (1)
☐ 女性 (2)

Q5 あなたが普段好きになったり、性的魅力を感じたりする相手を次の選択肢から選んでください。

- ☐ 異性の人 (1)
☐ 同性の人 (2)
☐ その時々で、性別は関係ない (3)

Q7 あなたが普段好きになったり性的に魅力的だと感じたりする対象（相手）に関わらず、まず最初に、あなたの周囲にいる人々の異性関係（恋人や恋愛対象の異性など）についておたずねします。次のそれぞれの文が、それらの人々に全体としてどれくらい当てはまるかを、想像してお答えください。

	まったく当てはまらない (1)	当てはまらな い (2)	あまり 当ては まらな い (3)	少し当 てはま る (4)	当ては まる (5)	非常に 当ては まる (6)
彼ら（あなたの周囲にいる人々）には、将来恋人になるかもしれない異性と新しく知り合いになる機会がたくさんある。 (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らは、自分の好みに基づいたり相手と、異性として付き合うことができています。 (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らには、新しい恋人を見つける機会がありません。 (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
もし現在の恋愛関係に満足していなければ、彼らはその関係を簡単に解消することができる。 (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らには、恋人として付き合う異性を自由に選べないことがよくある。 (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
たとえ現在の恋愛関係に満足していても、彼らはそこに留まり続けるしかないことがよくある。 (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q8 以下の期間中に、あなたが新しく知り合った異性は何人いますか？ おおよその人数をお答えください。（誰もいない場合は"0"と入力してください。）

- 過去 1 週間 (7 日間) (1)
過去 1 か月間 (30 日間) (2)
過去 3 か月間 (90 日間) (3)

Q10 現在のあなた自身についておたずねします。

Q9 現在 ご結婚されていますか？

- ☐ 独身 (1)
☐ 既婚 (2)

Answer If 現在 ご結婚されていますか？ 独身 Is Selected

Q11 先ほど、「独身」を選んだ方におたずねします。あなたの現在の交際状況をお答えください。

- ☐ 誰とも交際していない (1)
☐ 婚約している (2)
☐ 特定の異性 (1 人) と交際している (3)
☐ 特定の異性 (1 人) と二人きりで出かけたり食事に行ったりしている (4)
☐ 複数の異性と、それぞれ二人きりで出かけたり食事に行ったりしている (5)

If 誰とも交際していない Is Selected, Then Skip To あなたは、これまでに何人の異性と付き合った (告白などを通して恋人関係になっ...

Q12 現在交際している異性のイニシャルを入力してください。現在 ご結婚されている方は、配偶者 (夫／妻) のイニシャルを入力してください。

※複数の異性と、それぞれ二人きりで出かけたり食事に行ったりしている、と回答した方は、そのなかでもっとも親しい人 (1 名のみ) についてお答えください。

※ご回答いただいたイニシャルは、後の質問で用いるためのものであり、個人を特定するものではありません。 どうしてもイニシャルを回答したくない場合は、「恋人」と入力してください。

注) アンケートの仕様に、この質問に回答しないことと次の質問に進むことができます。必ず何かしらの回答を記入してください。

例) 山田太郎さん → YT

Q13 あなたは、これまでに何人の異性と付き合った (告白などを通して恋人関係になった) ことがありますか？現在恋人がいる方や、すでにご結婚されている方は、現在の恋人や夫／妻を含めた人数を半角数字で入力してください。

Q14 次のそれぞれの文章は、あなたと\${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}さんとの関係にどの程度当てはまりますか。もっとも適切な選択肢を選んでください。

	まったく当てはまらない (1)	当てはまらないう2 (2)	あまり当てはまらない (3)	少し当てはまる (4)	当てはまる (5)	非常に当てはまる (6)
\${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}を個人的にとっても魅力的だと思う。(1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
自分 \${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}との関係に、なにかしら運命的なものを感じる。(2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
\${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}を見るだけで、胸がときめく。(3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
\${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}なしの生活など考えられない。(4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
\${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}と私の関係は情熱的である。(5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
\${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}についで妄想 (もうそう) にふけることがある。(6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
ふと気がつくと、目の中に何度も\${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}のことを考えている。(7)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
\${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}とお互いの身体に触れ合うのがすごく好きだ。(8)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私にとつて、自分と\${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}との関係よりも大切なものなど他にない。(9)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
\${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}ほど私のことを幸せにくれる人が他にいないとは考えられない。(10)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
\${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}のことを強く愛している。(11)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は他の誰かといるよりも、\${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}と一緒にいたい。(12)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私	☐	☐	☐	☐	☐	☐

\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue) との関係はとてもロマンチックなものだ。(13)							
私は \$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue) を理想の恋人だと思っている。(14)	○	○	○	○	○	○	○
恋愛ものの映画を見たり本を読んだりすると、 \$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue) のことを考えてしまう。(15)	○	○	○	○	○	○	○

Q17 あなたが現在、**\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue)**さんに対してどのくらい情熱的な愛を感じているかについておたずねします。ここでいう「情熱的な愛」とは、いわゆる「ロマンチック」な気持ちや、相手に夢中になってしまっている状態を指します。以下のそれぞれの文章について、もっとも適切な選択肢を選んでください。

Q15 当てはまる数字を選んでください。

	まったく当てはまらない1 (1)	当てはまるくらい2 (2)	あまり当てはまらない3 (3)	少し当てはまる4 (4)	当てはまる5 (5)	非常に当てはまる6 (6)
もし \$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue) が私から離れていったら、私は深く絶望するだろう。(1)	○	○	○	○	○	○
私は時々、 \$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue) のことばかり考えてしまい、自分の考えをコントロールできなくなってしまうように感じる。(2)	○	○	○	○	○	○
\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue) が幸せな気持ちになるようなことをしてあげているときに、自分自身も幸せだと感じる。(3)	○	○	○	○	○	○
私は他の誰かと一緒にいるよりも、 \$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue) と一緒にいたい。(4)	○	○	○	○	○	○
\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue) が自分以外の誰かと恋に落ちたことを想像するだけで、私はきつと嫉妬してしまうだろう。(5)	○	○	○	○	○	○
\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue) のすべてを知りたいと思う。(6)	○	○	○	○	○	○
私は、身も心も \$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue) を求めている。(7)	○	○	○	○	○	○
私はいつも、 \$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue) からの愛を際限（さいげん）なく求めたいと思う。(8)	○	○	○	○	○	○
私にとって、 \$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue) は完璧な恋人だ。(9)	○	○	○	○	○	○
\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue) に触れられると、身体が反応するのを感じる。(10)	○	○	○	○	○	○
\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue) のことがいつも頭から離れないよう	○	○	○	○	○	○

だ。(11)							
$\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue)$ に、私の考えていることや思っていること、望んでいることなど、私のすべてを知って欲しい。(12)	○	○	○	○	○	○	○
私は普段から、 $\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue)$ が私を熱く求めているサインを見逃さないよう重々気をつけている。(13)	○	○	○	○	○	○	○
私は $\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue)$ の魅力に強く惹(ひ)かれていた。(14)	○	○	○	○	○	○	○
$\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue)$ との関係がうまくいかない、私はひどく落ち込んでしまう。(15)	○	○	○	○	○	○	○

Q20 あなたが現在、 $\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue)$ さんに対してどのくらい親愛の情を感じているかについておたずねします。ここでいう「親愛の情」とは、いわゆる深い愛情、思いやりのある愛、真実の愛、または夫婦間の愛情などを指します。以下のそれぞれの文章について、もっとも適切な選択肢を選んでください。

Q18 当てはまる数字を選んでください。

	まったく当てはまらない(1)	当てはまらない(2)	あまり当てはまらない(3)	少し当てはまる(4)	当てはまる(5)	非常に当てはまる(6)
私は、生涯 $\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue)$ を愛するだろう。(1)	○	○	○	○	○	○
$\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue)$ との関係が終わってしまうことなど、想像できない。(2)	○	○	○	○	○	○
私はこれからも $\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue)$ との関係を続けたいと決めている。(3)	○	○	○	○	○	○
私には、 $\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue)$ との関係は今後も揺らぐことはないという自信がある。(4)	○	○	○	○	○	○
私は $\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue)$ をもっと幸せにしてあげたいと心から願っている。(5)	○	○	○	○	○	○
私と $\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue)$ はお互いによりき理解者である。(6)	○	○	○	○	○	○
$\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue)$ は、必要とあればいつでも私を頼ることができる。(7)	○	○	○	○	○	○
私は $\$(q//QID12/ChoiceTextEntryValue)$ との心の距離が近いと感じている。(8)	○	○	○	○	○	○

Q21 以下のそれぞれの特徴は、現在のあなた自身にどの程度当てはまりますか。

	まったく当てはまらない (1)	当てはまらな い (2) (2)	あまり 当ては まらな い (3) (3)	少し当 てはま る (4) (4)	当ては まる (5) (5)	非常に 当ては まる (6) (6)
意欲的だ (1)	○	○	○	○	○	○
顔立ちが魅力的だ (2)	○	○	○	○	○	○
体型 (スタイル) が魅力的だ (3)	○	○	○	○	○	○
子どもを持ちたい (4)	○	○	○	○	○	○
セックスに対して意欲的だ (5)	○	○	○	○	○	○
浮気はしない (6)	○	○	○	○	○	○
お金に困ることがない (7)	○	○	○	○	○	○
気前がいい (8)	○	○	○	○	○	○
ユーモアのセンスがある (9)	○	○	○	○	○	○
健康的だ (10)	○	○	○	○	○	○
自立している (11)	○	○	○	○	○	○
知的だ (12)	○	○	○	○	○	○
親切で思いやりがある (13)	○	○	○	○	○	○
相手を決して裏切らない (14)	○	○	○	○	○	○
責任感がある (15)	○	○	○	○	○	○
社交的だ (16)	○	○	○	○	○	○
情緒が安定している (17)	○	○	○	○	○	○

Q22 次のそれぞれの文が、あなた自身にどの程度当てはまるかお答えください。

	まったく当てはまらない (1)	当てはまらな い (2) (2)	あまり 当ては まらな い (3) (3)	少し当 てはま る (4) (4)	当ては まる (5) (5)	非常に 当ては まる (6) (6)
たいていの人は、私と一緒に時間を過ごすのが好きだ。 (1)	○	○	○	○	○	○
ほとんどの人は、私を皆に好かれる人物であると認めてくれる。 (2)	○	○	○	○	○	○
もし私が誰かに友人として好意を抱いたとしたら、その人も私のことを好いてくれるだろう。 (3)	○	○	○	○	○	○
多くの人が出会うパーティーなどの場面で、人々はたいてい私と会話したがる。 (4)	○	○	○	○	○	○
多くの人々は、私について知りたがる。 (5)	○	○	○	○	○	○
私が誰かと一緒に過ごしたいと感じているのに、その人たちは私と一緒に過ごしたいと思っていないことがしばしばある。 (6)	○	○	○	○	○	○
人々が友人に望む特性 (性格・能力など) を、私はあまり持っていない。 (7)	○	○	○	○	○	○
多くの人が出会うパーティーなどの場面で、私はしばしば他の人たちから無視されているように感じる。 (8)	○	○	○	○	○	○
人は、私と一緒に時間を過ごすことに対して、それほど関心を持っていないように見える。 (9)	○	○	○	○	○	○
私は、他の人たちが、私と一緒に時間を過ごすのが嫌だから、何かと理由をでっち上げているように感じる。 (10)	○	○	○	○	○	○

Q48 このセクションでは、あなたが交際したいと思っている相手や、これからも関係を続けていきたいと思っている相手に対してどのような行動するかについておたずねします。次のような状況に置かれた場合を想像して、続く質問にご回答ください。

Q50 あなたは、最近一緒に出掛けたり、遊びに出かけたりする、Xさんという異性があります。あなたは、Xさんと恋人として付き合いたいと思っています。

Q23 このような状況で、あなたはXさんに対して、どのように行動しますか。以下のそれぞれの行動を、あなたがどのくらい取りそうであるかを答えてください。あなたが理想的だと思う行動ではなく、あくまでも実際に取りそうな行動を答えてください。
い。 Xさんに対して私は...

	絶対に 取らない 1 (1)	取らない 2 (2)	どちら かとい えは取 らない 3 (3)	どちら かとい えは取 る 4 (4)	取る 5 (5)	必ず取 る 6 (6)
Xさんの趣味や関心を探る。(1)	○	○	○	○	○	○
Xさんに、現在付き合っている恋人や、私以外に親しい異性がいるかどうか探る。(2)	○	○	○	○	○	○
Xさんに、私が特別な技能や特技を持っていることをわからせる。(3)	○	○	○	○	○	○
Xさんに、私が優れた能力（知性、体力など）を持っていることをわからせる。(4)	○	○	○	○	○	○
Xさんに、私が裕福であることをわからせる。(5)	○	○	○	○	○	○
Xさんに、私が経済的に安定していることをわからせる。(6)	○	○	○	○	○	○
Xさんに、私が魅力的な体型をしていることをわからせる。(7)	○	○	○	○	○	○
Xさんに、私が魅力的な顔立ちをしていることをわからせる。(8)	○	○	○	○	○	○
Xさんに、私がよい性格（親切さ、誠実さなど）を持っていることをわからせる。(9)	○	○	○	○	○	○
Xさんに、私が親しみやすい人間だということをわからせる。(10)	○	○	○	○	○	○
私自身を、私が考える理想の恋人像に近づけるように努力する。(11)	○	○	○	○	○	○
自分の髪型や服装を整えたり、シェイプアップに励んだりして、見た目を整える。(12)	○	○	○	○	○	○
Xさんに私の秘密や悩みを打ち明ける。(13)	○	○	○	○	○	○
Xさんに私がこれまでにした大きな失敗を打ち明ける。(14)	○	○	○	○	○	○

Xさんと出かけるチャンスがあれば、他の	○	○	○	○	○	○
\$\{q/QID4/ChoiceGroup/UnselectedChoices\}\$ との先約を断る。(15)	○	○	○	○	○	○
Xさんを特別扱いする。(16)	○	○	○	○	○	○
Xさんを含む何人かの異性が集まっているなかで、Xさんだけに話しかけるよう努める。(17)	○	○	○	○	○	○
Xさん以外の異性とプライベートで出かけたたりしないようにする。(18)	○	○	○	○	○	○
Xさんとの関係に問題が起こらないように気を配る。(19)	○	○	○	○	○	○
Xさんとの関係を優先しすぎて、他の人から嫌われないよう気をつける。(20)	○	○	○	○	○	○
Xさんと良い関係を築くためならば、他の人との関係に悪影響が及んでもあまり気にしない。(21)	○	○	○	○	○	○
Xさんとの関係がうまくいくよう、友人からXさんとの仲を取り持つてもらおう。(22)	○	○	○	○	○	○
私はどうしたらいいか友人に相談する。(23)	○	○	○	○	○	○
友人にお願いして、Xさんに私が恋人(共妻)として望ましい人物だと勧めてもらおう。(24)	○	○	○	○	○	○
Xさんが私に興味を持ってくれるまで待つ。(25)	○	○	○	○	○	○
Xさんが私に告白してくれるまで待つ。(26)	○	○	○	○	○	○
Xさんに話しかける頻度や、メールや電話の数を増やす。(27)	○	○	○	○	○	○
Xさんと一緒に過ごす時間を増やす。(28)	○	○	○	○	○	○
Xさんのことが好きだと個人的に伝える。(29)	○	○	○	○	○	○
Xさんのことが好きだと皆の前で伝える。(30)	○	○	○	○	○	○

Q49 あなたはXさんという異性と交際を始めて半年が経ちます。 あなたは、これからもXさんとの関係を続けていきたいと思っています。

Q47 このような状況で、あなたはXさんに対して、どのように行動しますか。以下のそれぞれの行動を、あなたがどのくらい取りそうであるかを答えてください。 あなたが理想的だと思う行動ではなく、あくまでも実際に取りそうな行動を答えてください。
Xさんに対して私は...

	絶対に取らない1 (1)	取らない2 (2)	どちらかといえば取らない3 (3)	どちらかといえば取る4 (4)	取る5 (5)	必ず取る6 (6)
Xさんの趣味や関心を探る。(1)	○	○	○	○	○	○
Xさんに、現在付き合っている恋人や、私以外に親しい異性がいるかどうか探る。(2)	○	○	○	○	○	○
Xさんに、私が特別な技能や特技を持っていることをわからせる。(3)	○	○	○	○	○	○
Xさんに、私が優れた能力（知性、体力など）を持っていることをわからせる。(4)	○	○	○	○	○	○
Xさんに、私が裕福であることをわからせる。(5)	○	○	○	○	○	○
Xさんに、私が経済的に安定していることをわからせる。(6)	○	○	○	○	○	○
Xさんに、私が魅力的な体型をしていることをわからせる。(7)	○	○	○	○	○	○
Xさんに、私が魅力的な顔立ちをしていることをわからせる。(8)	○	○	○	○	○	○
Xさんに、私がよい性格（親切さ、誠実さなど）を持っていることをわからせる。(9)	○	○	○	○	○	○
Xさんに、私が親しみやすい人間だということをわからせる。(10)	○	○	○	○	○	○
私自身を、私が考える理想の恋人像に近づけるように努力する。(11)	○	○	○	○	○	○
自分の髪型や服装を整えたり、シェイプアップに励んだりして、見た目を整える。(12)	○	○	○	○	○	○

X さんに私の秘密や悩みを打ち明ける。(13)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
X さんに私がこれまでにした大きな失敗を打ち明ける。(14)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
X さんと出かけるチャンスがあれば、他の \$(q/UID4/ChoiceGroup/SelectedChoices) との先約を断る。(15)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
X さんを特別扱いする。(16)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
X さんを含む何人かの異性が集まっているなかで、X さんだけに話しかけるよう努める。(17)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
X さん以外の異性とプライベートで出かけたりしないようにする。(18)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
X さんとの関係に問題が起こらないよう気を配る。(19)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
X さんとの関係を優先しすぎて、他の人から嫌われないよう気をつける。(20)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
X さんと良い関係を築くためならば、他の人との関係に悪影響が及んでもあまり気にしない。(21)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
X さんとの関係がうまくいくよう、友人から X さんとの仲を取り持つってもらう。(22)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私はどうしたらいいか友人に相談する。(23)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
友人にお願いして、X さんに私が恋人(共妻)として望ましい人物だと勧めてもらう。(24)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
X さんが私に興味を持ってくれるまで待つ。(25)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
X さんが私に告白してくれるまで待つ。(26)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
X さんに話しかける頻度や、メールや電話の数を増やす。(27)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
X さんと一緒に過ごす時間を増やす。(28)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
X さんのことが好きだと個人的に伝える。(29)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

X さんのことが好きだと皆の前で伝える。(30)
☐
☐
☐
☐
☐
☐
☐
☐

Q69 あなたには、交際を始めて半年が経つ、A さんという恋人がいます。A さんは、ときおりなにかに悩んでいるように見えます。

私は、Aさんとの関係を解消するだろう。(5)	☐	☐	☐	☐	☐

Q72 Aさんはしばしば、あなたに対して個人的な悩みや秘密を打ち明けます。しかし、Aさんはあなた以外の人に対しては、悩みを相談したり秘密を打ち明けていないようです。あなたは、このような行動を取っているAさんに対して、どのように感じたり、行動したりするでしょうか？以下のそれぞれの文が、あなた自身の気持ちや行動にどのくらい当てはまるかを想像して答えてください。

まったく当てはまらない1 (1)	当てはまらない2 (2)	あまり当てはまらない3 (3)	少し当てはまる4 (4)	当てはまる5 (5)	非常に当てはまる6 (6)
Aさんは恋人として魅力的な人だと思 う。(1)		☐	☐	☐	☐
私は、Aさんと今後も恋人でいるだろ う。(2)	☐	☐	☐	☐	☐
私は、Aさんと今後さらに仲を深めて いこう。(3)	☐	☐	☐	☐	☐
私は、Aさんから距離をおくようにな るだろう。(4)	☐	☐	☐	☐	☐
私は、Aさんとの関係を解消するだろ う。(5)	☐	☐	☐	☐	☐

まったく当てはまらない1	当てはまる2	あまり当てはまらない3	少し当てはまる4	当てはまる5	非常に当てはまる6
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
Aさんは恋人として魅力的な人だと思う。(1)	○	○	○	○	○
私は、Aさんと今後も恋人でいるだろう。(2)	○	○	○	○	○
私は、Aさんと今後さらに仲を深めていくだろう。(3)	○	○	○	○	○
私は、Aさんから距離をおくようになるだろう。(4)	○	○	○	○	○
私は、Aさんとの関係を解消するだろう。(5)	○	○	○	○	○

Q71 Aさんはしばしば、あなたに対して個人的な悩みや秘密を打ち明けます。またAさんは、あなた以外の人に対しても、よく自分の悩みを相談したり、秘密を打ち明けたりしています。あなたは、このような行動を取っているAさんに対して、どのような感じたり、行動したりするでしょうか？以下のそれぞれの文が、あなた自身の気持ちや行動にどのくらい当てはまるかを想像して答えてください。

まったく当てはまらない (1)	当てはまらな い 2 (2)	あまり 当ては まらな い 3 (3)	少し当 てはま る 4 (4)	当ては まる 5 (5)	非常に 当ては まる 6 (6)
Aさんは恋人として魅力的な人だと思 う。(1)					
私は、Aさんと今後も恋人でいるだろ う。(2)					
私は、Aさんと今後さらに仲を深めて いくだろう。(3)					
私は、Aさんから距離をおくようにな るだろう。(4)					

いくだろう。(3)						
私は、Cさんから距離をおくようにな るだろう。(4)	○	○	○	○	○	○
私は、Cさんとの関係を解消するだろ う。(5)	○	○	○	○	○	○

Q45 B さんは、出張から帰ってきた後はいつも、あなたにお土産をくれます。しかし、**B** さんはあなた以外の人に対しては、お土産を渡していないようです。 あなたは、このような行動を取っている **B** さんに対して、どのように感じたり、行動したりするでしょうか？以下のそれぞれの文が、あなたの自身の気持ちや行動にどのくらい当てまるかを想像して答えてください。

	まったく当てはまらない(1)	当てはまらい2(2)	あまり当てはまらない3(3)	少し当てはまる4(4)	当てはまる5(5)	非常に当てはまる6(6)
B さんは恋人として魅力的な人だと思う。(1)	○	○	○	○	○	○
私は、 B さんと今後も恋人でいるだろう。(2)	○	○	○	○	○	○
私は、 B さんと今後さらに仲を深めていくだろう。(3)	○	○	○	○	○	○
私は、 B さんから距離をおくようにな るだろう。(4)	○	○	○	○	○	○
私は、 B さんとの関係を解消するだろ う。(5)	○	○	○	○	○	○

Q35 あなたには、友人と一緒に出掛けるようになってから半年が経つ、**C** さんという職場の同僚がいます。**C** さんは、ときおりなにか悩んでいるように見えます。

Q34 C さんは、あなたに対して個人的な悩みや秘密を打ち明けることはありません。また **C** さんは、あなた以外の人に対しても、自分の悩みを相談したり、秘密を打ち明けたりにしていません。 あなたは、このような行動を取っている **C** さんに対して、どのように感じたり、行動したりするでしょうか？以下のそれぞれの文が、あなた自身の気持ちや行動にどのくらい当てまるかを想像して答えてください。

	まったく当てはまらない(1)	当てはまらい2(2)	あまり当てはまらない3(3)	少し当てはまる4(4)	当てはまる5(5)	非常に当てはまる6(6)
C さんは友人として魅力的な人だと思う。(1)	○	○	○	○	○	○
私は、 C さんと今後も友人でいるだろう。(2)	○	○	○	○	○	○
私は、 C さんと今後さらに仲を深めて	○	○	○	○	○	○

	まったく 当ては まらない 1	あまり 当ては まらない 2 (2)	少し当 てはま る4 (4)	非常に 当ては まる6 (6)
Q36 Cさんはしばしば、あなたに対して個人的な悩みや秘密を打ち明けます。また Cさんは、あなた以外のの人に対しても、よく自分の悩みを相談したり、秘密を打ち明けたりしているようです。 あなたは、このような行動を取っている Cさんに対して、どのように感じたり、行動したりするでしょうか？以下のそれぞれの文が、あなた自身の気持ちや行動にどのくらい当てはまるかを想像して答えてください。				
Cさんは友人として魅力的な人だと思 う。(1)	☐	☐	☐	☐
私は、Cさんと今後もしも友人でいるだ ろう。(2)	☐	☐	☐	☐
私は、Cさんと今後さらに仲を深めて いくだろう。(3)	☐	☐	☐	☐
私は、Cさんから距離をおくようにな るだろう。(4)	☐	☐	☐	☐
私は、Cさんとの関係を解消するだ ろう。(5)	☐	☐	☐	☐

Q37 Cさんはしばしば、あなたに対して個人的な悩みや秘密を打ち明けます。しかし、Cさんはあなた以外のの人に対しては、悩みを相談したり秘密を打ち明けたりしていないようです。 あなたは、このような行動を取っている Cさんに対して、どのように感じたり、行動したりするでしょうか？以下のそれぞれの文が、あなた自身の気持ちや行動にどのくらい当てはまるかを想像して答えてください。

	まったく 当ては まらない 1	あまり 当ては まらない 2 (2)	少し当 てはま る4 (4)	非常に 当ては まる6 (6)
Q38 Dさんは、出張から帰ってきた後はいつも、あなたにお土産をくれます。また Dさんは、あなた以外の同僚に対しても、いつもあなたに渡したものと同じお土産を配っているようです。 あなたは、このような行動を取っている Dさんに対して、どのように感じたり、行動したりするでしょうか？以下のそれぞれの文が、あなた自身の気持ちや行動にどのくらい当てはまるかを想像して答えてください。				
Cさんは友人として魅力的な人だと思 う。(1)	☐	☐	☐	☐
私は、Cさんと今後もしも友人でいるだ ろう。(2)	☐	☐	☐	☐
私は、Cさんと今後さらに仲を深めて いくだろう。(3)	☐	☐	☐	☐
私は、Cさんから距離をおくようにな るだろう。(4)	☐	☐	☐	☐

私は、Cさんとの関係を解消するだ ろう。(5)	☐	☐	☐	☐	☐

Q46 あなたには、友人として一緒に出かけるようになってから半年が経つ、Dさんという職場の同僚がいます。 Dさんは、よく仕事で海外出張しています。

Q47 Dさんは、出張から帰ってきた後、あなたにお土産をくれません。また Dさんは、あなた以外の同僚に対しても、お土産を渡してはいないようです。 あなたは、このような行動を取っている Dさんに対して、どのように感じたり、行動したりするでしょうか？以下のそれぞれの文が、あなた自身の気持ちや行動にどのくらい当てはまるかを想像して答えてください。

	まったく 当ては まらない 1	あまり 当ては まらない 2 (2)	少し当 てはま る4 (4)	非常に 当ては まる6 (6)
Dさんは友人として魅力的な人だと思 う。(1)	☐	☐	☐	☐
私は、Dさんと今後もしも友人でいるだ ろう。(2)	☐	☐	☐	☐
私は、Dさんと今後さらに仲を深めて いくだろう。(3)	☐	☐	☐	☐
私は、Dさんから距離をおくようにな るだろう。(4)	☐	☐	☐	☐
私は、Dさんとの関係を解消するだ ろう。(5)	☐	☐	☐	☐

Q48 Dさんは、出張から帰ってきた後はいつも、あなたにお土産をくれます。また Dさんは、あなた以外の同僚に対しても、いつもあなたに渡したものと同じお土産を配っているようです。 あなたは、このような行動を取っている Dさんに対して、どのように感じたり、行動したりするでしょうか？以下のそれぞれの文が、あなた自身の気持ちや行動にどのくらい当てはまるかを想像して答えてください。

	まったく 当ては まらない 1	あまり 当ては まらない 2 (2)	少し当 てはま る4 (4)	非常に 当ては まる6 (6)
Dさんは友人として魅力的な人だと思 う。(1)	☐	☐	☐	☐

私は、Dさんと今後も友人でいるだろう。(2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は、Dさんと今後さらに仲を深めていくだろう。(3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は、Dさんから距離をおくようになるだろう。(4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は、Dさんとの関係を解消するだろう。(5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q49 Dさんは、出張から帰ってきた後はいつも、あなたにお土産をくれます。しかし、Dさんはあなた以外の同僚に対しては、お土産を渡していないようです。あなたは、このような行動を取っているDさんに対して、どのように感じたり、行動したりするでしょうか？以下のそれぞれの文が、あなたの自身の気持ちや行動にどのくらい当てはまるかを想像して答えてください。

	まったく当てはまらない(1)	当てはまらい(2)	あまり当てはまらない(3)	少し当てはまる(4)	当てはまる(5)	非常に当てはまる(6)
Dさんは友人として魅力的な人だと思う。(1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は、Dさんと今後も友人でいるだろう。(2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は、Dさんと今後さらに仲を深めていくだろう。(3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は、Dさんから距離をおくようになるだろう。(4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
私は、Dさんとの関係を解消するだろう。(5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q52 あなた自身についておたずねします。

Q54 あなたの年齢は？

Q55 あなたの国籍は？

- ☐ 日本 (1)
- ☐ アメリカ (2)
- ☐ それ以外の国 (3) _____

Q56 あなたの最終学歴は？

- ☐ 中学、もしくはそれ以前 (1)
- ☐ 高校／高卒認定 (2)
- ☐ 短大・高専 (3)
- ☐ 4 年制大学 (4)
- ☐ 大学院修士課程 (5)
- ☐ 大学院博士課程 (6)

Q57 あなたの母語（もっともうまく話すことができる言語）は日本語ですか？

- ☐ はい (1)
- ☐ いいえ (2)

Q80 Which of the following best represents your racial or ethnic heritage? Choose all that apply:

- ☐ Non-Hispanic White or Euro-American (1)
- ☐ Black, Afro-Caribbean, or African American (2)
- ☐ Latino or Hispanic American (3)
- ☐ East Asian or Asian American (4)
- ☐ South Asian or Indian American (5)
- ☐ Middle Eastern or Arab American (6)
- ☐ Native American or Alaskan Native (7)
- ☐ Hawaiian or Other Pacific Islander (8)
- ☐ Other: please specify (9) _____

Q58 あなたの出身地をもっともよく表しているものを一つ選んでください。※大都市
＝東京や政令都市、中都市＝15万人以上の市、小都市＝15万人以下の市

- ☐ 大都市 (1)
- ☐ 中都市 (2)
- ☐ 小都市 (3)

Q59 5歳以降で、新しい地域や別の市町村に引っ越したことは合計何回ありますか？

Q60 あなたの雇用状況について、もっともよく当てはまるものを選んでください。

- ☐ 正規雇用 (1)
- ☐ アルバイト・派遣社員 (2)
- ☐ 自営業 (3)
- ☐ 失業して1年以上 (4)
- ☐ 失業して1年以内 (5)
- ☐ 主婦／主夫 (6)
- ☐ 学生 (7)
- ☐ 退職 (8)
- ☐ 労働が困難な状況にある (9)

Q61 あなたの自身の年収は？

- ☐ 100万円未満 (1)
- ☐ 100万円以上～200万円未満 (2)
- ☐ 200万円以上～300万円未満 (3)
- ☐ 300万円以上～400万円未満 (4)
- ☐ 400万円以上～500万円未満 (5)
- ☐ 500万円以上～600万円未満 (6)
- ☐ 600万円以上～700万円未満 (7)
- ☐ 700万円以上～800万円未満 (8)
- ☐ 800万円以上～900万円未満 (9)
- ☐ 900万円以上～1000万円未満 (10)
- ☐ 1,000万円以上～1,500万円未満 (11)
- ☐ 1500万円以上 (12)

Q54 これまでに海外に住んだことはありますか？

- ☐ はい (1)
- ☐ いいえ (2)

Q53 上記の質問で「はい」と答えた方は、国名（複数回答可）とその居住総年数をお書きください。

国名・年数（例：アメリカ2年） (1)

国名・年数 (5)

国名・年数 (6)

国名・年数 (7)

付録 10：研究 2-2. 質問紙 (英語)

Q2 Thank you for agreeing to participate in this study. This study is about interpersonal behaviors and emotions in close relationships such as romantic relationships and friendships. Please be aware that this study involves questions about your current/past romantic and/or sexual relationships.

Therefore, please note that:

- All the responses to the questionnaire will be kept anonymous and handled statistically.
- If there are any questions which you don't want to answer, you can skip to the next questions. That said, the success of this study will be depends on the accuracy of all the responses, so please answer all the questions as honestly as possible.
- A validation code for MTurk will be shown at the end of the survey.

Click on the button at bottom right to begin. Please read each question carefully before responding.

Q3 Please provide the following information about yourself.

Q4 Gender

- ☐ males (1)
- ☐ females (2)

Q5 In terms of whom you usually fall in love with and feel sexually attracted to, please choose one of the following.

- ☐ Individuals who are the opposite-sex from you (1)
- ☐ Individuals who are the same-sex as you (2)
- ☐ It depends; the gender/sex doesn't matter (3)

Q7 Regardless of your own sexual orientation, we would first like to ask you about heterosexual relationships in general. How much do you feel the following statements

accurately describe heterosexual romantic relationships among people around you (i.e., their romantic partners and potential romantic partners)? Regarding those people around you, please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements.

	Strongly disagree (1)	Disagree (2)	Slightly disagree (3)	Slightly agree (4)	Agree (5)	Strongly agree (6)
They (the people around you) have many chances to get to know someone who might become a future romantic partner. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Their current or potential romantic partners match their own preferences. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
There are few opportunities for them to find new romantic partners. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
If they were not satisfied with their current romantic relationship, they could easily end it. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
It is often the case that they cannot freely choose their romantic partners. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Even if they were not satisfied with their current romantic relationship, they would often have no choice but to stay in it. (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q8 How many new people of the opposite-sex have you met during the following periods? *Please enter 0 if you met no one.

- In the past week (7 days) (1)
- In the past month (30 days) (2)
- In the past three months (90 days) (3)

Q10 We will now ask you about your current self.

Q9 Are you currently married?

- ☐ Not married (1)
- ☐ Married (2)

Answer If 現在ご結婚されていますか？ 独身 Is Selected

Q11 What is your current relationship status?

- ☐ Not currently in a relationship (1)
- ☐ Engaged (2)
- ☐ Exclusively dating (3)
- ☐ Casually dating with a single partner (4)
- ☐ Casually dating with multiple partners (5)

If 誰とも交際していない Is Selected, Then Skip To あなたは、これまでに何人の異性と付き合った（告白などを通して恋人関係になっ...

Q12 Please enter the initial of your current romantic partner. If you are married, please enter the initial of your spouse.

* If you are casually dating with multiple partners, please imagine the closest person.

* The initial of your romantic partner will only be used in the questions which follow: it will not be used to identify him/her.

e.g., John Smith → JS NOTE: *A response is required here in order to proceed. *If you absolutely do not want to enter the initial of your romantic partner, please enter "my romantic partner" in the box.

Q13 How many opposite-sex partners have you dated with throughout your life?

Please enter your response using numerals. If you're currently in a relationship, please include your current romantic partner or husband/wife.

Q 14 Please rate the extent to which you either agree or disagree with the following statements in regards to your relationship with "\${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}" .

Please choose the option that best describes your thoughts.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree e2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree4 (4)	Agree5 (5)	Strongly agree6 (6)
I find \${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue} to be very personally attractive. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
There is something almost 'magical' about my relationship with \${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Just seeing \${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue} is exciting for me. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I cannot imagine life without \${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
My relationship with \${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue} is passionate. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I fantasize about \${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}. (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I find myself thinking about \${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue} frequently during the day. (7)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I especially like physical contact with \${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}. (8)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
There is nothing more important to me than my relationship with \${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}. (9)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I cannot imagine another person making me as happy as \${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue} does. (10)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I adore \${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}. (11)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would rather be with \${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue} than with anyone else. (12)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

My relationship with \${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue} is very romantic. (13)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I idealize \${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}. (14)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
When I see romantic movies or read romantic books I think of \${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}. (15)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q17 We would like to know how passionate you feel toward

"\${q:/QID12/ChoiceTextEntryValue}" . Some common terms for passionate love are
romantic love, infatuation, love sickness, or obsessive love.

Q15 Please choose the option that best describes your thoughts.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree e2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree 4 (4)	Agree 5 (5)	Strongly agree 6 (6)
I would feel deep despair if I left me. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Sometimes I feel I can't control my thoughts, they are obsessively on me. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I feel happy when I am doing something to make me happy. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would rather be with someone than anyone else. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I'd get jealous if I thought I were falling in love with someone else. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I yearn to know all about someone. (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I want someone physically, emotionally, mentally. (7)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I have an endless appetite for affection from someone. (8)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
For me, someone is the perfect romantic partner. (9)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I sense my body responding when someone touches me. (10)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Someone always seems to be on my mind. (11)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I want someone to know me- my thoughts, my fears, and my hopes. (12)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I eagerly look for signs indicating someone's	☐	☐	☐	☐	☐	☐

desire for me. (13)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I possess a powerful attraction for someone. (14)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I get extremely depressed when things don't go right in my relationship with someone. (15)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q20 We would also like to know how companionate you feel toward "someone". Some common terms for companionate love are affectionate love, tender love, true love, or marital love.

Q18 Please choose the option that best describes your thoughts.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree 2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree 4 (4)	Agree 5 (5)	Strongly agree 6 (6)
I expect my love for \$(q://QID12/ChoiceTextEntryValue) to last for the rest of my life. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I can't imagine ending my relationship with \$(q://QID12/ChoiceTextEntryValue). (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I am committed to maintaining my relationship with \$(q://QID12/ChoiceTextEntryValue). (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I have confidence in the stability of my relationship with \$(q://QID12/ChoiceTextEntryValue). (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I strongly desire to promote the well being of \$(q://QID12/ChoiceTextEntryValue). (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I have a relationship of mutual understanding with \$(q://QID12/ChoiceTextEntryValue). (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
\$(q://QID12/ChoiceTextEntryValue) is able to count on me in times of need. (7)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I feel emotionally close to \$(q://QID12/ChoiceTextEntryValue). (8)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q21 How well do you feel that these attributes apply to you currently?

	Extremely low on this trait1 (1)	Low on this trait2 (2)	Somewhat low on this trait3 (3)	Somewhat high on this trait4 (4)	High on this trait5 (5)	Extremely high on this trait6 (6)
Ambitious (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Attractive face (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Attractive body (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Desires children (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Enthusiastic about sex (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Faithful to partner (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Financially secure (7)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Generous (8)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Good sense of humor (9)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Healthy (10)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Independent (11)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Intelligent (12)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Kind and understanding (13)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Loyal (14)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Responsible (15)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Sociable (16)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Emotionally stable (17)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q22 Please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree 2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree 4 (4)	Agree 5 (5)	Strongly agree 6 (6)
Most people enjoy spending time with me. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Most people would agree that I am liked by others. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
If I liked someone as a friend, they would probably like me back. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
If I go to a party or other event where many people meet each other, people generally want to talk to me. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Lots of people want to know me. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Even if I want to hang out with someone, there is a chance that they don't want to hang out with me. (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I don't really have the attributes (personality, ability, etc.) that most people want in a friend. (7)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
If I go to a party or other event where many people meet each other, I often feel ignored by others. (8)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
It seems like people aren't very interested in spending time with me. (9)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Sometimes it feels like people make up excuses because they don't want to spend time with me. (10)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q48 In this section, we will ask how you would behave toward a person whom you want to start dating or to maintain a current relationship with in the future. Please imagine that you were in each of the following situations and answer the questions that follow.

Q50 You have recently been going out and spending time together with a person of the opposite-sex, named X. You want to start dating with X.

Q23 In such a situation, how would you behave toward Person X? Please think about how likely you would actually behave in each of the following ways, NOT how you would ideally behave. Toward Person X, I would...

	Completely unlikely 1 (1)	Unlikely 2 (2)	Slightly unlikely 3 (3)	Slightly likely 4 (4)	Likely 5 (5)	Completely likely 6 (6)
Get to know X's hobbies and interests. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Find out if X has a boyfriend/girlfriend, or is close to any other person of the opposite-sex. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Make X aware of any special skills and talents I have. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Make X aware of any exceptional abilities (e.g., intelligence, physical ability) I have. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Make X aware that I am financially wealthy. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Make X aware of my financial stability. (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Make X aware of my attractive physique. (7)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Make X aware of my attractive facial features. (8)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Make X aware of my desirable personality traits (e.g., kindness, loyalty). (9)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Make X aware of my amicable and friendly nature. (10)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Try to make myself into what I consider to be the ideal romantic partner. (11)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Work on my looks by doing things such as changing my hairstyle, adjusting my fashion sense, working out, or losing weight. (12)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Let X know my personal secrets and worries. (13)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Tell X about my previous big failures. (14)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Cancel going out with other people (e.g., Q14/ChoiceGroup/UnselectedC choices) if there was a chance to hang out with X. (15)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Pay special attention to X. (16)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
When we're all hanging out with a group of people, make an effort to only talk with X. (17)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Avoid going out with \$(q//QID4/ChoiceGroup/UnselectedC hoices} one-on-one, other than X. (18)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Take care not to cause problems in my relationship with X. (19)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Take care not to end up being disliked by people around me due to over-prioritizing my relationship with X. (20)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Not mind too much damaging relationships with other people, if it is for the sake of building a good relationship with X. (21)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Ask my friends to put in a good word for me with X in order that things might go well between me and X. (22)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Ask my friends for advice about what I should do. (23)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Ask my friends to recommend me to X as a desirable romantic partner. (24)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Wait for X to become interested in me. (25)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Wait for X to ask me to be his/her boyfriend/girlfriend. (26)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Talk to, email, or call X more frequently. (27)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Spend more time with X. (28)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Tell X privately that I like him/her. (29)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Tell X that I like him/her in front of other people. (30)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q49 You have been in a relationship with a person of the opposite-sex, named X, for half a year. You want to maintain the relationship with X in the future.

Q47 In such a situation, how would you behave toward Person X? Please think about how likely you would actually behave in each of the following ways, NOT how you would ideally behave. Toward Person X, I would...

	Complet ely unlikely 1 (1)	Unlikely 2 (2)	Slightly unlikely 3 (3)	Slightly likely 4 (4)	Likely 5 (5)	Complet ely likely 6 (6)
Get to know X's hobbies and interests. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Find out if X has a boyfriend/girlfriend, or is close to any other person of the opposite-sex. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Make X aware of any special skills and talents I have. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Make X aware of any exceptional abilities (e.g., intelligence, physical ability) I have. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Make X aware that I am financially wealthy. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Make X aware of my financial stability. (6)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Make X aware of my attractive physique. (7)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Make X aware of my attractive facial features. (8)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Make X aware of my desirable personality traits (e.g., kindness, loyalty). (9)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Make X aware of my amicable and friendly nature. (10)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Try to make myself into what I consider to be the ideal romantic partner. (11)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Work on my looks by doing things such as changing my hairstyle, adjusting my fashion sense, working out, or losing weight. (12)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Let X know my personal secrets and worries. (13)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Tell X about my previous big failures. (14)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Cancel going out with other \$(q//QID4/ChoiceGroup/UnselectedC hoices} if there was a chance to hang out with X. (15)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Pay special attention to X. (16)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
When we're all hanging out with a group of people, make an effort to only talk with X. (17)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Avoid going out with \$(q://QID4/ChoiceGroup/UnselectedChoices} one-on-one, other than X. (18)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Take care not to cause problems in my relationship with X. (19)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Take care not to end up being disliked by people around me due to over-prioritizing my relationship with X. (20)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Not mind too much damaging relationships with other people, if it is for the sake of building a good relationship with X. (21)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Ask my friends to put in a good word for me with X in order that things might go well between me and X. (22)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Ask my friends for advice about what I should do. (23)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Ask my friends to recommend me to X as a desirable romantic partner. (24)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Wait for X to become interested in me. (25)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Wait for X to ask me to be his/her boyfriend/girlfriend. (26)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Talk to, email, or call X more frequently. (27)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Spend more time with X. (28)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Tell X privately that I like him/her. (29)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Tell X that I like him/her in front of other people. (30)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q69 You have been in a relationship with person A for half a year. Sometimes A seems as though he/she is worried about something.

Q70 A never discloses his/her personal worries or secrets to you. A doesn't seem to disclose his/her personal worries or secrets to anyone else, either. If Person A

behaved as described above, how would you feel or behave towards him/her? Please rate how much you agree or disagree with each of the following statements as your feelings or behaviors in the above situation.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree e2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree 4 (4)	Agree 5 (5)	Strongly agree 6 (6)
I would think that A is an attractive person as a romantic partner. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would continue to be a romantic partner of A in the future. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would deepen my relationship with A in the future. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would distance myself from A. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would end my relationship with A. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q71 A often discloses his/her personal worries and secrets to you. A seems to often disclose his/her personal worries or secrets to others as well. If Person A behaved as described above, how would you feel or behave towards him/her? Please rate how much you agree or disagree with each of the following statements as your feelings or behaviors in the above situation.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree e2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree 4 (4)	Agree 5 (5)	Strongly agree 6 (6)
I would think that A is an attractive person as a romantic partner. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would continue to be a romantic partner of A in the future. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would deepen my relationship with A in the future. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would distance myself from A. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would end my relationship with A. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q72 A often discloses his/her personal worries and secrets to you. However, A doesn't seem to disclose his/her personal worries or secrets to anyone else except you. If Person A behaved as described above, how would you feel or behave towards

him/her? Please rate how much you agree or disagree with each of the following statements as your feelings or behaviors in the above situation.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree e2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree4 (4)	Agree5 (5)	Strongly agree6 (6)
I would think that A is an attractive person as a romantic partner. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would continue to be a romantic partner of A in the future. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would deepen my relationship with A in the future. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would distance myself from A. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would end my relationship with A. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q42 You have been in a relationship with person B for half a year. B often goes to overseas business trips.

Q43 B never brings you any souvenirs from his/her trips. B doesn't seem to bring souvenirs to anyone else, either. If Person B behaved as described above, how would you feel or behave towards him/her? Please rate how much you agree or disagree with each of the following statements as your feelings or behaviors in the above situation.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree e2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree4 (4)	Agree5 (5)	Strongly agree6 (6)
I would think that B is an attractive person as a romantic partner. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would continue to be a romantic partner of B in the future. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would deepen my relationship with B in the future. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would distance myself from B. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would end my relationship with B. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q44 B always brings you a souvenir from his/her trips. In addition to you, B always seems to give the same souvenirs to others as well. If Person B behaved as described above, how would you feel or behave towards him/her? Please rate how

much you agree or disagree with each of the following statements as your feelings or behaviors in the above situation.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree e2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree4 (4)	Agree5 (5)	Strongly agree6 (6)
I would think that B is an attractive person as a romantic partner. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would continue to be a romantic partner of B in the future. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would deepen my relationship with B in the future. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would distance myself from B. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would end my relationship with B. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q45 B always brings you a souvenir from his/her trips. However, B doesn't seem to give souvenirs to anyone else except you. If Person B behaved as described above, how would you feel or behave towards him/her? Please rate how much you agree or disagree with each of the following statements as your feelings or behaviors in the above situation.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree e2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree4 (4)	Agree5 (5)	Strongly agree6 (6)
I would think that B is an attractive person as a romantic partner. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would continue to be a romantic partner of B in the future. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would deepen my relationship with B in the future. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would distance myself from B. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would end my relationship with B. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q35 You have been spending time with a friend, named C, for half a year. C is your colleague at work. Sometimes C seems as though he/she is worried about something.

Q34 C never discloses his/her personal worries or secrets to you. C doesn't seem to disclose his/her personal worries or secrets to anyone else, either. If Person C

behaved as described above, how would you feel or behave towards him/her? Please rate how much you agree or disagree with each of the following statements as your feelings or behaviors in the above situation.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree e2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree4 (4)	Agree5 (5)	Strongly agree6 (6)
I would think that C is an attractive person as a friend. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would continue to be a friend of C in the future. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would deepen my relationship with C in the future. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would distance myself from C. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would end my relationship with C. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q36 C often discloses his/her personal worries and secrets to you. C seems to often disclose his/her personal worries or secrets to others as well. If Person C behaved as described above, how would you feel or behave towards him/her? Please rate how much you agree or disagree with each of the following statements as your feelings or behaviors in the above situation.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree e2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree4 (4)	Agree5 (5)	Strongly agree6 (6)
I would think that C is an attractive person as a friend. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would continue to be a friend of C in the future. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would deepen my relationship with C in the future. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would distance myself from C. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would end my relationship with C. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q37 C often discloses his/her personal worries and secrets to you. However, C doesn't seem to disclose his/her personal concerns or secrets to anyone else except you. If Person C behaved as described above, how would you feel or behave towards

him/her? Please rate how much you agree or disagree with each of the following statements as your feelings or behaviors in the above situation.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree e2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree4 (4)	Agree5 (5)	Strongly agree6 (6)
I would think that C is an attractive person as a friend. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would continue to be a friend of C in the future. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would deepen my relationship with C in the future. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would distance myself from C. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would end my relationship with C. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q46 You have been spending time with a friend, named D, for half a year. D is your colleague at work. D often goes to overseas business trips.

Q47 D never brings you any souvenirs from his/her trips. D doesn't seem to bring souvenirs to any other colleagues, either. If Person D behaved as described above, how would you feel or behave towards him/her? Please rate how much you agree or disagree with each of the following statements as your feelings or behaviors in the above situation.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree e2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree4 (4)	Agree5 (5)	Strongly agree6 (6)
I would think that D is an attractive person as a friend. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would continue to be a friend of D in the future. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would deepen my relationship with D in the future. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would distance myself from D. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would end my relationship with D. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q48 D always brings you a souvenir from his/her trips. In addition to you, D always seems to give the same souvenirs to other colleagues as well. If Person D behaved

as described above, how would you feel or behave towards him/her? Please rate how much you agree or disagree with each of the following statements as your feelings or behaviors in the above situation.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree e2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree 4 (4)	Agree 5 (5)	Strongly agree 6 (6)
I would think that D is an attractive person as a friend. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would continue to be a friend of D in the future. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would deepen my relationship with D in the future. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would distance myself from D. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would end my relationship with D. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q49 D always brings you a souvenir from his/her trips. However, D doesn't seem to give souvenirs to any other colleagues except you. If Person D behaved as described above, how would you feel or behave towards him/her? Please rate how much you agree or disagree with each of the following statements as your feelings or behaviors in the above situation.

	Strongly disagree 1 (1)	Disagree e2 (2)	Slightly disagree 3 (3)	Slightly agree 4 (4)	Agree 5 (5)	Strongly agree 6 (6)
I would think that D is an attractive person as a friend. (1)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would continue to be a friend of D in the future. (2)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would deepen my relationship with D in the future. (3)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would distance myself from D. (4)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
I would end my relationship with D. (5)	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q52 We will ask you about yourself.

Q54 How old are you? (Please answer in numerals)

Q55 What is your citizenship?

- ☐ Japan (1)
- ☐ US (2)
- ☐ Other (3) _____

Q56 What is your highest level of education?

- ☐ Middle school or earlier (1)
- ☐ High school or equivalency (2)
- ☐ Junior college/trade school (3)
- ☐ 4 year College/ University (4)
- ☐ Graduate degree- Masters (5)
- ☐ Graduate degree – Doctoral (6)

Q57 Was English the first language you learned?

- ☐ Yes (1)
- ☐ No (2)

Q80 Which of the following best represents your racial or ethnic heritage? Choose all that apply:

- ☐ Non-Hispanic White or Euro-American (1)
- ☐ Black, Afro-Caribbean, or African American (2)
- ☐ Latino or Hispanic American (3)
- ☐ East Asian or Asian American (4)
- ☐ South Asian or Indian American (5)
- ☐ Middle Eastern or Arab American (6)
- ☐ Native American or Alaskan Native (7)
- ☐ Hawaiian or Other Pacific Islander (8)
- ☐ Other: please specify (9) _____

Q58 What sort of area did you grow up in? Please select the choice that best describes the place where you grew up:

- ☐ Urban area (1)
- ☐ Suburban area (2)
- ☐ Rural area (3)

Q59 How many times after the age of 5 have you moved to a totally new neighborhood or town?

Q60 Please select the choice that best represents your employment status:

- ☐ Employed full time (1)
- ☐ Part-time job (2)
- ☐ Self-employed (3)
- ☐ Out of work for more than 1 year (4)
- ☐ Out of work for less than 1 year (5)
- ☐ A homemaker (6)
- ☐ A student (7)
- ☐ Retired (8)
- ☐ Unable to work (9)

Q61 What is your annual income?

- ☐ Less than \$10,000 (1)
- ☐ \$10,000 - \$19,999 (2)
- ☐ \$20,000 - \$29,999 (3)
- ☐ \$30,000 - \$39,999 (4)
- ☐ \$40,000 - \$49,999 (5)
- ☐ \$50,000 - \$59,999 (6)
- ☐ \$60,000 - \$69,999 (7)
- ☐ \$70,000 - \$79,999 (8)
- ☐ \$80,000 - \$89,999 (9)
- ☐ \$90,000 - \$99,999 (10)
- ☐ \$100,000-\$149,999 (11)
- ☐ More than \$150,000 (12)

Q54 Have you ever lived overseas (outside the United States)?

- ☐ Yes (1)
- ☐ No (2)

Q53 If you have lived overseas, please specify the countries and the number of years have lived in each country.

Country, year (1)

Country, year (5)

Country, year (6)

Country, year (7)

付録 11：研究 3-1. 質問紙 (日本語)

「Backspace」キーも、テキストボックスに入力した文章を修正するとき以外は押さないでください。エラーが発生することがあります。

- 回答終了後に、Lancers用の作業終了確認番号が表示されます。

上記の文章を読んで、私は：

- 調査への参加に同意します（調査に回答する）
- 調査への参加に同意しません（調査への回答をやめる）

※ 調査をご辞退されたことにより、あなたに不都合が生じることは決してありませんので、どうぞご安心ください。

Demographic0

あなた自身についておたずねします。

- 性別
- 男性
- 女性
- その他

あなたが普段好きになったり、性的魅力を感じたりする相手を次の選択肢から選んでください。



welcome page

この度は、北海道大学 文化・社会生態・心理学研究室の調査にご協力いただきありがとうございます。本調査では、恋愛関係における、人々の行動や感情についておたずねします。調査項目の中には、あなたの過去の交際経験や性的関係に関する質問も含まれます。

注）誠に恐縮ですが、本調査は、以下の条件を満たす方を対象としています。

- 男性または女性
- 異性愛者

本調査への回答は、すべて匿名の情報としてコンピュータで統計的に処理されます。また、いただいた回答は研究目的以外で使用されることはありません。どうぞご安心の上、正直なご回答をお願いします。

※ 回答の際には、ブラウザを全画面表示にしてご回答ください。

—この調査について—

- あなたの意見や考えを尋ねる質問には、特定の正解はありません。あまり深く考えずに、頭に浮かんだことを率直にお答えください。
- 同じような質問が繰り返されていると感じることがあるかもしれませんが、どの質問も必要かつ重要です。
- どうしても回答したくない項目がある場合には、その項目には回答せず、次の項目へ進んでいただいて結構です。ただし、どの程度正確な情報が集められるかで本調査の成否が左右されます。できる限り率直に、あなたの考えや経験をお答えいただけますようお願い申し上げます。
- **ブラウザの「戻る」ボタンは押さないでください。**ブラウザの「戻る」ボタンを押すと、回答が正しく保存されません。また、**キーボードの**

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

異性の人

同性の人

その時々で、性別は関係ない

Demographic1

あなたの年齢は？（半角数字で入力してください）

現在、ご結婚されていますか。

独身

既婚・事実婚

先ほど、「独身」選んだ方にお尋ねします。あなたの現在の交際状況をお答えください。

誰とも交際していない

婚約している

特定の異性（1人）と交際している

特定の異性（1人）と二人きりで出かけたり食事に行ったりしている

複数の異性と、それぞれ2人きりで出かけたり食事に行ったりしている

あなたは、これまでに何人の異性と付き合った（告白などを通して恋人関係になった）ことがありますか？現在恋人がいる方や、すでにご結婚されている方は、現在の恋人や夫／妻を含めた人数を半角数字で入力してください。

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

3/18 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

先ほどお聞きした、あなたが過去に付き合っていた恋人および結婚されていた配偶者の方についておたずねします。

以下の表に、最も最近付き合った過去の恋人/配偶者から順にさかのぼって最大5人まで、

それぞれの方と付き合い始めた年（西暦）、および継続期間をお答えください。

現在恋人がいる方、ご結婚されている方は、**現在の恋人/配偶者を除いた、過去に付き合った異性**についてのみお答えください。

継続期間の記入例)

3年半＝3年6ヶ月

約2年＝2年0ヶ月

2週間＝0年0.5ヶ月

	付き合い始めた年 西暦 (半角数字)	年 (半角数字)	ヶ月 (半角数字)	継続期間
1. 最も最近付き合った過去の恋人または配偶者				
2. 1の前に付き合った恋人または配偶者				
3. 2の前に付き合った恋人または配偶者				
4. 3の前に付き合った恋人または配偶者				
5. 4の前に付き合った恋人または配偶者				

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

4/18 ページ

Mate Value Scale

あなた自身についておたずねします。

あなたは、全体として自分自身の「恋人としての望みしさ」はどの程度だと思いますか？当てはまるものを選んでください。

非常に	2	3	4	5	6	非常に
望ましく						望ましい
ない						7
1						

異性の人たちは、全体としてのあなたの「恋人としての望みさ」をどの程度だと評価すると思いますか？当てはまるものを選んでください。

非常に	2	3	4	5	6	非常に
望ましく						望ましい
ない						7
1						

他の人たちと比べた時、あなたは全体として自分の「恋人としての望みしさ」はどの程度だと思えますか？当てはまるものを選んでください。

平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均
より	より	より	4	より	より	平均
非常に	低い	少し		少し	少し	より
低い	2	低い		低い	高い	非常に
1		3		5	6	7

あなたは、全体的にみて、どの程度他の人たちの目を惹く存在だと思いますか？

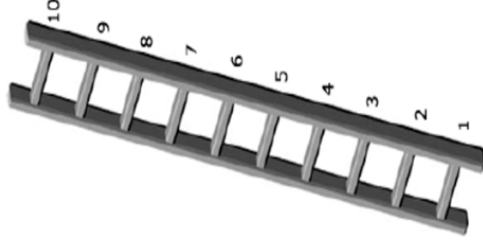
当てはまるものを選んでください。

全く	目を	あまり	平均的	少し	目を	非常に
1	目を	目を	4	目を	6	目を
1	惹か	惹か		惹く	惹く	惹く
1	ない	ない		5		7
1	ない	ない				
1	3					

Ladder scale

図のはしごは、あなたと同じ社会に暮らす人々の、異性関係における序列（上下関係）を表していると考えてください。

はしごの一番上（10）にいる人たちは、異性に人気があります。どんな異性も、できることなら、その人と恋人関係になりたいと思いますし、誰もがその人を良い結婚相手だと考えます。一方、はしごの一番下（1）にいる人たちは、異性に人気がなく、誰からも付き合いたいと思ってもええせんし、誰もがその人を良い結婚相手にはならないと考えます。



Qualtrics Survey Software2017/01/25 14:26

さて、ここであなた自身について考えてください。あなた自身をこのはしごの上で表現するとしたら、何段階にあたるでしょうか？当てはまる段の数字を選んでください。

12345678910

Mate strategy (items)

ここでは、あなたが特定の異性（以下、「Xさん」と呼びます）と恋人として付き合い始めたいと思ったときに、どのように行動するかについておたずねします。このような状況で、Xさんと付き合い始めるために、あなたはどのように行動しますか？以下に挙げたそれぞれの行動について、あなたがその行動をどのくらい取りそうかを答えてください。

※ あなたの理想像ではなく、**実際にあなたがどう行動しそうか**をお答えください。

自分の優れた能力や特技などを、Xさんの前で披露する。

Xさんに、自分の長所をアピールする。

Xさん以外の異性と の関わりを、Xさん にもはっきりとわ

絶対に しない1

絶対に しない2

どちら か といえ ば しない3

どちら とも いえな い4

どちら か といえ ば する5

絶対に する6

絶対に する7

Qualtrics Survey Software2017/01/25 14:26

かるように断つ（他の異性と話したり、一緒に出かけたりしないようにする、など）。

絶対に しない1

絶対に しない2

どちら か といえ ば しない3

どちら とも いえな い4

どちら か といえ ば する5

絶対に する6

絶対に する7

Xさんだけに、他の異性に話したことのない秘密を打ち明ける。

Xさん以外の友人や知り合いとの関係が悪くならないよう、Xさんだけを優先しすぎないようにする。

Xさんに好意を持っていることが、周囲の人にばれないよう隠す。

Mate strategy (allocation)

私たちが持つ資源、例えば気力や時間、金銭などには限りがあります。さてここで、あなたが自由に使える資源（上で挙げたような気力や時間、金銭など）の合計が「10ポイント」であると考えてください。

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

いま、あなたはXさんという異性と、恋人として付き合い始めたいと考えています。

このとき、以下に挙げた3種類の行動に対して、あなたはそれぞれの程度の資源を振り分けるでしょうか？**合計が10ポイントになるように**、数字を割り振って下さい（半角数字で入力してください）。

自分の優れた能力や長所をXさんに伝えること。

0

Xさんに自分の誠実性を証明すること。

0

あなたとXさんの周囲にいる人々との対人関係を良好に保つこと。

0

合計

0

恋愛関係流動性

あなたの周囲にいる人々の異性関係（恋人や恋愛対象の異性など）についておたずねします。次のそれぞれの文が、それらの人々に全体としてどれくらい当てはまるかを、想像してお答えください。

非常に当てはまらない1

当てはまらない2

あまり当てはまらない3

少し当てはまる4

当てはまる5

非常に当てはまる6

彼ら（あなたの周囲にいる人々）には、将来恋人になるかもしれない異性と新しく知り合いになる機会がたくさんある。

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

9/18 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

彼らは、自分の好みにぴったりの相手と、異性として付き合うことできています。

彼らには、新しい恋人を見つける機会がありません。

非常に当てはまらない1

当てはまらない2

あまり当てはまらない3

少し当てはまる4

当てはまる5

非常に当てはまる6

もし現在の恋愛関係に満足していないければ、彼らはその関係を簡単に解消することができ

彼らには、恋人として付き合う異性を自由に選べないことがよくある。

たとえ現在の恋愛関係に満足していなくても、彼らはそこに留まり続けるしかないことがよくある。

非常に当てはまらない1

当てはまらない2

あまり当てはまらない3

少し当てはまる4

当てはまる5

非常に当てはまる6

cheat/cheated

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

10/18 ページ

Qualtrics Survey Software2017/01/25 14:26

2人きりで食事や映画などにしかけている恋人同士や長年連れ添った夫婦であっても、他に魅力的な人と出会ったら、その人と付き合い始めるために、現在の恋人や配偶者とは別れてしまうことがあります。あなたは、以下のそれぞれの状況を何人の異性との間で経験したことがありますか？

※ 半角数字で入力してください。

※ 現在の恋人または配偶者に当てはまる場合は、現在の恋人または配偶者も含めてください。

※ 同じ異性との関係が複数の状況に当てはまる場合は、当てはまるすべての状況に含めてかまいません。

あなたが他者の恋人または配偶者を奪った（別の人と付き合い合っていた異性、または結婚していた異性が、あなたと付き合い始めることを理由に相手と別れた）

あなたが恋人を乗り換えた（あなた自身が、別の人と付き合い始めることを理由に、付き合い合っていた恋人と別れた）

自分の恋人を奪われた（あなたの恋人が、あなた以外の人と付き合い始めることを理由にあなたと別れた）

Romantic competition_spouse

11/18 ページ

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

Qualtrics Survey Software2017/01/25 14:26

次の文章は、あなたと同じ社会に暮らしている人々の結婚関係にどの程度当てはまりますか？それぞれの文章がそれらの関係にどのくらい当てはまるかについて、もっとも適当な選択肢を選んでください。

注) 「魅力的」という語が出てくることありますが、ここでの「魅力的」という語は、外見的魅力だけでなく、性格や経済力、あるいは社会的な地位など、様々な側面の魅力を含んでいます。

	全く当てはまらない 1	当てはまらない 2	あまり当てはまらない 3	少し当てはまる 4	当てはまる 5	非常に当てはまる 6
配偶者への配慮を怠っていると、配偶者は、より魅力的な相手と付き合い合いうために、彼らは別れてしまうだろう。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らは、好きになった相手が他の相手と結婚していても、構わずアブロ一チする。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らは、もし現在の配偶者よりも魅力的な相手が現れたら、配偶者とは別れて、その相手と付き合いおうとする。	☐	☐	☐	☐	☐	☐

全く

あまり

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

12/18 ページ

165

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

魅力的な相手と結婚するためには、彼ら自身も魅力的な人物でなければならぬ。

当てはま
らない
1

当てはま
らない
2

当てはま
らない
3

少し
当てはま
る
4

当てはま
る
5

非常に
当てはま
る
6

☐

☐

☐

☐

☐

☐

魅力的な相手と結婚するためには、多大な努力が必要だ。

一度結婚したら、よほどの酷いことをしない限り相手に離婚されることはない。

☐

☐

☐

☐

☐

☐

Romantic competition_romantic partner

次の文章は、あなたと同じ社会に暮らしている人々の恋愛関係にどの程度当てはまりますか？それぞれの文章がそれらの関係にどのくらい当てはまるかについて、もっとも適当な選択肢を選んでください。

注）「魅力的」という語が出てくることありますが、ここでの「魅力的」という語は、外見的魅力だけでなく、性格や経済力、あるいは社会的な地位など、様々な側面の魅力を含んでいます。

全く
当てはま
らない
1

当てはま
らない
2

当てはま
らない
3

少し
当てはま
る
4

当てはま
る
5

非常に
当てはま
る
6

☐

☐

☐

☐

☐

☐

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

恋人への配慮を怠っている、恋人は、より魅力的な相手と付き合うために、彼らとは別れてしまうだろう。

☐

☐

☐

☐

☐

☐

彼らは、好きになった相手が他の相手と交際しているも、構わずアプロ一チする。

彼らは、もし現在の恋人よりも魅力的な相手が現れたら、恋人とは別れて、その相手と付き合おうとする。

☐

☐

☐

☐

☐

☐

魅力的な相手と付き合うためには、彼ら自身も魅力的な人物でなければならない。

魅力的な相手と付き合うためには、多大な努力が必要だ。

一度恋人関係にな

☐

☐

☐

☐

☐

☐

14/18 ページ

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

つにち、みほこり

☐

酷いことをしない

☐

限り相手に捨てられ

☐

れることはない。

☐

Demographic2

あなた自身についておたずねします。

あなたの母語（最もうまく話すことができる言語）は日本語ですか？

はい

いいえ

国籍

日本

アメリカ合衆国

その他（入力してください）

あなたの最終学歴はどれに当たりますか？

中学、もしくはそれ以前

高校/高卒認定

短大/高専

4年制大学

大学院修士課程

大学院博士課程

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

15/18 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

あなたの雇用状況について、最もよく当てはまるものを選んでください。

正規雇用

アルバイト・派遣社員

自営業

失業して1年以上

失業して1年以内

主婦/主夫

学生

退職

労働が困難な状態

あなたの年収に最もよく当てはまるものを選んでください。

100万円未満

100万円以上～200万円未満

200万円以上～300万円未満

300万円以上～400万円未満

400万円以上～500万円未満

500万円以上～600万円未満

600万円以上～700万円未満

700万円以上～800万円未満

800万円以上～900万円未満

900万円以上～1,000万円未満

1,000万円以上～1,500万円未満

1,500万円以上

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

16/18 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

これまで最も長く住んだ場所はどこですか？

国

都道府県

市町村

最も長く住んでいた場所には、何年住んでいましたか？半角数字で入力してください。

現在はどこにお住まいですか？

国

都道府県

市町村

これまで海外に住んだことはありますか？

はい

いいえ

上記の質問で「はい」と答えた方は、国名（複数回答可）とその居住総年数をお書きください。

国、年数（例：アメリカ、2年）

国、年数

国、年数

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

17/18 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

Powered by Qualtrics

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

18/18 ページ

付録 12：研究 3-1. 質問紙 (英語)

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:25

English

welcome page

Thank you for agreeing to participate in this study conducted by Culture, Social Ecology, and Psychology Lab at Hokkaido University.

This study is about interpersonal behaviors and emotions in romantic relationships. Please be aware that this study involves questions about your current/past romantic and/or sexual relationships.

*** Please note that, in this survey, we are seeking responses from:**

- Men or women
- Heterosexual

All responses to the questionnaire will be kept anonymously and handled statistically. Your responses will be only used for research purposes. Therefore, please answer all of the questions as honestly as possible.

*** Please maximize your browser window when answering the questionnaire.**

Therefore, please note that:

- There are no right or wrong answers. Please answer the questions as frankly as possible, without thinking too deeply.
- Although you might feel that similar questions are repeated, all questions are necessary and important.
- If there are any questions which you don't want to answer, you can skip to the next questions. That said, the success of this study depends on the accuracy of all the responses, so please answer all the questions as honestly as possible.
- **Please DO NOT use the "Back" button on the browser nor the "Backspace"**

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

1/16 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:25

key on your keyboard (except when you have mistyped your text responses). These could cause an error.

- A validation code for Amazon Mechanical Turk will be shown at the end of the survey.

I have read the above information and hereby (click on the appropriate box below).

PROVIDE my consent (accesses the survey)

DO NOT PROVIDE my consent (exits the survey)

*** Please be assured that you can exit the survey withdraw any prejudices or consequences.**

Demographic0

Please respond to the following questions about you yourself.

Gender

Male

Female

Other

In terms of whom you usually fall in love with and feel sexually attracted to, please choose one of the following.

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

2/16 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:25

Individuals who are the opposite-sex from you

Individuals who are the same-sex as you

It depends; the gender/sex doesn't matter

Demographic1

How old are you? (Please answer in numerals)

Are you currently married?

Not married

Married/Common-law marriage

What is your current relationship status?

Not currently in a relationship

Engaged

Exclusively dating

Casually dating with a single partner

Casually dating with multiple partners

How many opposite-sex partners have you dated with throughout your life? Please enter your response using numerals. If you're currently in a relationship, please include your current romantic partner or husband/wife.

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

3/16 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:25

We will now ask you about your previous romantic partners and/or spouses.

Starting from the previous partner you have most recently dated or married and continuing to the 4 other most recent previous partners, in the following table, please report 1) the year you started dating, and 2) the relationship length (in years and months).

If you're currently in a relationship, **please DO NOT include your current partner and report only about your previous partners.**

NOTE: Examples for relationship length
3 and half years = 3 years and 6 months
About 2 years = 2 years and 0 months
2 weeks = 0 years and 0.5 months

	Year you started dating		Relationship length	
	Year	Year(s)	Month(s)	
1. The most recent previous partner/spouse				
2. The partner/spouse before 1				
3. The partner/spouse before 2				
4. The partner/spouse before 3				
5. The partner/spouse before 4				

Mate Value Scale

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

4/16 ページ

Qualtrics Survey Software2017/01/25 14:25

We will ask you about you, yourself.

Overall, how would you rate your level of desirability as a romantic partner on the following scale?

Extremely undesirable	2	3	4	5	6	Extremely desirable
1						7

Overall, how would members of the opposite sex rate your level of desirability as a partner on the following scale?

Extremely undesirable	2	3	4	5	6	Extremely desirable
1						7

Overall, how do you believe you compare to other people in desirability as a partner on the following scale?

Very much lower than average	Lower than average	Slightly lower than average	Average	Slightly higher than average	Higher than average	Very much higher than average
1	2	3	4	5	6	7

Overall, how good of a catch are you?

Very bad catch	Bad catch	Somewhat bad catch	Average catch	Somewhat good catch	Good catch	Very good catch
1	2	3	4	5	6	7

Ladder scale

Please imagine that this ladder represents where people stand in the hierarchy of

Qualtrics Survey Software2017/01/25 14:25

6/16 ページ

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

Qualtrics Survey Software2017/01/25 14:25

romantic relationships in the society in which you live.

People at the top of the ladder (10) are those who are the most popular with opposite-sex people. Everyone would want to be in a romantic relationship with them if possible, and anybody would consider them as good marriage potential.

On the other hand, people at the bottom of the ladder (1) are the least popular with opposite-sex people. Nobody would want to be in a relationship with them, nor would anybody consider them as good marriage potential.

Now think about you, yourself. Please choose the number of the rung that best represents where you would be on this ladder.

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

Mate strategy (items)

Here we will ask you about how you would likely behave in order to start a relationship with an opposite-sex. For argument's sake, let's call that person "X". In a situation where you want to date X, how would you behave in order to start a relationship with X? Please think about how likely you would adopt the following behaviors.

* Please answer **how likely you would actually behave**, rather than how you'd ideally like to behave.

Completely unlikely	Unlikely	Slightly unlikely	Neither likely nor unlikely	Slightly likely	Likely	Completely likely
1	2	3	4	5	6	7

Display your superior abilities or skills in front of X.

Qualtrics Survey Software2017/01/25 14:25

6/16 ページ

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

172

Make appeals
towards X
about your
personal
strengths.

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

In a way that X notices, explicitly cut off relationships with other opposite-sex person (e.g., avoiding talking or going out with other potential mates, etc.)

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

Completely unlikely 1 Unlikely 2 Slightly unlikely 3 Neither likely nor unlikely 4

Slightly likely 5 Likely 6 Completely likely 7

Disclose to X
your secrets
which you
have never
told other
opposite-sex
person.

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

Try NOT to prioritize your association with X too much, to prevent damaging relationships with other friends and acquaintances of yours.

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

Hide the fact
that you like X

lest other people might notice it.

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

Mate strategy (allocation)

Our own “personal resources” such as energy, time, and money is limited.

Let’s say that if we put it in number your total personal resources, which you can use at your own freedom, equals 10 points.

Now, imagine that you want to be in a relationship with an opposite-sex person named X.

How would you allocate those resources to the following 3 types of behaviors?

Allocate the points so that they add up to 10.

0

Let X know your superior abilities and personal strengths.

0

Show your loyalty to X.

0

Maintain good relationships with people around you and X.

0

Total

戀愛關係流動性

We would like to ask you about heterosexual relationships of people around you. How much do you feel the following statements accurately describe their heterosexual romantic relationships (i.e., their current and potential romantic partners)? Please imagine and indicate to what extent you agree or disagree with the following statements.

	Strongly disagree	Disagree	Slightly disagree	Slightly agree	Strongly agree
1. I am satisfied with the way the company handles its business.	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2. I am satisfied with the way the company treats its employees.	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3. I am satisfied with the way the company treats its customers.	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4. I am satisfied with the way the company treats its suppliers.	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5. I am satisfied with the way the company treats its community.	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6. I am satisfied with the way the company treats its environment.	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7. I am satisfied with the way the company treats its shareholders.	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8. I am satisfied with the way the company treats its competitors.	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9. I am satisfied with the way the company treats its government.	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10. I am satisfied with the way the company treats its society.	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:25

	1	2	3	4	5	6
They (the people around you) have many chances to get to know someone who might become a future romantic partner.	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Their current or potential romantic partners match their own preferences.	☐	☐	☐	☐	☐	☐
There are few opportunities for them to find new romantic partners.	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	Strongly disagree 1	Disagree 2	Slightly disagree 3	Slightly agree 4	Agree 5	Strongly agree 6
If they were not satisfied with their current romantic relationship, they could easily end it.	☐	☐	☐	☐	☐	☐
It is often the case that they cannot freely choose their romantic partners.	☐	☐	☐	☐	☐	☐
Even if they were not satisfied with their current romantic relationship, they would often have no choice but to stay in it.	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:25

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

9/16 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:25

cheat/cheated

If someone meets an attractive member of the opposite sex, there are times when they will split up with their current partner in order to start dating this new person. This can be the case for casually dating couples and even among long-married spouses. With how many people of the opposite sex have you experienced each of the following situations?

* Please answer in numerals.

* If any of the following applies to your current partner, please include the current partner.

* If you have experienced the following multiple times with the same partner, please count each time and include them below.

You stole someone's dating partner or spouse (i.e., an opposite-sex person who had been dating or was married with someone else broke up with their partner in order to start dating you.)

You changed romantic partners (i.e., you broke up with a current romantic partner in order to start dating someone else.)

Your romantic partner was stolen from you (i.e., your partner broke up with you in order to start dating someone else.)

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:25

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

10/16 ページ

174

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:25

Romantic competition_spouse

How much do the following statements accurately describe **marital** relationships of people in the society in which you live? Please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements regarding those relationships.

Note: In the following statements, the word 'attractive' appears. By attractive, we not only mean physical attractiveness, but also attractiveness in a holistic sense that includes the person's personality, finances, social power, etc.

If they didn't show their spouse enough attention, their spouse would break up with them in order to start dating someone more attractive.

Strongly disagree

Disagree

Slightly disagree

Slightly agree

Agree

Strongly Agree

1

2

3

4

5

6

☐

☐

☐

☐

☐

☐

Even if the person they liked was married, they would approach that person they liked.

Strongly disagree

Disagree

Slightly disagree

Slightly agree

Agree

Strongly Agree

1

2

3

4

5

6

☐

☐

☐

☐

☐

☐

If they met someone more attractive than their current spouse, they would split up with their spouse, and attempt to get into a relationship with that alternative

Strongly disagree

Disagree

Slightly disagree

Slightly agree

Agree

Strongly Agree

1

2

3

4

5

6

☐

☐

☐

☐

☐

☐

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

11/16 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:25

person.

In order to marry an attractive person, they themselves must also be an attractive person.

Strongly disagree

Disagree

Slightly disagree

Slightly agree

Agree

Strongly Agree

1

2

3

4

5

6

☐

☐

☐

☐

☐

☐

In order to marry an attractive person, they need to put in a great deal of effort.

Strongly disagree

Disagree

Slightly disagree

Slightly agree

Agree

Strongly Agree

1

2

3

4

5

6

☐

☐

☐

☐

☐

☐

Once married, unless they do something overly terrible to their partner, their relationships rarely break up.

Strongly disagree

Disagree

Slightly disagree

Slightly agree

Agree

Strongly Agree

1

2

3

4

5

6

☐

☐

☐

☐

☐

☐

Romantic competition_romantic partner

How much do the following statements accurately describe **romantic** relationships of people in the society in which you live? Please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements regarding those relationships.

Note: In the following statements, the word 'attractive' appears. By attractive, we not only mean physical attractiveness, but also attractiveness in a holistic sense that includes the person's personality, finances, social power, etc.

Strongly disagree

Disagree

Slightly disagree

Slightly agree

Agree

Strongly Agree

1

2

3

4

5

6

☐

☐

☐

☐

☐

☐

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

12/16 ページ

If they didn't show their romantic partner enough attention, their romantic partner would break up with them in order to start dating someone more attractive.

○ ○ ○ ○ ○

Even if the person they liked had a romantic partner, they would approach that person they liked.

○ ○ ○ ○ ○

If they met someone more attractive than their current romantic partner, they would break off their existing relationship, and attempt to get into a relationship with that alternative person.

○ ○ ○ ○ ○ ○

Strongly disagree¹

Slightly disagree 3

Agree₅

Strongly agree
6

In order to date an attractive person, they themselves must also be an attractive person.

○ ○ ○ ○ ○

In order to date an attractive person, they need to put in a great deal of effort.

○ ○ ○ ○ ○

Once in a relationship, unless they do something

overly terrible to their partner, their relationships rarely break up.

○ ○ ○ ○ ○

Demographic2

Please respond to the following questions about you yourself.

Was English the first language you learned?

Yes No

What is your nationality?

Japan
USA

Other (please specify) _____

What is your highest level of education?

Middle high school or earlier

High school or equivalency

Junior college/trade school

4-year College/ University

Graduate degree -Masters

Graduate degree -Doctoral

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:25

Please select the choice that best represents your employment status.

Employed full time

Part-time job

Self-employed

Out of work for more than 1 year

Out of work for less than 1 year

A homemaker

A student

Retired

Unable to work

What is your annual income?

Less than \$10,000

\$10,000 - \$19,999

\$20,000 - \$29,999

\$30,000 - \$39,999

\$40,000 - \$49,999

\$50,000 - \$59,999

\$60,000 - \$69,999

\$70,000 - \$79,999

\$80,000 - \$89,999

\$90,000 - \$99,999

\$100,000-\$149,999

More than \$150,000

Where have you lived the longest?

Country

State/territory/province

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

15/16 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:25

City/town

How many years have you lived at the place where you indicated above to have lived the longest? (Please answer in numerals)

Where do you live currently?

Country

State/territory/province

City/town

Have you ever lived oversea (outside the United States)?

Yes

No

If you have lived overseas, please specify the countries and the number of years you have lived in each country.

Country, Year
(e.g.,Japan,2 years)

Country, Year

Country, Year

Powered by Qualtrics

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

16/16 ページ

付録 13：研究 3-2. 質問紙 (日本語)

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

その時々で、性別は関係ない

demographic1

あなたの年齢は？（半角数字で入力してください）

現在ご結婚されていますか？

独身

既婚・事実婚

「独身」を選んだ方におたずねします。あなたの現在の交際状況をお答えください。

誰とも交際していない

婚約している

特定の異性（1人）と交際している

特定の異性（1人）と二人きりで出かけたり食事に行ったりしている

複数の異性と、それぞれ二人きりで出かけたり食事に行ったりしている

あなたの配偶者の年齢は？（半角数字で入力してください）

あなたの恋人の年齢は？（半角数字で入力してください）

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

3/25 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

※ 複数の異性と、それぞれ二人きりで出かけたり食事に行ったりしている、と回答した方は、その中でもっとも親しい人（1人のみ）についてお答えください。

TSDI_p

以下の項目は、あなたの現在交際している恋人（結婚されている方は、夫）に代わりうる相手について尋ねるものです。

※ 複数の異性と、それぞれ二人きりで出かけたり食事に行ったりしている、と回答した方は、その中でもっとも親しい人（1人のみ）についてお答えください。

ここで仮に、あなたが現在の恋人（既婚者の場合は夫）と別れてしまったとします。このとき、次のパートナーとして以下のような相手を見つけることは、あなたにとってどのくらい難しいことだと思いますか？

彼とおなじくらい...

	全く 難しい 1	あまり 難しくな い 2	少し 難しい 3	とても 難しい 4	極めて 難しい 5
あなたに尽くしてくる人	☐	☐	☐	☐	☐
心が広い人	☐	☐	☐	☐	☐
親切な人	☐	☐	☐	☐	☐
誠実な人	☐	☐	☐	☐	☐

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

4/25 ページ

181

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

あなたを愛してく
れる人

☐

☐

☐

☐

☐

極めて
難しい
5

あなたに対して協
力的な人

☐

☐

☐

☐

☐

とても
難しい
4

気が合う人

☐

☐

☐

☐

☐

少し
難しい
3

あなたをよく理解
してくれる人

☐

☐

☐

☐

☐

あまり
難しい
2

正直な人

☐

☐

☐

☐

☐

全く
難しい
1

仕事で成功してい
る人

☐

☐

☐

☐

☐

とても
難しい
4

責任感がある人

☐

☐

☐

☐

☐

少し
難しい
3

働き者な人

☐

☐

☐

☐

☐

あまり
難しい
2

将来の収入が見込
める人

☐

☐

☐

☐

☐

全く
難しい
1

きちんとしている
人

☐

☐

☐

☐

☐

とても
難しい
4

野心を持っている
人

☐

☐

☐

☐

☐

極めて
難しい
5

有能な人

☐

☐

☐

☐

☐

少し
難しい
3

教養がある人

☐

☐

☐

☐

☐

とても
難しい
4

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

5/25 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

知的な人

☐

☐

☐

☐

☐

極めて
難しい
5

物事をテキパキと
こなす人

☐

☐

☐

☐

☐

とても
難しい
4

肉体的に強い人

☐

☐

☐

☐

☐

少し
難しい
3

運動能力のある人

☐

☐

☐

☐

☐

あまり
難しい
2

あなたを物理的に
守る力がある人

☐

☐

☐

☐

☐

全く
難しい
1

リラックスしてい
る人

☐

☐

☐

☐

☐

とても
難しい
4

情緒が安定してい
る人

☐

☐

☐

☐

☐

少し
難しい
3

プレッシャーに強
い人

☐

☐

☐

☐

☐

あまり
難しい
2

やましいところの
ない人

☐

☐

☐

☐

☐

全く
難しい
1

勇敢な人

☐

☐

☐

☐

☐

とても
難しい
4

社交的な人

☐

☐

☐

☐

☐

少し
難しい
3

自分の意見をしっ
かりと主張できる
人

☐

☐

☐

☐

☐

極めて
難しい
5

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

6/25 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

統率力がある人

自信を持っている人

身体的魅力がある人

外見が良い人

性的に魅力的な人

TSDI_s

ここで仮に、あなたが現在の恋人（既婚者の場合は夫）が別れてしまったとします。このとき、次のパートナーとして以下のような相手を見つけることは、**あなた**の恋人（または夫）にとってもどくらい難しいことだと思いますか？
※ 複数の異性と、それぞれ二人きりで出かけたり食事に行ったりしている、と回答した方は、その中でもっとも親しい人（1人のみ）についてお答えください。
あなたと同じくらい...

彼に尽くしてくれ
る人

心が広い人

親切な人

誠実な人

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

全部
難しい
1

全部
難しい
2

全部
難しい
3

全部
難しい
4

全部
難しい
5

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

彼を愛してくれる人

彼に対して協力的な人

気が合う人

全部
難しい
1

全部
難しい
2

全部
難しい
3

全部
難しい
4

全部
難しい
5

彼をよく理解してくれる人

正直な人

仕事で成功している人

責任感がある人

働き者な人

将来の収入が見込める人

きちんとしている人

全部
難しい
1

全部
難しい
2

全部
難しい
3

全部
難しい
4

全部
難しい
5

野心を持っている人

有能な人

教養がある人

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

全部
難しい
1

全部
難しい
2

全部
難しい
3

全部
難しい
4

全部
難しい
5

183

知的な人	☐	☐	☐	☐	☐
物事をテキパキとこなす人	☐	☐	☐	☐	☐
肉体的に強い人	☐	☐	☐	☐	☐
運動能力のある人	☐	☐	☐	☐	☐
	全く 難しい 1	あまり 難しい 2	少し 難しい 3	とても 難しい 4	極めて 難しい 5
彼を物理的に守る力がある人	☐	☐	☐	☐	☐
リラックスしている人	☐	☐	☐	☐	☐
情緒が安定している人	☐	☐	☐	☐	☐
プレッシャーに強い人	☐	☐	☐	☐	☐
やましいところのない人	☐	☐	☐	☐	☐
勇敢な人	☐	☐	☐	☐	☐
社交的な人	☐	☐	☐	☐	☐
	全く 難しい 1	あまり 難しい 2	少し 難しい 3	とても 難しい 4	極めて 難しい 5
自分の意見をしっかりと主張できる人	☐	☐	☐	☐	☐

MRI

下記の項目は、様々な行動やふるまいに関するものです。

過去1年間の間で、あなたの恋人が、それぞれの行動をどの程度したかについて、最もよく当てはまる選択肢を選んでください。

※複数の異性と、それぞれ二人きりで出かけたり食事に行ったりしている、と回答した方は、その中でもっとも親しい人（1人のみ）についてお答えください。

例) もしあなたの恋人が、過去1年間の間に一度もその行動をしたことがなかった場合は、「0」を選んでください。

私が「そこに
る」と言った場所
に本当にいるかど
うかを確かめるた
めに、電話してき
た。

全く したことが ない	0	☐	めったに したことが ない	1	☐	時々 したことが ある	2	☐	しばしば したことが ある	3	☐

他の男性がいるパ
ーティーに、私を
連れて行かなかっ
た。

私の空いている時間、すべて彼と過ごすように強く求めた。

私に嫉妬させるために、パーティーで他の女性と会話をした。

私が他の男性と仲
良くしていると、
怒った。

私なしでは生きられないと頼みこんだ。

私たちはお互いに
完全にながりあ
っていることが必
要だと言った。

他の男性の欠点を
私に教えた。

私に高価な贈り物を買った。

私を傍においておくために、性的に尽くした。

A 4x10 grid of red circles on a light gray background. The circles are arranged in four rows and ten columns, with a small gap between the first and second columns. The circles are evenly spaced and have a consistent size and color.

私にとって、彼が
ひときわ魅力的に
見えるようにし
た。

私の見た目を褒めた。

私の望みを全て叶えた。

彼の男友達に、私と彼がどれだけ愛し合っているか話した。

他の人がいる前で、私の肩を抱いた。

私に、彼の指輪を
つけるよう頼ん
だ。

他の男性に、私が面倒な女だと伝えた。

私を見つめた男性
に対して冷たい視
線を浴びせた。

彼の友人に頼ん

[illegible]

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

で、私に気のある男性に暴行を加えた。

私の私物をこそこそ詮索した。

彼以外の男性が集まるような場所から私を遠ざけた。

自由時間をすべて私と過ごすことにより、私が彼以外の誰にも会えないようにした。

私を怒らせるために、他の女性に気のあるそぶりを見せた。

もし私が浮気をしたら別れると脅してきた。

彼は私に頼っているとやってきた。

結婚してくれと頼んできた。

他の男性は馬鹿だ

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

私は良い女ではな
いと他の男性に伝
えた。

☐

☐

☐

☐

他の男性が私を見
てきたとき、その
男性に対していや
な目つきをした。

☐

☐

☐

☐

私を口説いてきた
男性を叩いた。

☐

☐

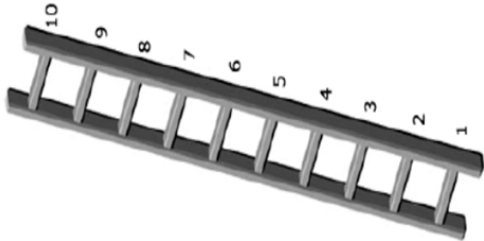
☐

☐

ladder

図のはしごは、あなたと同じ社会に暮らす人々の、異性関係における序列（上下関係）を表していると考えてください。

はしごの一番上(10)にいる人たちは、異性に人気があります。どんな異性も、で
きることなら、その人と恋人関係になりたいと思いますし、誰もがその人を良い
結婚相手だと考えます。一方、はしごの一番下(1)にいる人たちは、異性に人気
がなく、誰からも付き合いたいと思ってももらえませんし、誰もがその人を良い結
婚相手にはならないと考えます。



さて、ここであなた自身について考えてください。あなた自身をこのはしごの上
で表現するとしたら、何段目にあたるでしょうか？当てはまる段の数字を選んで
ください。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

恋愛関係流動性

あなたの周囲にいる人々の異性関係（恋人や恋愛対象の異性など）についておた
ずねします。次のそれぞれの文が、それらの人々に全体としてどれくらい当ては
まるかを、想像してお答えください。

全く 当ては まら ない 1	当ては まら ない 2	あまり 当ては まら ない 3	少し 当て はま る 4	当て はま る 5	非常に 当て はま る 6

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

自分の恋人を奪われた（あなたの恋人が、あなた以外の人と付き合い始めるとを理由にあなたと別れた）

恋愛関係競争性（既婚）

次の文章は、あなたと同じ社会に暮らしている人々の恋愛関係にどの程度当てはまりますか？それぞれの文章がそれらの関係にどのくらい当てはまるかについて、もっとも適当な選択肢を選んでください。

注）「魅力的」という語が出てくるがありますが、ここでの「魅力的」という語は、外見的魅力だけでなく、性格や経済力、あるいは社会的な地位など、様々な側面の魅力を含んでいます。

配偶者への配慮を怠っていると、配偶者は、より魅力的な相手と付き合いのために、彼らとは別れてしまうだろう。

彼らは、好きになった相手が他の相手と結婚していても、構わずアプロ一チする。

全く当てはまらない	1	2	3	4	5	6
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

彼らは、もし現在の配偶者よりも魅力的な相手が現れたら、配偶者とは別れて、その相手と付き合いおうとする。

魅力的な相手と結婚するためには、彼ら自身も魅力的な人物でなければならない。

魅力的な相手と結婚するためには、多大な努力が必要だ。

一度結婚したら、よほどの酷いことをしない限り相手に離婚されることはない。

恋愛関係競争性（未婚）

次の文章は、あなたと同じ社会に暮らしている人々の恋愛関係にどの程度当てはまりますか？それぞれの文章がそれらの関係にどのくらい当てはまるかについて、もっとも適当な選択肢を選んでください。

全く当てはまらない	1	2	3	4	5	6
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

19/25 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

注) 「魅力的」という語が出てくることはありませんが、ここでの「魅力的」という語は、外見的魅力だけでなく、性格や経済力、あるいは社会的な地位など、様々な側面の魅力を含んでいます。

	全く当てはまらない 1	当てはまらない 2	あまり当てはまらない 3	少し当てはまる 4	当てはまる 5	非常に当てはまる 6
恋人への配慮を怠っている、恋人は、より魅力的な相手と付き合うために、彼らとは別れてしまうだろう。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らは、好きになった相手が他の相手と交際していても、構わずアプローチする。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
彼らは、もし現在の恋人よりも魅力的な相手が現れたら、恋人とは別れて、その相手と付き合おうとする。	☐	☐	☐	☐	☐	☐
魅力的な相手と付き合うためには、						

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

彼ら自身も魅力的な人物でなければならない。

魅力的な相手と付き合うためには、多大な努力が必要だ。

一度恋人関係になったら、よほどの酷いことをしない限り相手に捨てられることはない。

demographic2

あなた自身についておたずねします。

あなたは、これまでに何人の異性と付き合った（告白などを通して恋人関係になった）ことがありますか？

※ すでにご結婚されている方、または交際の恋人がいる方は、現在の夫または恋人を含めた人数を半角数字で入力してください。

あなたの国籍は？

日本

アメリカ

それ以外の国（入力してください）

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

あなたの最終学歴は？

中学、もしくはそれ以前

高校／高卒認定

短大・高専

4年制大学

大学院修士課程

大学院博士課程

あなたの母語は日本語ですか？

はい

いいえ

あなたの出身地をもっともよく表しているものの一つを選んでください。

※大都市＝東京や政令都市、中都市＝15万人以上の市、小都市＝15万人以下の市

大都市

中都市

小都市

5歳以降で、新しい地域や別の市町村に引越したことは合計何回ありますか？

あなたの雇用状況について、もっともよく当てはまるものを選んでください。

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

23/25 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

正規雇用

アルバイト・派遣社員

自営業

失業して1年以上

失業して1年以内

主婦

学生

退職

労働が困難な状況にある

あなたの自身の年収は？

100万円未満

100万円以上～200万円未満

200万円以上～300万円未満

300万円以上～400万円未満

400万円以上～500万円未満

500万円以上～600万円未満

600万円以上～700万円未満

700万円以上～800万円未満

800万円以上～900万円未満

900万円以上～1,000万円未満

1,000万円以上～1,500万円未満

1,500万円以上

これまでに海外に住んだことはありますか？

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

24/25 ページ

はい

いいえ

上記の質問で「はい」と答えた方は、国名（複数回答可）とその居住総年数をお書きください。

国、年数（例：アメリカ、2年）

国、年数

国、年数

Powered by Qualtrics

付録 14：研究 3-2. 質問紙 (英語)

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

English

教示文

Thank you for considering to participate in this study conducted by Culture, Social Ecology, and Psychology Lab at Hokkaido University.

This study is about your thoughts and behaviors in your romantic relationships. Please be aware that this study involves questions about your current/past romantic relationships.

*** Please note that, in this survey, we are seeking responses from:**

- Female
- Heterosexual
- Aged 18 and older
- Currently in a relationship with a single person.

All responses to the questionnaire will be kept anonymously and handled statistically. Your responses will be only used for research purposes. Therefore, please answer all of the questions as honestly as possible.

* Please maximize your browser window when answering the questionnaire.

INSTRUCTIONS

- There are no right or wrong answers. Please answer the questions as frankly as possible, without thinking too deeply.
- Although you might feel that similar questions are repeated, all questions are necessary and important.
- If there are any questions which you don't want to answer, you can skip to the next questions. That said, the success of this study depends on the accuracy of all the responses, so please answer all the questions as honestly as

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

2/22 ページ

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

possible.

- Please DO NOT use the "Back" button on the browser nor the "Backspace" key on your keyboard (except when you have mistyped your text responses). These could cause an error.
- A validation code for Amazon Mechanical Turk will be shown at the end of the survey.

I have read the above information and hereby (click on the appropriate box below).

PROVIDE my consent (accesses the survey)

DO NOT PROVIDE my consent (exits the survey)

* Please be assured that you can exit the survey withdraw any prejudices or consequences.

Demographic0

We will ask you about yourself.

Gender

Male

Female

Other

In terms of whom you usually fall in love with and feel sexually attracted to, please choose one of the following.

Individuals who are the opposite-sex from you

Individuals who are the same-sex as you

It depends; the gender/sex doesn't matter

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

2/22 ページ

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

194

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

demographic1

How old are you? (Please answer in numerals)

Are you currently married?

Not married

Married/common-law marriage

What is your current relationship status?

Not currently in a relationship

Engaged

Exclusively dating

Casually dating with a single partner

Casually dating with multiple partners

How old is your spouse? (Please answer in numerals)

How old is your partner? (Please answer in numerals)

* If you are casually dating with multiple partners, please imagine the closest person.

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

3/22 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

TSDI_p

Below is a list of questions about your perceived **alternatives** to your current relationship.

* If you are casually dating with multiple partners, please imagine the closest person.

If you and your current partner broke up, how difficult would it be **for you** to find another partner who is as...

	Not difficult at all 1	Not very difficult 2	Moderately difficult 3	Very difficult 4	Extremely difficult 5
Devoted to you	☐	☐	☐	☐	☐
Generous	☐	☐	☐	☐	☐
Kind	☐	☐	☐	☐	☐
Loyal	☐	☐	☐	☐	☐
In love with you	☐	☐	☐	☐	☐
Cooperative with you	☐	☐	☐	☐	☐
Good of a companion	☐	☐	☐	☐	☐
Understands you as well	☐	☐	☐	☐	☐

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

4/22 ページ

<https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview>

TSDI_s

if you and your current partner broke up, how difficult would it be **for him** to find another partner who is as ...

* If you are casually dating with multiple partners, please imagine the closest person.

<https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview>

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

Kind as you

Loyal as you

In love with him as you

Cooperative with him as you

Good of a companion as you

Understands him as well as you

Honest as you

Professionally successful as you

Responsible as you

Hard-working as you

Has as much future earning potential as you

Well-organized as you

Ambitious as you

Efficient as you

Well-educated as

Not difficult at all1

Not very difficult2

Moderately difficult3

Very difficult4

Extremely difficult5

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

you

Intelligent as you

Practical as you

Physically strong as you

Athletic as you

Physically able to protect him as you

Relaxed as you

Emotionally stable as you

Calm under pressure as you

Guilt-free as you

Bold as you

Outgoing as you

Assertive as you

Able to take charge of a group as you

Self-confident as you

Physically attractive as you

Not difficult at all1

Not very difficult2

Moderately difficult3

Very difficult4

Extremely difficult5

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

Good-looking as you

☐

☐

☐

☐

☐

Sexually appealing as you

☐

☐

☐

☐

☐

MRI

On the following pages a series of acts or behaviors are listed . For each act, use the following scale to indicate how frequently **your romantic partner performed** the act described, within the past ONE year.

For example, if your partner never performed the act within the past one year, please choose "0".

* If you are casually dating with multiple partners, please imagine the closest person.

Called to make sure I was where I said I would be.

☐

☐

☐

☐

☐

Did not take me to a party where other men would be present.

☐

☐

☐

☐

☐

Insisted that I spend all my free time with him.

☐

☐

☐

☐

☐

Talked to another woman at a party to make me jealous.

☐

☐

☐

☐

☐

Never performed this act 0

Rarely performed this act 1

Sometimes performed this act 2

Often performed this act 3

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

9/22 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

Became angry when I flirted too much.

☐

☐

☐

☐

☐

Pleaded that he could not live without me.

☐

☐

☐

☐

☐

Told me that we needed a total commitment to each other.

☐

☐

☐

☐

☐

Pointed out to me the flaws of another man.

☐

☐

☐

☐

☐

Bought me an expensive gift.

☐

☐

☐

☐

☐

Performed sexual favors to keep me around.

☐

☐

☐

☐

☐

Made himself "extra attractive" for me.

☐

☐

☐

☐

☐

Complimented me on my appearance.

☐

☐

☐

☐

☐

Gave in to my every wish.

☐

☐

☐

☐

☐

Told him same-sex friends how much I and he were in love.

☐

☐

☐

☐

☐

Put him arm around me in front of others.

☐

☐

☐

☐

☐

Never performed this act 0

Rarely performed this act 1

Sometimes performed this act 2

Often performed this act 3

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

10/22 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

Asked me to wear his ring.

Told other men that I was a pain.

Stared coldly at a man who was looking at me.

Got his friends to beat up someone who was interested in me.

Snooped through my personal belongings.

Took me away from a gathering where other men were around.

Spent all his free time with me so that I could not meet anyone else.

Showed interest in another woman to make me angry.

Threatened to break-up if I ever cheated on him.

Told me that he was dependent on me.

Never performed this act
0

Rarely performed this act
1

Sometimes performed this act
2

Often performed this act
3

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

11/22 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

Asked me to marry him.

Told me that another man was stupid.

Took me out to a nice restaurant.

Had a physical relationship with me to deepen our bond.

Made sure that he looked nice for me.

Displayed greater affection for me.

Went along with everything I said.

Bragged about me to other men.

Held my hand while other men were around.

Gave me jewelry to signify that I was taken.

Told other men that I was not a nice person.

Gave a man a dirty

Never performed this act
0

Rarely performed this act
1

Sometimes performed this act
2

Often performed this act
3

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

12/22 ページ

199

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

look when he looked at me.

Slapped a man who made a pass at me.

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

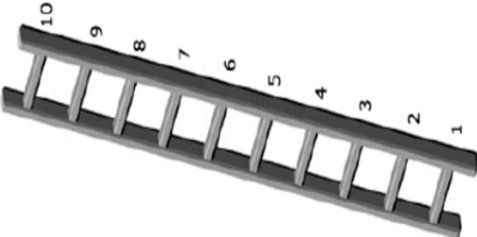
☐

☐

ladder

Please imagine that this ladder represents where people stand in the hierarchy of romantic relationships in the society in which you live.

People at the top of the ladder (10) are those who are the most popular with opposite-sex people. Everyone would want to be in a romantic relationship with them if possible, and everyone would consider them to have good marriage potential. On the other hand, people at the bottom of the ladder (1) are the least popular with opposite-sex people. Nobody would want to be in a relationship with them, nor would anybody consider them to have good marriage potential.



https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

13/22 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

Now think about you, yourself. Please choose the number of the rung that best represents where you would be on this ladder.

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

恋愛関係流動性

We would like to ask you about heterosexual relationships of people around you.

How much do you feel the following statements accurately describe heterosexual romantic relationships among people around you (i.e., their romantic partners and potential romantic partners)? Regarding those people around you, please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements.

They (the people around you) have many chances to get to know someone who might become a future romantic partner.

Strongly disagree

Disagree

Slightly disagree

Slightly agree

Agree

Strongly Agree

☐

☐

☐

☐

☐

☐

Their current or potential romantic partners match their own preferences.

Strongly disagree

Disagree

Slightly disagree

Slightly agree

Agree

Strongly Agree

☐

☐

☐

☐

☐

☐

There are few opportunities for them to find new romantic partners.

Strongly disagree

Disagree

Slightly disagree

Slightly agree

Agree

Strongly Agree

☐

☐

☐

☐

☐

☐

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

14/22 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

If they were not satisfied with their current romantic relationship, they could easily end it.

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

It is often the case that they cannot freely choose their romantic partners.

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

Even if they were not satisfied with their current romantic relationship, they would often have no choice but to stay in it.

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

☐

奪い合い経験

If someone meets an attractive member of the opposite sex, there are times when they will split up with their current partner in order to start dating this new person. This can be the case for casually dating couples and even among long-married spouses. With how many people of the opposite sex have you experienced each of the following situations?

* Please answer in numerals.

* If any of the following applies to your current partner, please include your experiences with your current partner.

* If you have experienced the following multiple times with the same partner, please count each time separately and include them in the total below.

You stole someone's dating partner or spouse (i.e., a person of the opposite-sex who had been dating or was married with someone else broke up with their

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

15/22 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

partner in order to start dating you.)

You changed romantic partners (i.e., you broke up with a current romantic partner in order to start dating someone else.)

Your romantic partner was stolen from you (i.e., your partner broke up with you in order to start dating someone else.)

恋愛関係競争性 (既婚)

How much do the following statements accurately describe **marital** relationships of people in the society in which you live? Please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements regarding those relationships.

Note: In the following statements, the word 'attractive' appears. By attractive, we not only mean physical attractiveness, but also attractiveness in a holistic sense that includes the person's personality, finances, social power, etc.

Strongly disagree

Disagree

Slightly disagree

Slightly agree

Agree

Strongly Agree

1

2

3

4

5

6

If they didn't show their spouse enough attention,

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

16/22 ページ

201

恋愛関係競争性 (未婚)

How much do the following statements accurately describe **romantic** relationships of people in the society in which you live? Please indicate to what extent you agree or disagree with the following statements regarding those relationships.

Note: In the following statements, the word 'attractive' appears. By attractive, we not only mean physical attractiveness, but also attractiveness in a holistic sense that includes the person's personality, finances, social power, etc.

[illegible][illegible]

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

person.

In order to date an attractive person, they themselves must also be an attractive person.

Strongly disagree1

Disagree2

Slightly disagree3

Slightly agree4

Agree5

Strongly agree6

☐

☐

☐

☐

☐

☐

In order to date an attractive person, they need to put in a great deal of effort.

Strongly disagree1

Disagree2

Slightly disagree3

Slightly agree4

Agree5

Strongly agree6

☐

☐

☐

☐

☐

☐

Once in a relationship, unless they do something overly terrible to their partner, their relationships rarely break up.

Strongly disagree1

Disagree2

Slightly disagree3

Slightly agree4

Agree5

Strongly agree6

☐

☐

☐

☐

☐

☐

demographic2

We will ask you about yourself.

How many opposite-sex partners have you dated with throughout your life? Please enter your response using numerals.
* If you're currently in a relationship, please include your current partner/husband.

What is your citizenship?

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

19/22 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

Japan

US

Other(please specify)

What is your highest level of education?

Middle school or earlier

High school or equivalency

Junior college/trade school

4 year College/ University

Graduate degree- Masters

Graduate degree – Doctoral

Was English the first language you learned?

Yes

No

What sort of area did you grow up in? Please select the choice that best describes the place where you grew up:

Urban area

Suburban area

Rural area

How many times after the age of 5 have you moved to a totally new neighborhood or town?

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

20/22 ページ

203

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

Please select the choice that best represents your employment status:

Employed full time

Part-time job

Self-employed

Out of work for more than 1 year

Out of work for less than 1 year

A homemaker

A student

Retired

Unable to work

What is your annual income?

Less than \$10,000

\$10,000 - \$19,999

\$20,000 - \$29,999

\$30,000 - \$39,999

\$40,000 - \$49,999

\$50,000 - \$59,999

\$60,000 - \$69,999

\$70,000 - \$79,999

\$80,000 - \$89,999

\$90,000 - \$99,999

\$100,000-\$149,999

More than \$150,000

Have you ever lived overseas (outside of the United States)?

Yse

No

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

21/22 ページ

Qualtrics Survey Software

2017/01/25 14:26

If you have lived overseas, please specify the countries and the number of years have lived in each country.

Country, Year
(e.g.,Japan, 2 years)

Country, Year

Country, Year

Powered by Qualtrics

https://login.qualtrics.com/ControlPanel/Ajax.php?action=GetSurveyPrintPreview

22/22 ページ